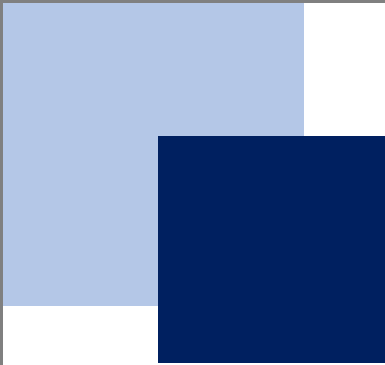




宮津市

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
在宅介護実態調査

(第 11次宮津市高齢者保健福祉計画・第10期宮津市介護保険事業計画)

結果報告書

令和8年3月

宮 津 市



目 次

I 調査の概要	1
調査の目的	1
調査の方法	1
報告書の留意点	1
II 介護予防・日常生活圏域二エズ調査 集計結果	2
回答者本人について	2
問1 あなた自身のことやご家族、生活状況についておうかがいします	2
問2 からだを動かすことについておうかがいします	11
問3 食べることについておうかがいします	31
問4 毎日の生活についておうかがいします	42
問5 地域での活動についておうかがいします	62
問6 就労についておうかがいします	77
問7 たすけあいについておうかがいします	78
問8 健康についておうかがいします	93
問9 認知症のことについておうかがいします	103
問10 これからの生活についておうかがいします	106
問11 医療診療車による診療サービスについておうかがいします	111
問12 延命治療についておうかがいします	113
◇リスク評価について	117
(1)生活機能評価	118
1. 運動機能	118
2. 転倒	119
3. 閉じこもり	120
4. 低栄養	121
5. 咀嚼機能	122
6. 口腔機能	123
7. 認知機能	124
8. うつ傾向	125

(2)日常生活評価.....	126
1. IADL.....	126
(3)社会参加評価.....	127
1. 知的能動性	127
2. 社会的役割	128
(4)リスク評価の年齢別前回比較.....	129
(5)リスク評価の圏域別比較.....	132
III 在宅介護実態調査 集計結果.....	133
回答者について	133
基本属性.....	133
A票 調査対象者ご本人様についておうかがいします	135
B票 主な介護者の方についておうかがいします	151
クロス集計結果（自動集計分析ソフトによる集計）	155

I 調査の概要

調査の目的

本調査は令和9年度からの3年間を計画期間とする「第11次宮津市高齢者保健福祉計画・第10期宮津市介護保険事業計画」の策定にあたり実施したものです。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は今後の高齢者福祉施策を推進していくための基礎資料とすること、在宅介護実態調査は高齢者の在宅生活の継続と介護者の就労継続の実現に向けた介護サービスのあり方を検討することを主な目的としています。

調査の方法

(1)調査対象

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

市内にお住まいの65歳以上の方で、要介護1～5の認定を受けていない方

②在宅介護実態調査

市内の在宅で生活されており、介護保険制度の要支援・要介護認定を受けている方

(2)調査時期

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：令和7年12月3日～令和7年12月22日

②在宅介護実態調査：令和7年12月3日～令和8年1月7月

(3)調査方法

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：郵送配付・郵送回収

②在宅介護実態調査：郵送配付・郵送回収

(4)配付・回収状況

	配付数	有効回収数	有効回収率
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	5,720票	3,676票	64.3%
②在宅介護実態調査	720票	404票	56.1%

報告書の留意点

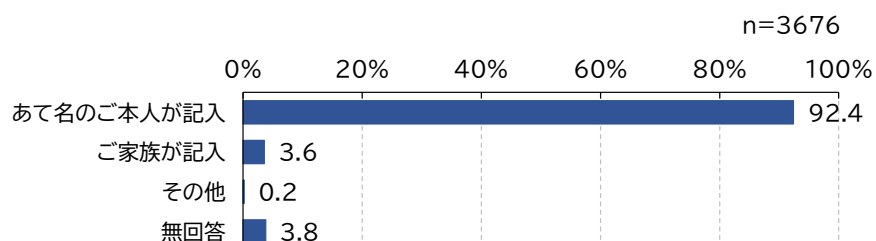
- 「集計結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当設問においては該当者数）を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記します。そのため、割合の合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答（2つ以上選ぶ問）の設問では全ての割合の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表します。
- 図表の記載にあたり調査票の設問文、グラフ及び文章中の選択肢を一部簡略化している場合があります。
- 必要に応じ、前回調査（令和4年度）等との比較を行っています。

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 集計結果

回答者本人について

調査票を記入されたのはどなたですか

「あて名のご本人が記入」が92.4%と最も多く、「ご家族が記入」が3.6%となっています。



「その他」の主な記入内容

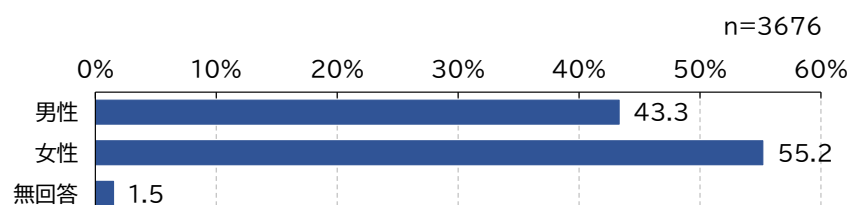
子（11）／妻（3）／夫（2）／孫／妹／等

※（ ）内の数字は同等内容の件数（以下同じ）

問1 あなた自身のことやご家族、生活状況についておうかがいします

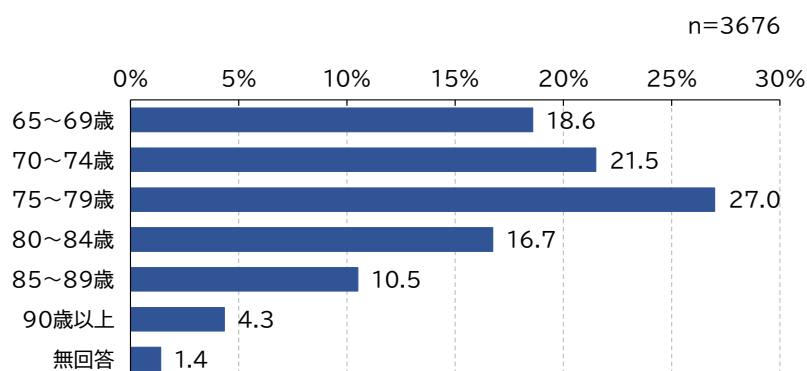
(1) あなたの性別を教えてください

「男性」が43.3%、「女性」が55.2%となっています。



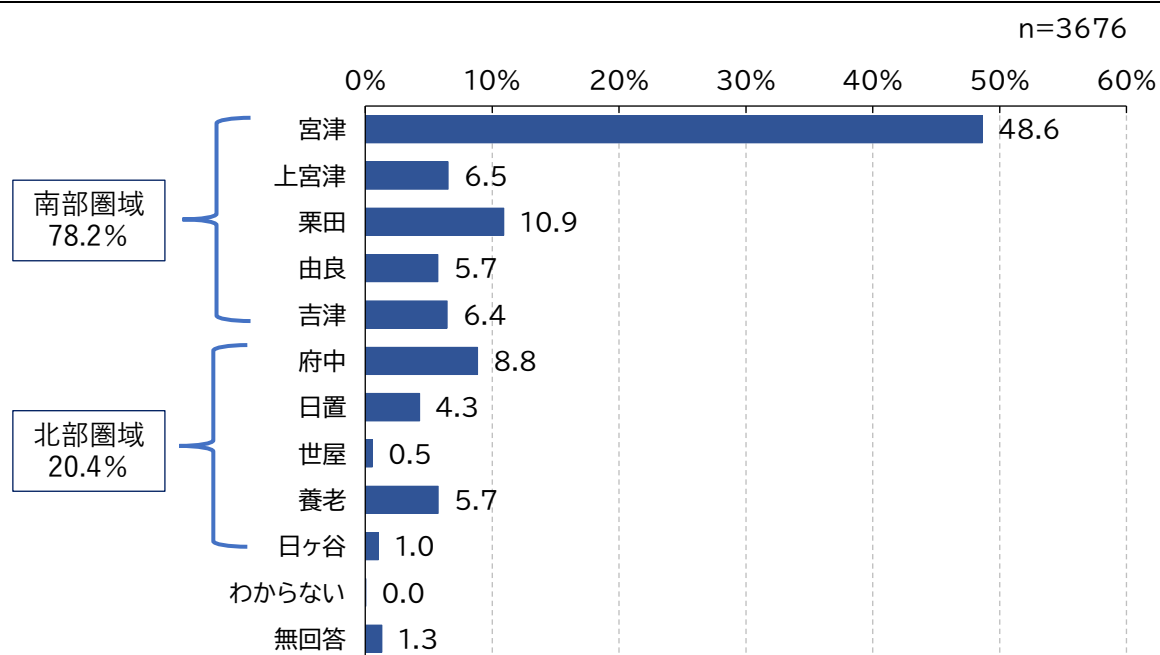
(2) あなたの年齢を教えてください(令和7年10月1日現在)

「75～79歳」が27.0%と最も多く、次いで「70～74歳」が21.5%、「65～69歳」が18.6%、「80～84歳」が16.7%、「85～89歳」が10.5%となっています。



(3) お住まいの地域を教えてください

「宮津」が48.6%と最も多く、次いで「栗田」が10.9%、「府中」が8.8%、「上宮津」が6.5%、「吉津」が6.4%となっています。

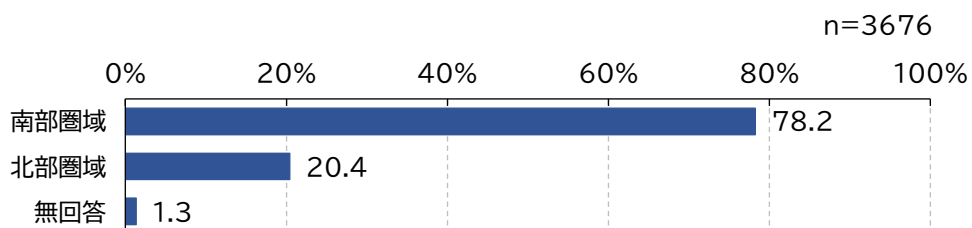


	地域	n (人)	割合 (%)
南部圏域	宮津	1788	48.6
	上宮津	240	6.5
	栗田	401	10.9
	由良	210	5.7
	吉津	237	6.4
北部圏域	府中	325	8.8
	日置	157	4.3
	世屋	20	0.5
	養老	211	5.7
	日ヶ谷	38	1.0
	わからない	1	0.0
	無回答	48	1.3
	全体	3676	100.0

※小数点以下第2位の四捨五入の関係で地域の割合の合計は日常生活圏域の割合と数値が異なる。

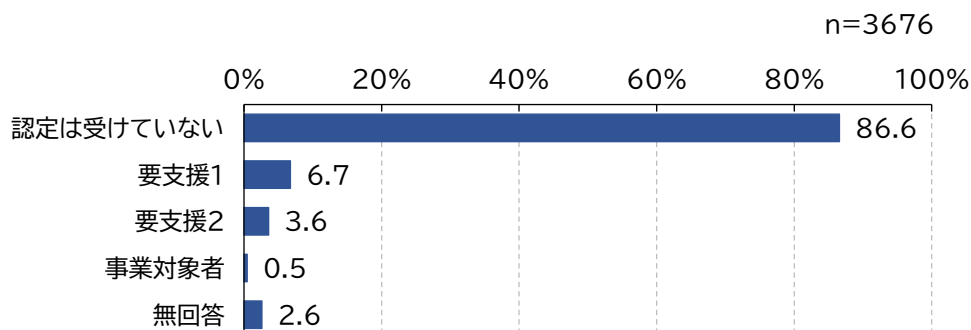
(日常生活圏域)

「南部圏域」が78.2%、「北部圏域」が20.4%となっています。



(4) あなたの要支援認定の状況について教えてください

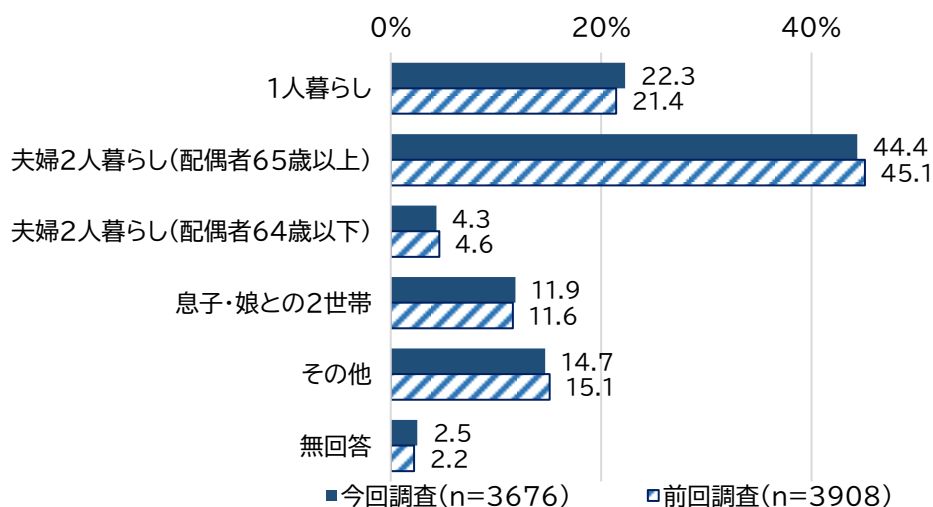
「認定は受けていない」が 86.6%と最も多く、次いで「要支援 1」が 6.7%、「要支援 2」が 3.6%となっています。



(5) 家族構成を教えてください

「夫婦 2 人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が 44.4%と最も多く、次いで「1 人暮らし」が 22.3%、「その他」が 14.7%、「息子・娘との 2 世帯」が 11.9%、「夫婦 2 人暮らし(配偶者 64 歳以下)」が 4.3%となっています。

前回調査と比較すると「1 人暮らし」が 0.9 ポイント増加しています。



「その他」の主な記入内容

夫婦 + 子 (236) / 親子 (親 + 子) (128) / 三世帯世帯 (親 + 夫婦 + 子) (94) / 兄弟姉妹のみ (23) / 子のみ (子同士) (18) / 友人・非親族との同居 (7) / 等

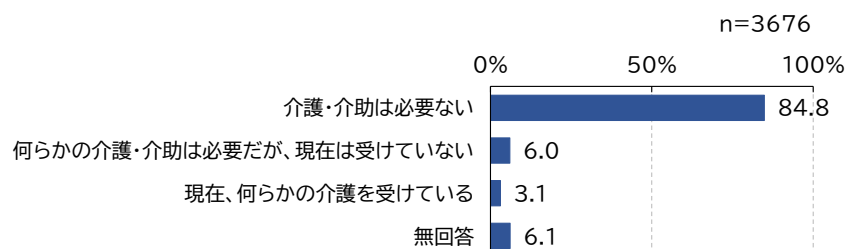
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「1人暮らし」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向です。圏域別では南部圏域の方が高くなっています。

(%)	n (回答数)	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答
全体	3676	22.3	44.4	4.3	11.9	14.7	2.5
男性	1592	17.3	51.3	8.4	10.2	11.7	1.1
女性	2029	26.6	39.9	1.2	13.5	17.3	1.6
65～69歳	683	17.3	37.3	14.2	8.8	21.2	1.2
70～74歳	790	19.9	48.9	4.6	11.6	14.2	0.9
75～79歳	992	19.3	54.5	1.1	11.7	12.2	1.2
80～84歳	615	24.1	46.0	1.5	14.8	13.2	0.5
85～89歳	386	34.5	34.2	1.0	13.5	14.8	2.1
90歳以上	159	43.4	18.2	1.3	15.7	14.5	6.9
南部圏域	2876	23.1	44.9	4.3	11.5	15.1	1.1
北部圏域	751	20.5	44.6	4.8	13.8	14.1	2.1
認定は受けていない	3182	20.1	47.5	4.7	11.8	14.6	1.3
要支援1	248	39.1	29.4	1.2	13.7	14.9	1.6
要支援2	132	44.7	18.9	1.5	11.4	20.5	3.0
事業対象者	18	33.3	33.3	5.6	5.6	22.2	0.0

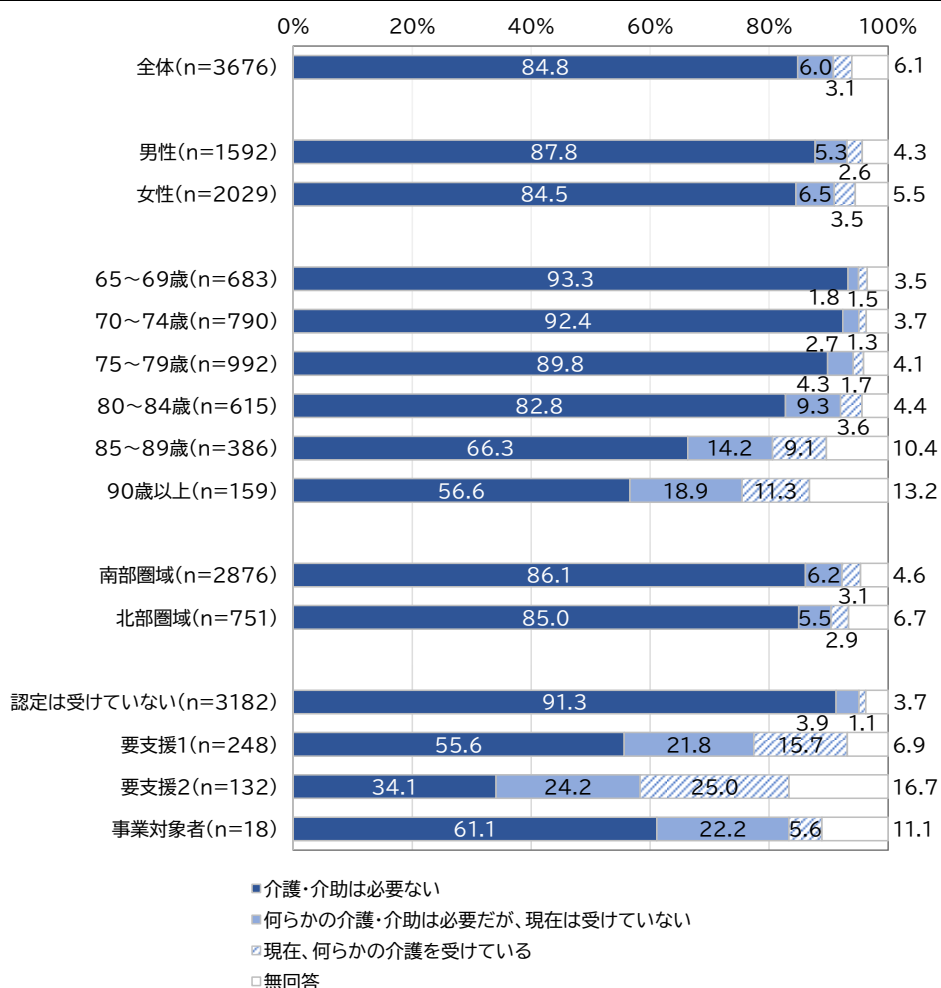
(6) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

「介護・介助は必要ない」が84.8%と最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.0%、「現在、何らかの介護を受けている」が3.1%となっています。



性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。圏域別では南部圏域の方が高くなっており、要支援認定状況別では事業対象者（n=18）を除き認定度が上がるほど高くなっています。

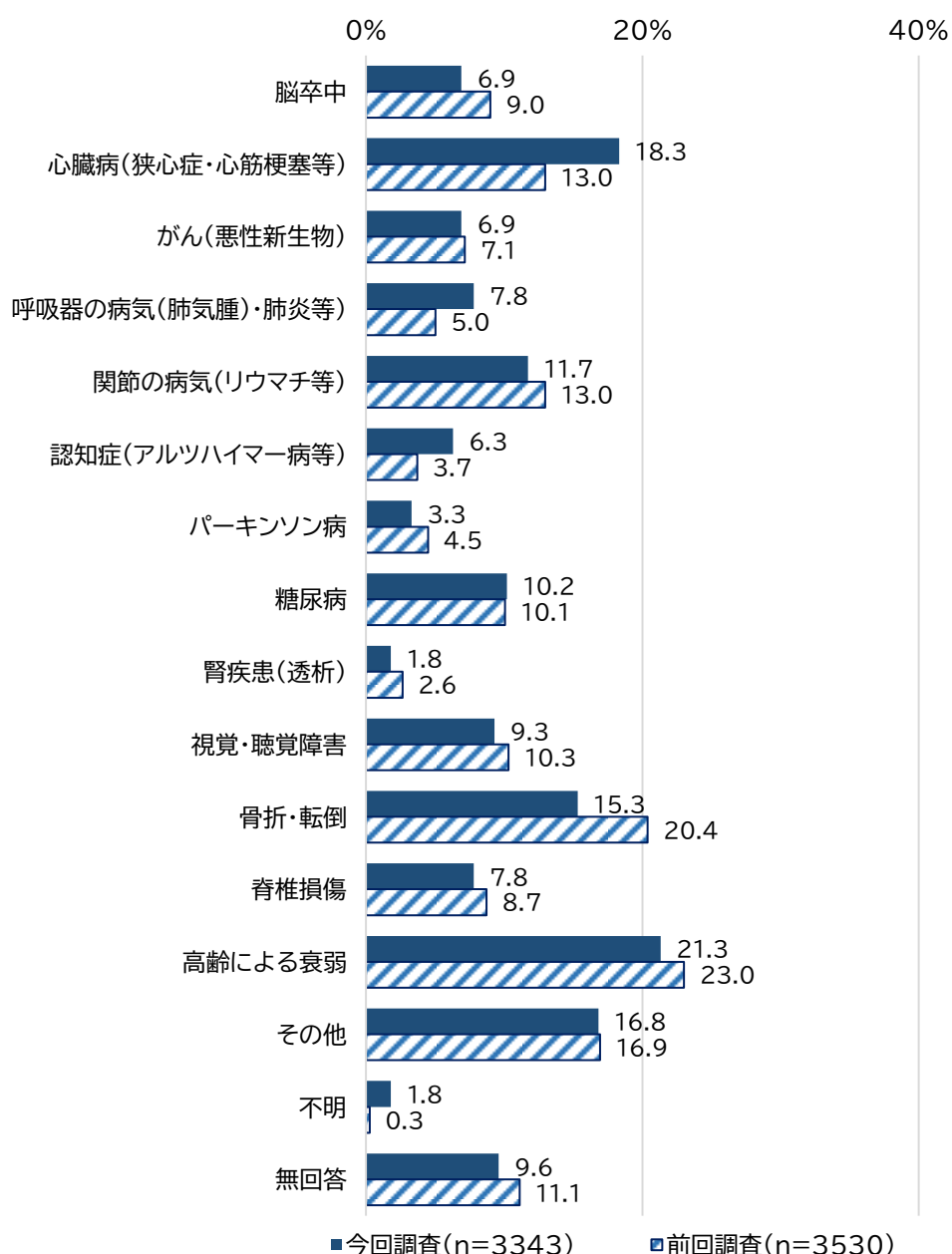


問(6)で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている」を選択した方

(6)-① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか【複数回答】

「高齢による衰弱」が 21.3%と最も多く、次いで「心臓病(狭心症・心筋梗塞等)」が 18.3%、「その他」が 16.8%、「骨折・転倒」が 15.3%、「関節の病気(リウマチ等)」が 11.7%となっています。

前回調査と比較すると、5ポイント以上の差で「心臓病(狭心症・心筋梗塞等)」は増加し「骨折・転倒」は減少しています。



「その他」の主な記入内容

足・腰の痛み・機能障害・歩行困難（９）／人工関節（膝・股関節）（５）／高血圧（３）／股関節疾患（３）／神経・筋疾患（３）／知的障害（２）／精神疾患（統合失調症・うつ病）（２）／肝臓疾患（２）／身体機能低下・上肢可動域制限（２）／自律神経失調症／前立腺疾患／血液疾患／等

性別

男性は「脳卒中」「心臓病（狭心症・心筋梗塞等）」「がん（悪性新生物）」「呼吸器の病気（肺気腫）・肺炎等」「認知症（アルツハイマー病等）」「パーキンソン病」「糖尿病」「腎疾患（透析）」「脊椎損傷」で全体より割合が高く、女性は「関節の病気（リウマチ等）」「視覚・聴覚障害」「骨折・転倒」「高齢による衰弱」「その他」で全体より割合が高くなっています。

(%)	n (回答数)	脳卒中	心臓病 (狭心症・心筋梗塞等)	がん(悪性新生物)	呼吸器の 病気(肺気腫)・肺炎等)	関節の病 気(リウマチ等)	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキン ソン病	糖尿病
全体	333	6.9	18.3	6.9	7.8	11.7	6.3	3.3	10.2
男性	126	12.7	24.6	8.7	15.1	7.1	9.5	4.8	14.3
女性	202	3.0	13.9	5.4	3.5	14.9	4.5	2.5	7.9

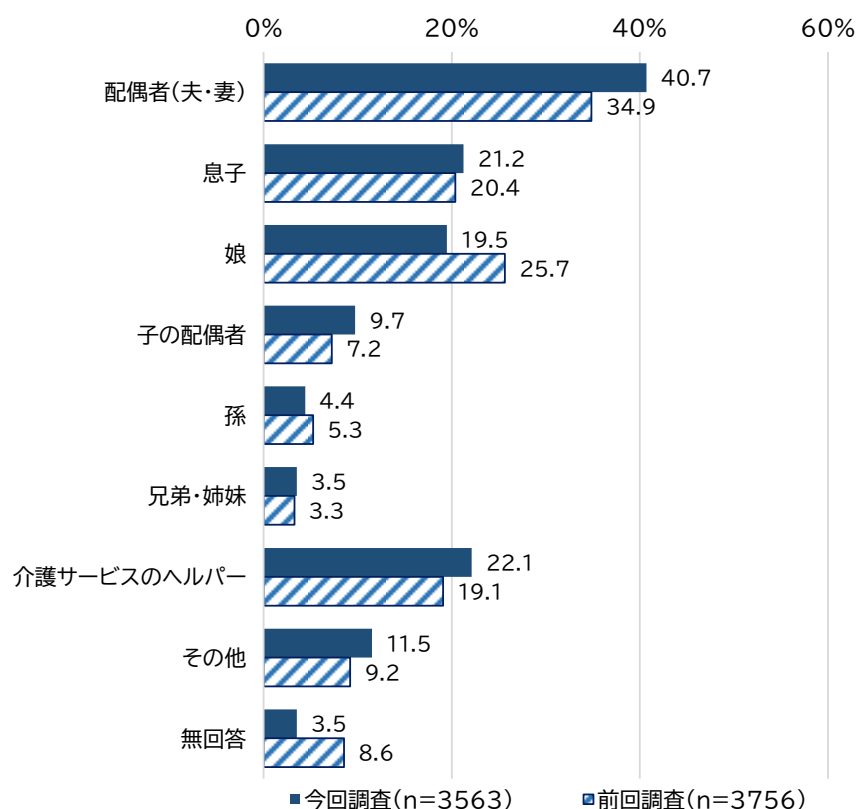
(%)	n (回答数)	腎疾患 (透析)	視覚・聴 覚障害	骨折・転 倒	脊椎損傷	高齢によ る衰弱	その他	不明	無回答
全体	333	1.8	9.3	15.3	7.8	21.3	16.8	1.8	9.6
男性	126	3.2	7.1	9.5	8.7	19.8	15.1	4.0	7.1
女性	202	0.5	10.9	19.3	7.4	22.3	18.3	0.5	11.4

問(6)で「現在、何らかの介護を受けている」を選択した方

(6)-② 主にどなたの介護、介助を受けていますか【複数回答】

「配偶者(夫・妻)」が40.7%と最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー」が22.1%、「息子」が21.2%、「娘」が19.5%、「その他」が11.5%となっています。

前回調査と比較すると、5ポイント以上の差で「配偶者(夫・妻)」は増加し「娘」は減少しています。



「その他」の主な記入内容

デイサービス(4)/ケアホーム職員/友人/同居人/元妻/訪問看護/近所の方/訪問リハビリ/特養/老人ホーム/等

性別・圏域別

性別でみると、男性は「配偶者(夫・妻)」に次いで「介護サービスのヘルパー」の割合が高く、女性は「配偶者(夫・妻)」に次いで「息子」の割合が高くなっています。

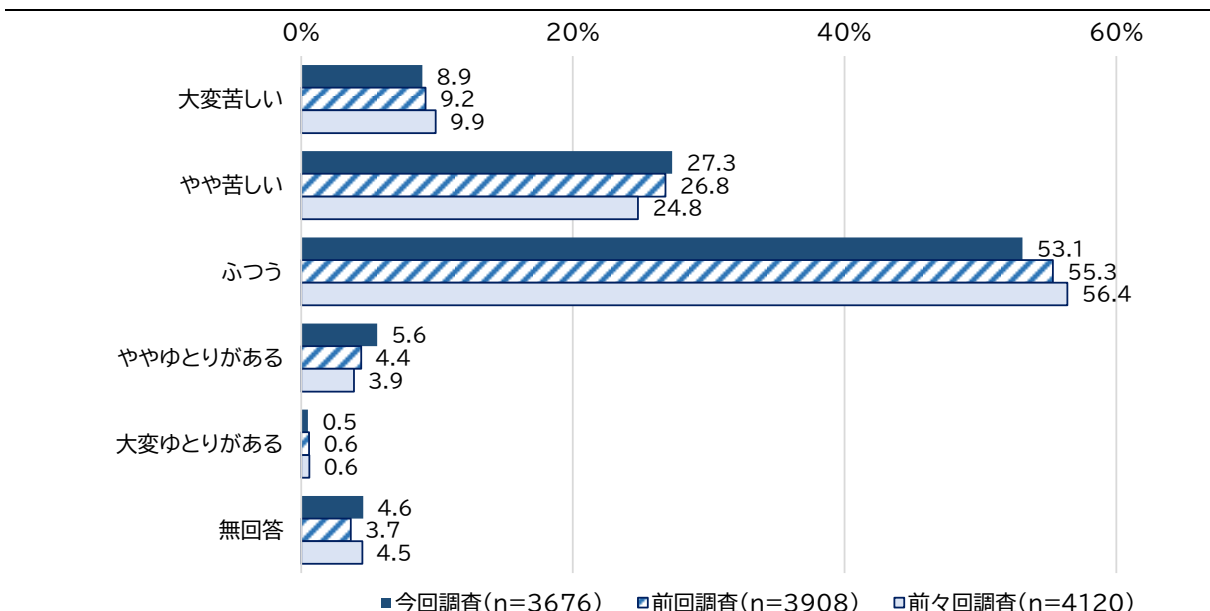
圏域別でみると、「介護サービスのヘルパー」の割合は南部圏域の方が高くなっています。

(%)	n(回答数)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サー ビスの ヘルパー	その他	無回答
全体	113	40.7	21.2	19.5	9.7	4.4	3.5	22.1	11.5	3.5
男性	41	61.0	12.2	14.6	4.9	7.3	7.3	24.4	17.1	0.0
女性	71	28.2	26.8	21.1	12.7	2.8	1.4	19.7	8.5	5.6
南部圏域	89	38.2	20.2	20.2	7.9	3.4	3.4	24.7	11.2	2.2
北部圏域	22	45.5	27.3	13.6	18.2	9.1	4.5	9.1	13.6	9.1

(7) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

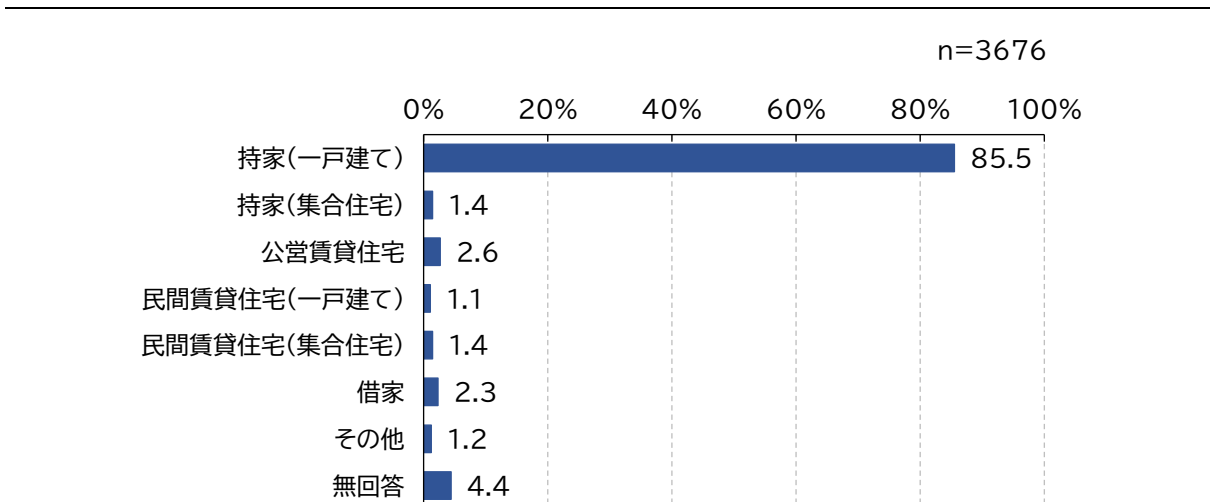
「ふつう」が53.1%と最も多く、次いで「やや苦しい」が27.3%、「大変苦しい」が8.9%、「ややゆとりがある」が5.6%となっています。

前回、前々回の調査と比較すると、「大変苦しい」「ふつう」「大変ゆとりがある」が減少し、「やや苦しい」「ややゆとりがある」が増加しています。



(8) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

「持家(一戸建て)」が85.5%と最も多く、次いで「公営賃貸住宅」が2.6%、「借家」が2.3%、「持家(集合住宅)」及び「民間賃貸住宅(集合住宅)」が1.4%となっています。



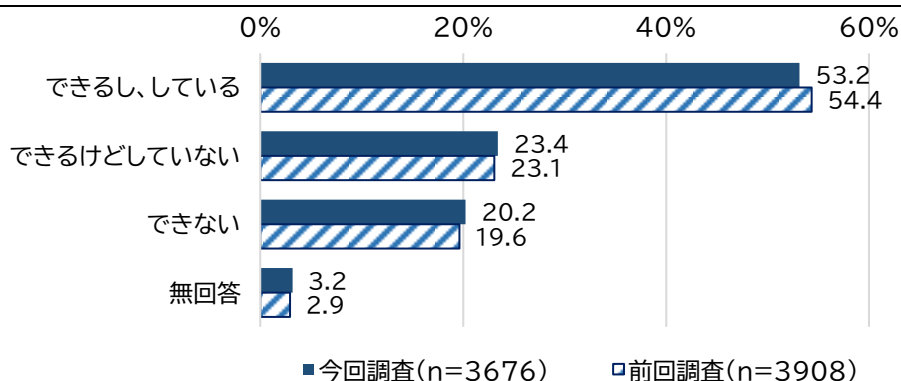
『その他』の主な記入内容

社宅(6)／介護施設(ケアホーム・ケアハウス・特養・老人ホーム等)(6)／寺院・庫裡(2)／息子・娘の家(2)／実家／妹の家／自社ビル／寮／借地リゾートマンション／等

問2 からだを動かすことについておうかがいします

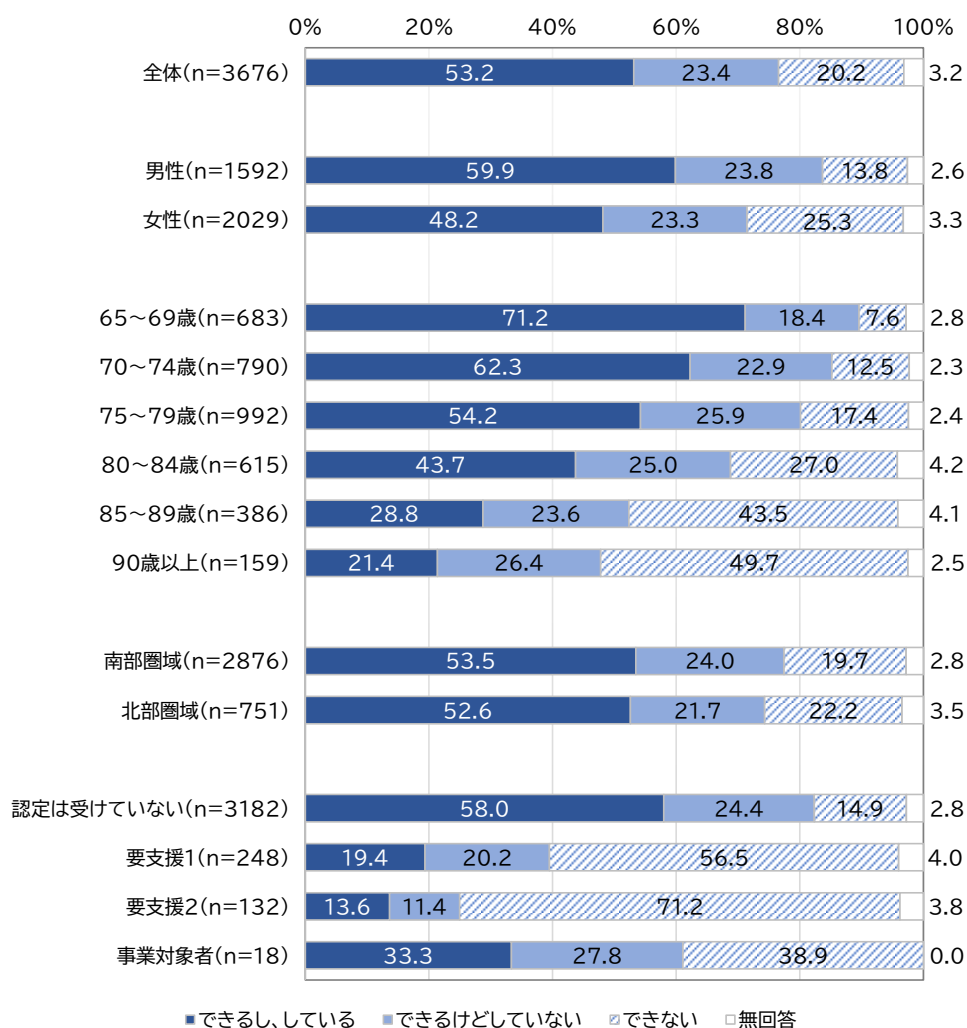
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

「できるし、している」が53.2%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が23.4%、「できない」が20.2%となっています。



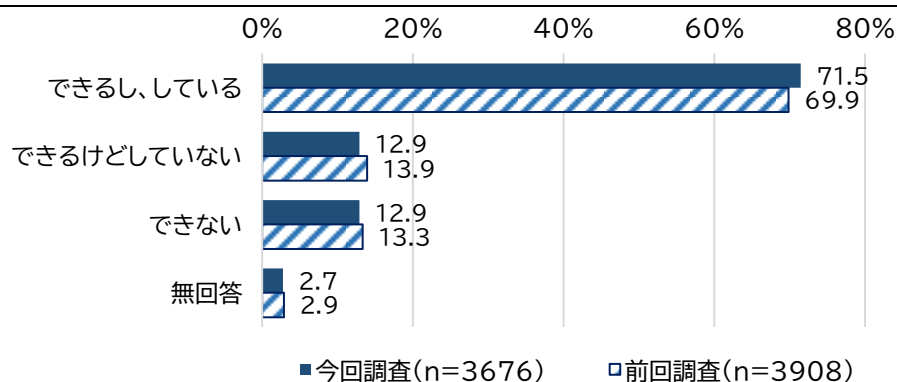
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「できない」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。要支援認定状況別では認定度が上がるほど高くなっています。



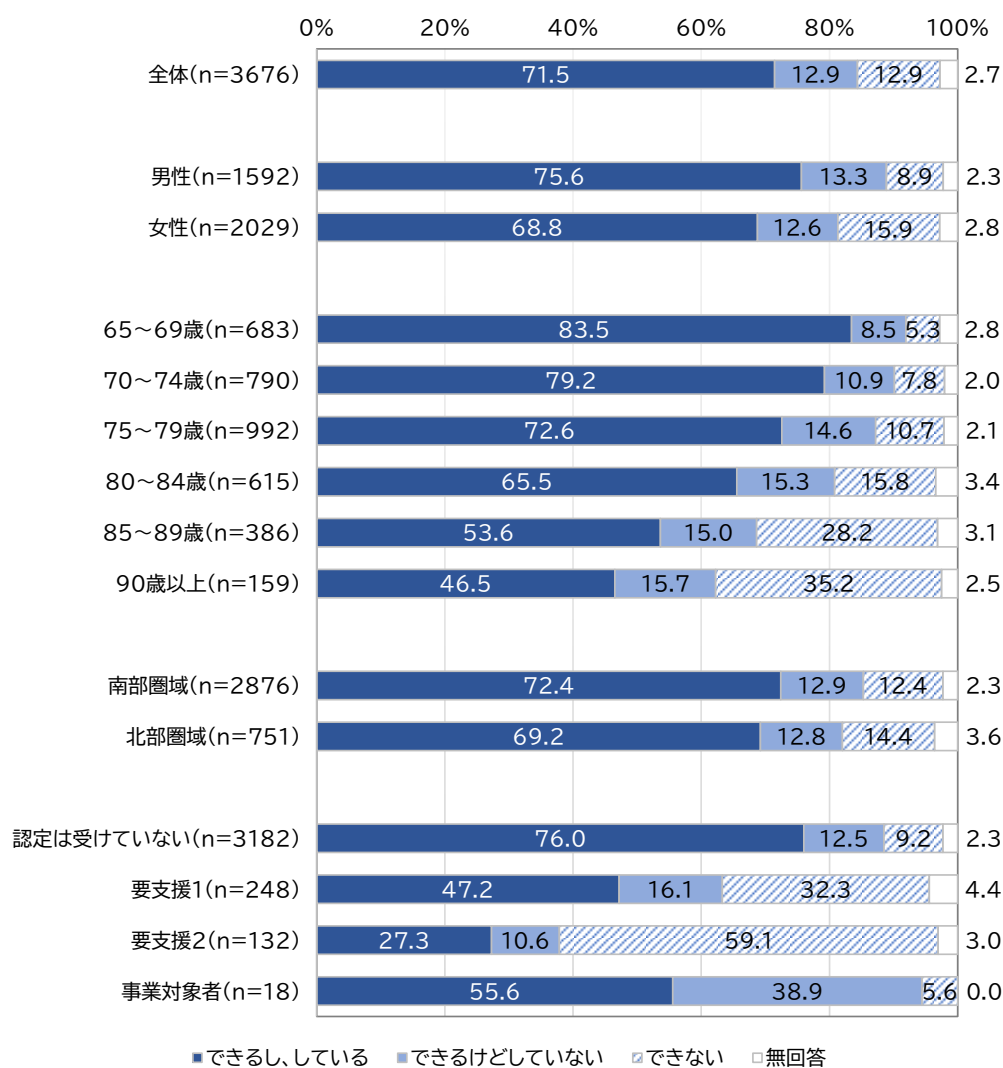
(2) いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

「できるし、している」が71.5%と最も多く、次いで「できるけどしていない」及び「できない」が12.9%となっています。



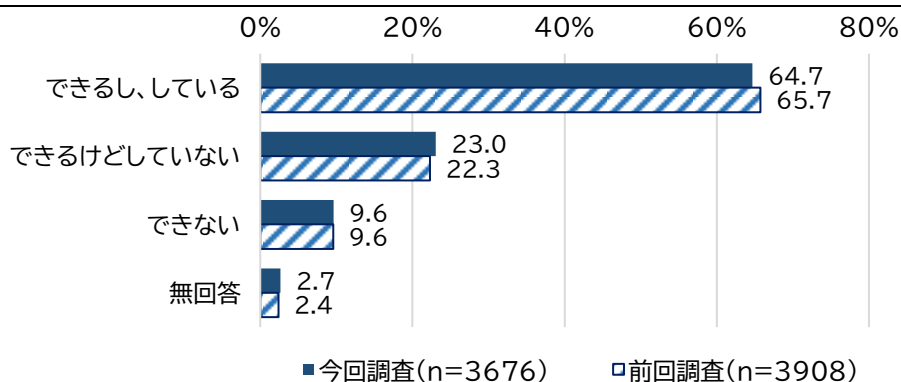
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「できない」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。要支援認定状況別では事業対象者（n=18）を除き認定度が上がるほど高くなっています。



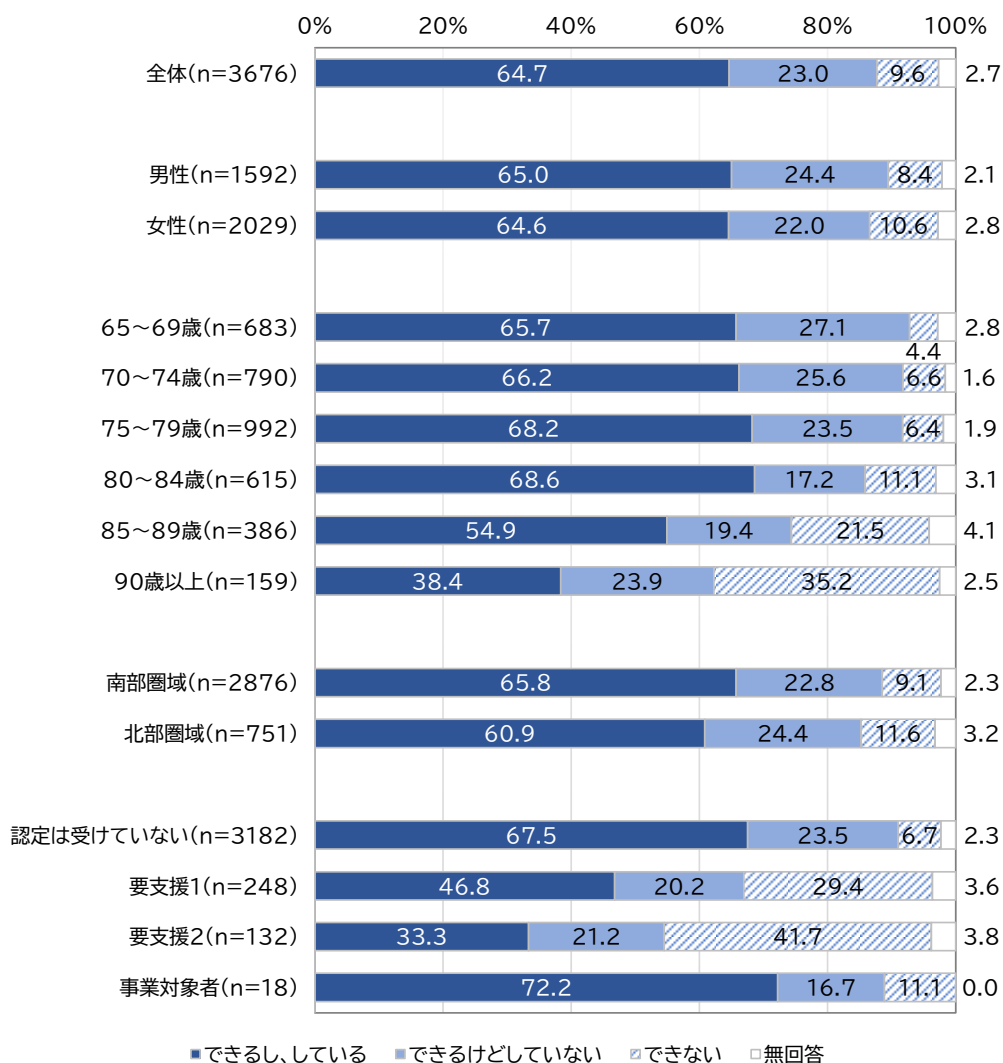
(3) 15 分位続けて歩いていますか

「できるし、している」が64.7%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が23.0%、「できない」が9.6%となっています。



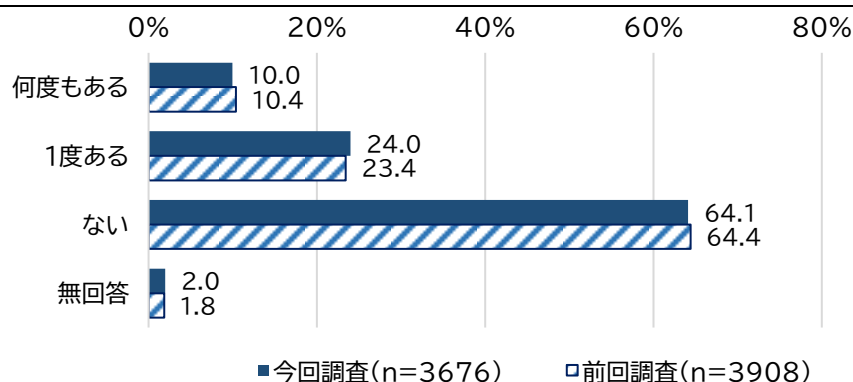
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「できない」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向です。要支援認定状況別では認定度が上がるほど高くなっています。



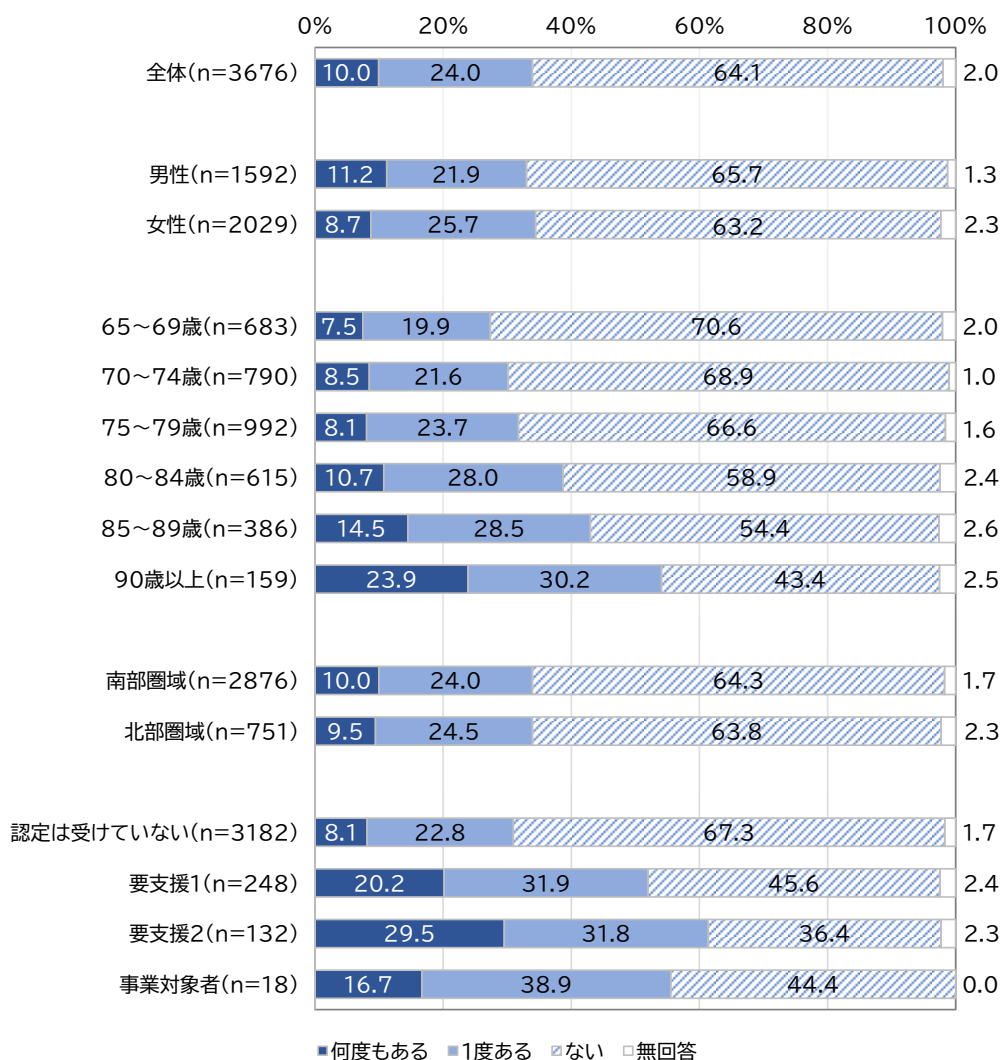
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

「ない」が64.1%と最も多く、次いで「1度ある」が24.0%、「何でもある」が10.0%となっています。



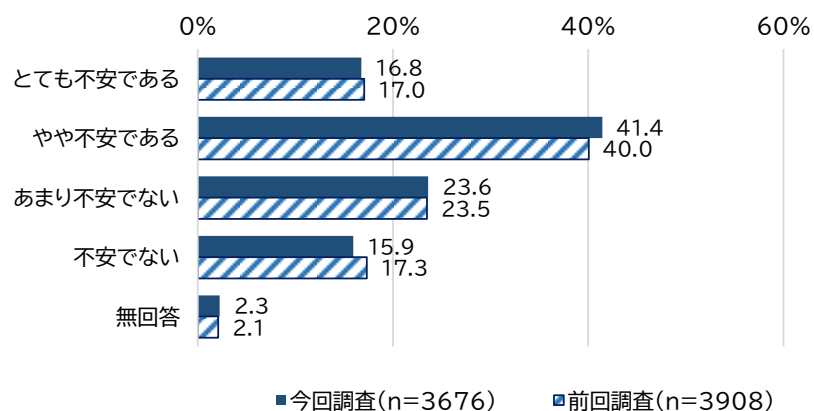
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「何でもある」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向です。要支援認定状況別では認定度が上がるほど高くなっており、要支援2では29.5%と3割近くとなっています。



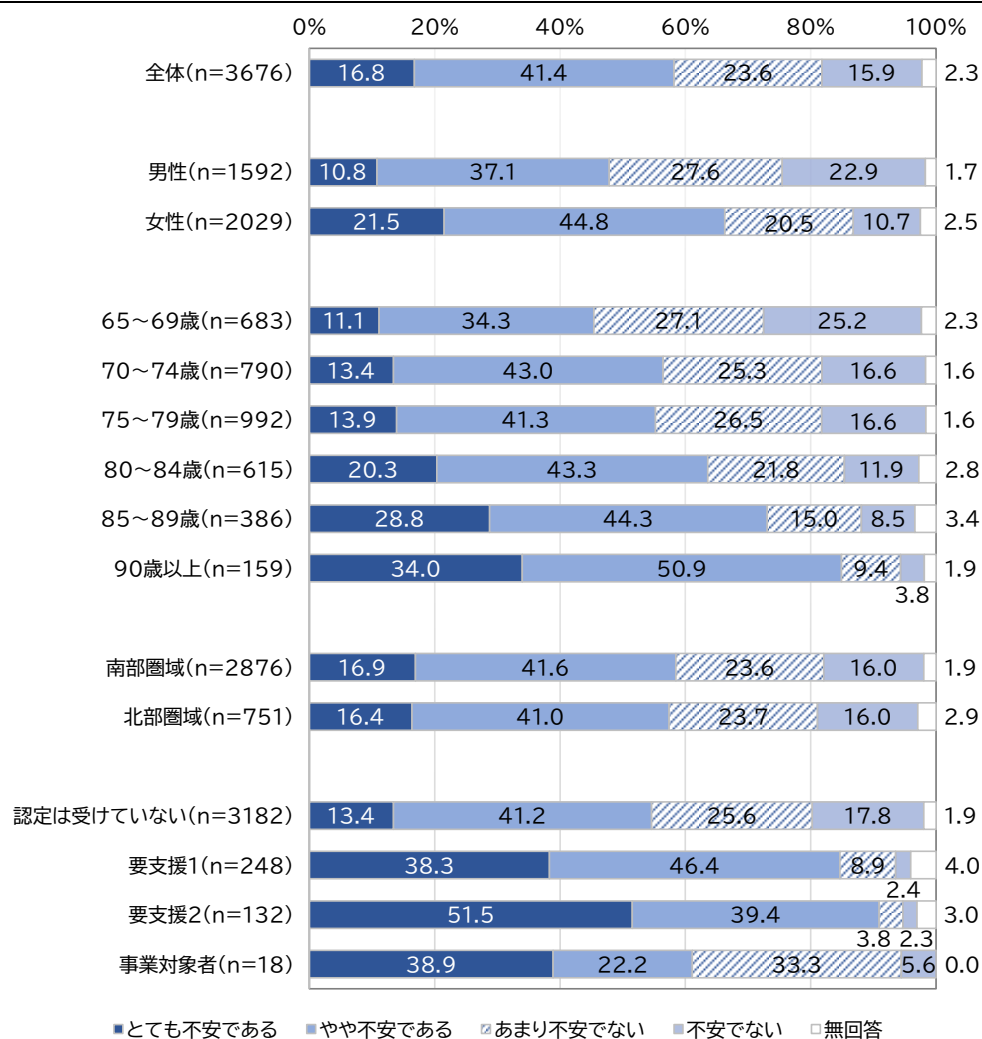
(5) 転倒に対する不安は大きいですか

「やや不安である」が41.4%と最も多く、次いで「あまり不安でない」が23.6%、「とても不安である」が16.8%、「不安でない」が15.9%となっています。



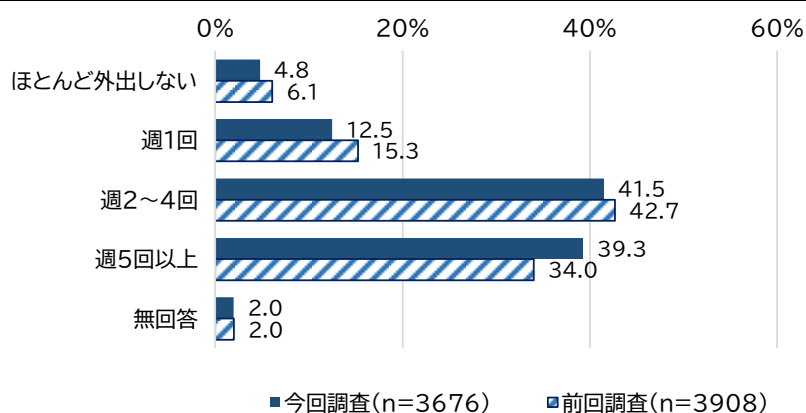
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「とても不安である」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。要支援認定状況別では事業対象者（n=18）を除き認定度が上がるほど高くなっており、要支援2では51.5%と過半数となっています。



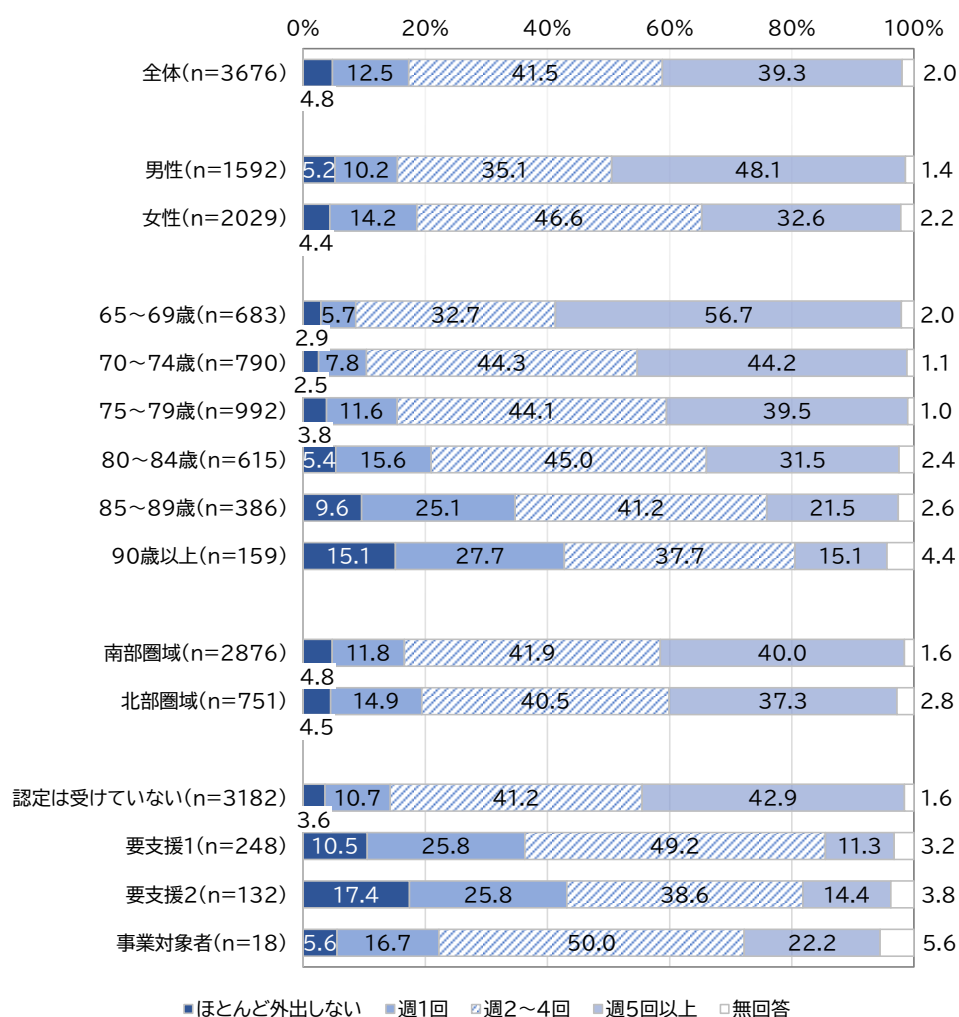
(6) 週に1回以上は外出していますか

「週2～4回」が41.5%と最も多く、次いで「週5回以上」が39.3%、「週1回」が12.5%、「ほとんど外出しない」が4.8%となっています。



性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

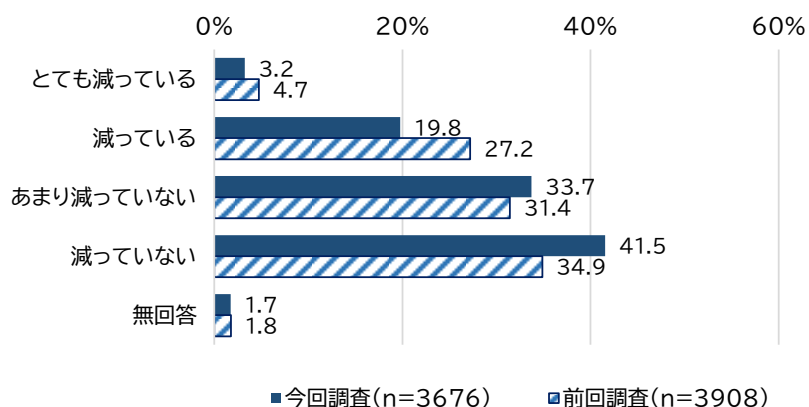
「ほとんど外出しない」の割合は、性別ではわずかに男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向です。要支援認定状況別では認定度が上がるほど高くなっています。



(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

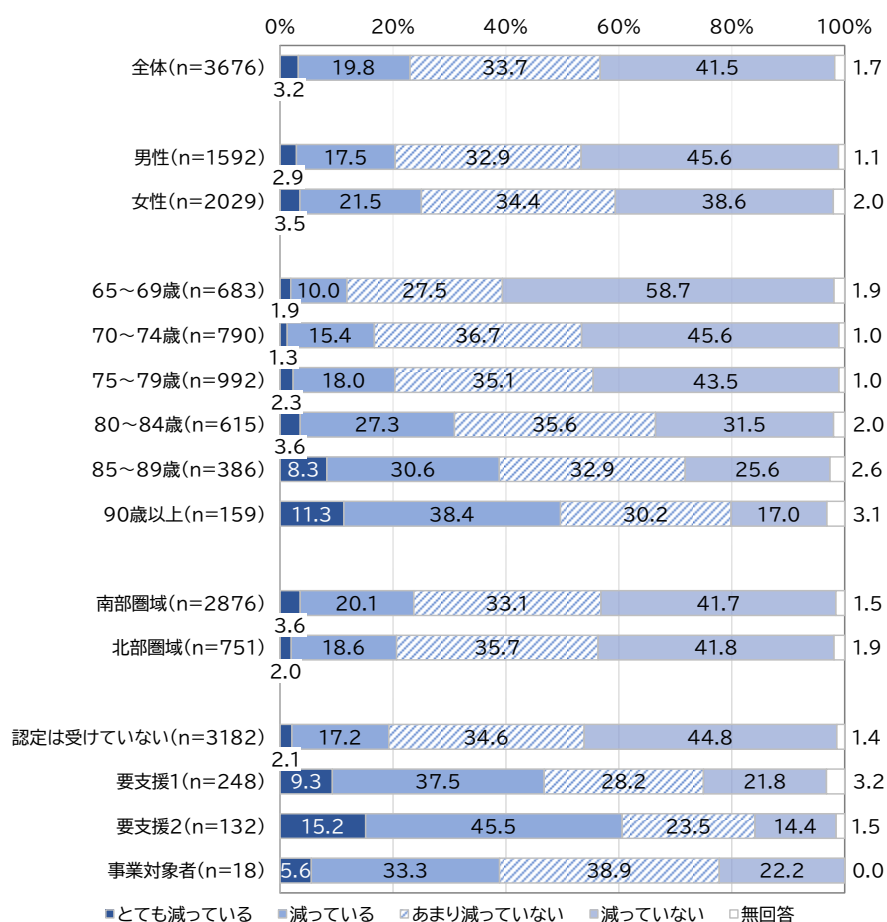
「減っていない」が41.5%と最も多く、次いで「あまり減っていない」が33.7%、「減っている」が19.8%、「とても減っている」が3.2%となっています。

前回調査と比較すると、「とても減っている」「減っている」は減少し、「あまり減っていない」「減っていない」は増加しています。



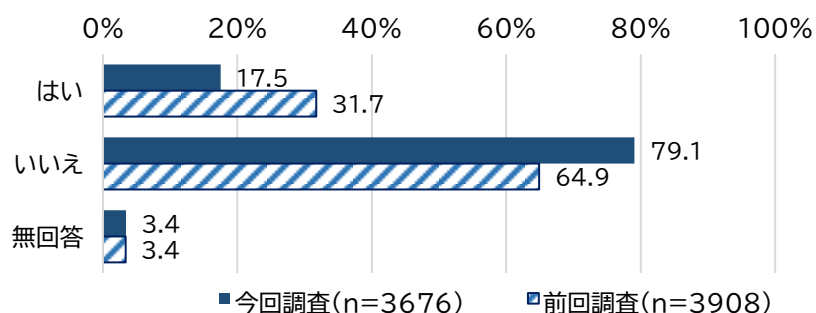
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「とても減っている」の割合は、性別ではわずかに女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向です。要支援認定状況別では認定度が上がるほど高くなっています。



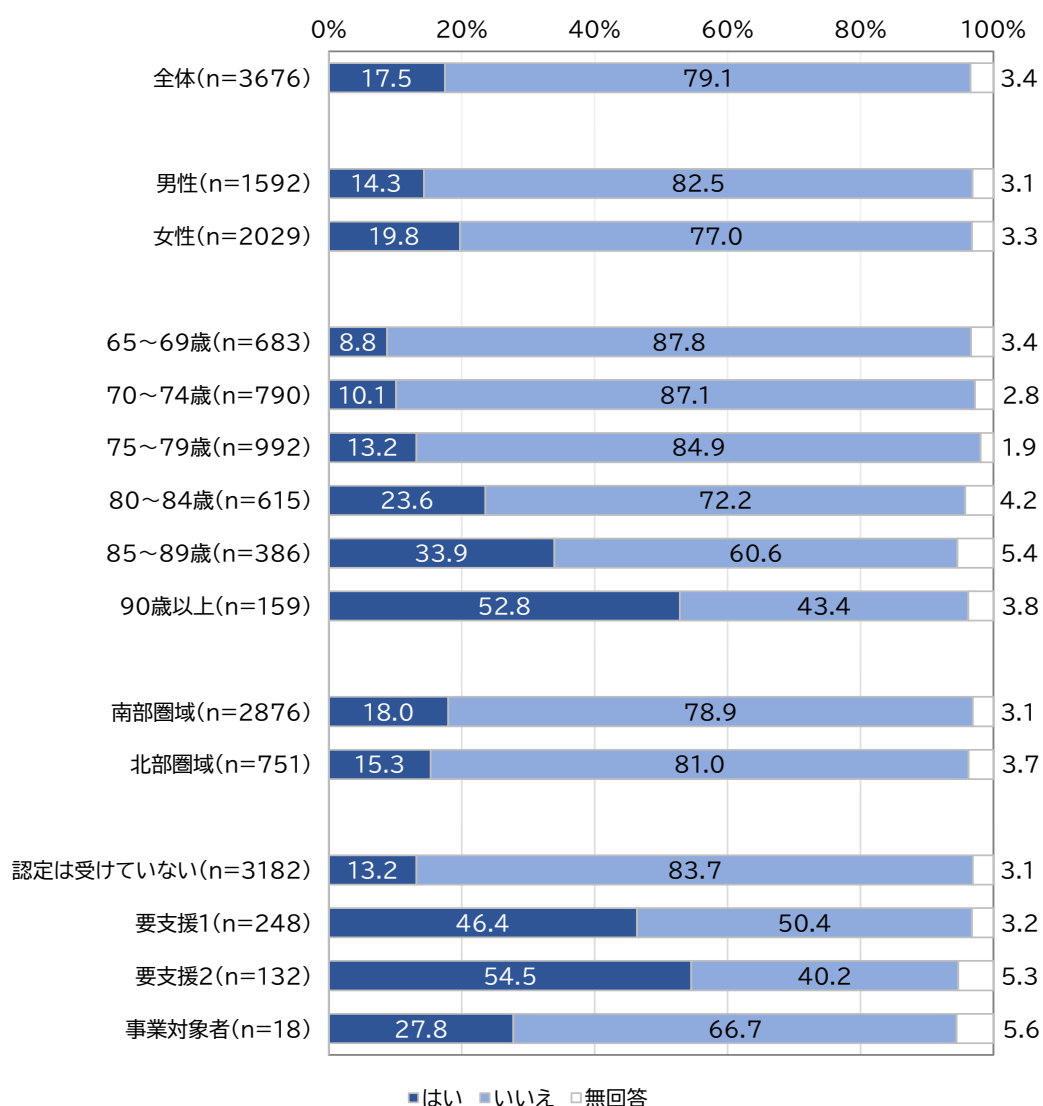
(8) 外出を控えていますか

「はい」が17.5%、「いいえ」が79.1%となっています。前回調査と比較すると、「はい」は減少し、「いいえ」は増加しています。



性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「はい」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。要支援認定状況別では認定度が上がるほど高くなっており、要支援2では54.5%と過半数となっています。

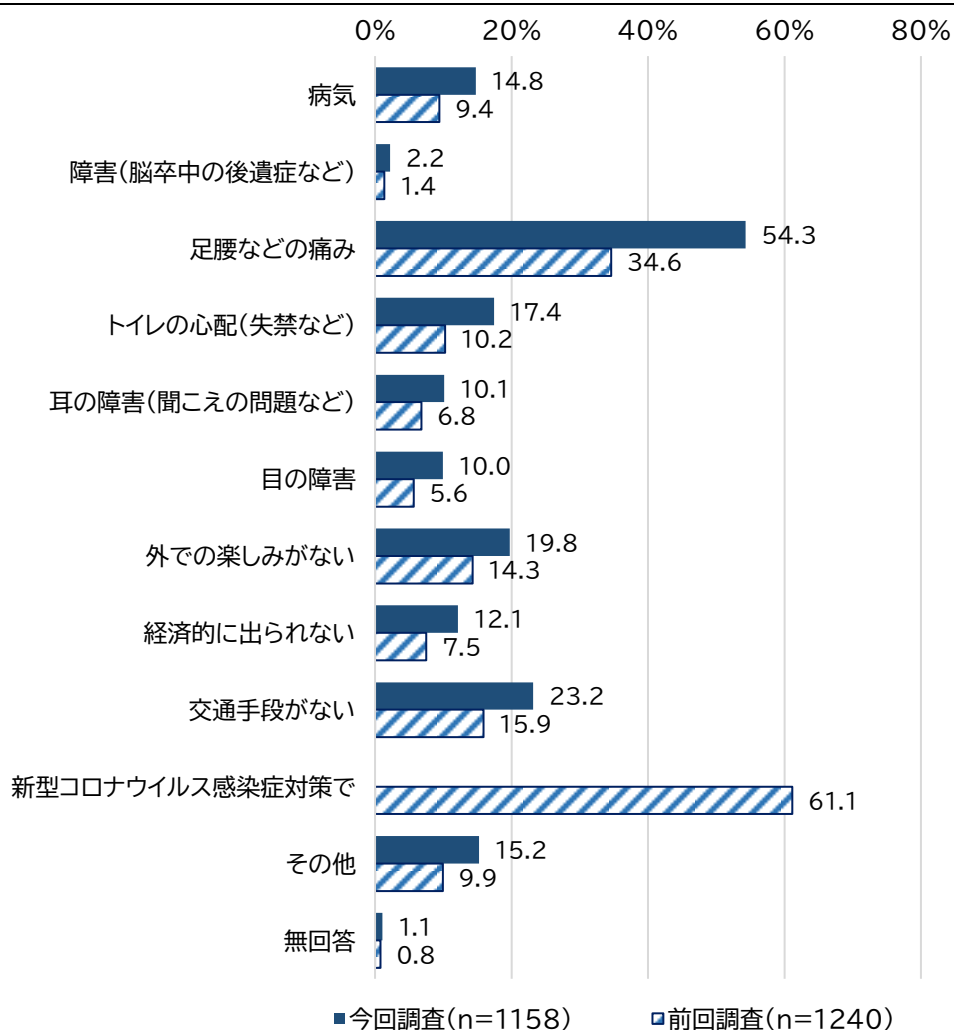


(8)で「はい」(外出を控えている)を選択した方

(8)-① 外出を控えている理由は、次のどれですか【複数回答】

「足腰などの痛み」が54.3%と最も多く、次いで「交通手段がない」が23.2%、「外での楽しみがない」が19.8%、「トイレの心配(失禁など)」が17.4%、「その他」が15.2%となっています。

前回調査と比較すると、全ての理由で割合が増加していますが、前回60%以上の回答だった選択肢「新型コロナウイルス感染症対策で」が、今回ないことによる影響も考えられます。



※「新型コロナウイルス感染症対策で」の選択肢は今回なし。

「その他」の主な記入内容

感染症予防・人混み回避(15)／介護(配偶者・親・家族)のため留守にできない(12)／転倒・事故への不安(8)／精神的理由(人に会いたくない・不安・気分の問題)(7)／必要性を感じない・目的がない(7)／天候・環境要因(天気・熊の出没など)(4)／等

性別

性別でみると「病気」「障害」「トイレの心配」「耳の障害」「目の障害」「外での楽しみがない」「経済的に出られない」の割合は男性の方が高く、「足腰などの痛み」「交通手段がない」の割合は女性の方が高くなっています。「その他」は性別による差がほとんどみられません。

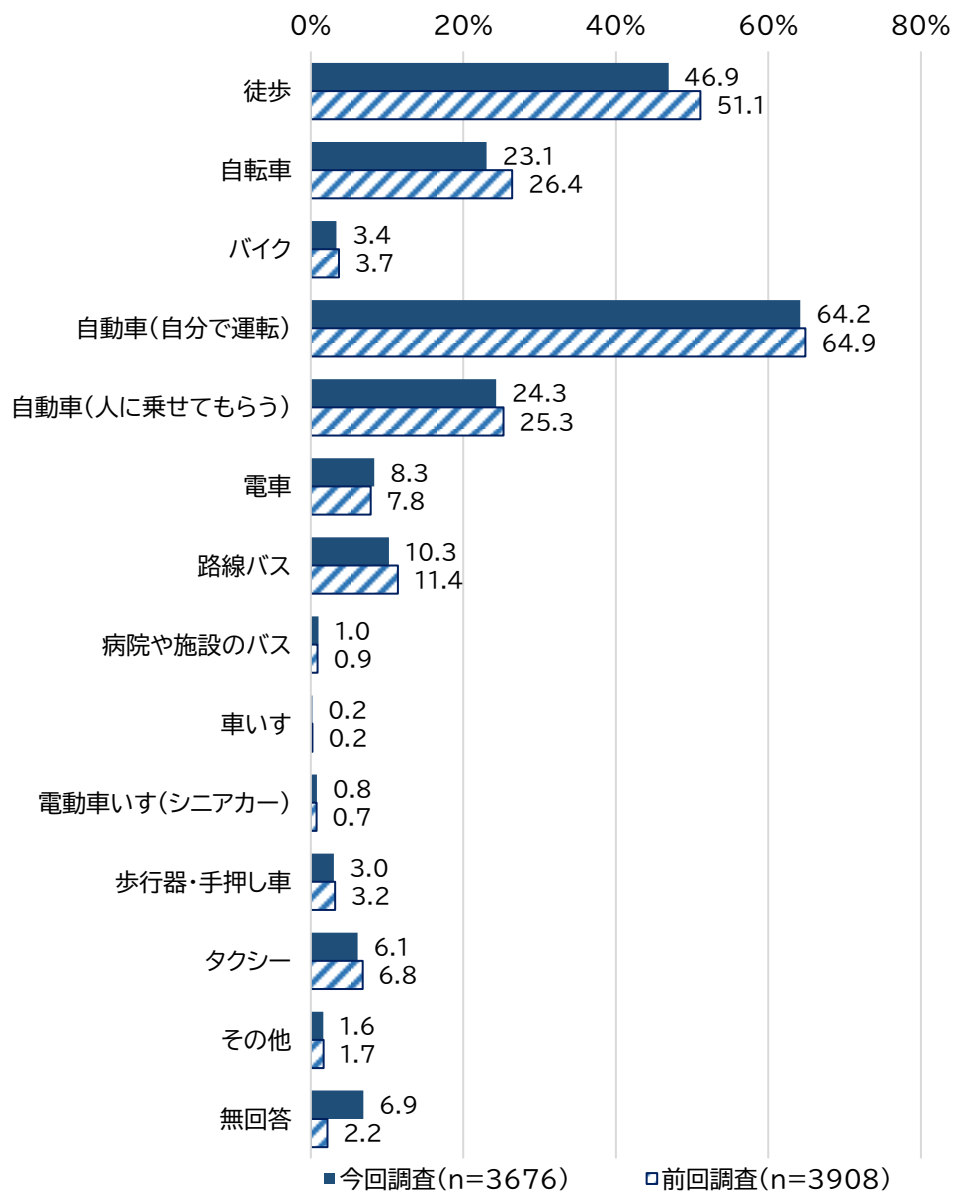
(%)	n (回答数)	病気	障害(脳 卒中の後 遺症な ど)	足腰など の痛み	トイレの 心配(失 禁など)	耳の障害 (聞こえ の問題な ど)	目の障害
全体	643	14.8	2.2	54.3	17.4	10.1	10.0
男性	228	19.7	3.9	49.1	19.7	11.8	15.8
女性	401	11.5	1.0	57.9	16.5	9.2	6.7

(%)	n (回答数)	外での楽 しみがな い	経済的に 出られな い	交通手段 がない	その他	無回答
全体	643	19.8	12.1	23.2	15.2	1.1
男性	228	22.4	12.7	14.0	15.8	0.4
女性	401	18.5	12.0	28.4	15.5	1.2

(9) 外出する際の移動手段は何ですか【複数回答】

「自動車（自分で運転）」が64.2%と最も多く、次いで「徒歩」が46.9%、「自動車（人に乗せてもらう）」が24.3%、「自転車」が23.1%、「路線バス」が10.3%となっています。

前回調査と比較すると「徒歩」が4.2ポイント減少しています。



「その他」の主な記入内容

杖（6）／高速バス（2）／新幹線／等

性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

圏域別でみると、3ポイント以上の差がみられるものは「徒歩」「自転車」「電車」「タクシー」で南部圏域の割合が高くなっており、「自動車（自分で運転）」で北部圏域の割合が高くなっています。その他の移動手段では圏域による大きな差はみられません。

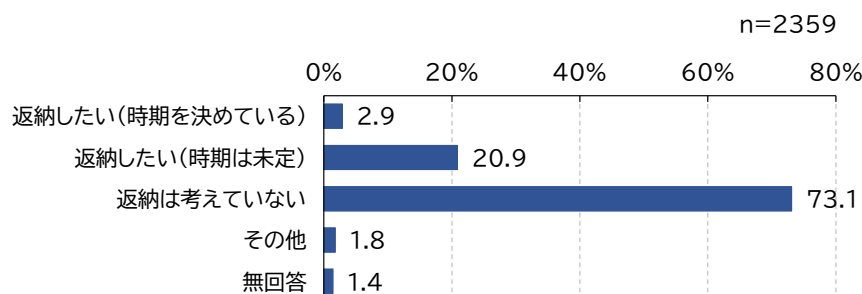
(%)	n (回答数)	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で 運転)	自動車 (人に乗 せてもら う)	電車	路線バス
全体	3676	46.9	23.1	3.4	64.2	24.3	8.3	10.3
男性	1592	48.8	24.4	5.7	78.4	10.4	6.6	6.9
女性	2029	45.8	22.1	1.6	53.5	35.0	9.7	12.9
65～69歳	683	44.5	20.8	5.4	79.2	15.7	8.9	6.7
70～74歳	790	48.7	26.5	4.2	75.4	19.7	8.0	7.5
75～79歳	992	48.1	24.6	3.5	68.9	22.9	8.5	10.1
80～84歳	615	51.7	26.2	2.1	56.1	28.3	10.4	15.6
85～89歳	386	42.2	17.6	0.5	36.0	37.0	7.5	14.2
90歳以上	159	39.6	11.3	1.9	20.1	45.9	1.9	11.3
南部圏域	2876	48.5	25.1	3.3	63.4	24.3	9.8	10.2
北部圏域	751	42.2	16.0	3.9	67.9	24.4	2.8	10.8
認定は受けていない	3182	48.5	25.0	3.8	69.2	21.7	8.7	9.6
要支援1	248	38.7	11.7	0.8	35.5	41.1	8.1	17.7
要支援2	132	36.4	5.3	0.8	18.2	51.5	3.8	15.2
事業対象者	18	50.0	27.8	0.0	38.9	27.8	5.6	11.1

(%)	n (回答数)	病院や施設 のバス	車いす	電動車い す（シニ アカー）	歩行器・ 手押し車	タクシー	その他	無回答
全体	3676	1.0	0.2	0.8	3.0	6.1	1.6	6.9
男性	1592	0.4	0.1	0.5	0.3	3.5	1.3	7.7
女性	2029	1.5	0.3	1.0	5.0	8.1	1.9	6.2
65～69歳	683	0.4	0.1	0.3	0.0	1.8	0.9	10.2
70～74歳	790	0.0	0.0	0.0	0.5	1.6	0.8	6.8
75～79歳	992	0.4	0.2	0.5	1.6	4.2	1.4	7.2
80～84歳	615	1.6	0.3	0.3	3.6	11.1	2.4	3.7
85～89歳	386	3.4	0.5	3.4	10.9	15.0	3.1	4.4
90歳以上	159	3.8	0.6	5.0	15.1	17.6	3.8	5.7
南部圏域	2876	1.0	0.1	0.7	2.9	7.3	1.4	6.8
北部圏域	751	0.9	0.5	1.3	3.1	1.7	2.7	6.7
認定は受けていない	3182	0.3	0.1	0.3	1.3	4.3	1.0	7.0
要支援1	248	6.5	0.4	4.4	14.5	17.3	6.9	5.2
要支援2	132	7.6	2.3	7.6	22.7	25.0	6.8	3.0
事業対象者	18	0.0	0.0	0.0	5.6	16.7	0.0	5.6

(9)で「自動車(自分で運転)」を選択した方

(9)-① 運転免許の返納について、どのように考えていますか

「返納は考えていない」が73.1%と最も多く、次いで「返納したい(時期は未定)」が20.9%、「返納したい(時期を決めている)」が2.9%、「その他」が1.8%となっています。

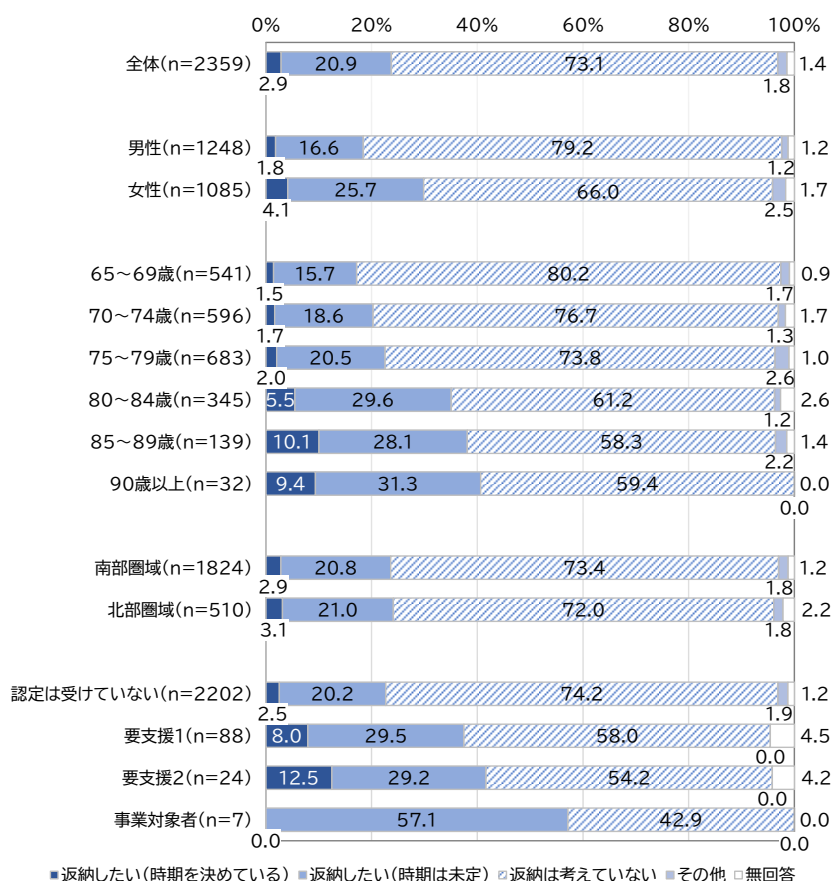


「その他」の主な記入内容

すでに返納した(13) / 少しでも不安を感じるようになったら返納したい / 自由に移動(長距離)する手段があれば、返納したい / 運転できる間は乗りたい / 出勤に必要 / 等

性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

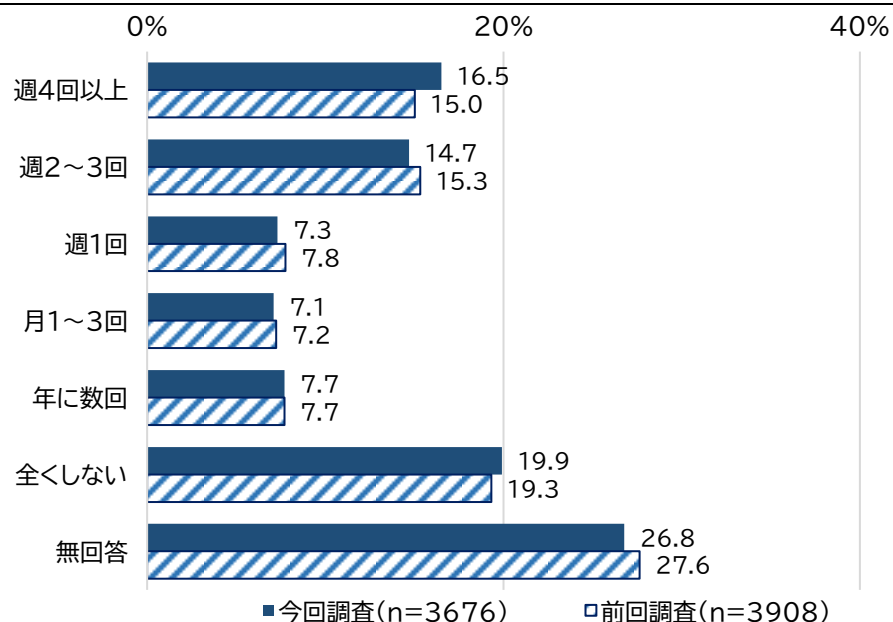
「返納は考えていない」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて低くなっていますが、90歳以上でも59.4%と過半数となっています。圏域別では南部圏域の方がわずかに高くなっています。



(10) 以下のようなからだを動かすことや運動などをどのくらいの頻度で行っていますか

① ゆったりとした散歩

「全くしない」が 19.9%と最も多く、次いで「週 4 回以上」が 16.5%、「週 2～3 回」が 14.7%、「年に数回」が 7.7%、「週 1 回」が 7.3%となっています。



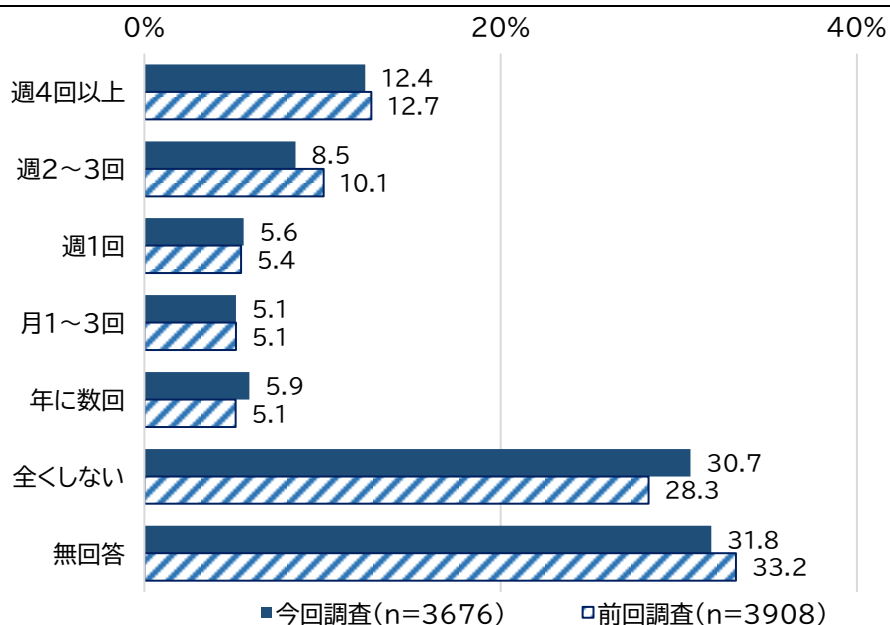
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「全くしない」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では 65～89 歳までは年齢が上がるにつれて低くなっていますが、90 歳以上では高くなっています。圏域別では全体と比べ北部圏域の方が高くなっています。

(%)	n (回答数)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	全くしない	無回答
全体	3676	16.5	14.7	7.3	7.1	7.7	19.9	26.8
男性	1592	18.1	13.6	7.2	6.9	8.8	21.8	23.6
女性	2029	15.1	15.5	7.6	7.2	7.0	18.7	28.9
65～69歳	683	18.4	9.5	5.1	7.2	10.5	31.2	18.0
70～74歳	790	14.7	14.8	8.1	9.0	8.7	25.1	19.6
75～79歳	992	16.6	14.6	7.8	7.2	8.4	17.7	27.7
80～84歳	615	18.7	15.9	7.5	6.5	5.0	12.5	33.8
85～89歳	386	14.8	21.8	8.8	4.7	4.9	9.8	35.2
90歳以上	159	11.3	15.7	6.9	5.0	5.0	15.7	40.3
南部圏域	2876	16.4	15.8	7.4	7.0	7.5	19.7	26.3
北部圏域	751	16.4	10.8	7.3	7.6	9.1	21.3	27.6
認定は受けていない	3182	16.9	14.3	7.3	7.5	8.0	20.5	25.5
要支援1	248	10.5	19.4	8.9	3.2	7.3	17.3	33.5
要支援2	132	13.6	15.9	8.3	7.6	2.3	18.9	33.3
事業対象者	18	38.9	22.2	0.0	0.0	11.1	11.1	16.7

② ウォーキング

「全くしない」が30.7%と最も多く、次いで「週4回以上」が12.4%、「週2～3回」が8.5%、「年に数回」が5.9%、「週1回」が5.6%となっています。



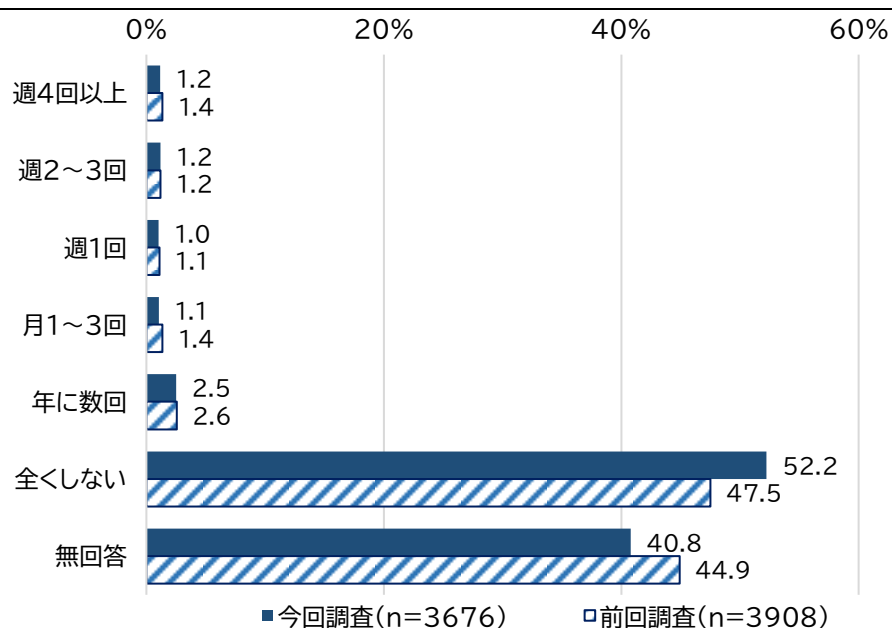
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「全くしない」の割合は、性別では男性の方が高く、圏域別では全体と比べ北部圏域の方が高くなっています。

(%)	n (回答数)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	全くしない	無回答
全体	3676	12.4	8.5	5.6	5.1	5.9	30.7	31.8
男性	1592	14.6	8.0	5.9	5.3	6.9	32.7	26.4
女性	2029	10.5	8.9	5.3	5.1	5.2	29.3	35.6
65～69歳	683	15.4	8.8	4.5	7.0	8.9	39.1	16.3
70～74歳	790	12.4	10.3	6.3	6.7	7.8	35.2	21.3
75～79歳	992	13.3	9.7	7.2	5.7	5.9	27.0	31.1
80～84歳	615	14.1	8.0	4.1	3.9	4.1	24.2	41.6
85～89歳	386	5.4	5.4	5.7	1.3	1.6	28.0	52.6
90歳以上	159	2.5	1.9	2.5	1.3	1.9	28.9	61.0
南部圏域	2876	12.1	9.0	5.9	5.4	6.1	30.4	31.0
北部圏域	751	12.9	6.8	4.5	4.4	5.5	32.1	33.8
認定は受けていない	3182	13.4	9.3	6.0	5.8	6.6	30.3	28.7
要支援1	248	3.6	2.8	2.8	1.6	1.2	35.9	52.0
要支援2	132	3.8	3.0	1.5	0.8	1.5	37.9	51.5
事業対象者	18	11.1	5.6	16.7	0.0	5.6	27.8	33.3

③ ジョギング

「全くしない」が52.2%と最も多く、次いで「年に数回」が2.5%、「週4回以上」及び「週2～3回」が1.2%、「月1～3回」が1.1%となっています。



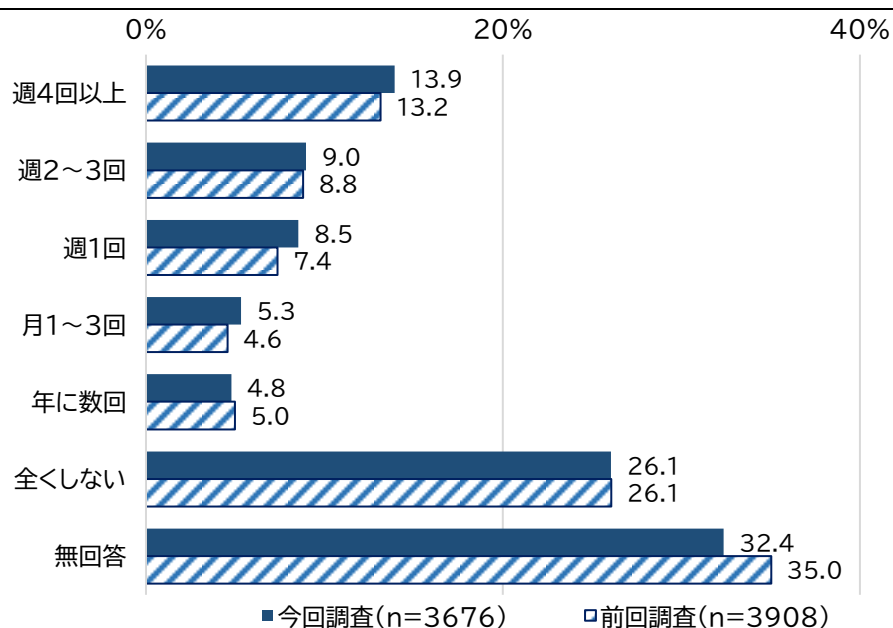
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「全くしない」の割合は、性別では男性の方が高く、圏域別では全体と比べ南部圏域の方が高くなっています。

(%)		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	全くしない	無回答
	n (回答数)							
全体	3676	1.2	1.2	1.0	1.1	2.5	52.2	40.8
男性	1592	1.4	1.4	1.6	1.8	3.3	54.2	36.3
女性	2029	1.0	1.0	0.5	0.5	1.9	51.1	43.8
65～69歳	683	1.3	1.3	1.3	0.7	3.7	68.1	23.6
70～74歳	790	0.5	0.8	0.8	1.4	2.7	64.1	29.9
75～79歳	992	0.7	1.4	1.0	1.4	3.0	50.1	42.3
80～84歳	615	2.9	1.3	0.8	1.1	1.3	39.3	53.2
85～89歳	386	1.0	1.6	2.1	0.5	1.3	36.3	57.3
90歳以上	159	0.6	0.6	0.0	0.0	1.9	33.3	63.5
南部圏域	2876	1.3	1.2	1.0	1.1	2.5	52.7	40.2
北部圏域	751	0.9	1.2	1.2	1.1	2.5	51.4	41.7
認定は受けていない	3182	1.3	1.2	1.0	1.1	2.8	54.3	38.3
要支援1	248	1.2	1.2	1.6	0.8	1.2	40.3	53.6
要支援2	132	0.0	2.3	0.0	0.0	0.8	41.7	55.3
事業対象者	18	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	44.4	44.4

④ 体操

「全くしない」が26.1%と最も多く、次いで「週4回以上」が13.9%、「週2～3回」が9.0%、「週1回」が8.5%、「月1～3回」が5.3%となっています。



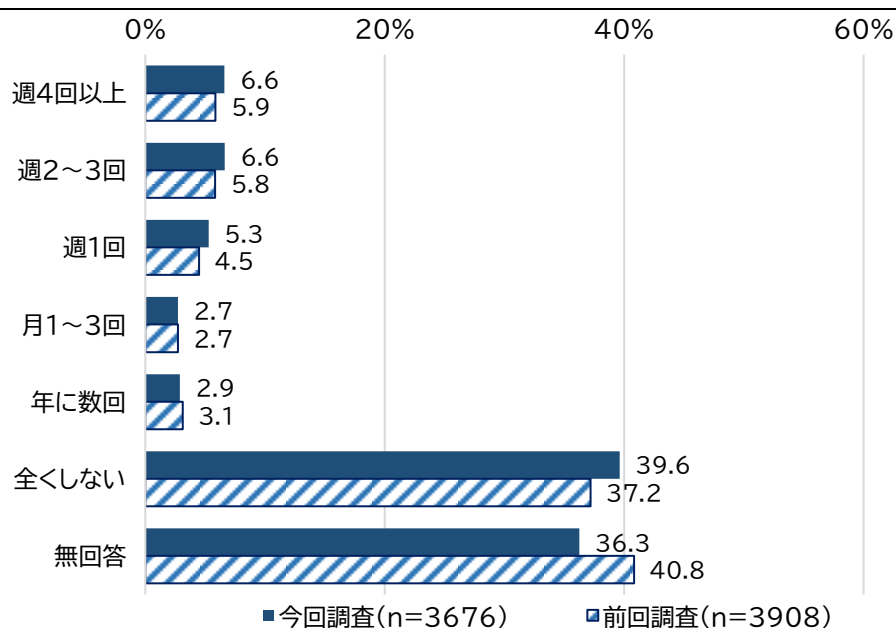
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「全くしない」の割合は、性別では男性の方が高く、圏域別では全体と比べわずかに北部圏域の方が高くなっていますが、ほとんど差はありません。

(%)		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	全くしない	無回答
	n(回答数)							
全体	3676	13.9	9.0	8.5	5.3	4.8	26.1	32.4
男性	1592	12.5	6.4	5.8	5.0	6.1	33.0	31.2
女性	2029	15.2	11.1	10.7	5.6	3.7	20.9	32.7
65～69歳	683	16.0	8.6	8.3	7.8	6.6	34.3	18.4
70～74歳	790	14.3	10.1	8.5	6.2	6.2	32.0	22.7
75～79歳	992	12.8	8.9	8.4	3.7	5.5	25.9	34.8
80～84歳	615	16.4	8.3	9.4	5.0	2.1	17.1	41.6
85～89歳	386	10.9	9.8	7.8	4.1	2.3	18.9	46.1
90歳以上	159	11.3	7.5	10.1	4.4	2.5	16.4	47.8
南部圏域	2876	14.3	9.1	9.2	5.0	4.8	26.1	31.4
北部圏域	751	13.4	8.5	6.1	6.4	4.8	26.2	34.5
認定は受けていない	3182	14.8	8.5	7.9	5.5	5.1	27.5	30.7
要支援1	248	11.3	11.3	17.7	3.6	2.8	14.1	39.1
要支援2	132	7.6	20.5	6.8	4.5	0.8	20.5	39.4
事業対象者	18	5.6	16.7	22.2	5.6	5.6	22.2	22.2

⑤ 筋力トレーニング

「全くしない」が39.6%と最も多く、次いで「週4回以上」及び「週2～3回」が6.6%、「週1回」が5.3%、「年に数回」が2.9%となっています。



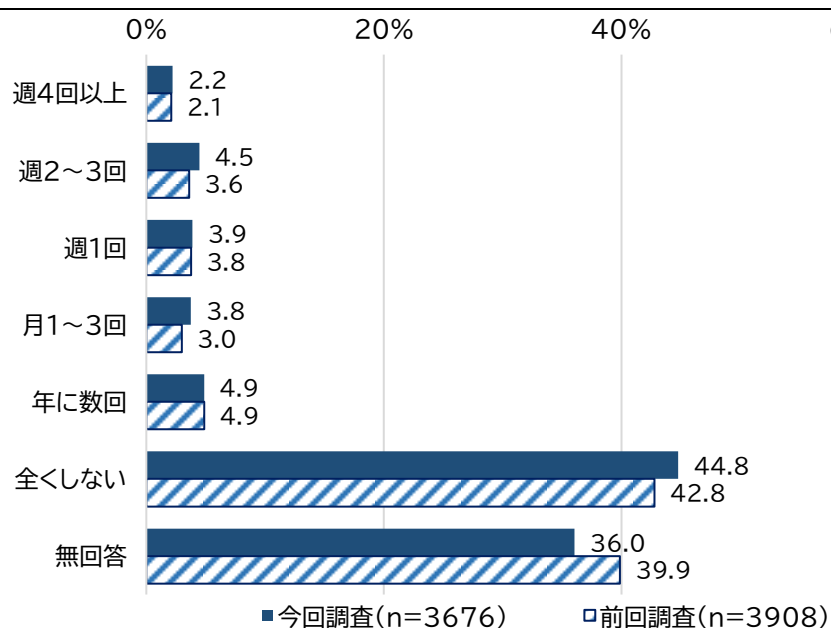
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「全くしない」の割合は、性別では男性の方が高く、圏域別では全体と比べわずかに南部圏域の方が高くなっています。

(%)	n (回答数)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	全くしない	無回答
全体	3676	6.6	6.6	5.3	2.7	2.9	39.6	36.3
男性	1592	6.7	5.6	4.6	3.5	3.8	43.4	32.3
女性	2029	6.7	7.6	5.9	2.2	2.1	36.9	38.7
65～69歳	683	7.9	7.9	5.3	2.3	4.8	52.1	19.6
70～74歳	790	6.8	7.7	5.3	3.3	3.8	47.1	25.9
75～79歳	992	6.9	7.7	5.2	3.0	2.7	38.0	36.5
80～84歳	615	7.0	5.2	5.2	3.7	1.6	28.0	49.3
85～89歳	386	4.4	3.6	6.5	1.0	1.0	29.8	53.6
90歳以上	159	3.8	3.8	3.8	0.6	0.0	30.8	57.2
南部圏域	2876	7.1	7.1	5.5	2.6	2.9	39.8	35.1
北部圏域	751	5.1	5.5	4.7	3.5	2.8	39.4	39.1
認定は受けていない	3182	7.1	7.0	4.4	3.0	3.2	41.3	34.0
要支援1	248	4.0	4.0	16.1	0.8	0.0	28.2	46.8
要支援2	132	3.8	5.3	8.3	0.8	0.8	30.3	50.8
事業対象者	18	0.0	11.1	5.6	0.0	0.0	50.0	33.3

⑥ スポーツ活動への参加

「全くしない」が44.8%と最も多く、次いで「年に数回」が4.9%、「週2～3回」が4.5%、「週1回」が3.9%、「月1～3回」が3.8%となっています。



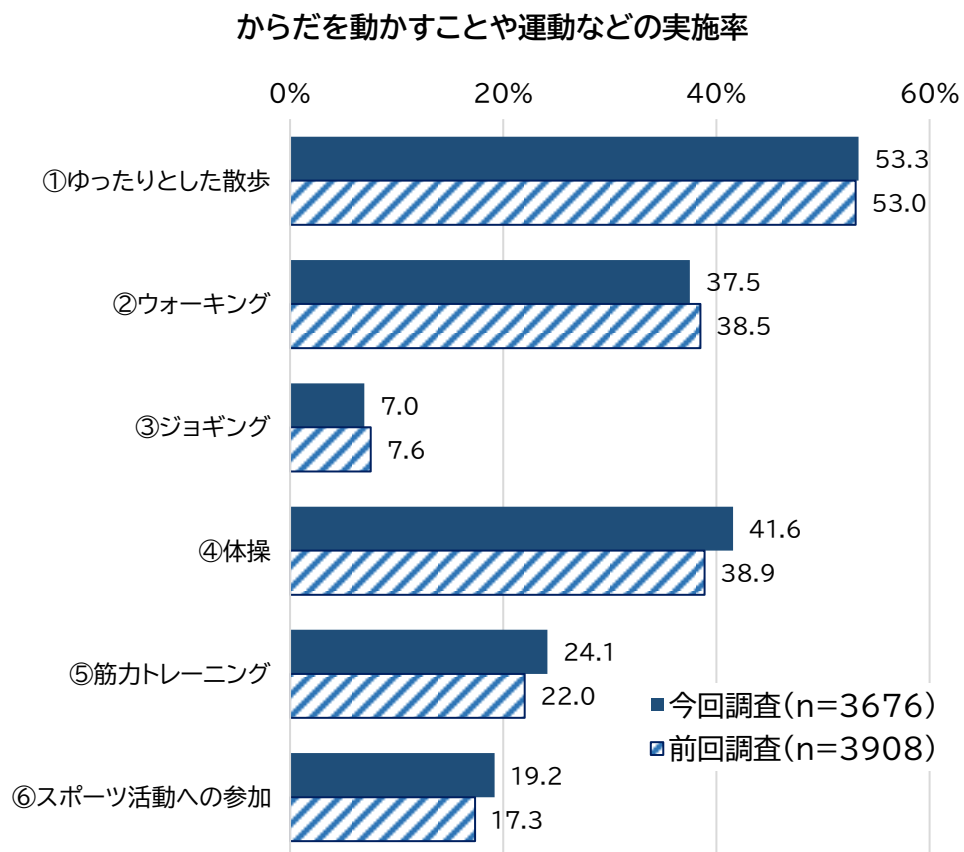
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「全くしない」の割合は、性別では男性の方が高く、圏域別では全体と比べわずかに北部圏域の方が高くなっています。

(%)	n (回答数)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	全くしない	無回答
全体	3676	2.2	4.5	3.9	3.8	4.9	44.8	36.0
男性	1592	2.6	4.3	3.4	4.6	7.3	46.2	31.6
女性	2029	1.9	4.7	4.3	3.0	3.1	44.1	38.9
65～69歳	683	1.9	2.8	3.7	5.1	7.9	57.7	20.9
70～74歳	790	1.6	2.9	3.9	3.9	5.9	54.2	27.5
75～79歳	992	2.5	4.9	4.5	3.3	4.8	43.8	36.1
80～84歳	615	2.4	7.0	4.1	3.4	3.3	33.5	46.3
85～89歳	386	2.6	6.0	3.4	3.9	1.8	30.1	52.3
90歳以上	159	2.5	4.4	2.5	0.6	1.9	32.1	56.0
南部圏域	2876	2.3	4.8	4.5	3.8	4.9	44.9	34.9
北部圏域	751	1.9	3.6	1.7	3.5	5.2	45.1	39.0
認定は受けていない	3182	2.4	4.6	4.0	4.1	5.4	46.2	33.3
要支援1	248	0.4	2.8	4.8	1.6	1.6	37.1	51.6
要支援2	132	1.5	4.5	3.0	0.0	1.5	35.6	53.8
事業対象者	18	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	55.6	38.9

からだを動かすことや運動などの実施率の前回比較

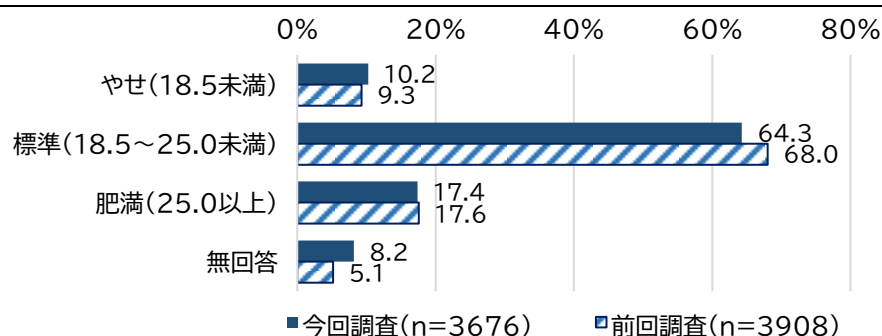
「年に数回」から「週４回以上」までを合わせた割合を『実施率』として集計し、前回調査と比較すると、いずれもわずかな差ではありますが、「①ゆったりとした散歩」「④体操」「⑤筋力トレーニング」「⑥スポーツ活動への参加」は増加し、「②ウォーキング」「③ジョギング」は減少しています。



問3 食べることにしておうかがいします

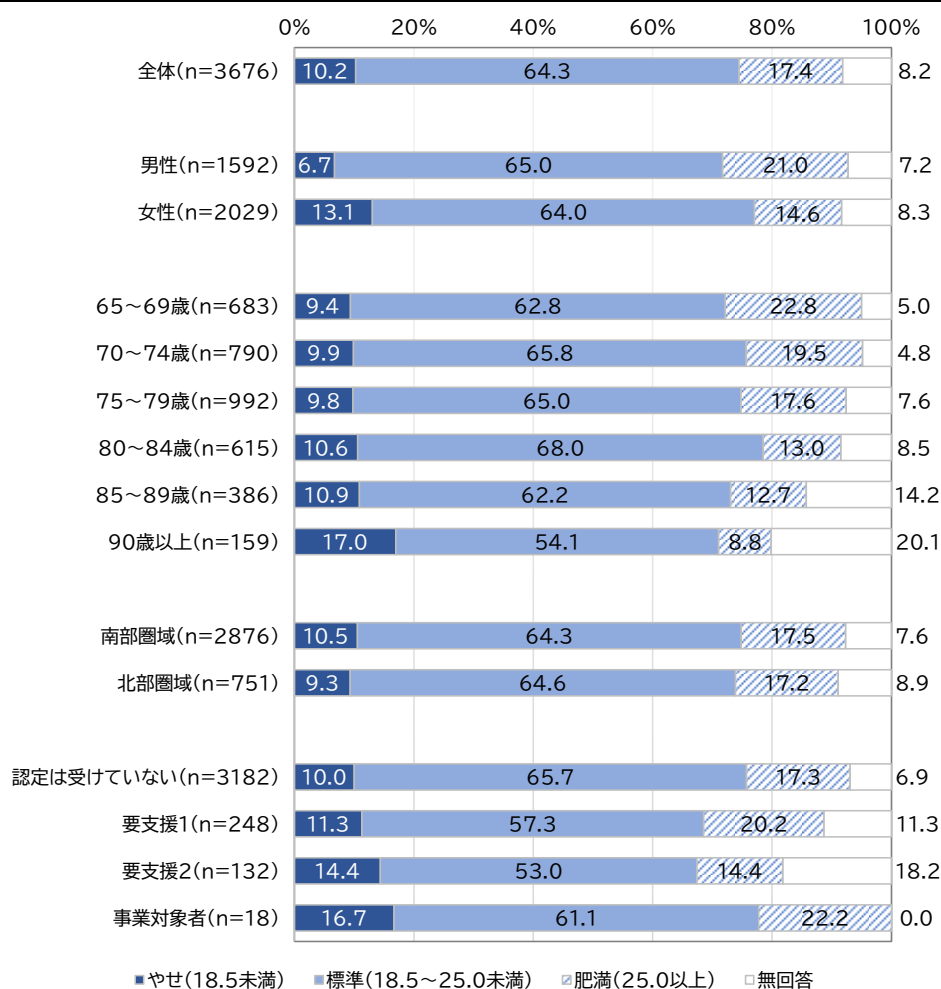
(1) 身長・体重を教えてください(BMI)

身長・体重から算出した BMI 指数について「標準 (18.5～25.0 未満)」が 64.3%と最も多く、次いで「肥満 (25.0 以上)」が 17.4%、「やせ (18.5 未満)」が 10.2%となっています。



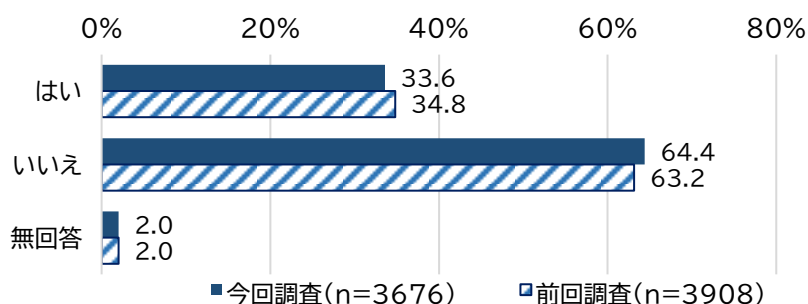
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「やせ (18.5 未満)」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向です。要支援認定状況別では事業対象者 (n=18) を除き認定度が上がるほど高くなっています。



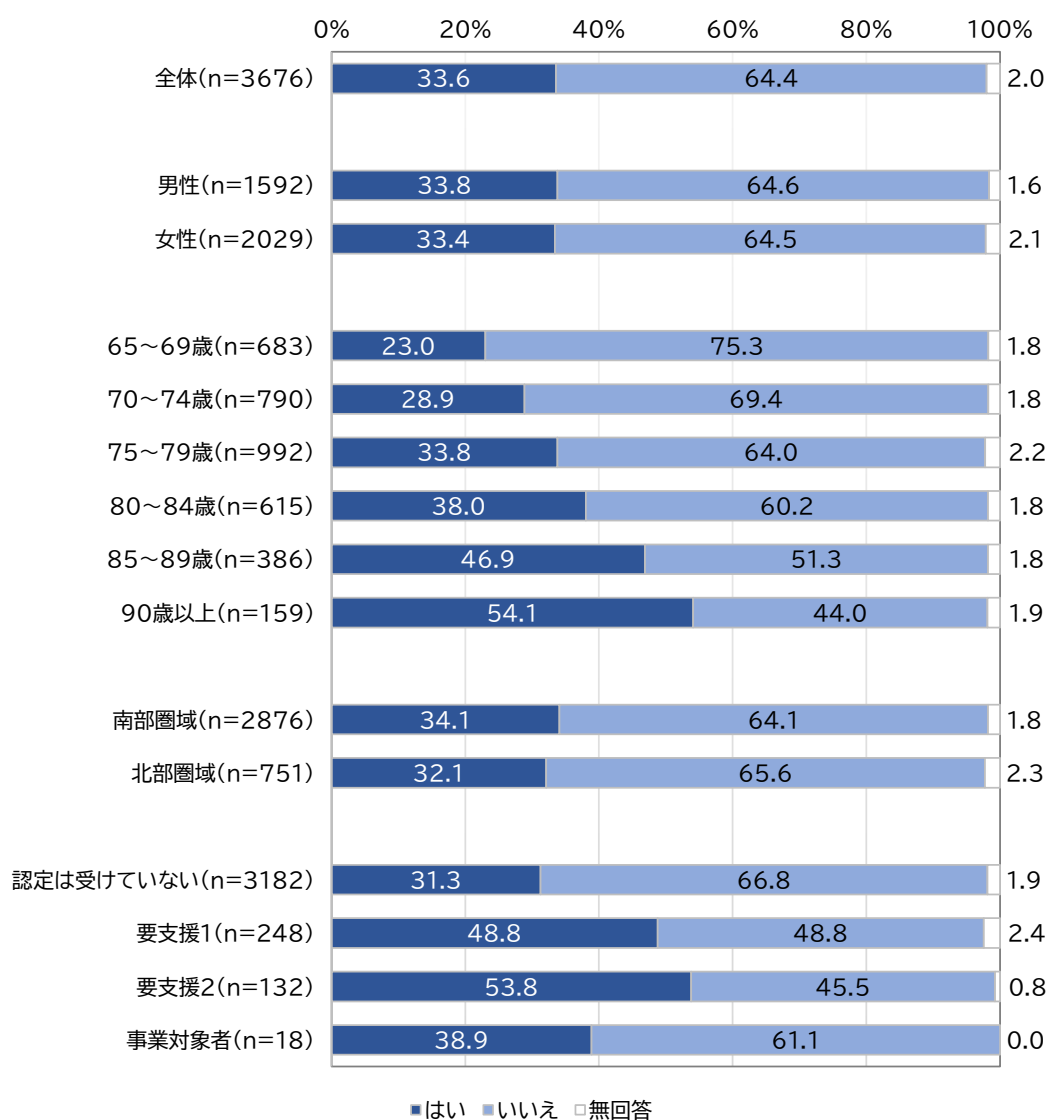
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

「はい」が33.6%、「いいえ」が64.4%となっています。前回調査との大きな差はみられません。



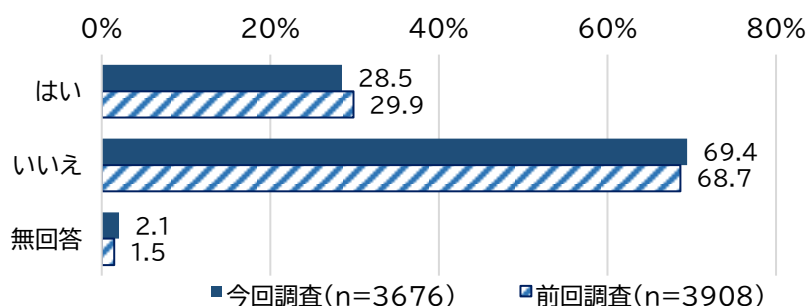
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「はい」の割合は、性別ではわずかに男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっており、90歳以上は54.1%と過半数となっています。要支援認定状況別では認定度が上がるほど高くなっています。



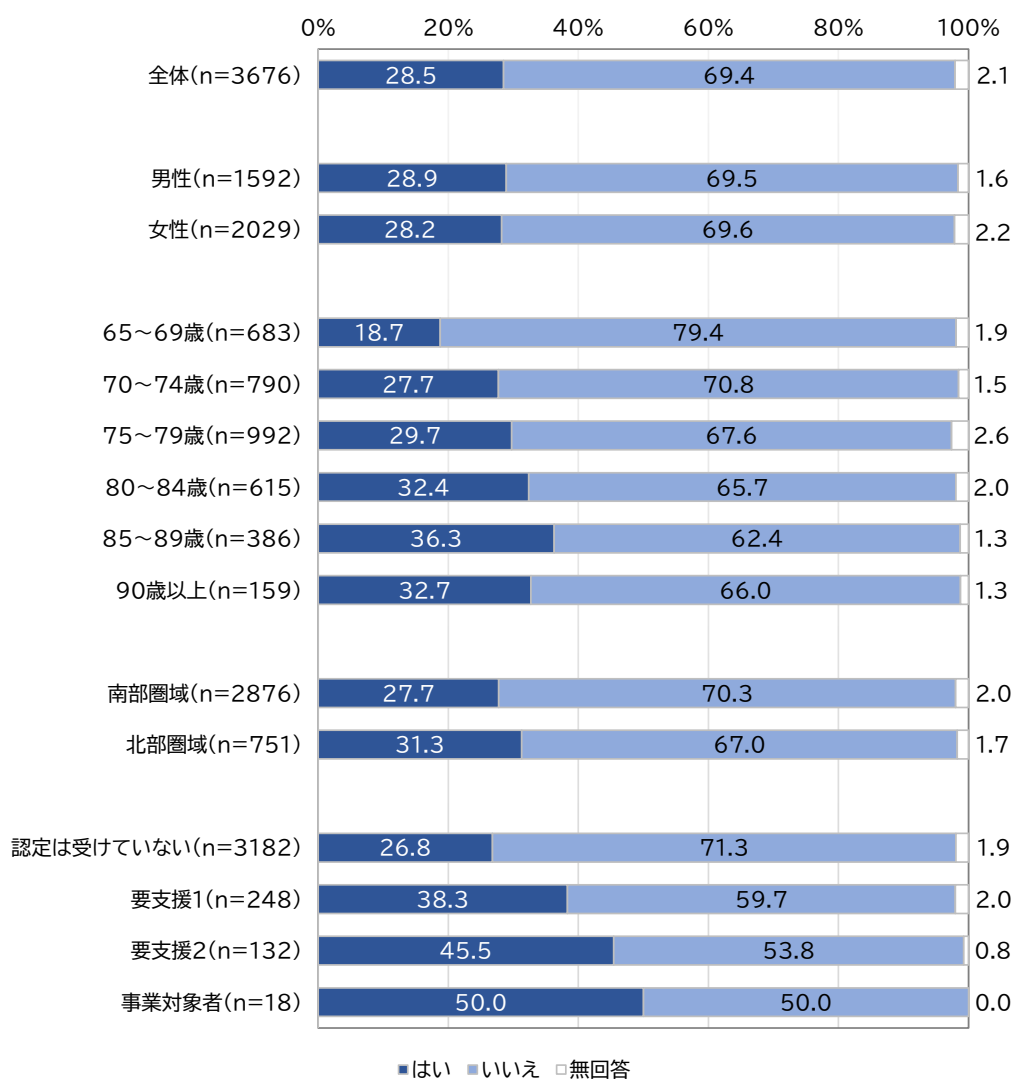
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか

「はい」が28.5%、「いいえ」が69.4%となっています。前回調査との大きな差はみられません。



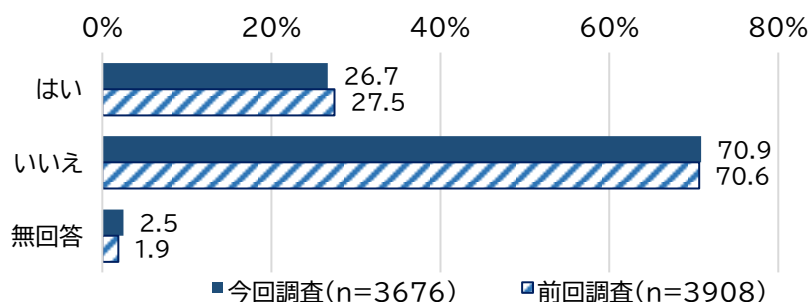
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「はい」の割合は、性別ではわずかに男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向です。要支援認定状況別では事業対象者（n=18）を除き認定度が上がるほど高くなっています。



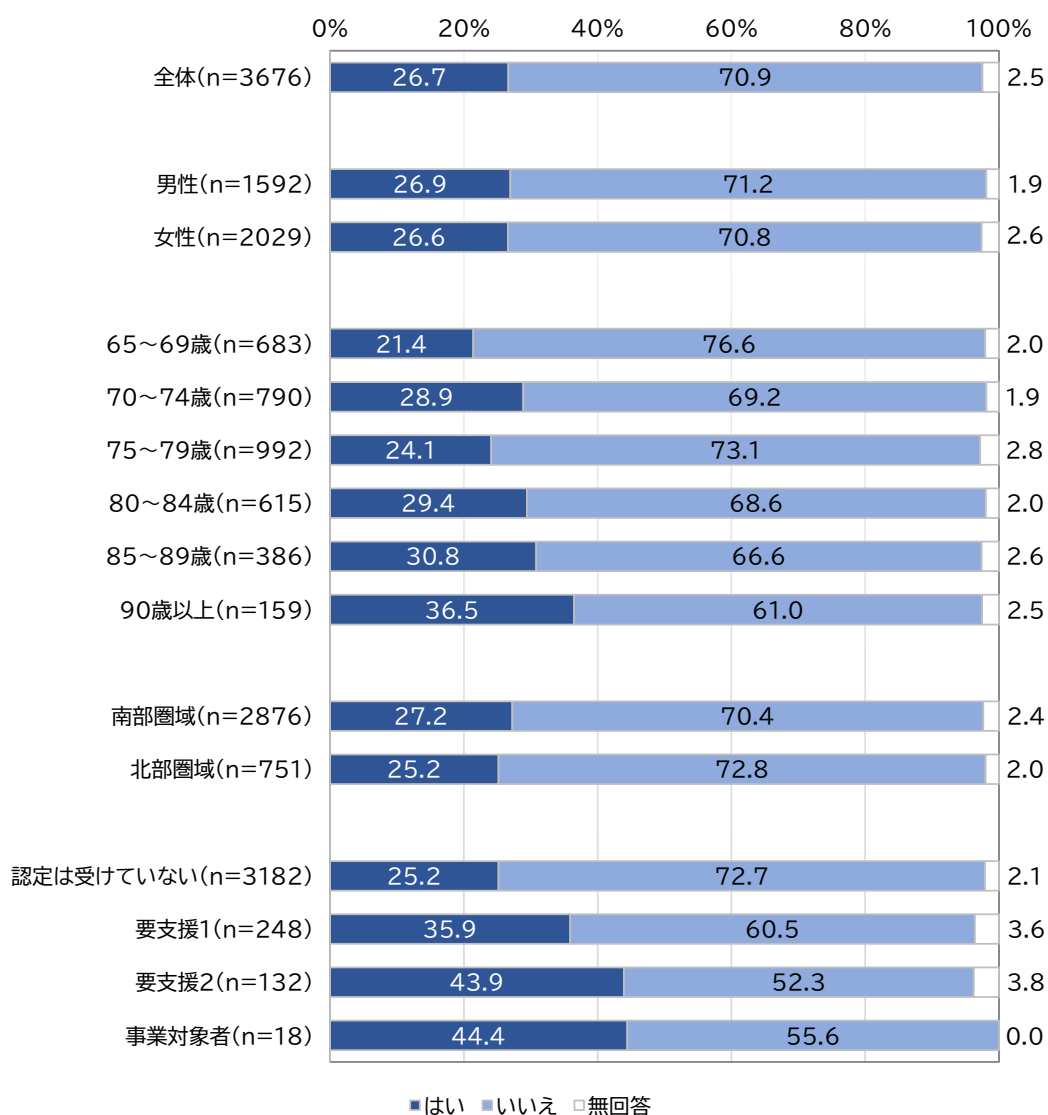
(4) 口の渇きが気になりますか

「はい」が26.7%、「いいえ」が70.9%となっています。前回調査との大きな差はみられません。



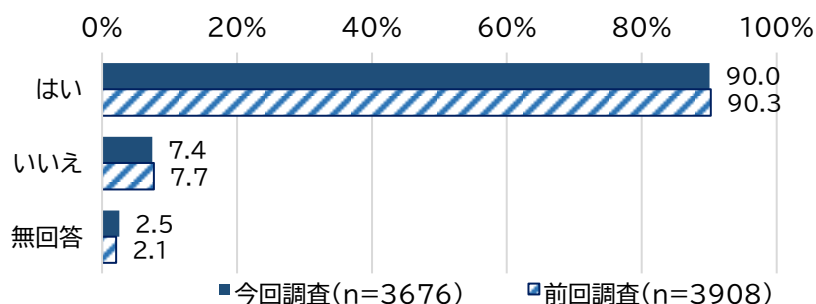
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「はい」の割合は、性別ではわずかに男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向です。要支援認定状況別では事業対象者（n=18）を除き認定度が上がるほど高くなっています。



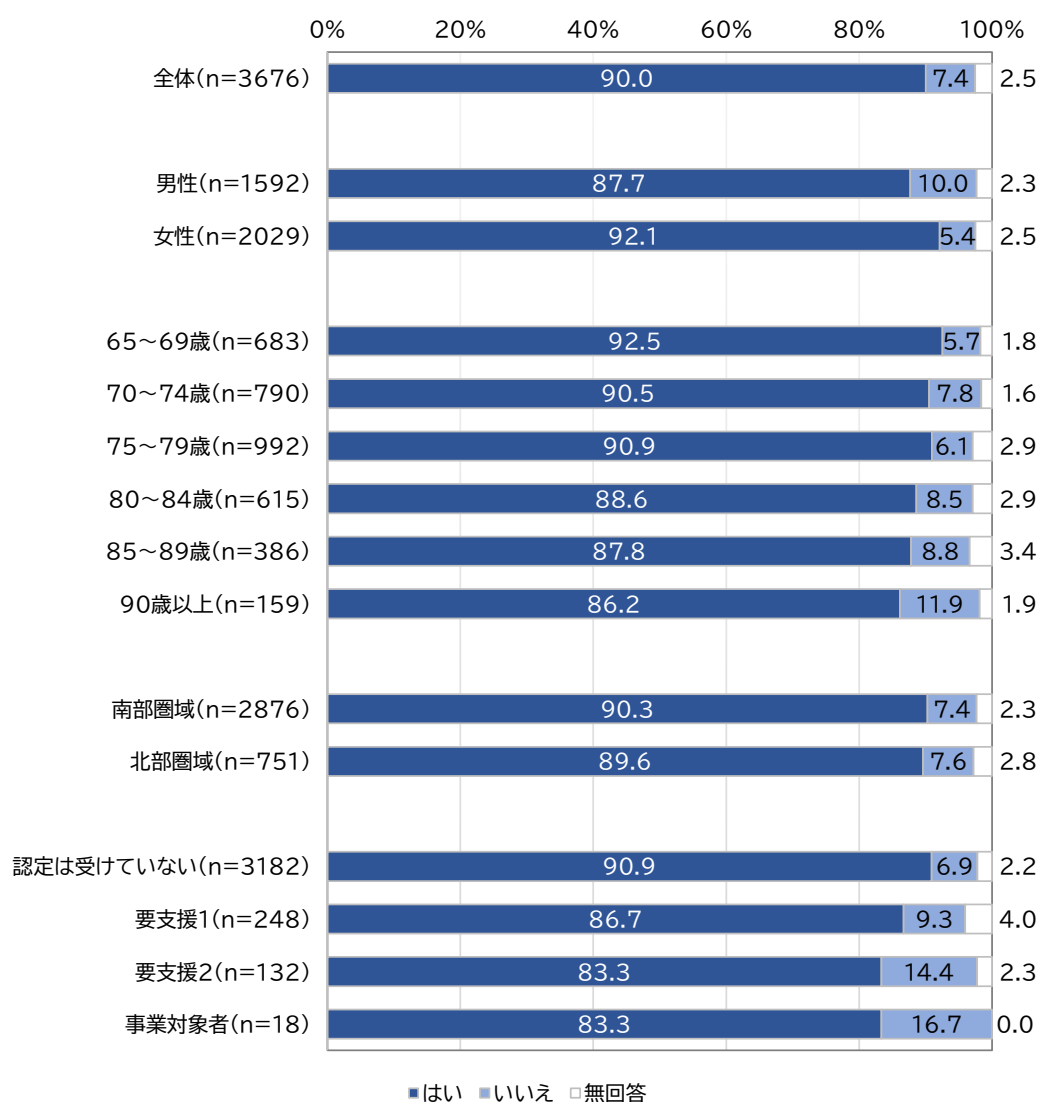
(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか

「はい」が90.0%、「いいえ」が7.4%となっています。前回調査との大きな差はみられません。



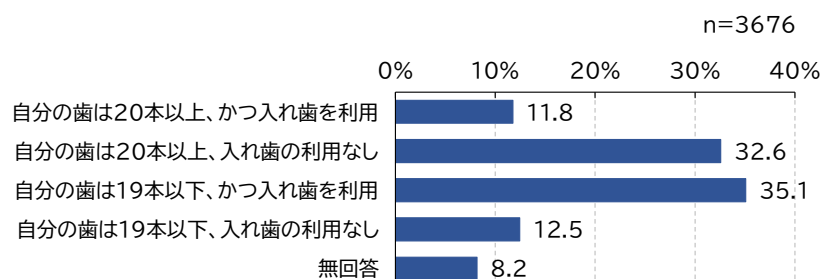
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向です。要支援認定状況別では事業対象者（n=18）を除き認定度が上がるほど高くなっています。



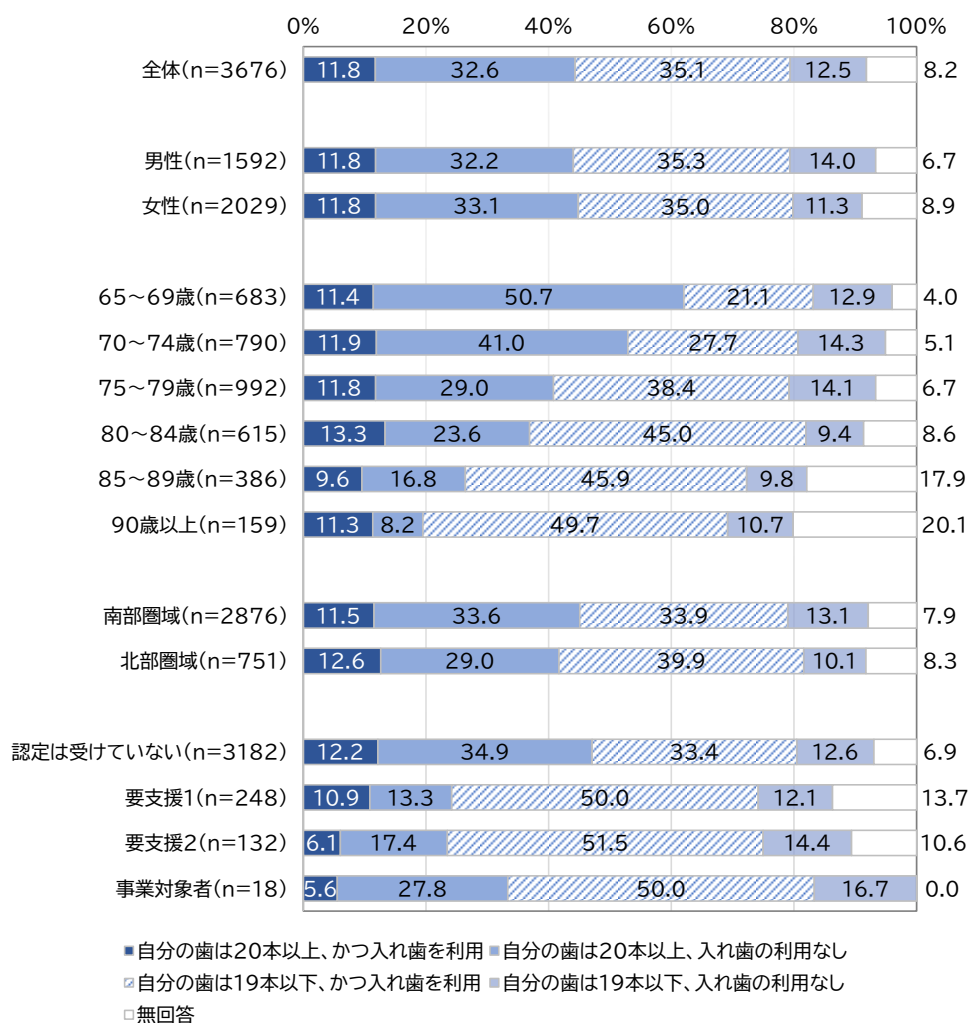
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください

「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 35.1%と最も多く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 32.6%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」が 12.5%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 11.8%となっています。



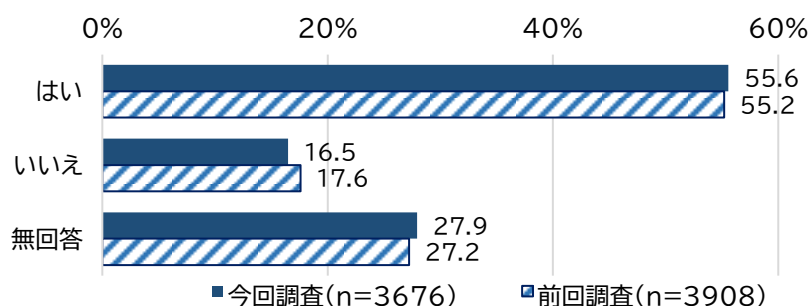
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」の割合は、性別では男性の方が高くなっています。



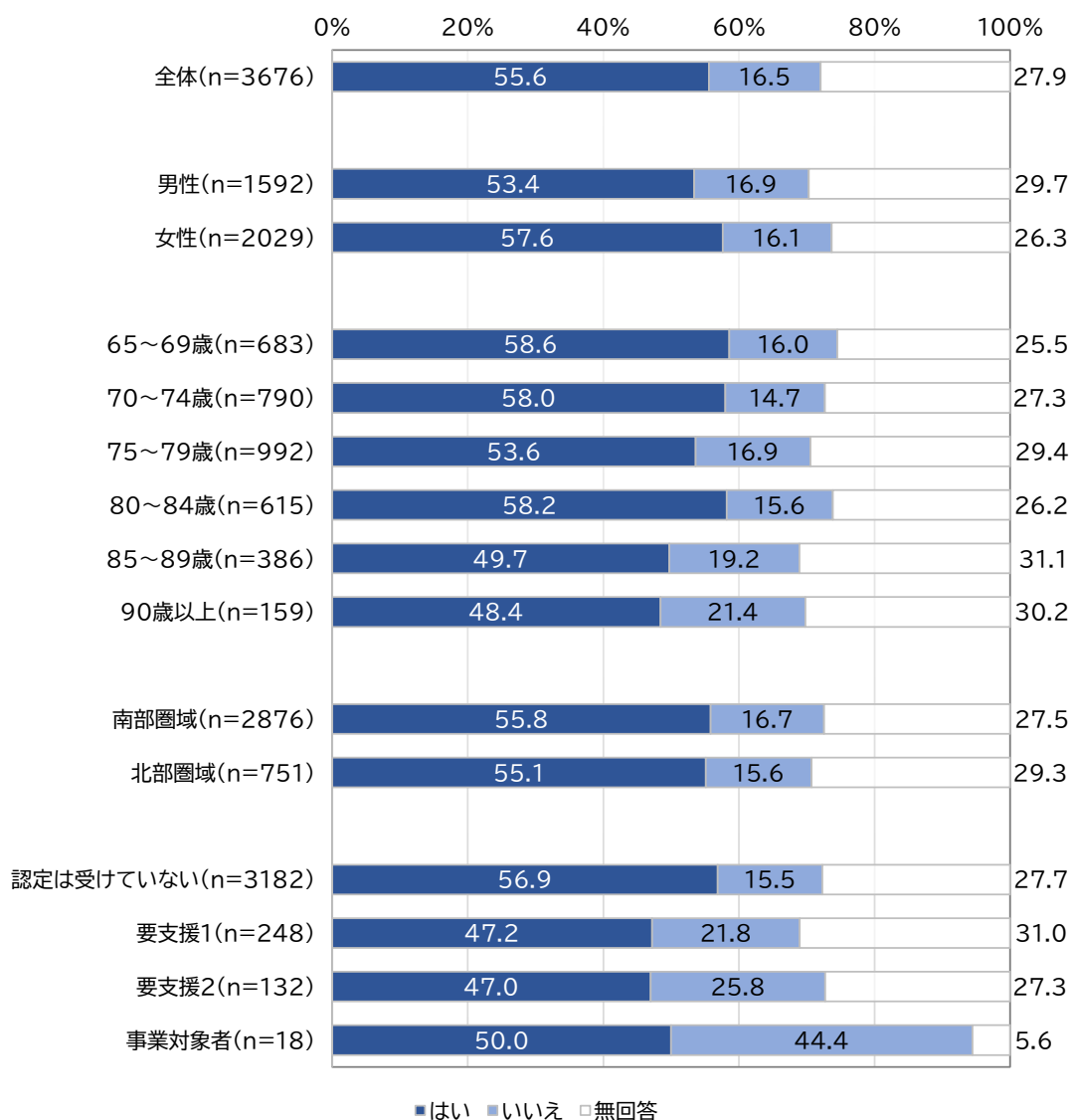
(6)-① 噛み合わせは良いですか

「はい」が55.6%、「いいえ」が16.5%となっています。前回調査との大きな差はみられません。



性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

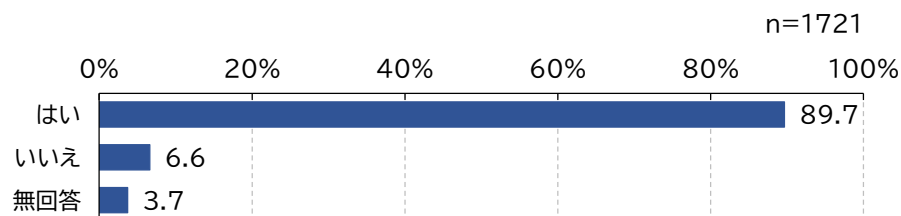
「いいえ」の割合は、性別では男性の方がわずかに高く、年齢別では90歳以上が21.4%と最も高く2割以上となっています。要支援認定状況別では事業対象者（n=18）を除き認定度が上がるほど高くなっています。



(6)で「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」を選択した方(入れ歯をご利用の方)

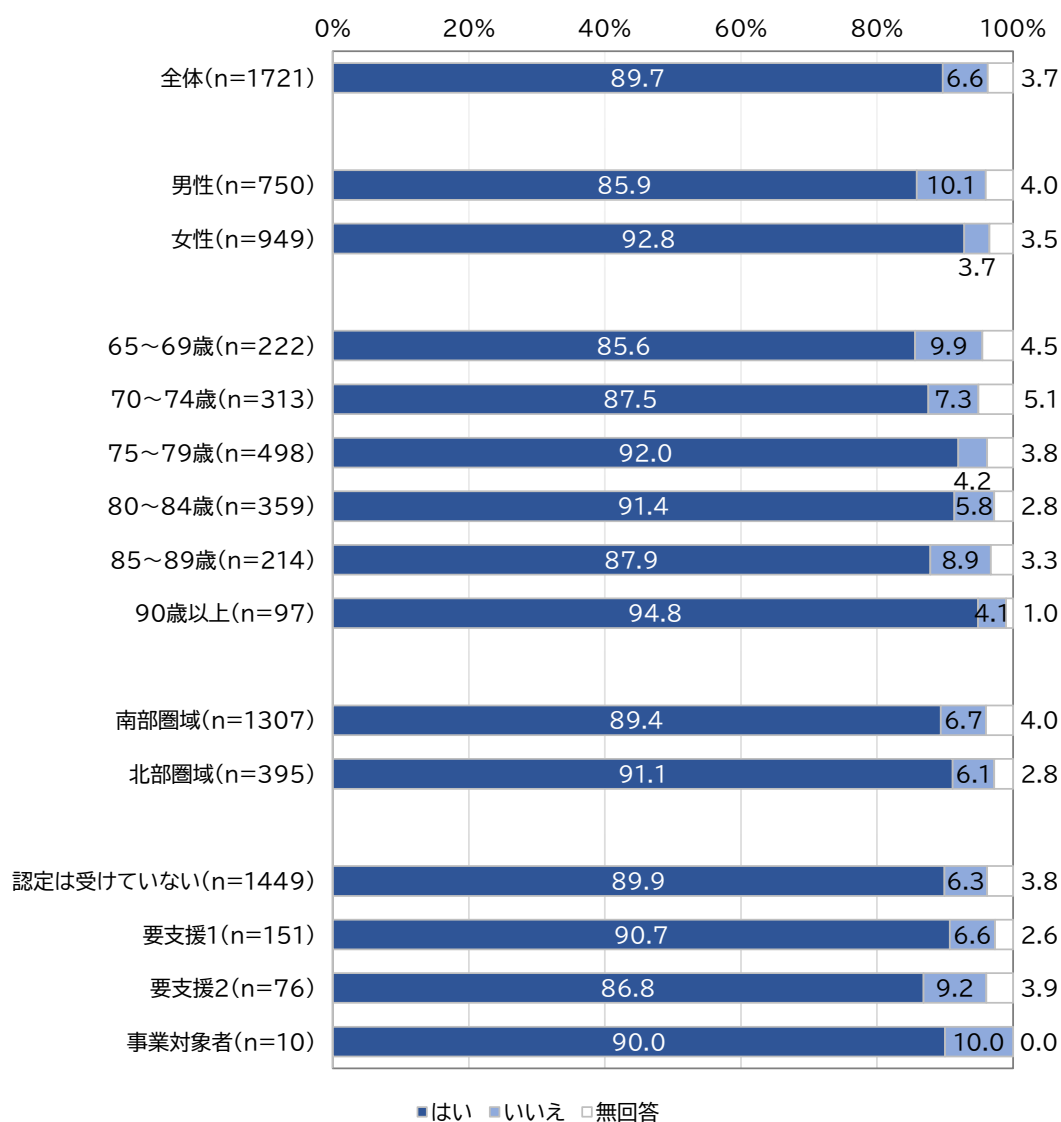
(6)-② 毎日入れ歯の手入れをしていますか

「はい」が89.7%、「いいえ」が6.6%となっています。



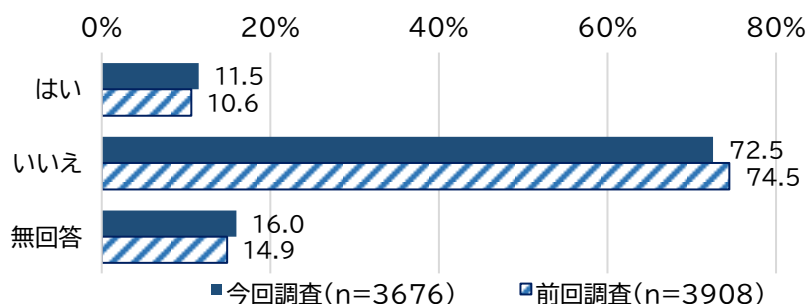
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高くなっています。要支援認定状況別では事業対象者(n=18)を除き認定度が上がるほど高くなっています。



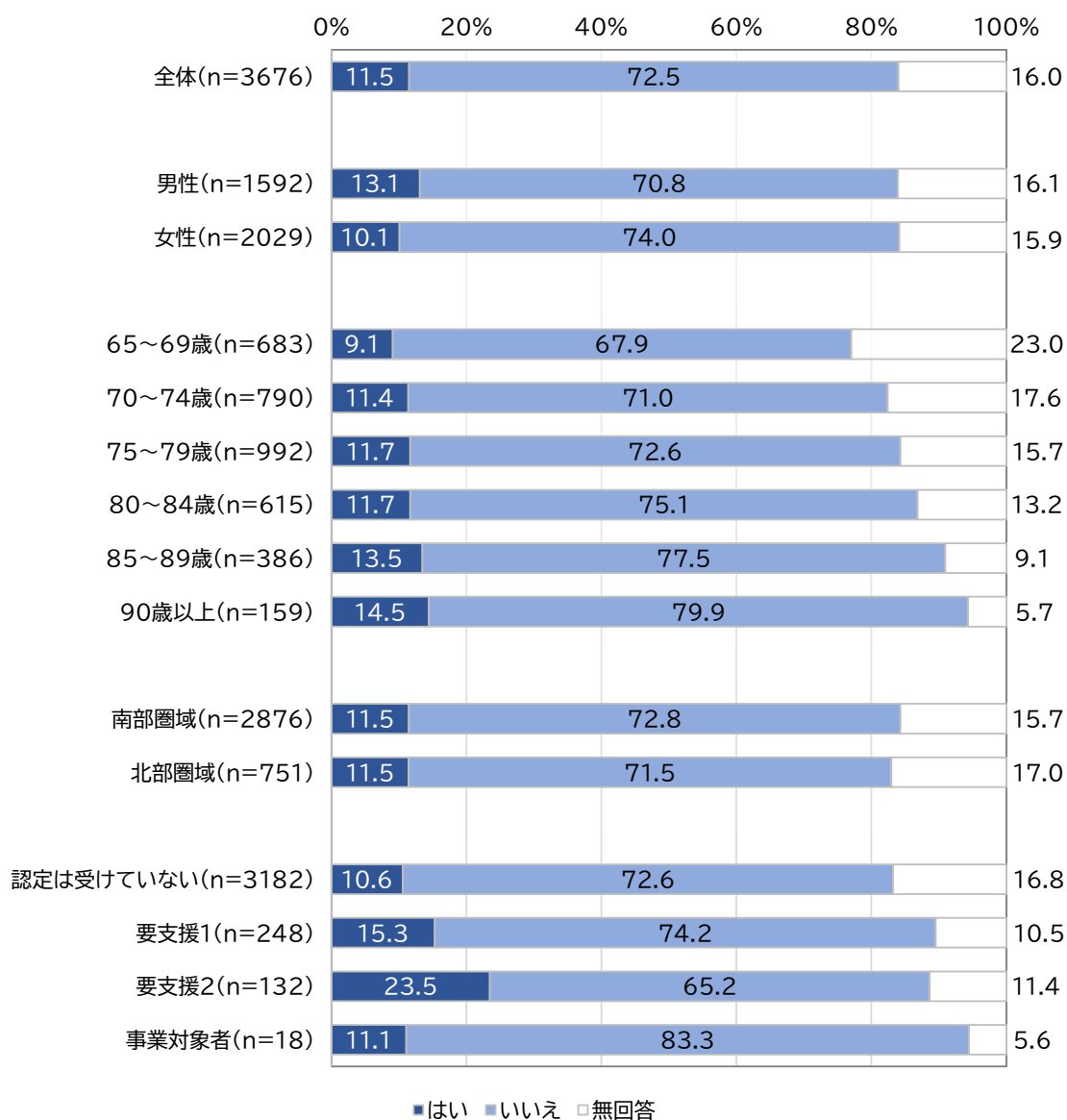
(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

「はい」が11.5%、「いいえ」が72.5%となっています。前回調査と比較すると、わずかな差ではありますが、「はい」は増加し、「いいえ」は減少しています。



性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

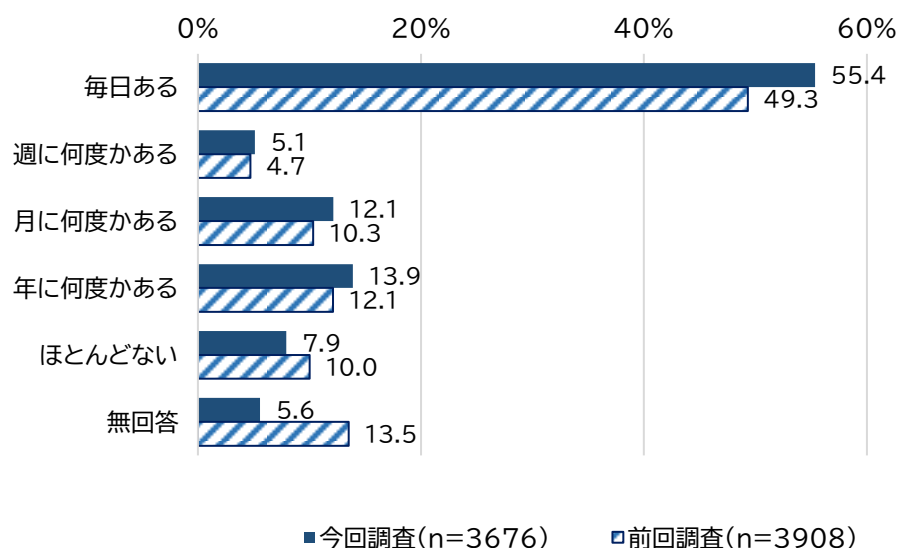
「はい」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて徐々に高くなっています。要支援認定状況別では認定度が上がるほど高くなっています。



(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか

「毎日ある」が 55.4%と最も多く、次いで「年に何度かある」が 13.9%、「月に何度かある」が 12.1%、「ほとんどない」が 7.9%、「週に何度かある」が 5.1%となっています。

前回調査と比較すると「毎日ある」は 6.1 ポイント増加し、「ほとんどない」は 2.1 ポイント減少しています。



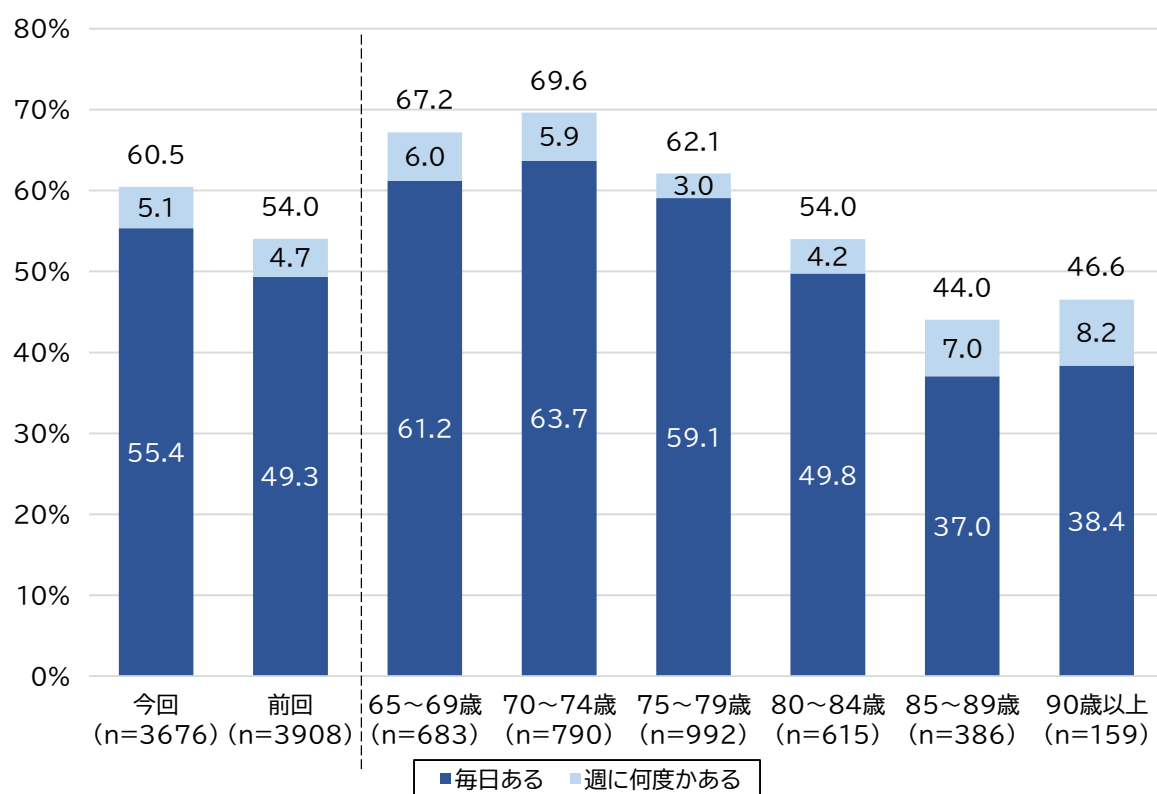
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「ほとんどない」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向で、85歳以上で1割を超えています。圏域別では南部圏域の方がわずかに高く、要支援認定状況別では認定度が上がるほど高くなっています。

(%)		毎日ある	週に何度 かある	月に何度 かある	年に何度 かある	ほとんど ない	無回答
	n (回答数)						
全体	3676	55.4	5.1	12.1	13.9	7.9	5.6
男性	1592	57.4	3.8	9.4	13.1	10.3	6.0
女性	2029	54.2	6.0	14.4	14.3	6.0	5.1
65～69歳	683	61.2	6.0	9.1	10.4	7.6	5.7
70～74歳	790	63.7	5.9	10.8	9.0	6.1	4.6
75～79歳	992	59.1	3.0	11.0	14.6	5.8	6.5
80～84歳	615	49.8	4.2	16.1	16.6	8.3	5.0
85～89歳	386	37.0	7.0	17.1	19.9	13.2	5.7
90歳以上	159	38.4	8.2	13.8	20.1	16.4	3.1
南部圏域	2876	55.2	5.4	12.2	13.9	8.0	5.4
北部圏域	751	56.9	4.0	12.3	13.3	7.7	5.9
認定は受けていない	3182	58.2	4.6	11.6	13.0	7.2	5.4
要支援1	248	39.9	7.7	15.3	18.5	11.7	6.9
要支援2	132	31.1	13.6	21.2	15.2	14.4	4.5
事業対象者	18	27.8	0.0	5.6	44.4	11.1	11.1

「毎日ある」「週に何度かある」前回比較・年齢別

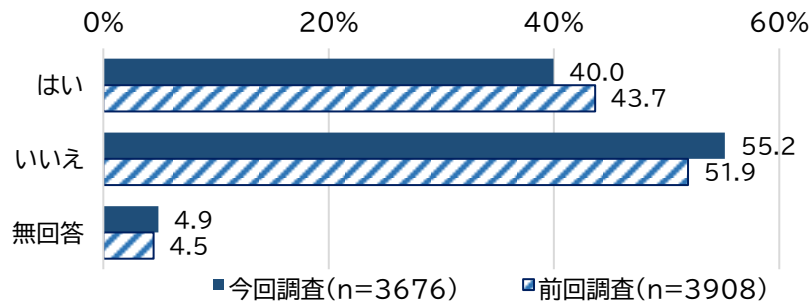
「毎日ある」と「週に何度かある」を合わせた、『毎週ある』は前回調査より 6.5 ポイント増加しています。年齢別では、『毎週ある』は 85 歳以上では 5 割未満、80～84 歳では 54.0% となっています。



問4 毎日の生活についておうかがいします

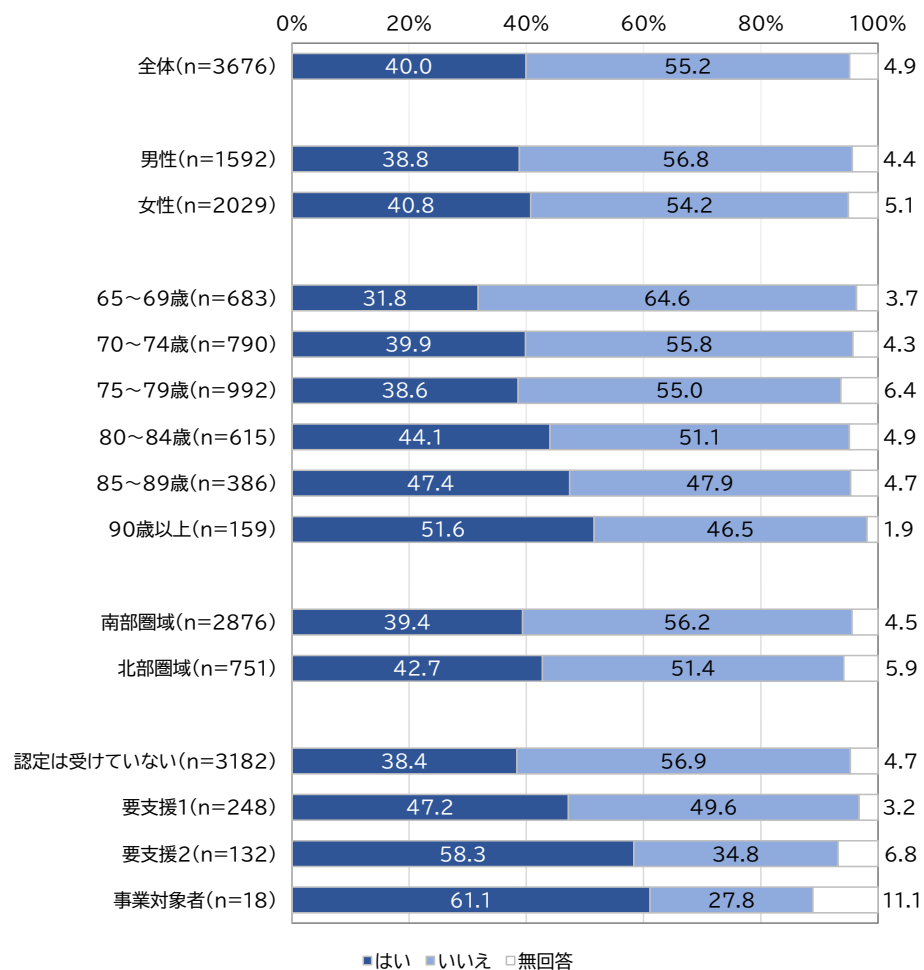
(1) 物忘れが多いと感じますか

「はい」が40.0%、「いいえ」が55.2%となっています。前回調査と比較すると、「はい」は減少し、「いいえ」は増加しています。



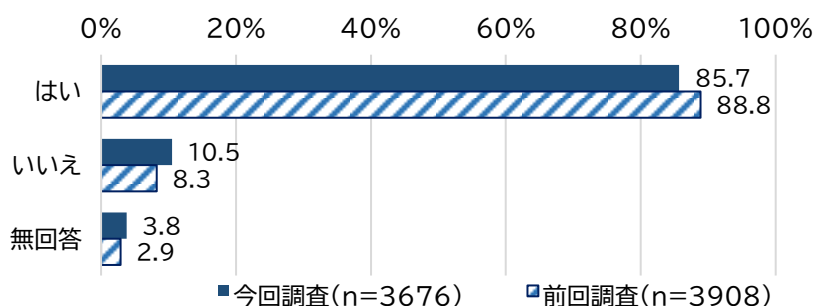
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「はい」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向です。要支援認定状況別では事業対象者（n=18）を除き認定度が上がるほど高くなっています。



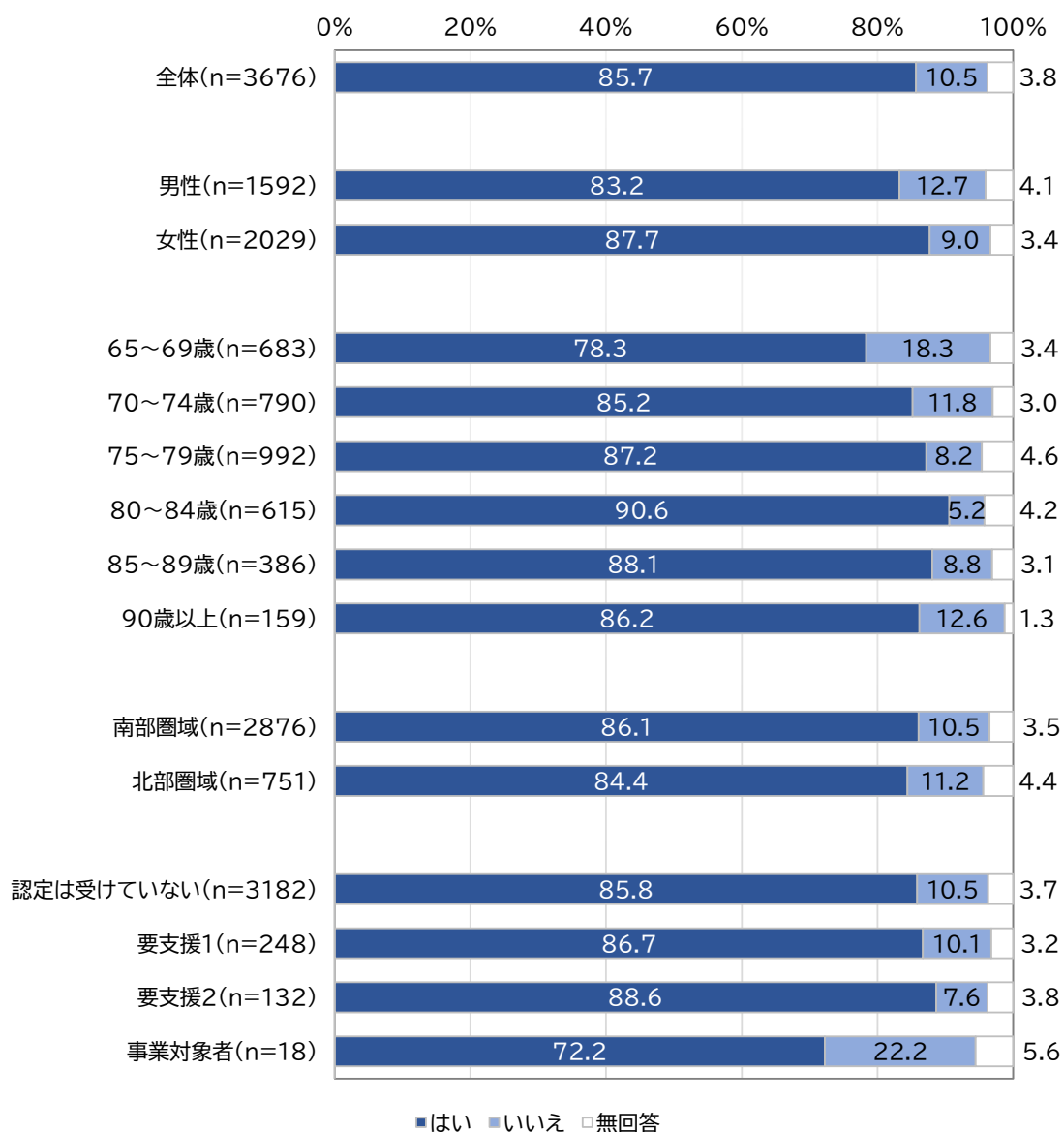
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

「はい」が85.7%、「いいえ」が10.5%となっています。前回調査と比較すると、「はい」は減少し、「いいえ」は増加しています。



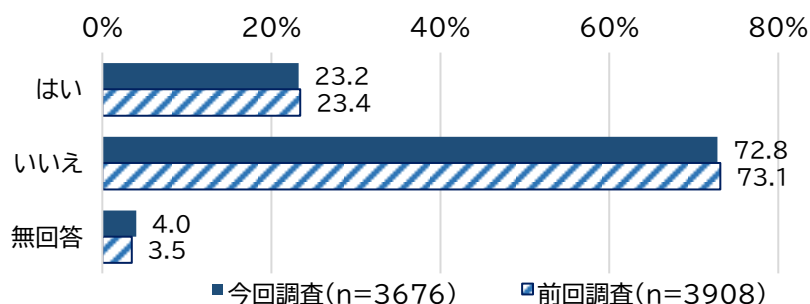
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高くなっています。要支援認定状況別では事業対象者（n=18）を除き認定度が上がるほど低くなっています。



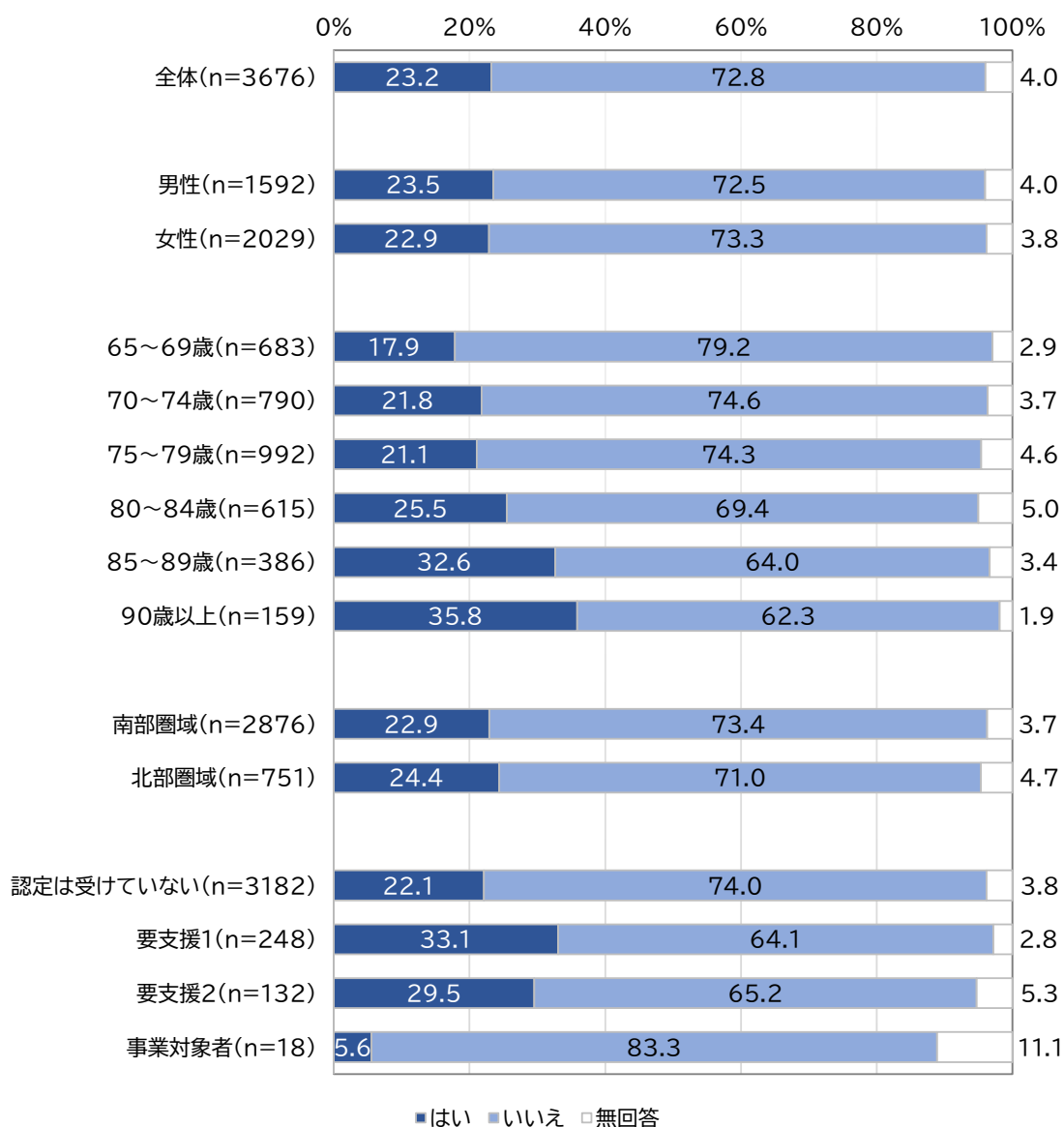
(3) 今日が何月何日かわからないときがありますか

「はい」が23.2%、「いいえ」が72.8%となっています。前回調査との大きな差はみられません。



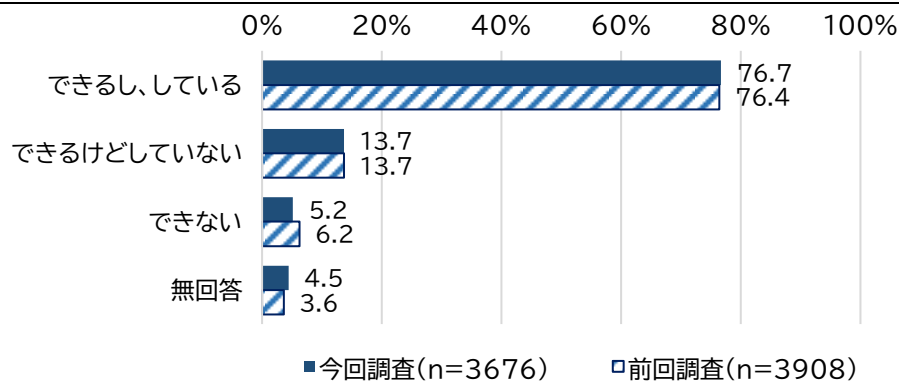
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「はい」の割合は、性別ではわずかに男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向です。



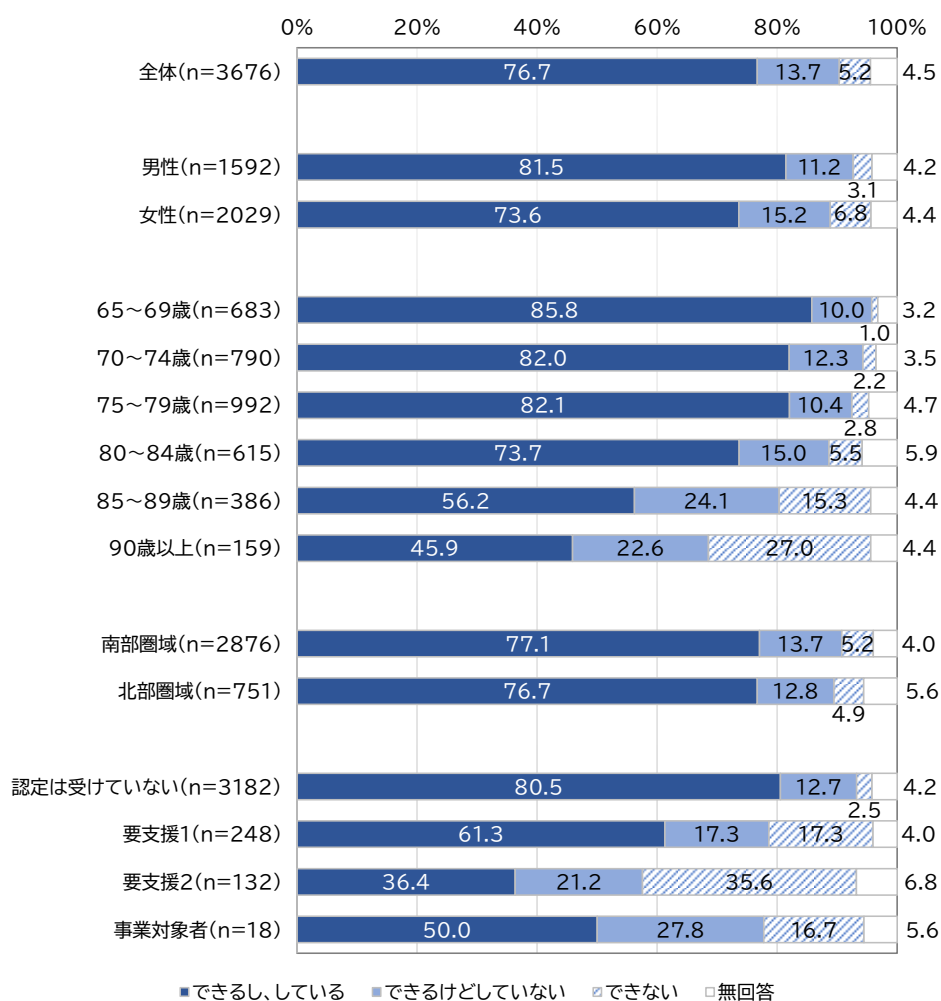
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)

「できるし、している」が76.7%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.7%、「できない」が5.2%となっています。前回調査と比較すると、「できない」がわずかに減少しています。



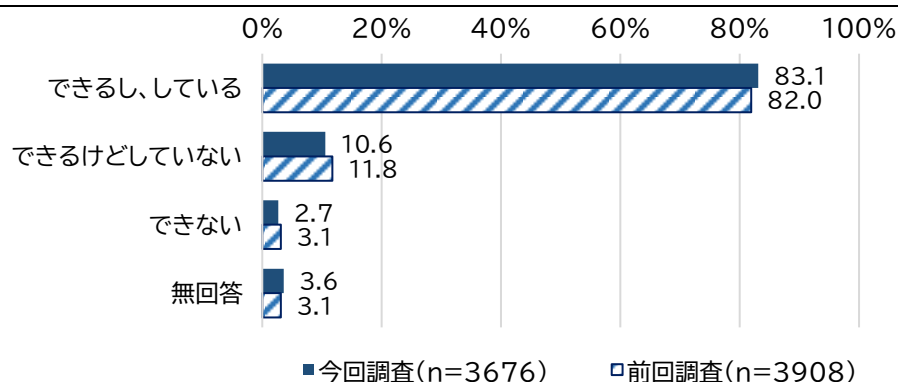
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「できない」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。圏域別ではわずかに南部圏域の方が高くなっており、要支援認定状況別では認定度が上がるほど高くなっています。



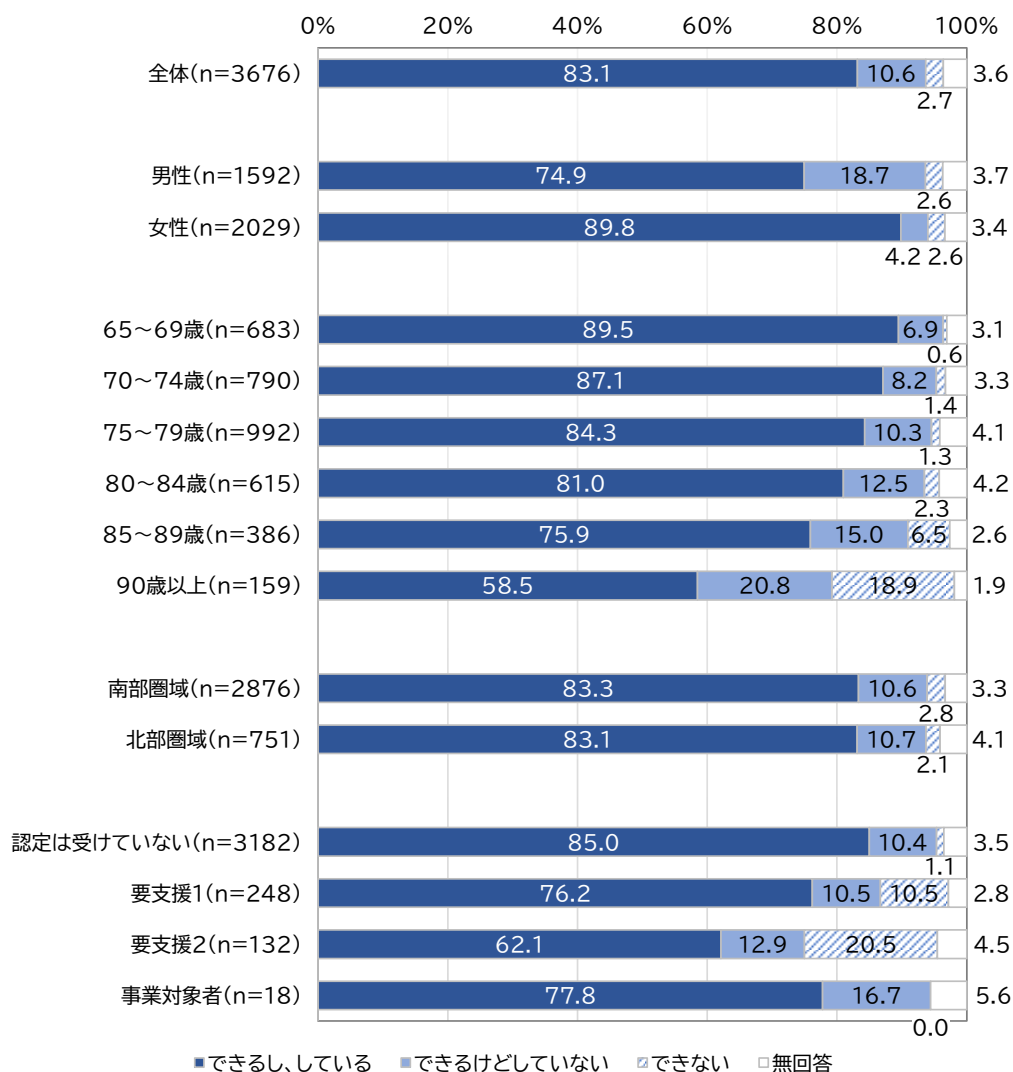
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

「できるし、している」が83.1%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が10.6%、「できない」が2.7%となっています。前回調査との大きな差はみられません。



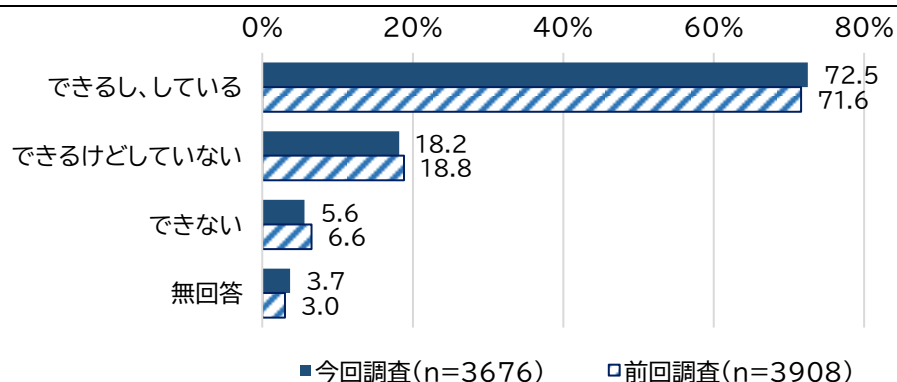
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「できない」の割合は、性別では男女ともに2.6%と差はなく、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。圏域別ではわずかに南部圏域の方が高くなっており、要支援認定状況別では事業対象者（n=18）を除き認定度が上がるほど高くなっています。



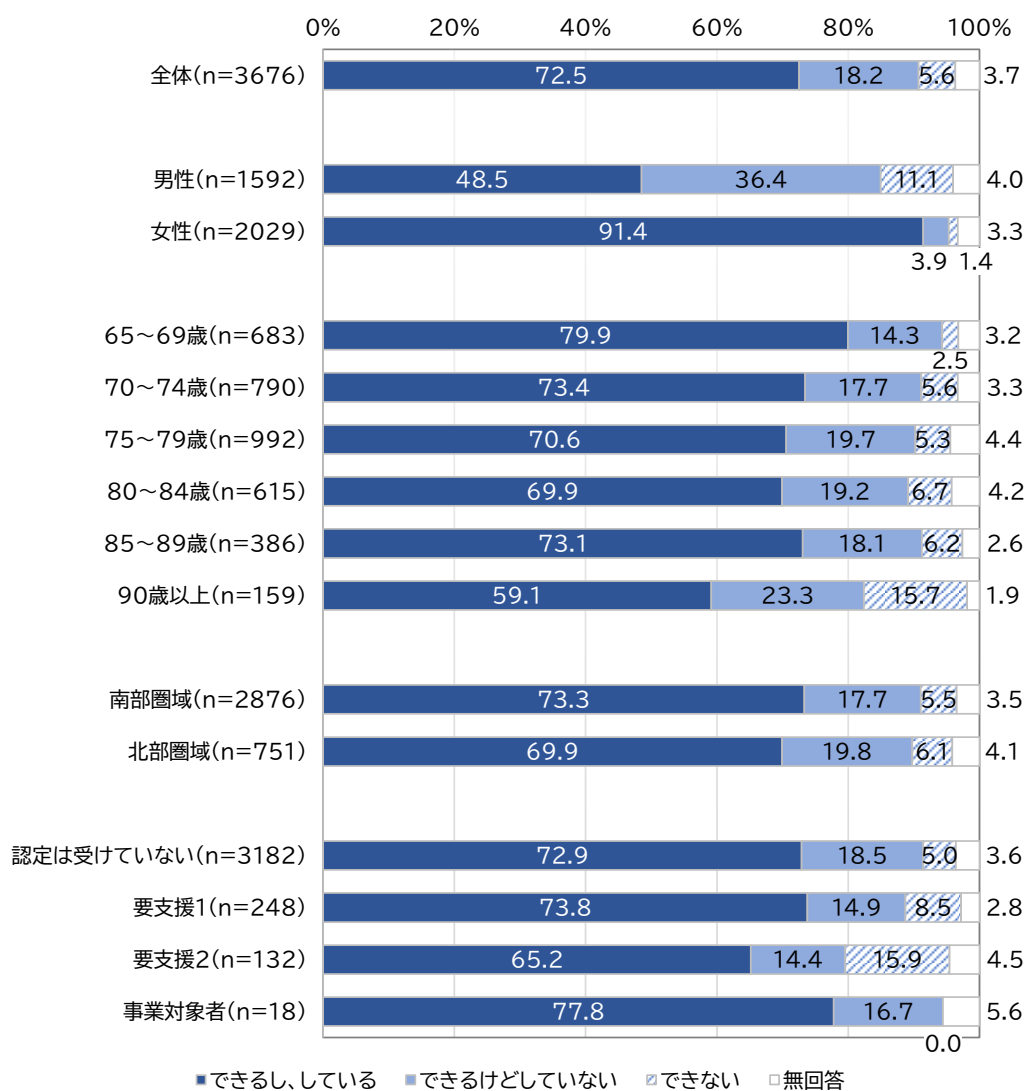
(6) 自分で食事の用意をしていますか

「できるし、している」が72.5%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が18.2%、「できない」が5.6%となっています。前回調査との大きな差はみられません。



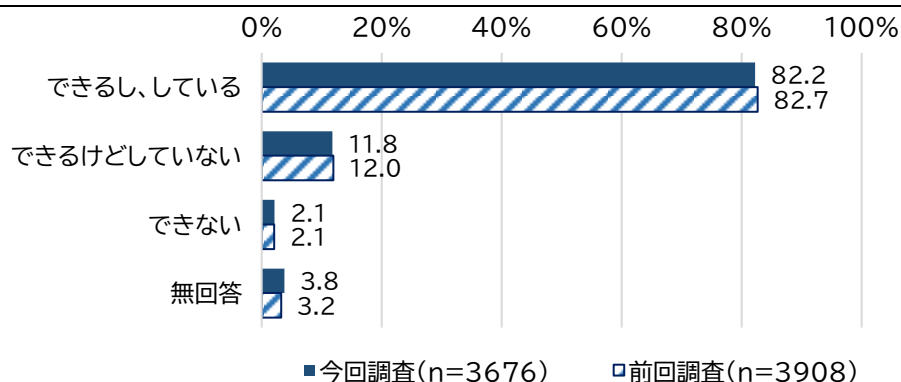
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「できない」の割合は、性別では男性の方が高くなっており、要支援認定状況別では事業対象者（n=18）を除き認定度が上がるほど高くなっています。



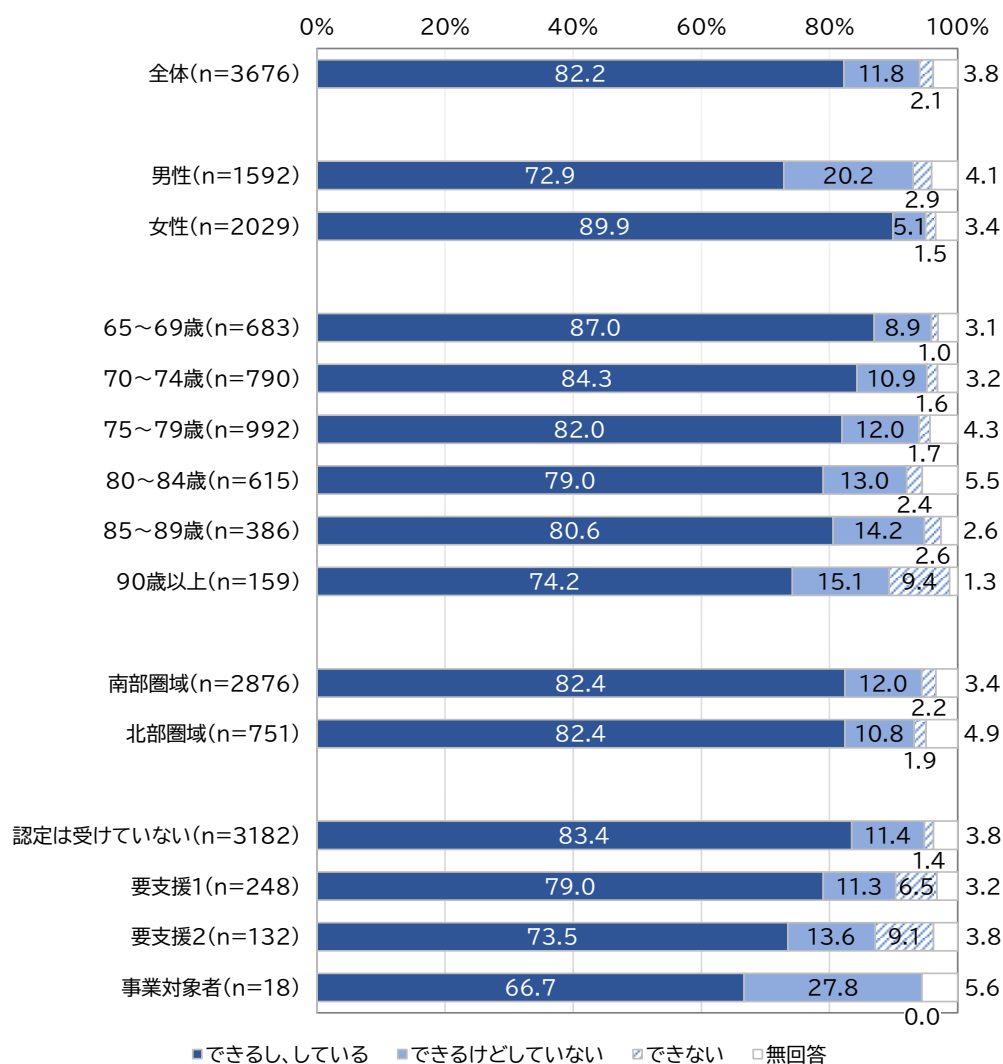
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか

「できるし、している」が82.2%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.8%、「できない」が2.1%となっています。前回調査との大きな差はみられません。



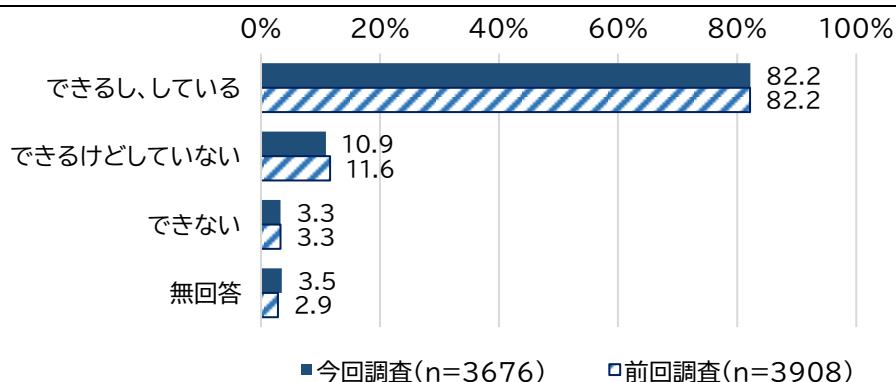
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「できない」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。要支援認定状況別では事業対象者（n=18）を除き認定度が上がるほど高くなっています。



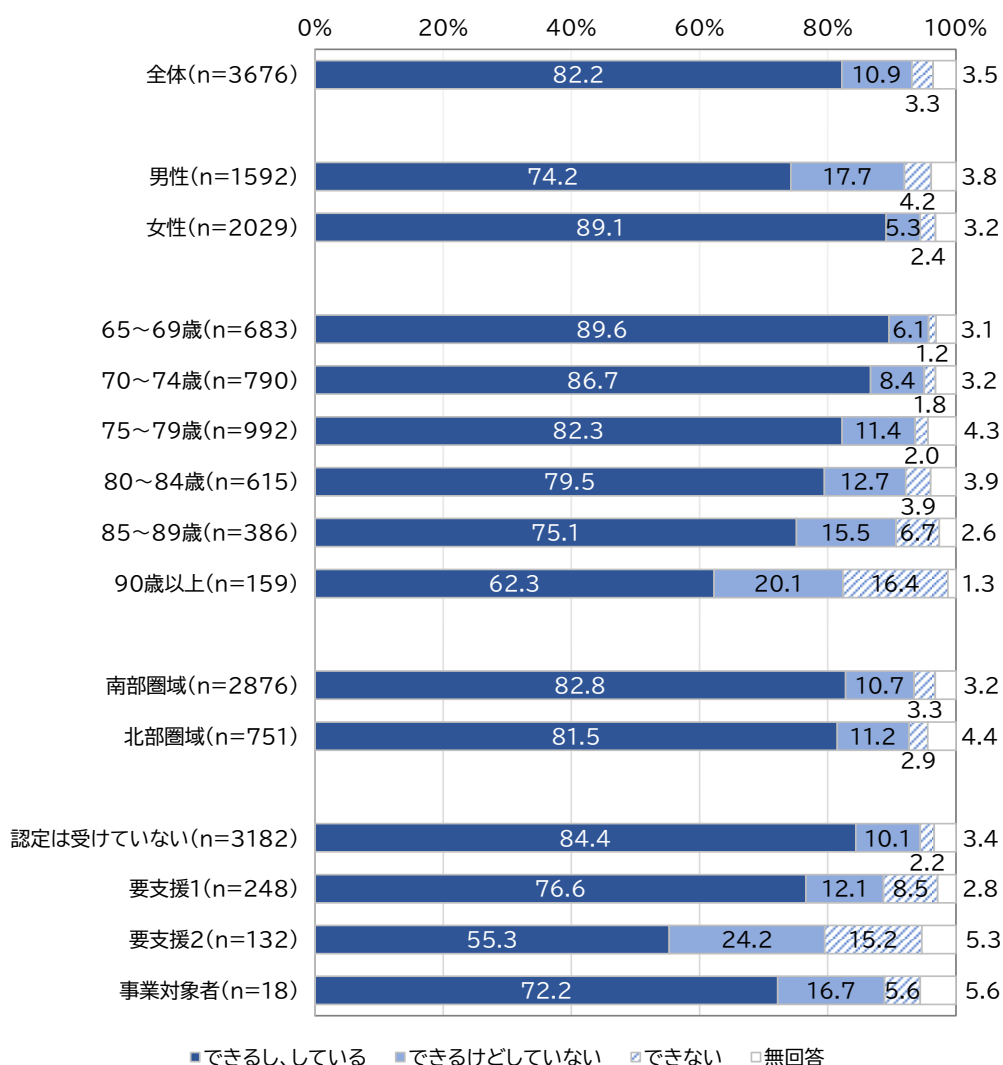
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

「できるし、している」が82.2%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が10.9%、「できない」が3.3%となっています。前回調査との大きな差はみられません。



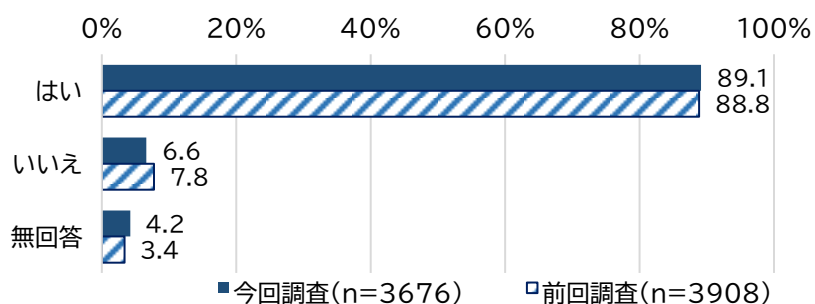
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「できない」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。要支援認定状況別では認定度が上がるほど高くなっています。



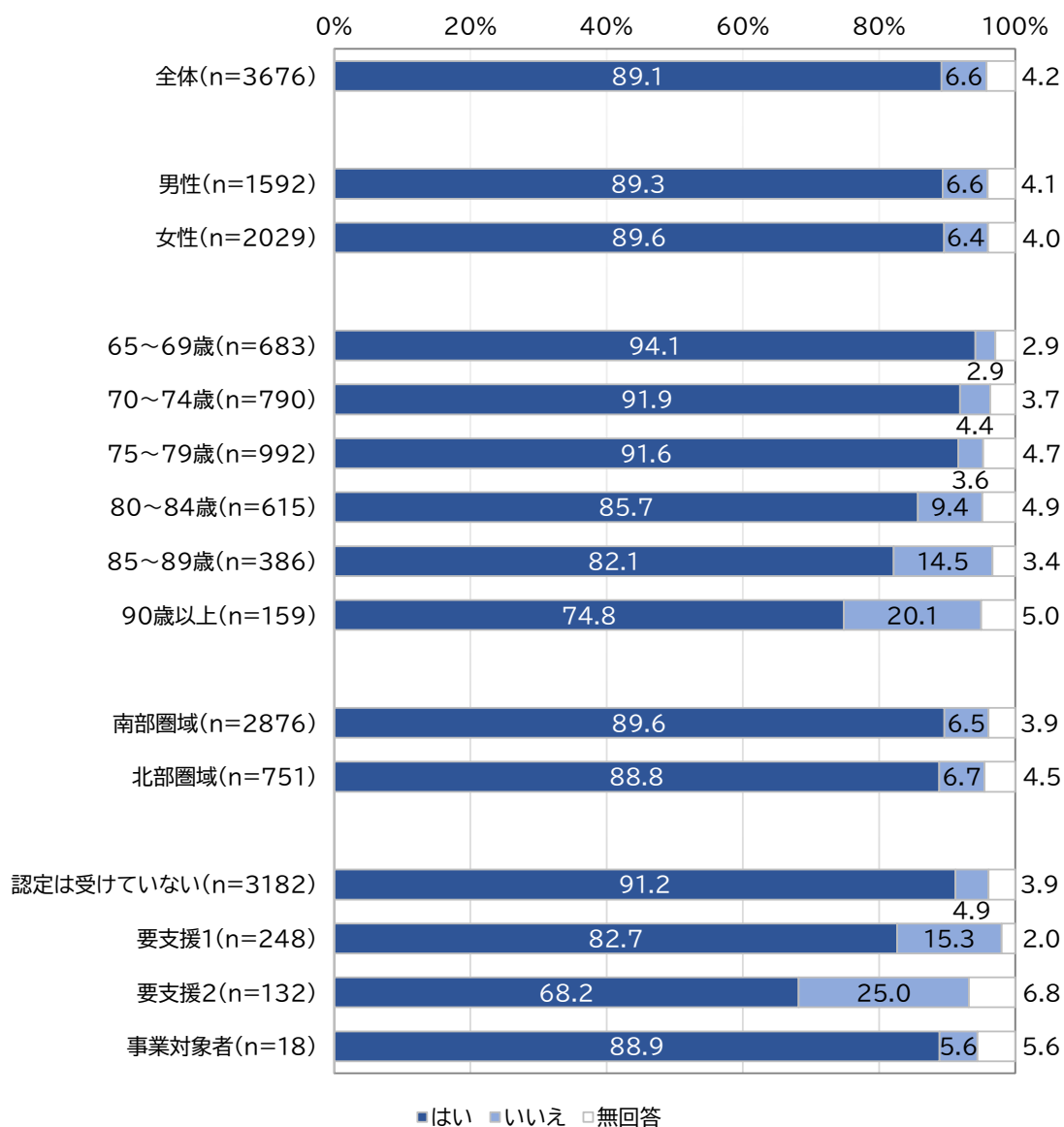
(9) 年金などの書類(市役所や病院などに出す書類)が書けますか

「はい」が89.1%、「いいえ」が6.6%となっています。前回調査との大きな差はみられません。



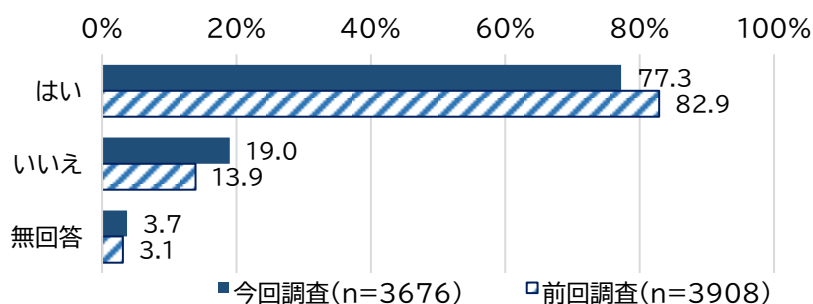
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「いいえ」の割合は、性別ではほとんど差がなく、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。要支援認定状況別では認定度が上がるほど高くなっています。



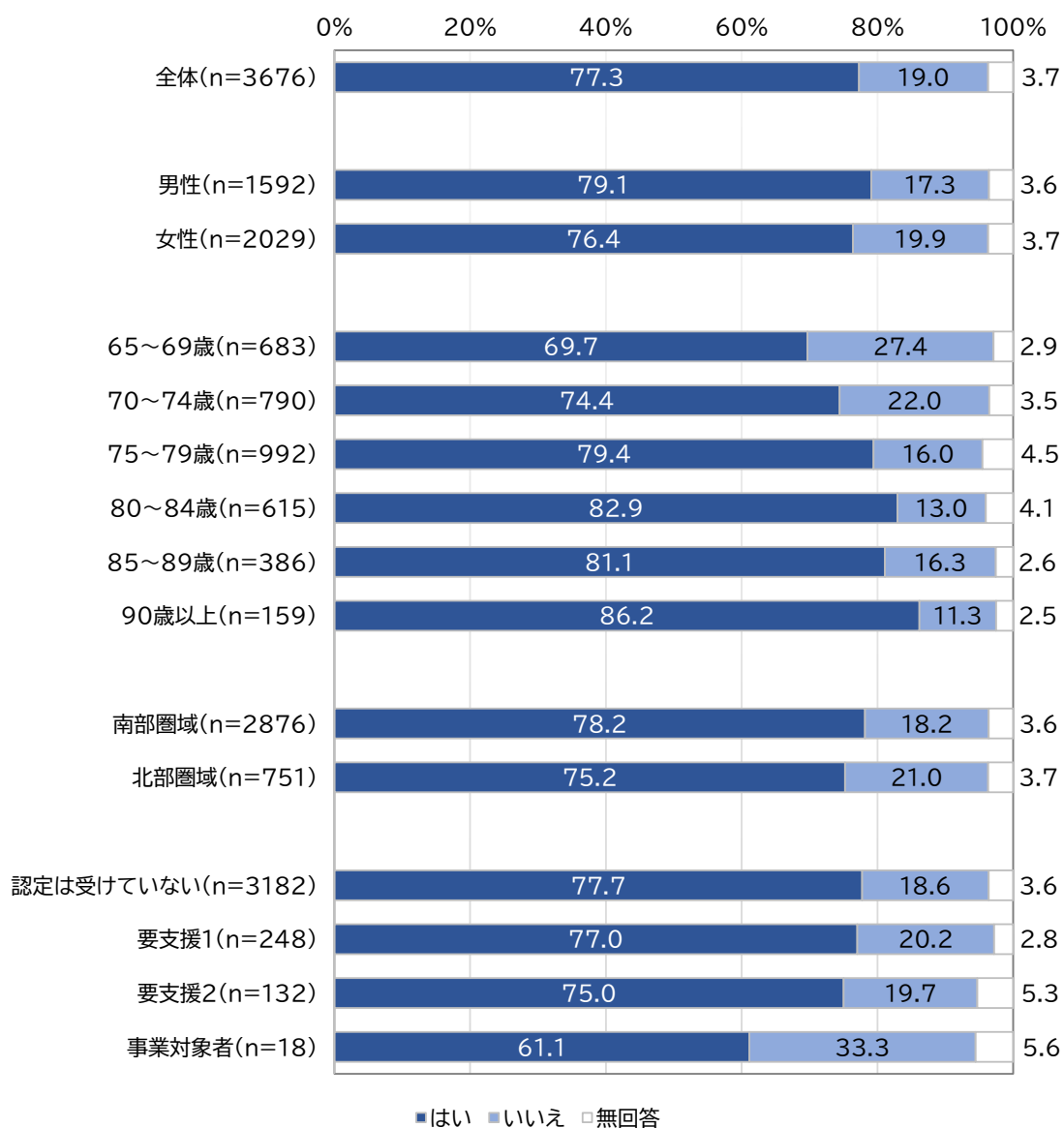
(10) 新聞を読んでいますか

「はい」が77.3%、「いいえ」が19.0%となっています。前回調査と比較すると、「いいえ」は増加し、「はい」は減少しています。



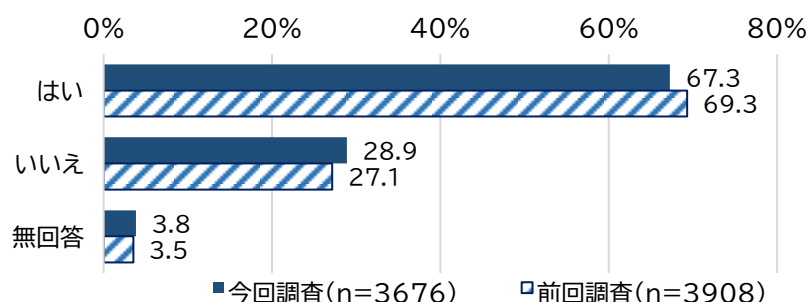
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「いいえ」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて低くなる傾向です。圏域別では北部圏域の方が高くなっています。



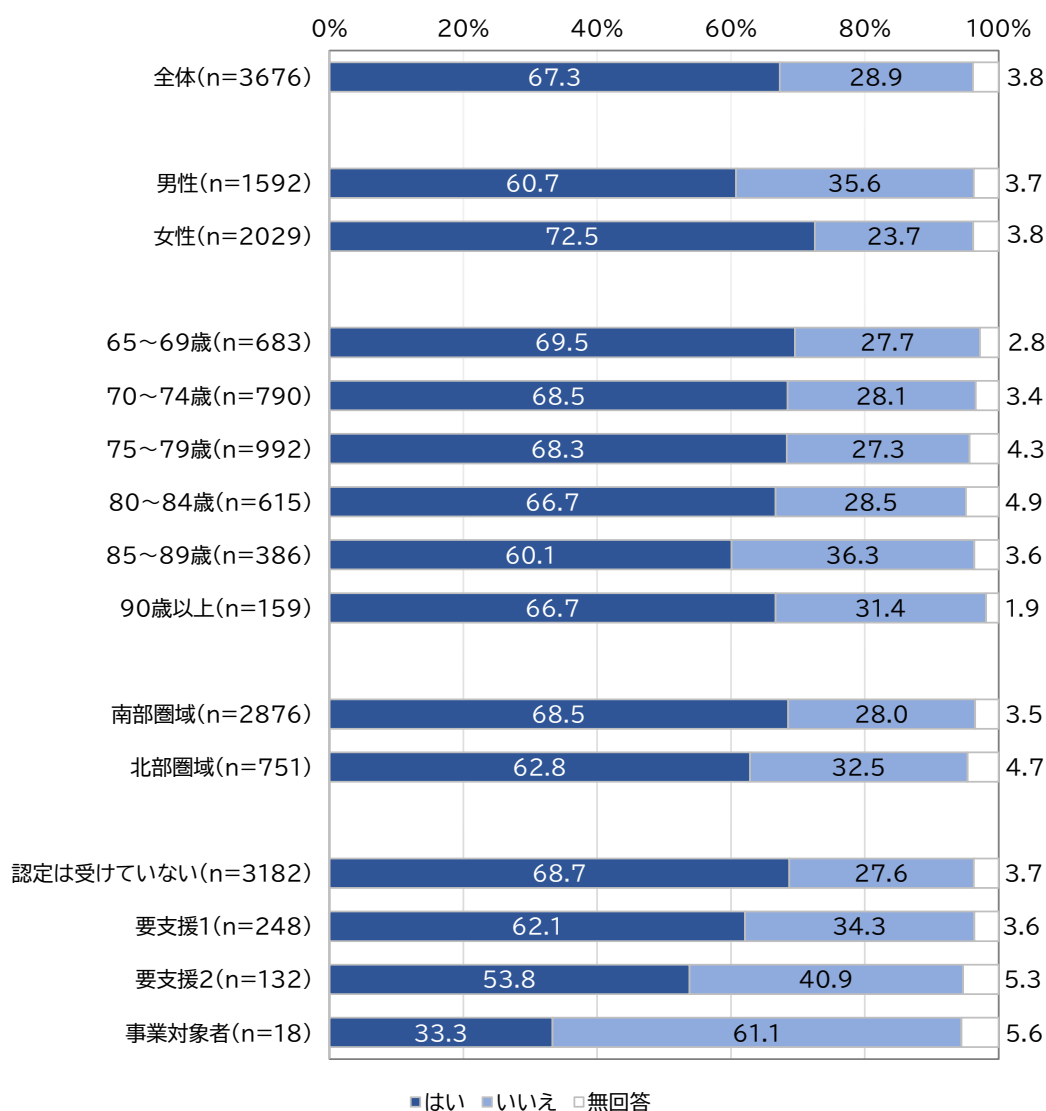
(11) 本や雑誌を読んでいますか

「はい」が67.3%、「いいえ」が28.9%となっています。前回調査と比較すると、「いいえ」は増加し、「はい」は減少しています。



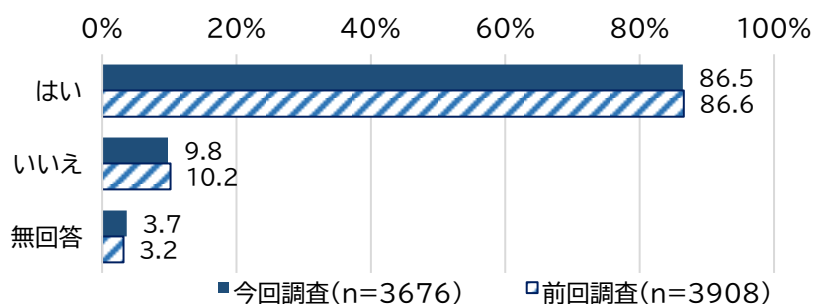
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高く、圏域別では北部圏域の方が高くなっています。要支援認定状況別では事業対象者（n=18）を除き認定度が上がるほど高くなっています。



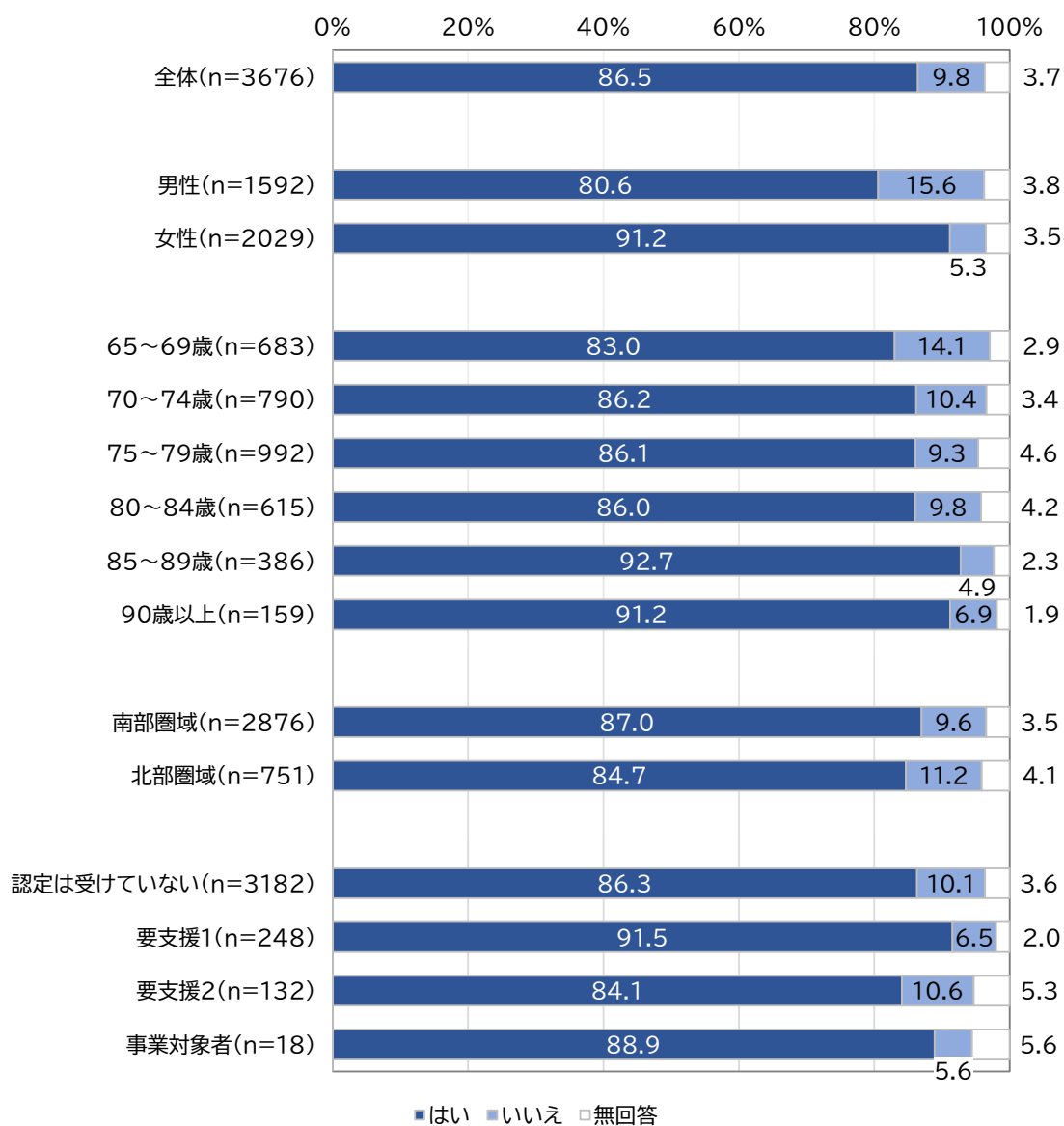
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか

「はい」が86.5%、「いいえ」が9.8%となっています。前回調査との大きな差はみられません。



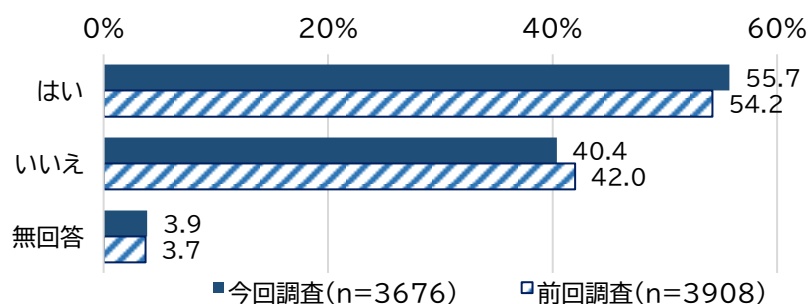
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高く、圏域別では北部圏域の方が高くなっています。



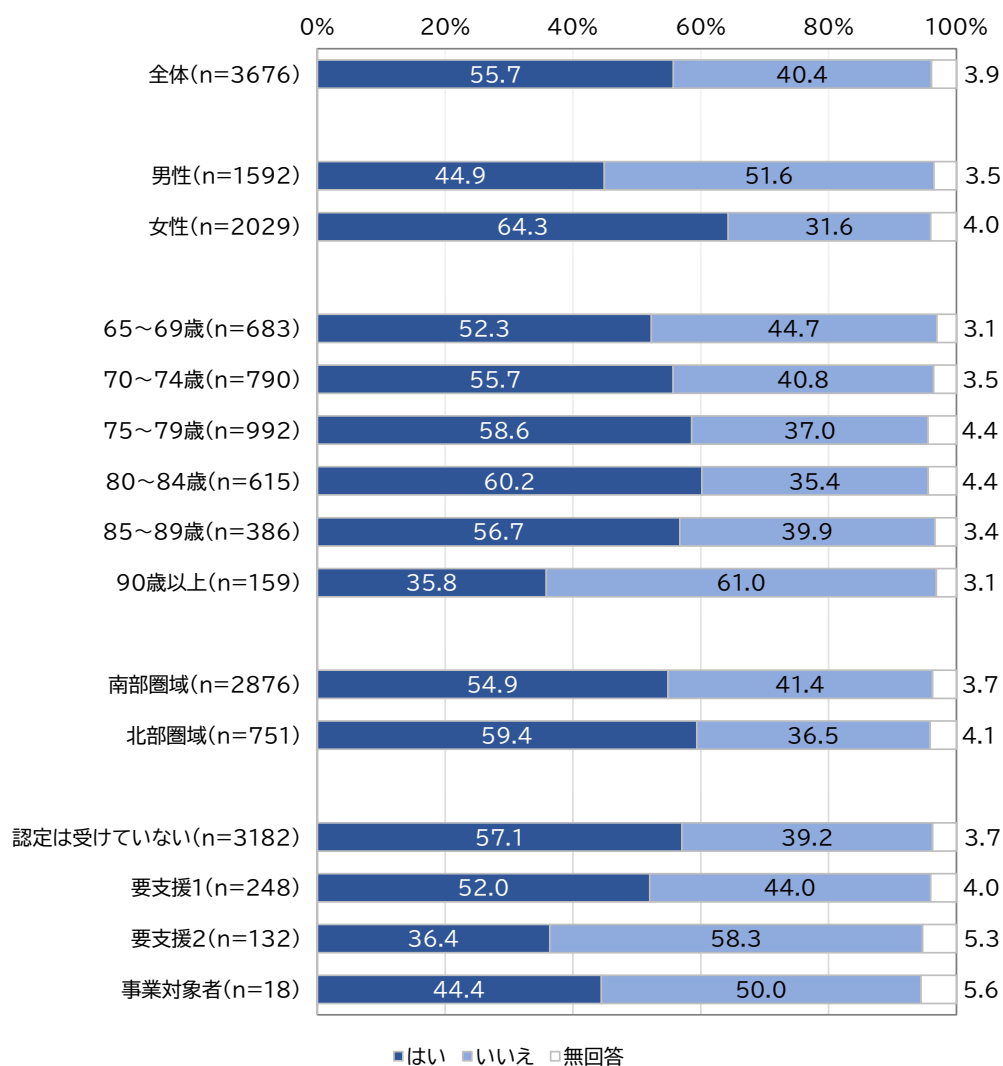
(13) 友人の家を訪ねていますか

「はい」が55.7%、「いいえ」が40.4%となっています。前回調査と比較すると、「はい」は増加し、「いいえ」は減少しています。



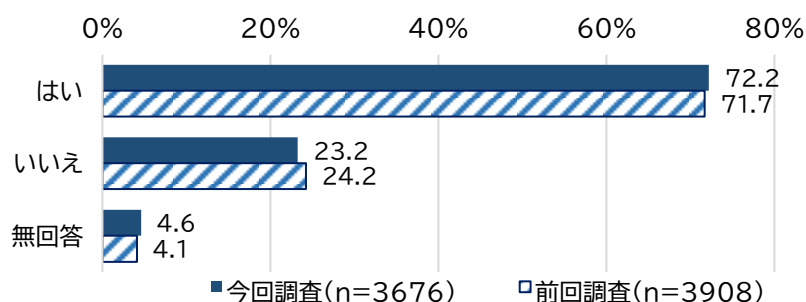
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では65～84歳までは年齢が上がるにつれて低くなっていますが、85歳以上は高くなっています。圏域別では南部圏域の方が高くなっており、要支援認定状況別では事業対象者（n=18）を除き認定度が上がるほど高くなっています。



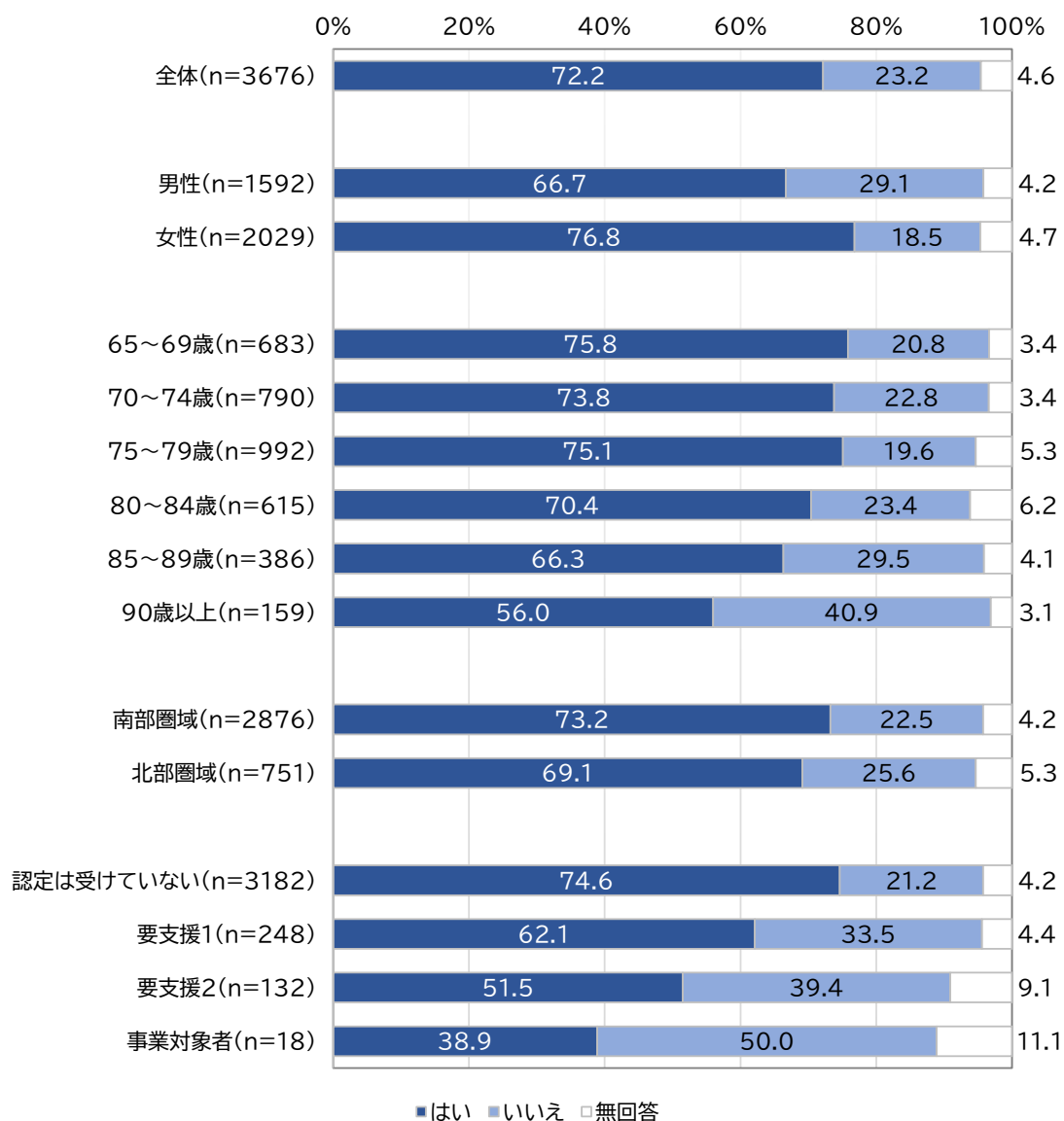
(14) 家族や友人の相談にのっていますか

「はい」が72.2%、「いいえ」が23.2%となっています。前回調査との大きな差はみられません。



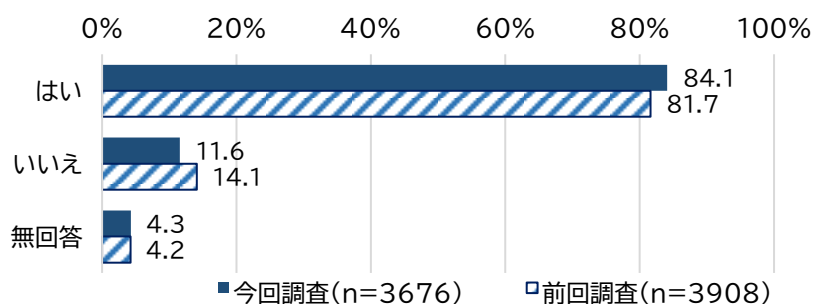
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向です。圏域別では北部圏域の方が高くなっています。



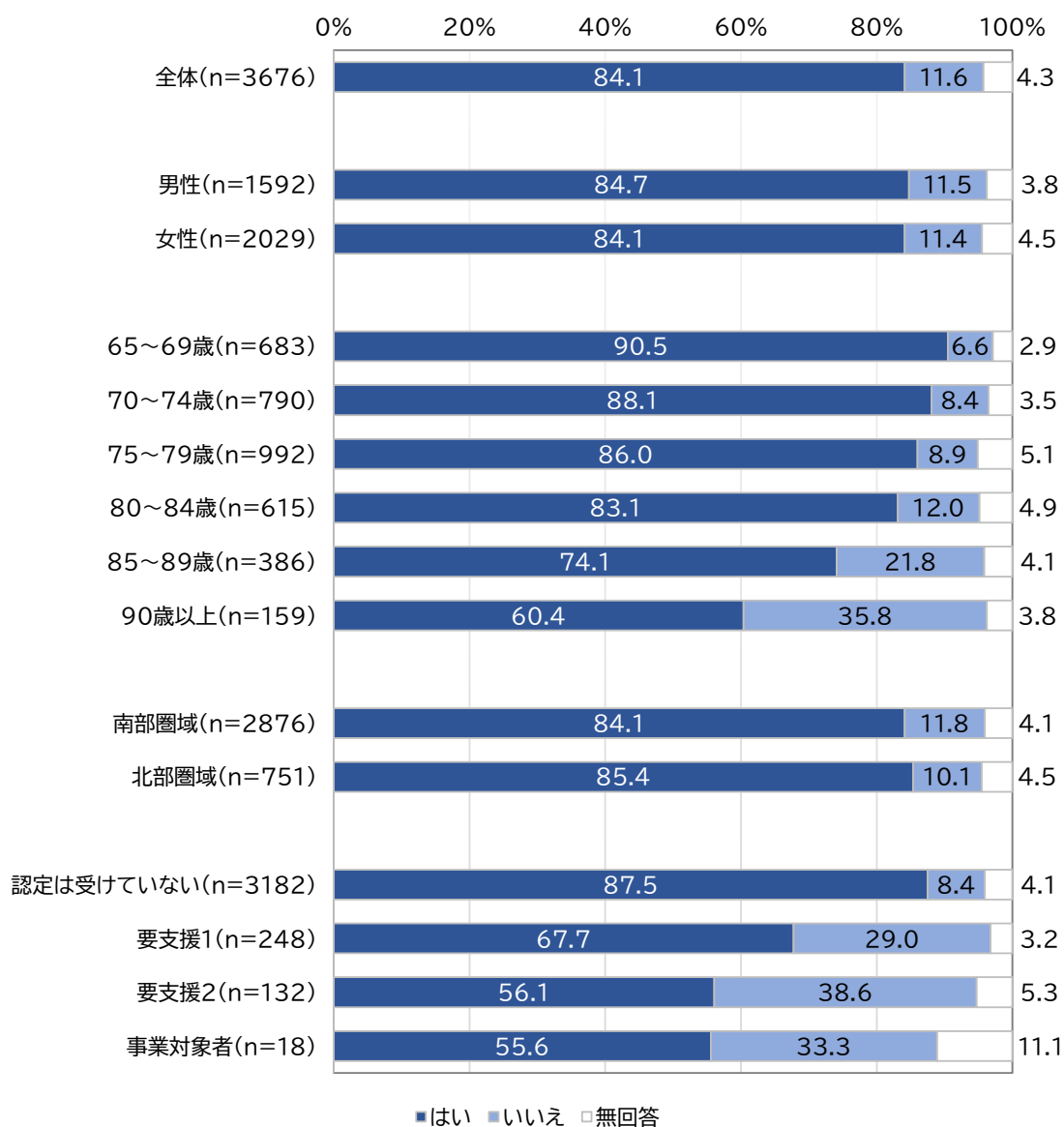
(15) 病人を見舞うことができますか

「はい」が84.1%、「いいえ」が11.6%となっています。前回調査と比較すると、「はい」は増加し、「いいえ」は減少しています。



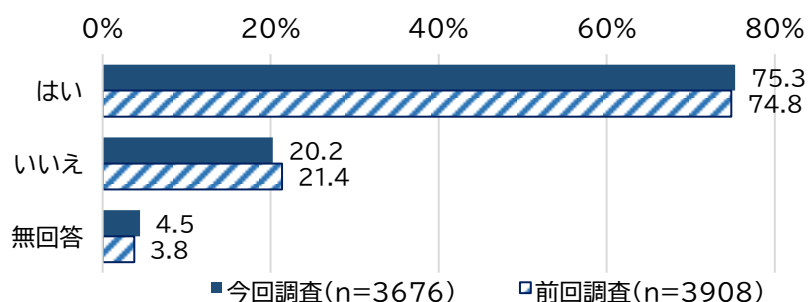
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「いいえ」の割合は、性別ではわずかに男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。圏域別ではわずかに南部圏域の方が高くなっています。



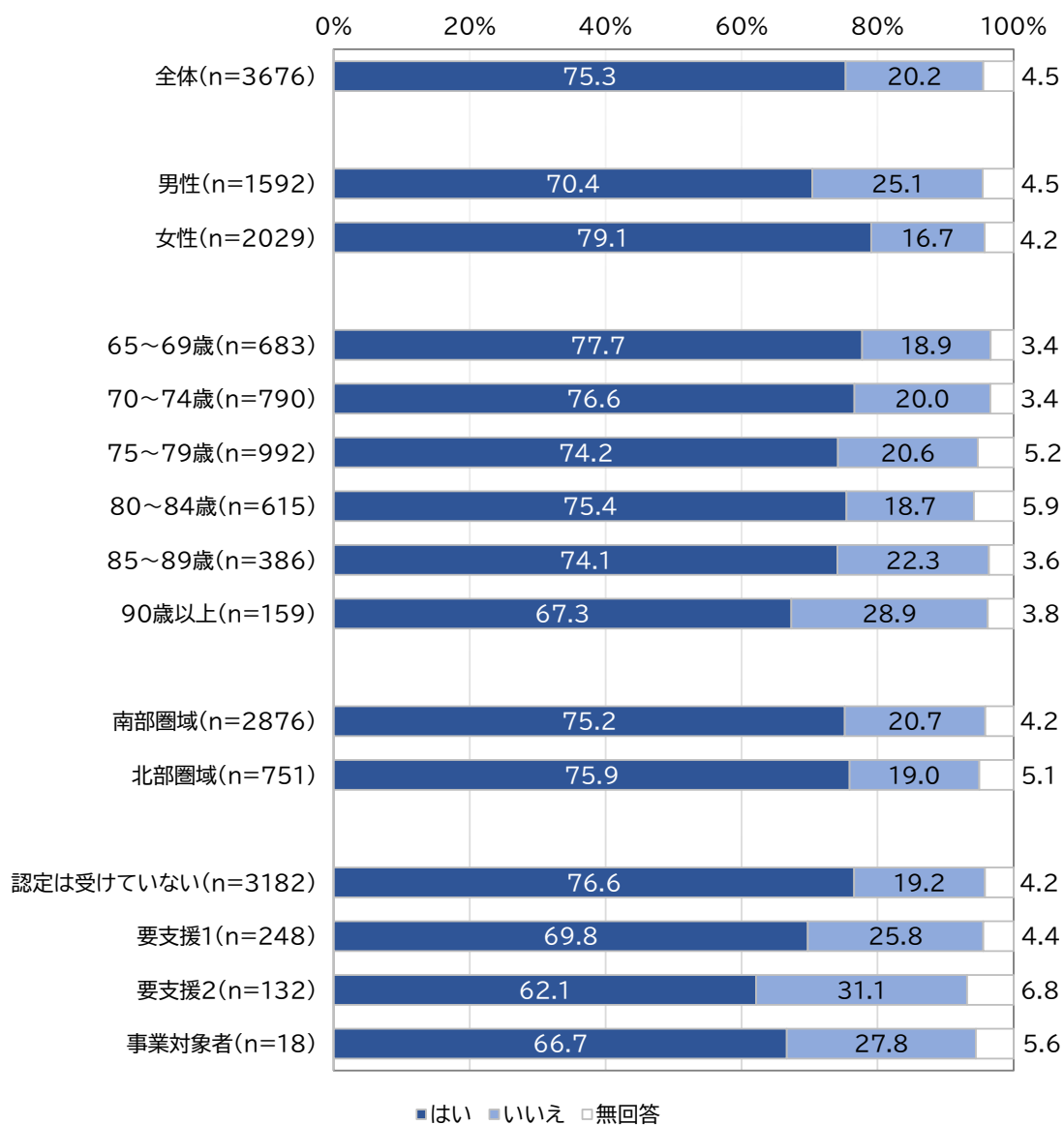
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか

「はい」が75.3%、「いいえ」が20.2%となっています。前回調査との大きな差はみられません。



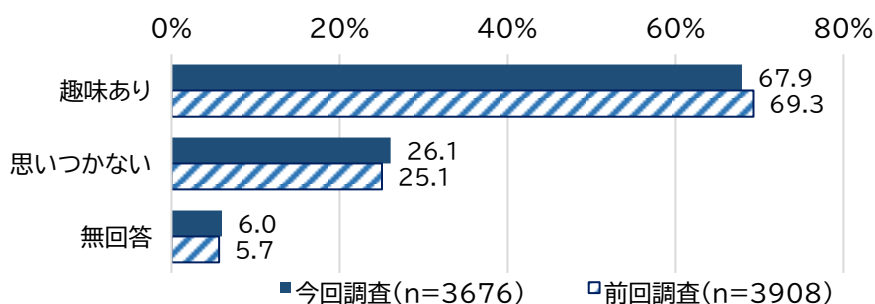
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高く、圏域別ではわずかに南部圏域の方が高くなっています。



(17) 趣味はありますか

「趣味あり」が 67.9%、「思いつかない」が 26.1%となっています。前回調査と比較すると、わずかな差ではありますが、「思いつかない」は増加し、「趣味あり」は減少しています。

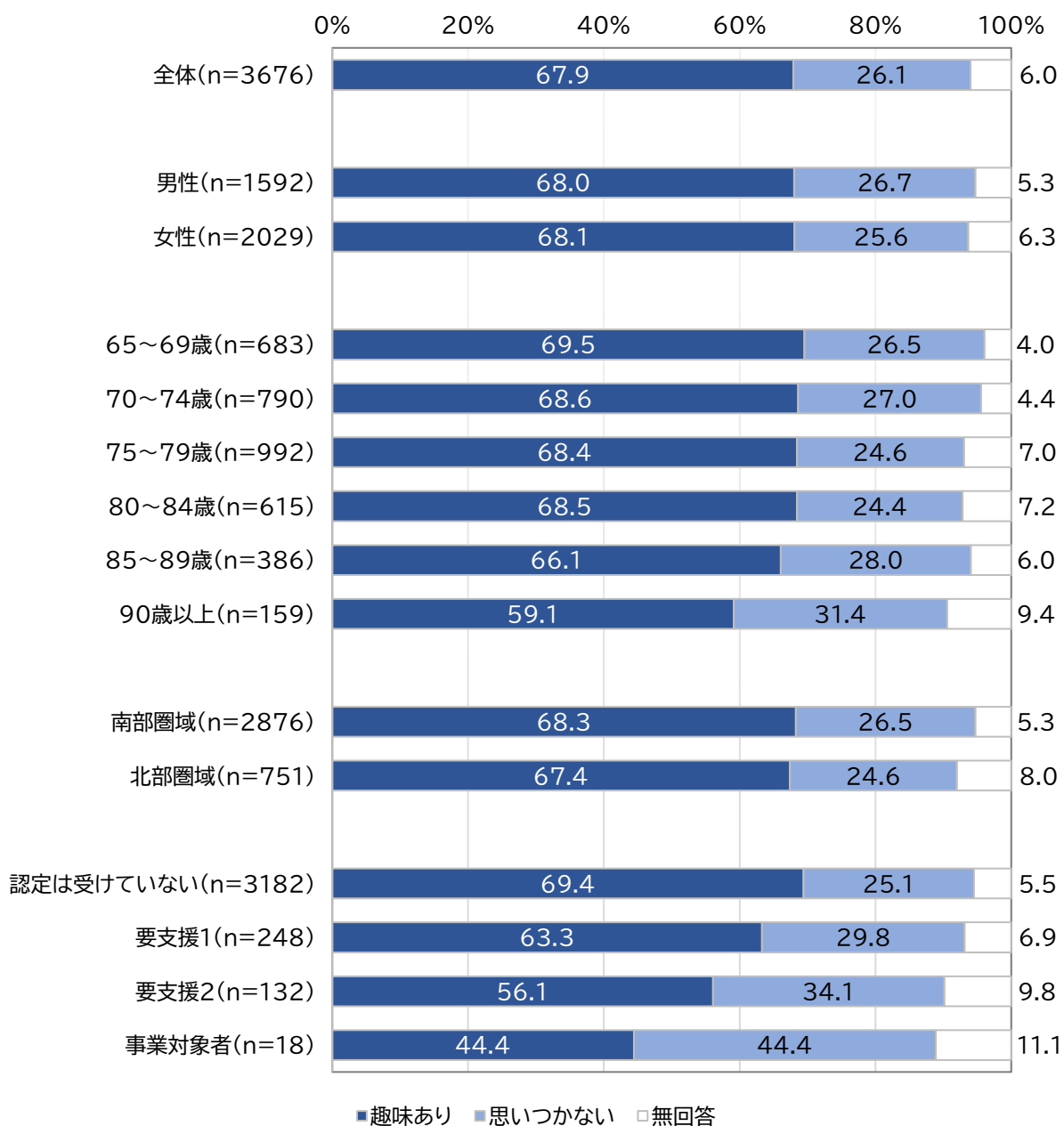


趣味の主な記入内容

読書・新聞・脳トレ (28) / 園芸・ガーデニング・花・庭いじり (27) / 手芸・編み物・裁縫・革細工等 (26) / 野菜づくり・畑仕事・農作業・家庭菜園 (24) / 音楽鑑賞・演奏・歌唱 (23) / スポーツ・運動 (ゴルフ・卓球・水泳・ボウリング等) (22) / 旅行・温泉・ドライブ (14) / テレビ鑑賞・ラジオ・映像視聴 (9) / 芸術・文化活動 (書道・俳句・生花・美術鑑賞等) (9) / ゲーム・パズル・ナンプレ (9) / ダンス・踊り・民踊・舞踊 (8) / カラオケ (8) / 写真撮影 (5) / アウトドア・釣り・登山 (5) / 仕事 (3) / パソコン (3) / 等

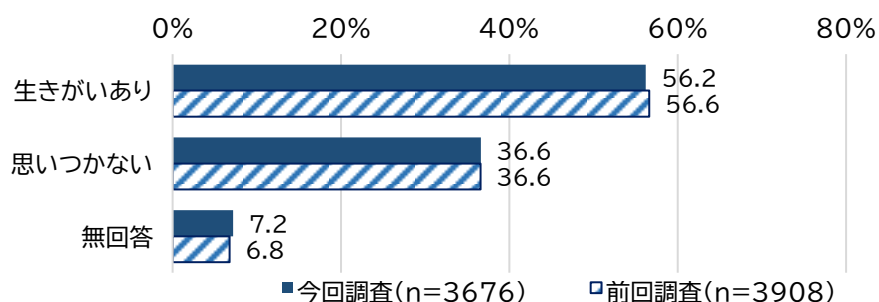
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「思いつかない」の割合は、性別では男性の方が高く、圏域別では南部圏域の方が高くなっています。要支援認定状況別では事業対象者（n=18）を除き認定度が上がるほど高くなっています。



(18) 生きがいがありますか

「生きがいあり」が56.2%、「思いつかない」が36.6%となっています。前回調査との大きな差はみられません。

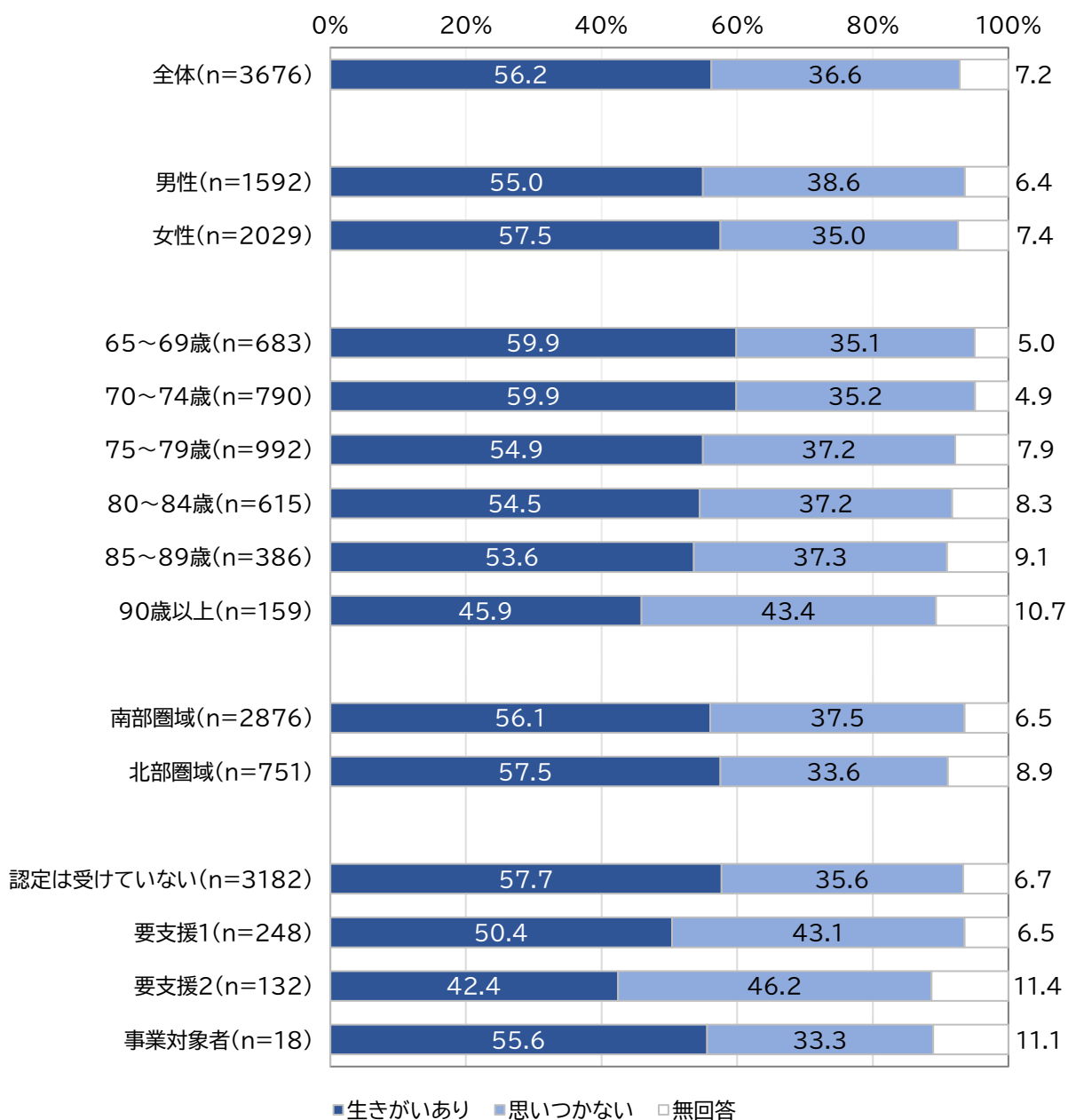


生きがいの主な記入内容

孫の成長・孫やひ孫との関わり・子や孫との交流 (160) / 仕事・働くこと・パート・アルバイト (95) / 農業 (野菜・米)・畑・家庭菜園・園芸 (90) / 健康・元気であること・長生き・体を動かす (85) / 家族・夫婦・家族との生活 (75) / 趣味・楽しみ (70) / 人との交流・友人との会話・食事会・地域交流 (60) / スポーツ・運動 (グラウンドゴルフ・テニス・卓球・太極拳等) (55) / 旅行・外出・ドライブ・温泉・登山 (50) / 食事・料理・買物 (45) / 文化・芸術・学び (音楽・手芸・書道・絵画・読書・日記等) (40) / ボランティア・地域活動・社会参加・奉仕 (35) / ペット・動物との生活 (犬・猫等) (25) / 信仰・宗教・精神的支え (20) / 投資・資産管理 (10) / 介護 (家族の介護・支援) (10) / 等

性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「思いつかない」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて徐々に高くなっています。圏域別では南部圏域の方が高く、要支援認定状況別では事業対象者（n=18）を除き認定度が上がるほど高くなっています。

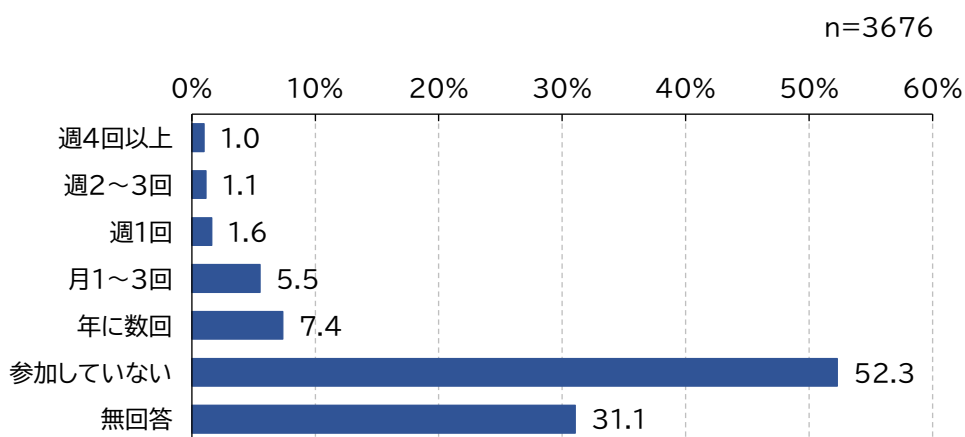


問5 地域での活動についておうかがいします

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

① ボランティアのグループ

「参加していない」が52.3%と最も多く、次いで「年に数回」が7.4%、「月1～3回」が5.5%、「週1回」が1.6%、「週2～3回」が1.1%となっています。



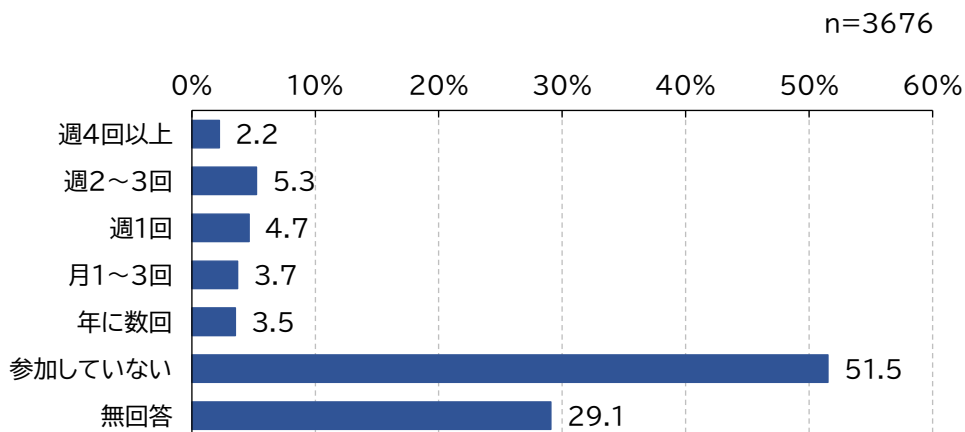
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「参加していない」の割合は、性別では男性の方が高く、圏域別では全体と比べ南部圏域の方が高くなっています。

(%)	n (回答数)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	3676	1.0	1.1	1.6	5.5	7.4	52.3	31.1
男性	1592	1.1	1.0	1.4	4.6	9.7	54.8	27.3
女性	2029	0.9	1.3	1.8	6.2	5.5	50.7	33.6
65～69歳	683	1.8	0.7	2.3	5.7	9.2	64.4	15.8
70～74歳	790	1.3	1.9	1.6	7.0	9.1	58.1	21.0
75～79歳	992	1.0	1.2	1.3	5.5	7.0	52.9	31.0
80～84歳	615	0.3	1.3	1.5	5.9	6.2	43.3	41.6
85～89歳	386	0.5	0.3	1.0	3.6	4.7	38.1	51.8
90歳以上	159	0.0	0.6	2.5	1.3	4.4	41.5	49.7
南部圏域	2876	1.0	1.1	1.6	6.2	6.5	53.7	29.9
北部圏域	751	1.1	1.2	1.7	3.2	10.5	47.8	34.5
認定は受けていない	3182	1.1	1.3	1.6	5.9	7.9	53.7	28.5
要支援1	248	0.0	0.0	2.0	2.4	4.4	44.8	46.4
要支援2	132	0.8	0.0	0.8	4.5	1.5	47.7	44.7
事業対象者	18	0.0	0.0	5.6	0.0	11.1	44.4	38.9

② スポーツ関係のグループやクラブ

「参加していない」が51.5%と最も多く、次いで「週2～3回」が5.3%、「週1回」が4.7%、「月1～3回」が3.7%、「年に数回」が3.5%となっています。



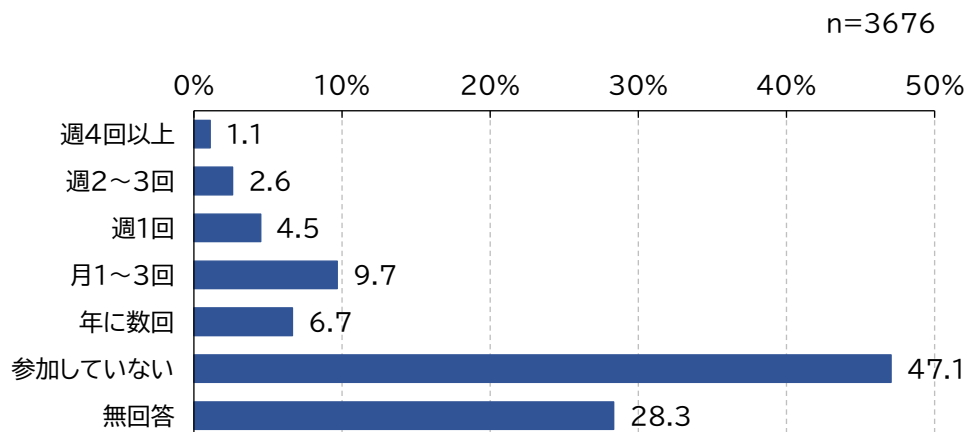
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「参加していない」の割合は、性別では男性の方が高く、圏域別では全体と比べ南部圏域の方が高くなっています。

(%)	n (回答数)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	3676	2.2	5.3	4.7	3.7	3.5	51.5	29.1
男性	1592	2.1	3.6	3.3	4.3	5.7	54.7	26.4
女性	2029	2.3	6.6	5.9	3.3	2.0	49.3	30.7
65～69歳	683	2.3	3.4	5.4	4.5	4.2	65.2	14.9
70～74歳	790	1.5	4.8	5.2	4.7	4.1	60.4	19.4
75～79歳	992	2.5	5.8	5.7	3.6	3.1	50.3	28.8
80～84歳	615	3.1	7.0	3.3	2.8	4.6	41.8	37.6
85～89歳	386	2.3	5.4	3.6	3.6	2.1	35.0	47.9
90歳以上	159	0.0	5.7	1.3	0.6	0.6	38.4	53.5
南部圏域	2876	2.2	5.6	5.4	3.7	3.5	52.1	27.6
北部圏域	751	2.5	4.3	2.1	3.9	3.7	50.1	33.4
認定は受けていない	3182	2.5	5.7	4.9	4.1	3.9	53.0	26.1
要支援1	248	0.4	2.8	4.4	1.2	2.0	41.9	47.2
要支援2	132	0.0	2.3	2.3	2.3	1.5	46.2	45.5
事業対象者	18	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61.1	38.9

③ 趣味関係のグループ

「参加していない」が47.1%と最も多く、次いで「月1～3回」が9.7%、「年に数回」が6.7%、「週1回」が4.5%、「週2～3回」が2.6%となっています。



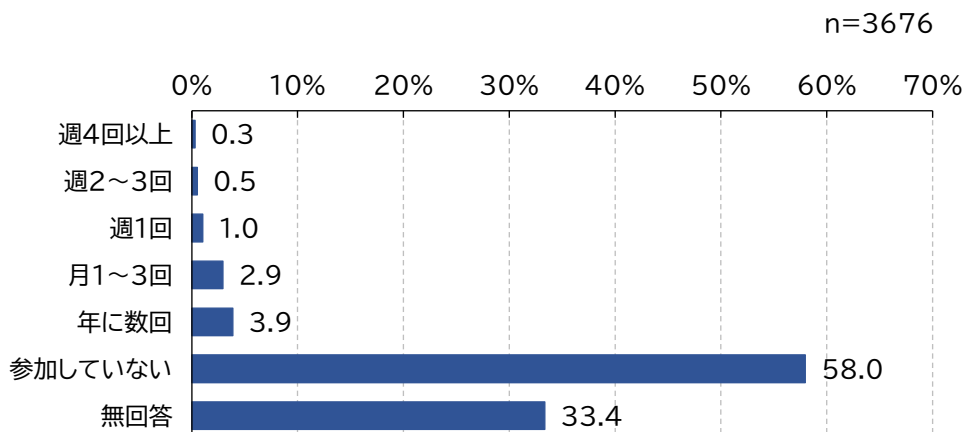
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「参加していない」の割合は、性別では男性の方が高く、圏域別では全体と比べ南部圏域の方が高くなっています。

(%)	n (回答数)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	3676	1.1	2.6	4.5	9.7	6.7	47.1	28.3
男性	1592	1.3	2.4	3.6	8.7	8.7	50.6	24.7
女性	2029	1.0	2.8	5.3	10.6	5.1	44.5	30.8
65～69歳	683	1.2	2.0	3.5	9.8	7.5	61.6	14.3
70～74歳	790	0.8	1.6	5.4	10.6	8.0	54.6	19.0
75～79歳	992	1.2	2.5	5.0	11.1	6.7	45.2	28.3
80～84歳	615	1.6	4.6	3.9	9.3	6.2	37.1	37.4
85～89歳	386	1.0	2.6	4.9	7.8	4.7	33.4	45.6
90歳以上	159	0.6	3.1	3.1	3.1	4.4	34.6	50.9
南部圏域	2876	1.1	2.9	4.8	9.9	6.4	48.1	26.7
北部圏域	751	1.1	1.6	3.6	8.9	8.0	43.7	33.2
認定は受けていない	3182	1.3	2.7	4.7	10.0	7.1	48.5	25.7
要支援1	248	0.0	1.2	2.8	10.5	3.6	37.1	44.8
要支援2	132	0.0	3.8	4.5	3.8	3.8	43.9	40.2
事業対象者	18	0.0	0.0	5.6	5.6	11.1	44.4	33.3

④ 学習・教養サークル

「参加していない」が58.0%と最も多く、次いで「年に数回」が3.9%、「月1～3回」が2.9%、「週1回」が1.0%となっています。



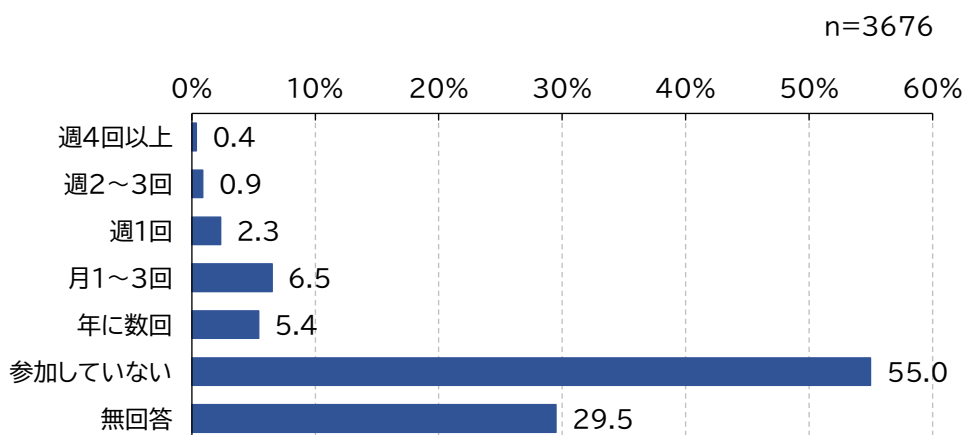
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「参加していない」の割合は、性別では男性の方が高く、圏域別では全体と比べ南部圏域の方が高くなっています。

(%)		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
	n (回答数)							
全体	3676	0.3	0.5	1.0	2.9	3.9	58.0	33.4
男性	1592	0.3	0.3	0.6	1.8	3.9	64.1	29.1
女性	2029	0.3	0.7	1.4	3.9	3.9	53.7	36.1
65～69歳	683	0.3	0.4	1.5	2.0	4.0	74.1	17.7
70～74歳	790	0.1	0.1	1.6	3.3	5.1	67.2	22.5
75～79歳	992	0.5	0.7	0.7	3.2	3.9	57.3	33.7
80～84歳	615	0.5	0.8	0.5	3.6	3.9	46.5	44.2
85～89歳	386	0.0	0.0	1.0	3.1	2.8	40.2	52.8
90歳以上	159	0.0	1.9	0.0	0.6	1.3	41.5	54.7
南部圏域	2876	0.3	0.5	0.9	3.1	3.9	59.4	31.8
北部圏域	751	0.3	0.5	1.5	2.5	4.0	53.7	37.5
認定は受けていない	3182	0.3	0.5	1.1	3.0	4.2	60.2	30.6
要支援1	248	0.0	0.8	1.6	3.2	2.8	42.7	48.8
要支援2	132	0.0	0.8	0.0	1.5	0.8	49.2	47.7
事業対象者	18	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	61.1	38.9

⑤ 各地区のサロン活動や健康広場、おたっしや輪(サークル)など介護予防のための通いの場

「参加していない」が55.0%と最も多く、次いで「月1～3回」が6.5%、「年に数回」が5.4%、「週1回」が2.3%となっています。



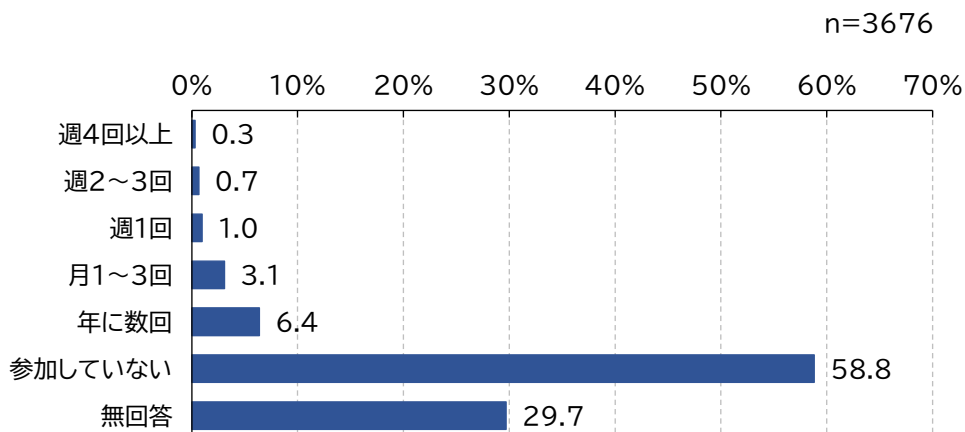
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「参加していない」の割合は、性別では男性の方が高く、圏域別では全体と比べ南部圏域の方が高くなっています。

(%)	n (回答数)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	3676	0.4	0.9	2.3	6.5	5.4	55.0	29.5
男性	1592	0.3	0.4	0.9	3.1	4.8	63.2	27.3
女性	2029	0.4	1.3	3.5	9.3	6.0	48.8	30.6
65～69歳	683	0.1	0.3	0.6	3.2	2.8	76.1	16.8
70～74歳	790	0.3	1.0	1.0	5.4	6.3	65.4	20.5
75～79歳	992	0.2	1.0	2.3	6.8	6.8	52.6	30.3
80～84歳	615	0.5	1.3	3.7	10.9	5.9	40.7	37.1
85～89歳	386	1.3	1.0	4.9	8.8	4.7	34.2	45.1
90歳以上	159	0.6	0.6	5.0	3.8	5.7	35.8	48.4
南部圏域	2876	0.3	1.0	2.7	5.6	5.6	56.1	28.7
北部圏域	751	0.8	0.7	1.1	10.3	4.9	51.1	31.2
認定は受けていない	3182	0.3	0.8	1.4	6.5	5.5	58.0	27.5
要支援1	248	1.6	0.4	12.1	8.5	6.0	33.5	37.9
要支援2	132	0.0	3.0	6.1	6.8	6.1	39.4	38.6
事業対象者	18	0.0	0.0	22.2	0.0	5.6	38.9	33.3

⑥ 老人クラブ

「参加していない」が58.8%と最も多く、次いで「年に数回」が6.4%、「月1～3回」が3.1%、「週1回」が1.0%となっています。



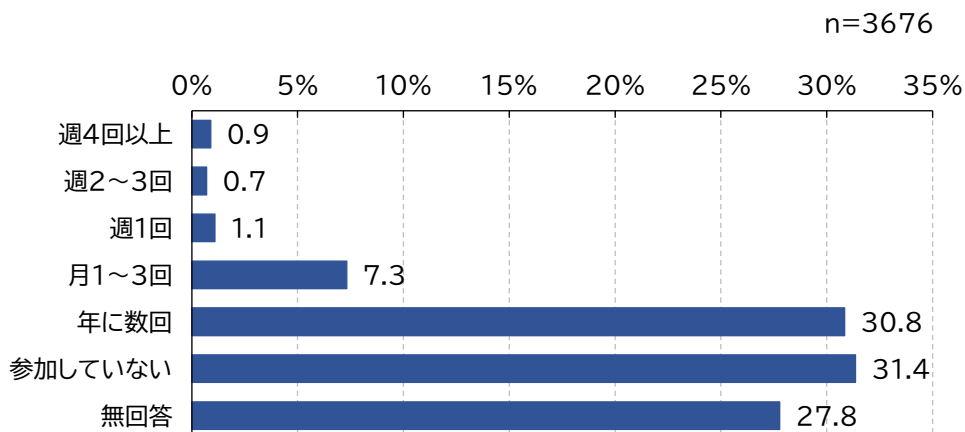
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「参加していない」の割合は、性別では男性の方が高く、圏域別では全体と比べ南部圏域の方が高くなっています。

(%)		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
	n (回答数)							
全体	3676	0.3	0.7	1.0	3.1	6.4	58.8	29.7
男性	1592	0.6	0.7	0.9	2.8	6.5	62.3	26.2
女性	2029	0.1	0.7	1.0	3.4	6.4	56.4	31.9
65～69歳	683	0.0	0.1	0.1	0.4	0.9	79.9	18.4
70～74歳	790	0.0	0.5	0.1	1.5	4.1	72.3	21.5
75～79歳	992	0.2	0.6	1.0	3.5	7.6	57.0	30.1
80～84歳	615	0.8	1.0	2.0	5.4	10.9	42.9	37.1
85～89歳	386	1.0	0.8	2.3	6.5	10.1	35.8	43.5
90歳以上	159	0.6	3.1	1.9	3.1	9.4	35.2	46.5
南部圏域	2876	0.4	0.8	1.1	3.3	6.5	59.9	28.1
北部圏域	751	0.0	0.4	0.4	2.5	6.4	55.7	34.6
認定は受けていない	3182	0.3	0.7	0.8	3.0	6.2	61.5	27.5
要支援1	248	0.4	0.4	2.8	4.4	9.7	41.1	41.1
要支援2	132	0.0	1.5	1.5	3.8	9.8	43.2	40.2
事業対象者	18	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	61.1	27.8

⑦ 町内会・自治会

「参加していない」が31.4%と最も多く、次いで「年に数回」が30.8%、「月1～3回」が7.3%、「週1回」が1.1%となっています。



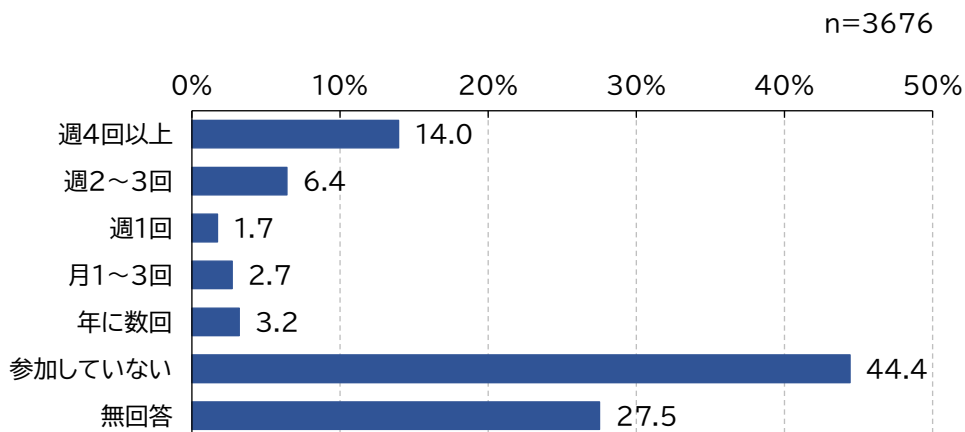
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「参加していない」の割合は、性別では女性の方が高く、圏域別では全体と比べ南部圏域の方が高くなっています。

(%)	n (回答数)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	3676	0.9	0.7	1.1	7.3	30.8	31.4	27.8
男性	1592	1.8	1.3	1.6	11.4	34.9	27.8	21.3
女性	2029	0.2	0.3	0.7	4.2	28.1	34.2	32.3
65～69歳	683	2.0	0.6	2.3	12.2	35.1	34.4	13.3
70～74歳	790	0.9	1.3	1.0	8.9	35.6	34.8	17.6
75～79歳	992	0.5	0.6	0.4	7.2	34.5	29.6	27.2
80～84歳	615	0.7	0.3	1.6	5.0	26.5	27.6	38.2
85～89歳	386	0.5	1.0	0.0	2.3	20.7	28.8	46.6
90歳以上	159	0.6	0.0	0.6	2.5	13.8	32.7	49.7
南部圏域	2876	1.0	0.8	1.3	7.4	31.5	31.6	26.5
北部圏域	751	0.7	0.5	0.3	7.3	29.3	30.6	31.3
認定は受けていない	3182	1.0	0.8	1.1	8.0	33.2	30.8	25.0
要支援1	248	0.0	0.0	0.8	2.8	17.3	34.7	44.4
要支援2	132	0.0	0.0	0.8	1.5	13.6	41.7	42.4
事業対象者	18	5.6	0.0	0.0	11.1	22.2	38.9	22.2

⑧ 収入のある仕事

「参加していない」が44.4%と最も多く、次いで「週4回以上」が14.0%、「週2～3回」が6.4%、「年に数回」が3.2%、「月1～3回」が2.7%となっています。



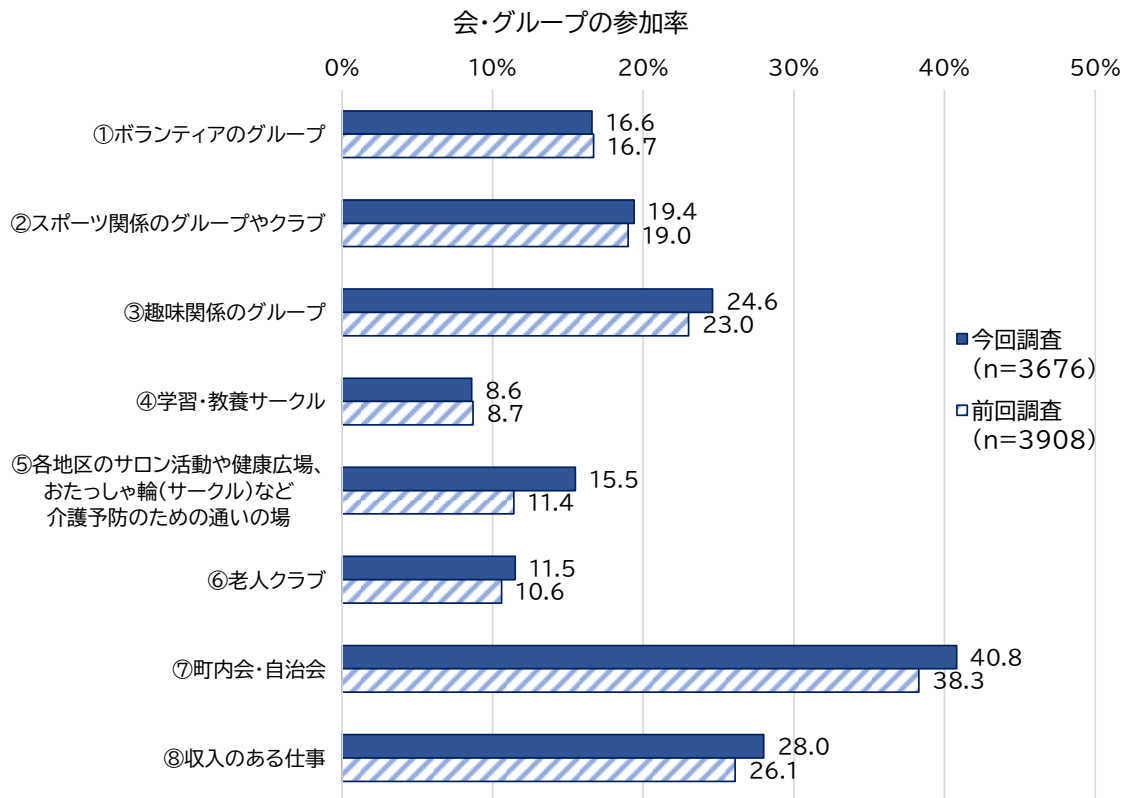
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「参加していない」の割合は、性別では女性の方が高く、圏域別では全体と比べ南部圏域の方が高くなっています。

(%)	n (回答数)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	3676	14.0	6.4	1.7	2.7	3.2	44.4	27.5
男性	1592	17.2	6.7	2.2	3.7	5.5	42.1	22.6
女性	2029	11.4	6.3	1.4	2.0	1.5	46.5	30.9
65～69歳	683	33.4	11.1	2.3	3.2	2.8	36.0	11.1
70～74歳	790	17.6	8.9	1.1	3.7	4.3	47.8	16.6
75～79歳	992	9.3	7.8	2.5	2.9	3.5	47.2	26.8
80～84歳	615	5.7	1.6	1.1	2.8	2.9	47.2	38.7
85～89歳	386	2.8	0.5	1.0	0.8	2.6	42.2	50.0
90歳以上	159	1.3	0.0	0.0	0.0	1.3	44.7	52.8
南部圏域	2876	13.9	6.1	1.7	2.6	3.0	46.2	26.4
北部圏域	751	14.1	7.9	1.6	3.2	4.4	38.2	30.6
認定は受けていない	3182	15.7	7.3	1.9	3.1	3.5	44.1	24.4
要支援1	248	2.4	0.8	0.0	0.8	0.8	48.4	46.8
要支援2	132	0.8	0.8	0.0	0.0	1.5	52.3	44.7
事業対象者	18	11.1	0.0	5.6	0.0	5.6	44.4	33.3

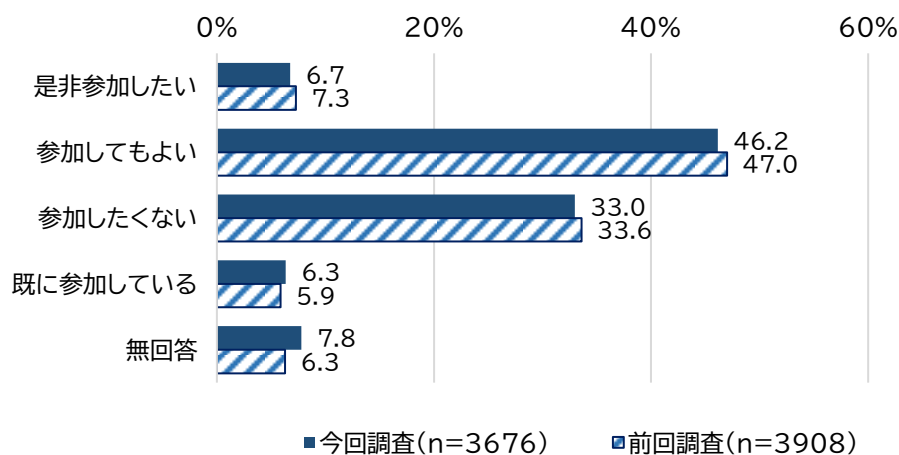
参加率の前回比較

「年に数回」から「週4回以上」までを合わせた割合を『参加率』として集計し、前回調査と比較すると、「⑤各地区のサロン活動や健康広場、おたっしや輪(サークル)など介護予防のための通いの場」は4.1ポイント、「⑦町内会・自治会」は2.5ポイント、「⑧収入のある仕事」は1.9ポイントの増加となっています。



(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

「参加してもよい」が46.2%と最も多く、次いで「参加したくない」が33.0%、「是非参加したい」が6.7%、「既に参加している」が6.3%となっています。前回調査と比較すると、「既に参加している」はわずかに増加しています。



性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「既に参加している」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では90歳以上で8.8%と最も高くなっています。圏域別では全体と比べわずかに北部圏域の方が高くなっており、要支援認定状況別では認定度が上がるほど低くなる傾向です。

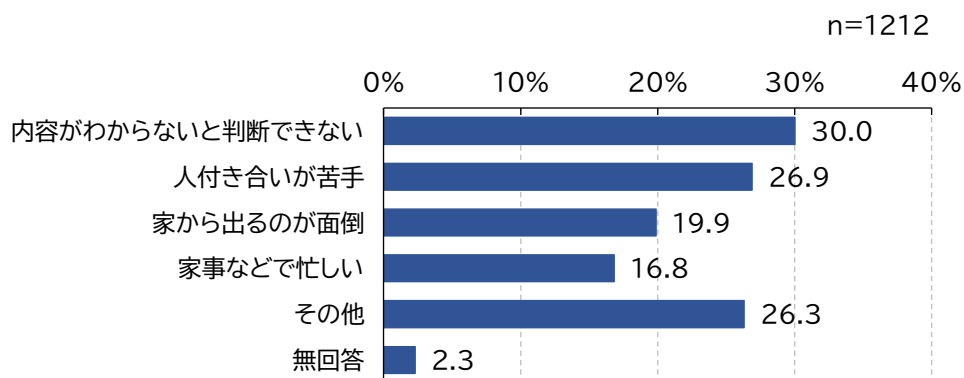
「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた参加の意向は、年齢が上がるにつれて低くなる傾向ですが、80～84歳では高くなっています。

(%)	n (回答数)	是非参加 したい	参加して もよい	参加した くない	既に参加 している	無回答
全体	3676	6.7	46.2	33.0	6.3	7.8
男性	1592	4.7	46.1	36.4	5.3	7.4
女性	2029	8.3	46.5	30.4	7.1	7.6
65～69歳	683	6.9	54.8	28.7	4.5	5.1
70～74歳	790	5.6	49.4	36.2	4.9	3.9
75～79歳	992	5.6	44.4	34.0	7.1	9.0
80～84歳	615	9.3	43.9	30.2	7.6	8.9
85～89歳	386	7.0	42.7	32.6	7.5	10.1
90歳以上	159	9.4	25.2	40.9	8.8	15.7
南部圏域	2876	6.8	46.6	33.2	6.0	7.4
北部圏域	751	6.7	45.3	32.4	7.6	8.1
認定は受けていない	3182	6.6	47.9	32.2	6.5	6.8
要支援1	248	9.7	41.1	34.7	5.6	8.9
要支援2	132	6.8	27.3	46.2	5.3	14.4
事業対象者	18	5.6	44.4	44.4	5.6	0.0

(2)で「参加したくない」を選択した方

(2)-① 参加者として参加したくない理由を教えてください【複数回答】

「内容がわからないと判断できない」が30.0%と最も多く、次いで「人付き合いが苦手」が26.9%、「その他」が26.3%、「家から出るのが面倒」が19.9%、「家事などで忙しい」が16.8%となっています。



「その他」の主な記入内容

仕事・就労による多忙（自営業・仕事が忙しい・営業・アルバイト）（75）／健康・体調不良・持病（体調不良・病気・高齢・体力不足）（75）／身体機能の制約（足腰の痛み・歩行困難・視覚障害・聴覚障害・障害）（70）／介護・家族の世話（配偶者・親・要介護者の介護）（30）／自分の生活・趣味を優先（趣味が忙しい・1人で十分・自分のペース）（30）／体力・移動面の不安（移動できない・歩けない・外出が不安）（25）／既に他の活動をしている（別サークル・デイサービス・友人活動）（20）／時間拘束・役割負担への抵抗（時間で縛られるのが嫌・役職が嫌）（15）／感染症への不安（感染症対策）（5）／等

性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

参加者として参加したくない理由の割合を性別にみると、「人付き合いが苦手」「内容がわからないと判断できない」は男性の方が高く、「家から出るのが面倒」「家事などで忙しい」は女性の方が高くなっています。

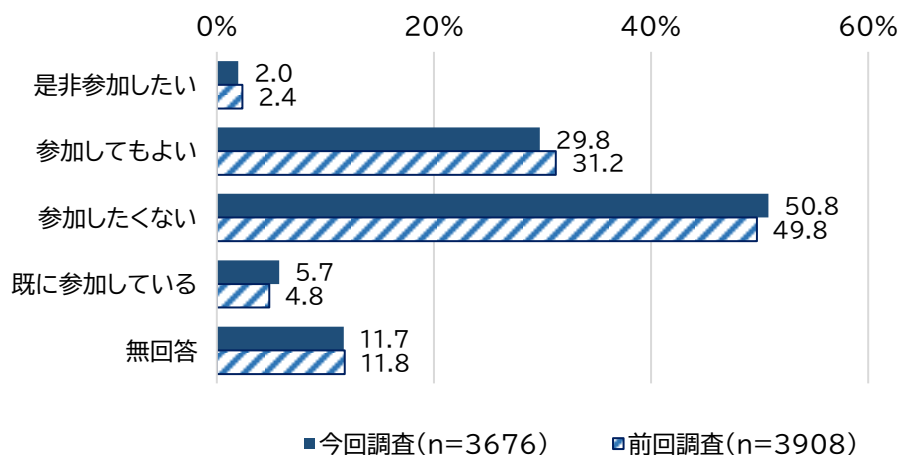
年齢別にみると、「人付き合いが苦手」「家事などで忙しい」「内容がわからないと判断できない」は70～74歳、「家から出るのが面倒」は90歳以上で最も高くなっています。

圏域別にみると、「人付き合いが苦手」「家から出るのが面倒」「内容がわからないと判断できない」は南部圏域、「家事などで忙しい」「その他」は北部圏域の方が高くなっています。

(%)	n (回答数)	人付き合いが苦手	家から出るのが面倒	家事などで忙しい	内容がわからないと判断できない	その他	無回答
全体	1212	26.9	19.9	16.8	30.0	26.3	2.3
男性	580	30.5	18.3	13.1	30.9	25.5	1.9
女性	617	24.0	21.6	20.6	29.2	26.7	2.6
65～69歳	196	31.1	13.3	14.8	34.2	29.1	2.6
70～74歳	286	32.2	14.3	19.2	34.6	23.8	1.0
75～79歳	337	28.8	19.6	17.8	29.7	24.9	3.0
80～84歳	186	19.4	27.4	16.1	25.8	23.7	2.7
85～89歳	126	18.3	22.2	19.0	23.8	34.9	3.2
90歳以上	65	21.5	36.9	4.6	21.5	26.2	1.5
南部圏域	954	28.4	20.8	15.8	30.8	25.3	2.2
北部圏域	243	22.2	16.9	21.0	26.7	30.0	2.5
認定は受けていない	1025	28.0	17.8	18.6	31.1	25.6	2.1
要支援1	86	23.3	36.0	8.1	26.7	27.9	1.2
要支援2	61	16.4	34.4	1.6	16.4	42.6	3.3
事業対象者	8	25.0	0.0	12.5	25.0	12.5	25.0

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

「参加したくない」が50.8%と最も多く、次いで「参加してもよい」が29.8%、「既に参加している」が5.7%、「是非参加したい」が2.0%となっています。前回調査と比較すると、「参加したくない」「既に参加している」はわずかに増加しています。



性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

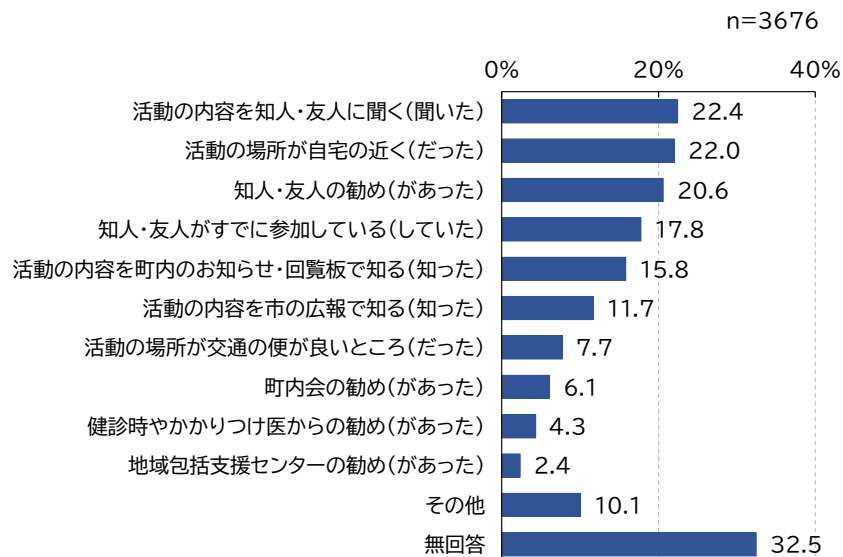
「既に参加している」の割合は、性別ではわずかに女性の方が高く、年齢別では85～89歳が7.5%と最も高くなっています。圏域別では北部圏域の方が高くなっています。

「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた参加の意向は、年齢が上がるにつれて低くなる傾向ですが、80～84歳では高くなっています。この傾向は参加者としての参加の意向と同様です。

(%)	n (回答数)	是非参加 したい	参加して もよい	参加した くない	既に参加 している	無回答
全体	3676	2.0	29.8	50.8	5.7	11.7
男性	1592	2.0	31.0	51.9	5.5	9.6
女性	2029	2.0	29.1	50.4	5.7	12.9
65～69歳	683	1.9	35.6	51.2	5.1	6.1
70～74歳	790	1.9	31.9	53.8	4.6	7.8
75～79歳	992	1.9	29.1	50.4	5.5	13.0
80～84歳	615	1.8	31.2	46.0	6.7	14.3
85～89歳	386	2.1	21.8	50.5	7.5	18.1
90歳以上	159	3.1	16.4	58.5	5.7	16.4
南部圏域	2876	2.1	30.6	51.3	5.1	11.0
北部圏域	751	1.7	27.7	49.7	7.7	13.2
認定は受けていない	3182	2.0	31.3	50.3	5.9	10.5
要支援1	248	2.4	22.2	54.8	4.4	16.1
要支援2	132	0.0	15.2	59.8	3.8	21.2
事業対象者	18	5.6	27.8	61.1	0.0	5.6

(4) どのようなきっかけがあれば、地域の健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加したいと思いますか(既に参加している方は何がきっかけで参加しましたか)【複数回答】

「活動の内容を知人・友人に聞く(聞いた)」が22.4%と最も多く、次いで「活動の場所が自宅の近く(だった)」が22.0%、「知人・友人の勧め(があった)」が20.6%、「知人・友人がすでに参加している(していた)」が17.8%、「活動の内容を町内のお知らせ・回覧板で知る(知った)」が15.8%となっています。



「その他」の主な記入内容

内容・テーマに興味や共感が持てれば(8)／体調・体力・健康状態が整えば(6)／時間的余裕・生活の区切りがついたら(6)／必要性を感じた時・状況が変わった時(4)／関わり方・負担感に配慮があれば(2)／等

性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

参加のきっかけの割合を圏域別にみると、「活動の内容を知人・友人に聞く（聞いた）」「活動の内容を市の広報で知る（知った）」「活動の内容を町内のお知らせ・回覧板で知る（知った）」「活動の場所が交通の便が良いところ（だった）」「町内会の勧め（があった）」「健診時やかかりつけ医からの勧め（があった）」は南部圏域、「活動の場所が自宅の近く（だった）」「知人・友人がすでに参加している（していた）」「知人・友人の勧め（があった）」「地域包括支援センターの勧め（があった）」「その他」は北部圏域の方が高くなっています。

(%)	n (回答数)	活動の内容を知人・友人に聞く（聞いた）	活動の内容を市の広報で知る（知った）	活動の内容を町内のお知らせ・回覧板で知る（知った）	活動の場所が自宅の近く（だった）	活動の場所が交通の便が良いところ（だった）	知人・友人がすでに参加している（していた）
全体	3676	22.4	11.7	15.8	22.0	7.7	17.8
男性	1592	20.4	10.6	15.6	16.3	6.5	16.6
女性	2029	24.2	12.6	16.2	26.7	8.8	19.0
65～69歳	683	30.7	19.5	19.0	27.2	12.2	25.0
70～74歳	790	25.8	12.0	17.0	22.8	7.3	19.0
75～79歳	992	20.7	9.9	14.3	20.6	6.5	16.4
80～84歳	615	17.6	9.6	16.7	22.0	6.8	16.6
85～89歳	386	17.6	7.3	13.5	19.9	7.8	13.2
90歳以上	159	15.1	7.5	10.1	13.8	3.8	9.4
南部圏域	2876	22.6	12.6	16.7	21.8	8.1	17.9
北部圏域	751	22.1	8.5	12.9	23.7	6.7	18.1
認定は受けていない	3182	23.8	12.4	16.4	22.6	7.8	18.9
要支援1	248	17.3	8.9	14.9	21.0	8.9	12.1
要支援2	132	8.3	3.8	6.1	18.9	7.6	9.8
事業対象者	18	33.3	5.6	16.7	27.8	5.6	11.1

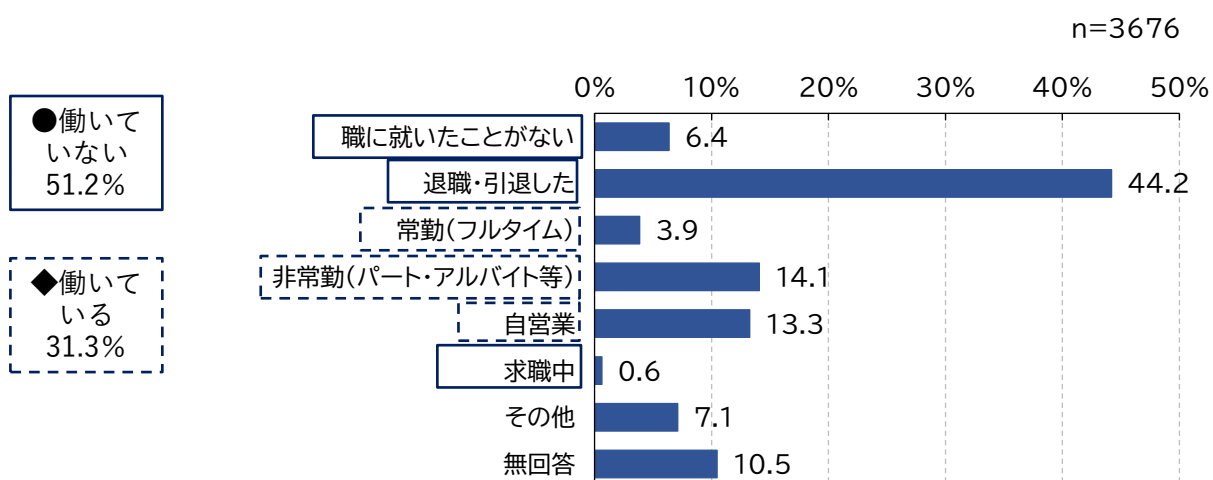
(%)	n (回答数)	知人・友人の勧め（があった）	町内会の勧め（があった）	地域包括支援センターの勧め（があった）	健診時やかかりつけ医からの勧め（があった）	その他	無回答
全体	3676	20.6	6.1	2.4	4.3	10.1	32.5
男性	1592	20.9	7.7	1.8	5.4	11.2	32.7
女性	2029	20.7	5.0	2.9	3.5	9.3	31.8
65～69歳	683	28.6	6.9	2.0	6.3	11.1	19.3
70～74歳	790	23.7	6.1	1.6	4.4	11.1	27.6
75～79歳	992	19.5	6.1	1.3	3.9	9.5	35.3
80～84歳	615	16.7	6.7	3.3	3.6	8.1	38.4
85～89歳	386	14.2	5.7	4.9	2.8	10.4	39.1
90歳以上	159	11.3	3.8	4.4	5.0	11.3	49.7
南部圏域	2876	20.7	6.8	2.3	4.4	10.0	31.4
北部圏域	751	20.8	3.7	2.7	4.0	10.3	35.0
認定は受けていない	3182	21.7	6.3	1.7	4.5	10.1	30.4
要支援1	248	15.3	7.3	10.5	4.0	9.3	39.9
要支援2	132	11.4	3.0	5.3	3.0	14.4	48.5
事業対象者	18	22.2	0.0	0.0	5.6	5.6	33.3

問6 就労についておうかがいします

(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか

「退職・引退した」が 44.2%と最も多く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が 14.1%、「自営業」が 13.3%、「その他」が 7.1%、「職に就いたことがない」が 6.4%となっています。

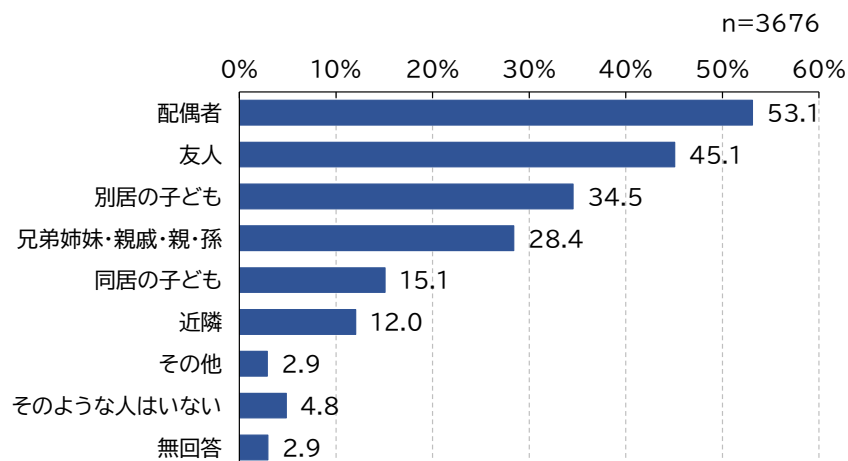
「職に就いたことがない」「退職・引退した」「求職中」を合わせた『働いていない』は 51.2%、「常勤（フルタイム）」「非常勤（パート・アルバイト等）」「自営業」を合わせた『働いている』は 31.3%となっています。



問7 たすけあいについておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人【複数回答】

「配偶者」が53.1%と最も多く、次いで「友人」が45.1%、「別居の子ども」が34.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が28.4%、「同居の子ども」が15.1%となっています。



「その他」の主な記入内容

職場関係（職場の同僚・仕事仲間・勤務先の方等）（30）／専門職・支援者（訪問看護師・ケアマネ・施設職員等）（10）／同居人・入所関係者（同居人・入所者・職員・施設内関係者）（6）／自治・組織・役割関係（自治会役員・交わっている組織の人・会社組織外の役割関係）（5）／等

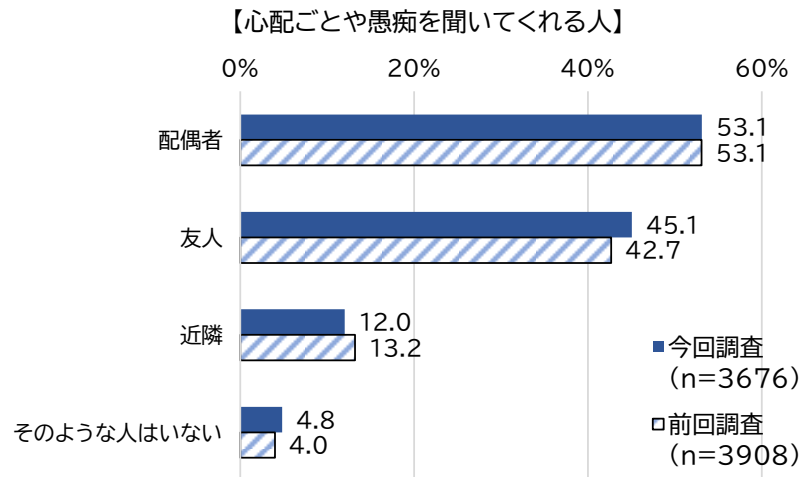
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

最も割合の高いものをみると、性別では、男性は「配偶者」、女性は「友人」となっており、年齢別では65～84歳までは「配偶者」、85歳以上は「別居の子ども」となっています。圏域別ではいずれも「配偶者」が最も高く、次いで「友人」となっています。

(%)	n (回答数)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体	3676	53.1	15.1	34.5	28.4	12.0	45.1	2.9	4.8	2.9
男性	1592	68.1	10.5	22.5	21.8	7.0	29.6	3.0	7.3	2.8
女性	2029	41.7	18.8	44.1	33.7	16.1	57.6	2.7	2.9	2.7
65～69歳	683	61.1	11.4	28.4	30.2	10.4	49.8	4.1	7.0	1.6
70～74歳	790	58.6	14.3	32.4	29.5	10.6	49.2	2.4	4.8	1.8
75～79歳	992	56.8	12.2	34.0	31.1	12.8	47.2	2.0	3.9	3.0
80～84歳	615	51.2	19.3	40.3	24.7	12.7	44.4	2.4	2.9	2.9
85～89歳	386	36.0	21.0	40.9	24.9	16.3	35.2	4.9	6.0	3.9
90歳以上	159	21.4	22.6	40.3	23.9	9.4	22.0	1.3	5.7	8.2
南部圏域	2876	53.2	14.9	35.4	28.0	11.9	45.1	2.5	5.3	2.4
北部圏域	751	53.9	16.0	32.1	30.2	13.0	45.7	4.1	3.2	4.0
認定は受けていない	3182	56.7	14.7	34.2	28.7	12.3	46.4	2.8	4.5	2.5
要支援1	248	32.7	17.3	37.5	31.9	13.3	37.9	3.6	6.0	3.6
要支援2	132	23.5	18.9	45.5	24.2	10.6	38.6	2.3	7.6	6.1
事業対象者	18	27.8	27.8	27.8	16.7	0.0	33.3	5.6	5.6	0.0

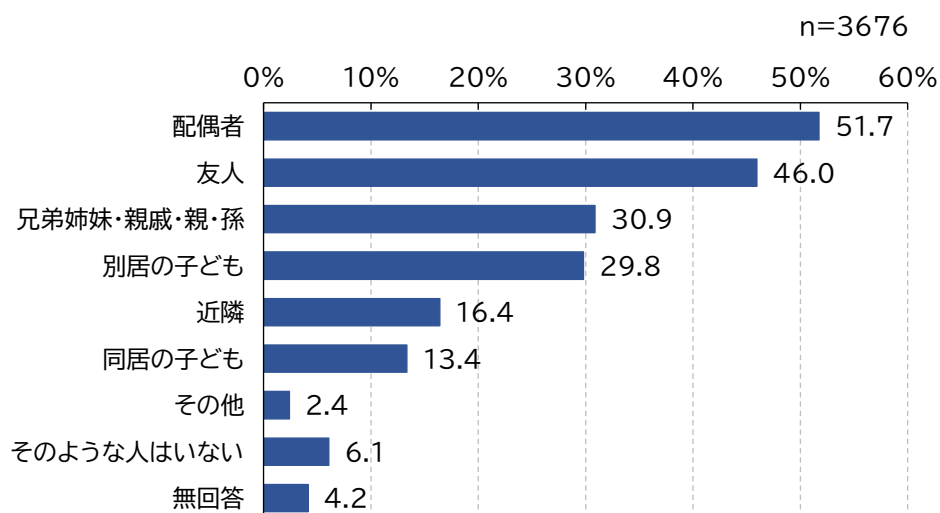
配偶者・友人・近隣の前回比較

最も身近な家族である「配偶者」、交友関係を背景とする「友人」、ご近所付き合いを背景とする「近隣」について前回調査と比較すると、「友人」は増加、「近隣」は減少しています。「配偶者」は前回調査との大きな差はみられず、「そのような人はいない」は増加しています。



(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人【複数回答】

「配偶者」が51.7%と最も多く、次いで「友人」が46.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が30.9%、「別居の子ども」が29.8%、「近隣」が16.4%となっています。



「その他」の主な記入内容

職場関係（職場の同僚・勤務先の人・仕事仲間）（18）／施設関係・役割関係（介護施設の入所者・自治会役員・民生委員）（6）／限定的・一時的関係（その時出会った人に話をする）（4）／等

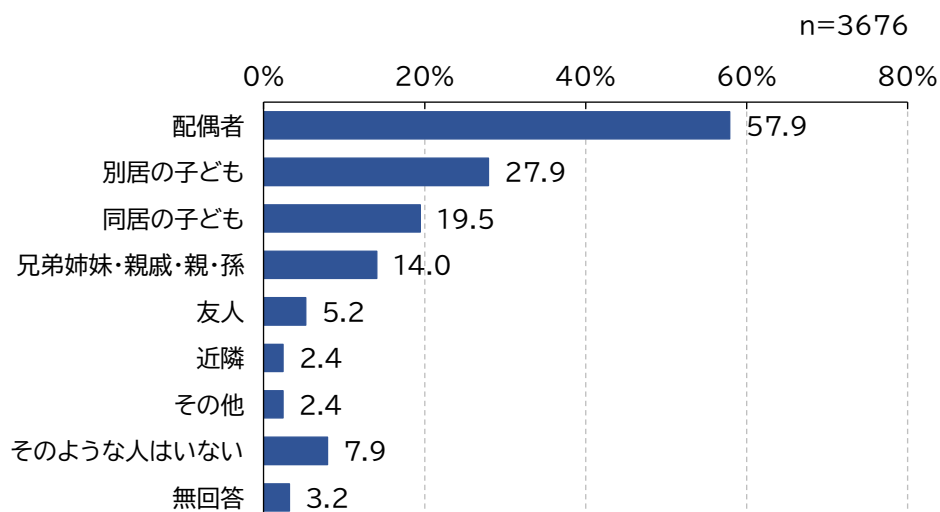
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

最も割合の高いものをみると、性別では男性は「配偶者」、女性は「友人」となっており、年齢別では65～84歳までは「配偶者」、85歳以上は「友人」となっています。圏域別ではいずれも「配偶者」が最も高く、要支援認定状況別では認定は受けていないは「配偶者」、それ以外は「友人」が最も高くなっています。

(%)	n (回答数)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体	3676	51.7	13.4	29.8	30.9	16.4	46.0	2.4	6.1	4.2
男性	1592	67.1	10.7	23.7	25.1	10.2	31.1	2.5	7.9	3.7
女性	2029	40.1	15.5	34.8	35.6	21.1	58.0	2.2	4.6	4.1
65～69歳	683	59.7	12.6	28.1	33.8	14.8	48.0	4.4	7.0	2.5
70～74歳	790	58.0	13.3	30.8	33.4	14.8	50.4	2.2	4.6	1.6
75～79歳	992	55.9	12.1	30.8	33.3	18.1	48.4	1.1	4.4	4.0
80～84歳	615	47.5	14.8	29.9	27.6	17.9	47.3	2.0	4.6	4.4
85～89歳	386	34.5	14.8	31.6	25.6	16.3	35.2	3.1	9.3	9.1
90歳以上	159	22.6	16.4	24.5	19.5	13.2	25.2	2.5	16.4	8.2
南部圏域	2876	51.7	13.6	30.7	30.7	16.0	46.8	1.9	6.3	3.4
北部圏域	751	53.0	12.6	26.9	32.0	17.6	43.7	3.9	5.3	6.1
認定は受けていない	3182	55.5	13.4	30.1	31.8	16.7	47.3	2.2	5.2	3.5
要支援1	248	29.8	11.7	29.4	31.0	14.9	39.1	4.4	10.1	5.6
要支援2	132	20.5	13.6	31.1	22.0	16.7	37.9	3.0	15.2	9.8
事業対象者	18	22.2	22.2	33.3	16.7	5.6	38.9	0.0	11.1	0.0

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人【複数回答】

「配偶者」が 57.9%と最も多く、次いで「別居の子ども」が 27.9%、「同居の子ども」が 19.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 14.0%、「そのような人はいない」が 7.9%となっています。



「その他」の主な記入内容

介護施設の職員・老人ホームのスタッフ（12）／病院・福祉関係（4）／同居人（3）／等

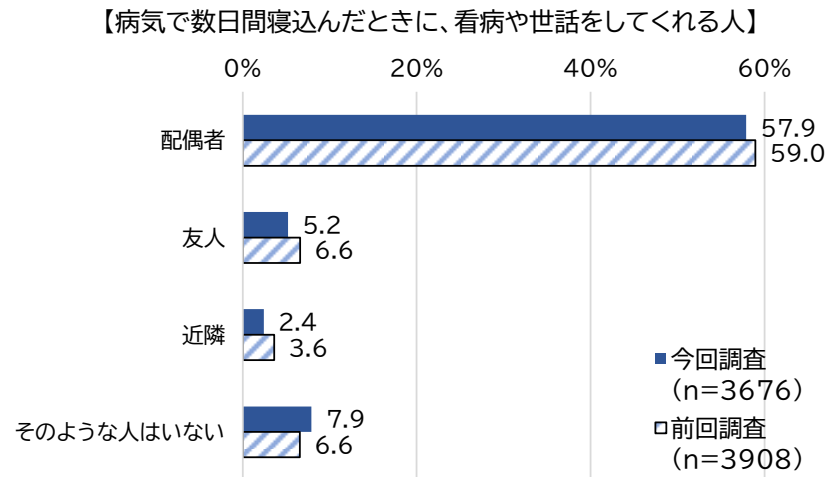
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

最も割合の高いものをみると、性別では、いずれも「配偶者」となっており、年齢別では 65～84 歳までは「配偶者」、85 歳以上は「別居の子ども」となっています。圏域別ではいずれも「配偶者」が最も高く、要支援認定状況別では、認定は受けていないと事業対象者は「配偶者」、要支援 1、2 は「別居の子ども」が最も高くなっています。

(%)	n (回答数)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体	3676	57.9	19.5	27.9	14.0	2.4	5.2	2.4	7.9	3.2
男性	1592	72.6	13.7	19.0	12.0	1.3	2.4	1.5	9.1	2.3
女性	2029	46.7	24.2	35.1	15.6	3.3	7.4	3.1	7.0	3.6
65～69歳	683	67.1	14.5	19.2	15.2	1.8	5.4	1.2	9.5	2.0
70～74歳	790	66.7	17.8	22.8	14.6	2.5	5.2	1.4	8.5	1.6
75～79歳	992	63.2	17.8	29.1	13.3	2.5	6.4	1.5	8.1	3.6
80～84歳	615	52.5	23.4	34.3	12.4	1.6	4.6	2.9	7.5	3.6
85～89歳	386	35.2	25.6	39.1	14.5	2.8	3.1	5.4	6.2	4.1
90歳以上	159	22.0	31.4	35.2	17.0	6.3	4.4	8.2	2.5	7.5
南部圏域	2876	58.1	19.3	29.2	13.9	2.3	5.3	2.2	7.9	3.0
北部圏域	751	58.1	20.8	23.3	14.5	2.8	4.7	2.9	8.0	3.7
認定は受けていない	3182	62.1	18.8	26.5	14.0	2.2	5.1	1.9	7.6	2.9
要支援1	248	31.9	22.6	37.5	15.3	3.2	5.2	5.2	10.9	3.6
要支援2	132	24.2	31.1	45.5	16.7	7.6	8.3	6.8	6.1	3.8
事業対象者	18	38.9	27.8	33.3	5.6	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0

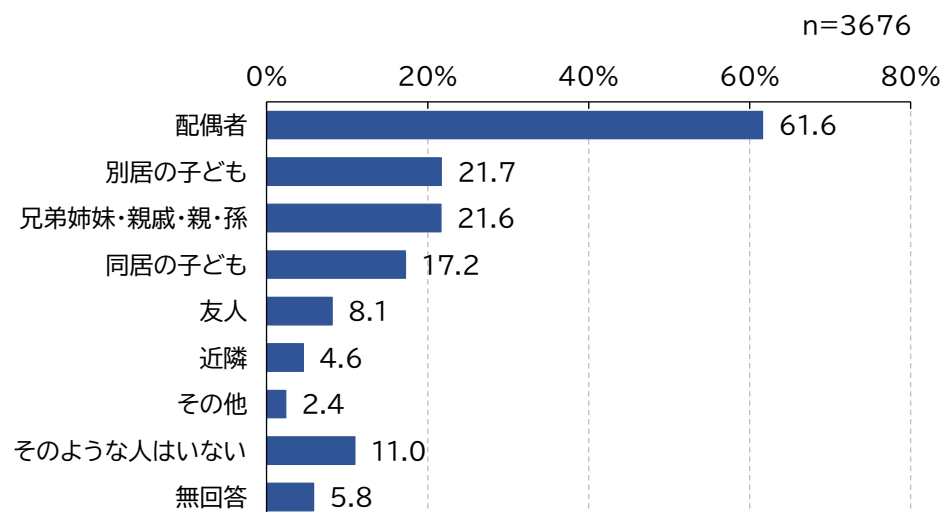
配偶者・友人・近隣の前回比較

最も身近な家族である「配偶者」、交友関係を背景とする「友人」、ご近所付き合いを背景とする「近隣」について前回調査と比較すると、「配偶者」「友人」「近隣」のいずれも減少しており、「そのような人はいない」は増加しています。



(4) 反対に、看病や世話をしあける人【複数回答】

「配偶者」が 61.6%と最も多く、次いで「別居の子ども」が 21.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 21.6%、「同居の子ども」が 17.2%、「そのような人はいない」が 11.0%となっています。



「その他」の主な記入内容

同居人・同居の家族（※子どもを除く）（3）／知人で必要とされれば・必要であればどなたでも（3）／等

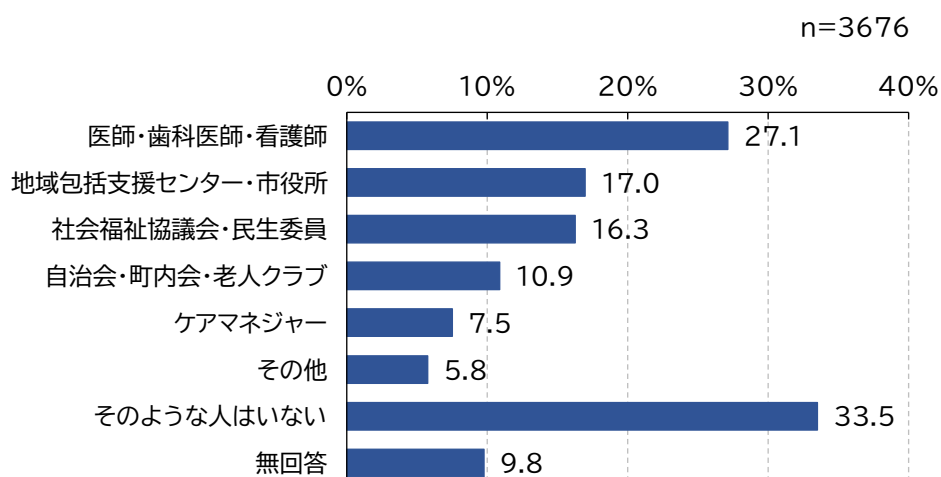
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

最も割合の高いものをみると、性別、年齢別、圏域別の全てにおいて「配偶者」となっています。要支援認定状況別では、認定は受けていないと要支援1は「配偶者」、要支援2は「そのような人はいない」が最も高くなっています。事業対象者は「配偶者」と「そのような人はいない」が同率となっています。

(%)	n (回答数)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体	3676	61.6	17.2	21.7	21.6	4.6	8.1	2.4	11.0	5.8
男性	1592	72.6	13.1	14.8	17.8	2.3	4.3	2.3	10.9	4.3
女性	2029	53.4	20.8	27.3	24.6	6.4	11.1	2.4	10.8	6.7
65～69歳	683	70.9	16.4	22.5	30.3	3.7	6.7	3.2	9.2	1.9
70～74歳	790	69.1	17.1	24.7	25.1	4.3	8.2	1.9	8.0	2.8
75～79歳	992	66.5	18.1	23.4	21.8	5.2	9.0	1.2	8.0	5.7
80～84歳	615	57.6	19.2	20.8	15.9	4.7	8.6	2.8	10.9	7.0
85～89歳	386	39.9	15.3	16.8	13.0	5.2	7.3	2.8	20.2	12.7
90歳以上	159	25.2	16.4	10.7	11.3	4.4	8.2	6.3	27.7	15.1
南部圏域	2876	61.7	17.2	22.7	21.6	4.3	8.2	2.4	10.9	5.1
北部圏域	751	62.1	17.7	18.2	21.8	5.5	7.6	2.1	10.8	8.1
認定は受けていない	3182	65.9	17.7	22.7	23.1	4.5	7.9	2.0	8.8	4.6
要支援1	248	36.3	14.9	19.0	15.7	4.8	9.3	5.6	21.0	10.5
要支援2	132	24.2	15.9	12.1	6.1	7.6	12.1	6.8	32.6	14.4
事業対象者	18	38.9	22.2	11.1	5.6	0.0	0.0	5.6	38.9	0.0

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください【複数回答】

「そのような人はいない」が33.5%と最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が27.1%、「地域包括支援センター・市役所」が17.0%、「社会福祉協議会・民生委員」が16.3%、「自治会・町内会・老人クラブ」が10.9%となっています。



「その他」の主な記入内容

職場関係 (13) / 行政・公的・専門機関 (11) / IT・情報手段 (2) / 等

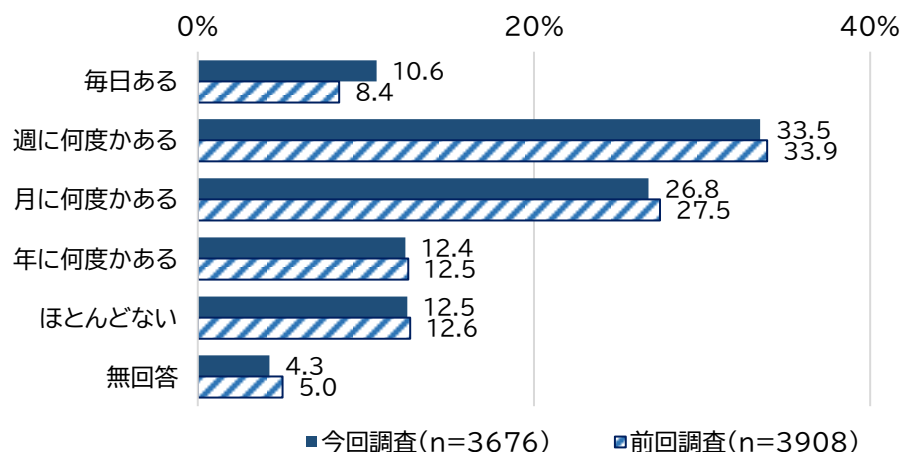
圏域別

圏域別で「そのような人はいない」の割合をみると、南部圏域が35.4%と全体より高くなっています。全体で27.1%の「医師・歯科医師・看護師」は、北部圏域が30.0%と全体より高くなっています。

(%)		自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・市役所	その他	そのような人はいない	無回答
	n (回答数)								
全体	3676	10.9	16.3	7.5	27.1	17.0	5.8	33.5	9.8
南部圏域	2876	11.1	15.3	6.7	26.5	15.7	6.3	35.4	9.0
北部圏域	751	10.5	20.1	10.3	30.0	21.8	4.0	26.6	11.7

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

「週に何度かある」が33.5%と最も多く、次いで「月に何度かある」が26.8%、「ほとんどない」が12.5%、「年に何度かある」が12.4%、「毎日ある」が10.6%となっています。前回調査と比較すると、「毎日ある」が増加しています。



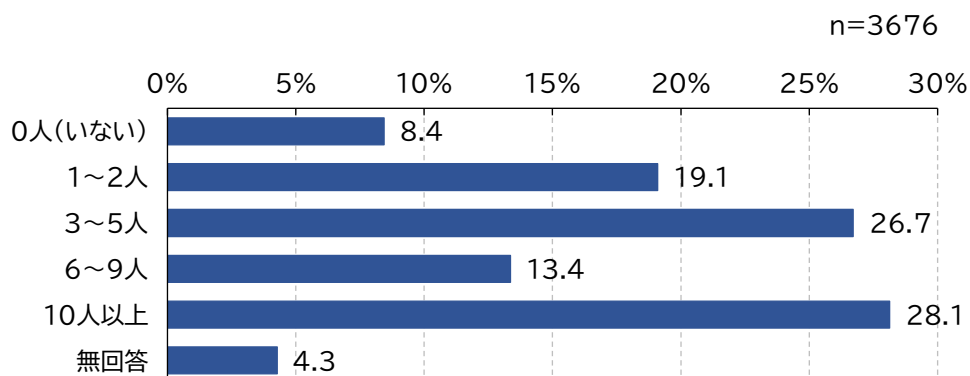
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「ほとんどない」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では65～79歳までは年齢が上がるにつれて低くなっていますが、80歳以上では年齢が上がるにつれて高くなっています。圏域別では南部圏域の方が高くなっています。

(%)	n (回答数)	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体	3676	10.6	33.5	26.8	12.4	12.5	4.3
男性	1592	11.2	27.8	25.8	14.1	17.3	3.6
女性	2029	10.3	37.6	27.9	11.0	8.6	4.5
65～69歳	683	10.4	28.0	29.1	15.7	14.6	2.2
70～74歳	790	11.0	30.8	30.1	13.5	11.9	2.7
75～79歳	992	12.3	34.3	26.0	12.5	9.8	5.1
80～84歳	615	10.1	40.8	24.4	9.8	10.4	4.6
85～89歳	386	8.5	36.8	25.4	9.1	13.7	6.5
90歳以上	159	7.5	27.0	22.6	8.8	27.0	6.9
南部圏域	2876	10.6	32.5	27.2	12.6	13.4	3.7
北部圏域	751	10.9	36.6	26.1	11.5	8.8	6.1
認定は受けていない	3182	11.2	33.4	27.4	12.3	11.8	3.9
要支援1	248	6.5	33.1	25.4	15.3	14.5	5.2
要支援2	132	6.8	35.6	26.5	6.1	19.7	5.3
事業対象者	18	5.6	33.3	11.1	27.8	22.2	0.0

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします

「10人以上」が28.1%と最も多く、次いで「3～5人」が26.7%、「1～2人」が19.1%、「6～9人」が13.4%、「0人（いない）」が8.4%となっています。



性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

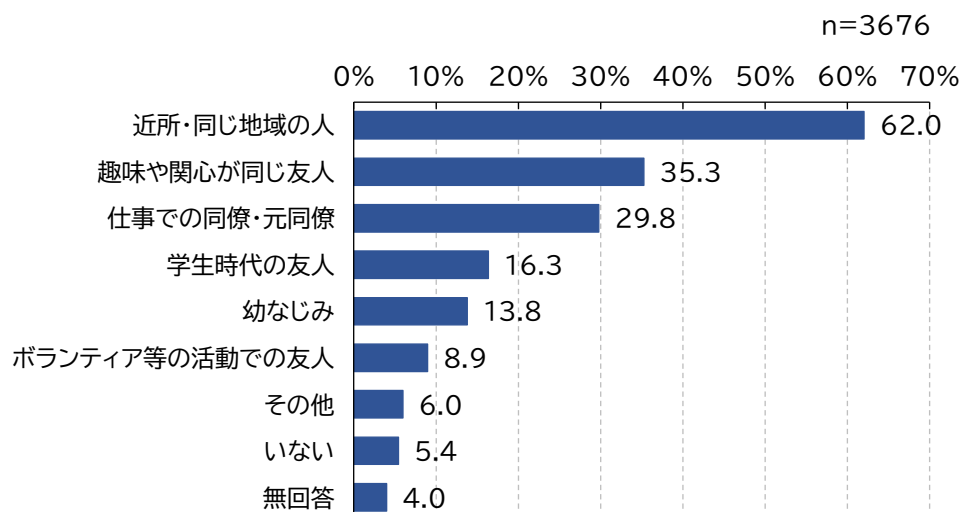
「0人（いない）」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では90歳以上が13.8%と最も高く、次いで65～69歳が11.9%といずれも1割を超えています。圏域別では南部圏域の方が高く、要支援認定状況別では要支援2が12.9%と最も高くなっています。

「10人以上」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では65～89歳までは2割を超えています。圏域別ではわずかに南部圏域の方が高いですが、ほとんど差はありません。

(%)		0人（い ない）	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上	無回答
	n（回答数）						
全体	3676	8.4	19.1	26.7	13.4	28.1	4.3
男性	1592	11.9	20.4	26.3	11.3	26.6	3.6
女性	2029	5.6	18.1	27.2	15.0	29.6	4.5
65～69歳	683	11.9	19.8	25.2	14.3	26.4	2.5
70～74歳	790	8.0	19.2	25.4	12.8	32.5	2.0
75～79歳	992	6.9	17.8	26.1	14.9	29.3	4.9
80～84歳	615	7.6	16.6	28.8	11.5	30.7	4.7
85～89歳	386	6.0	21.0	31.9	12.7	21.5	7.0
90歳以上	159	13.8	27.0	25.2	10.7	15.7	7.5
南部圏域	2876	9.0	19.3	26.8	12.9	28.2	3.8
北部圏域	751	6.0	18.2	26.8	15.4	28.1	5.5
認定は受けていない	3182	8.0	18.2	26.5	13.8	29.7	3.8
要支援1	248	8.5	26.2	30.6	12.9	17.7	4.0
要支援2	132	12.9	23.5	28.0	9.8	18.9	6.8
事業対象者	18	11.1	38.9	22.2	5.6	16.7	5.6

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか【複数回答】

「近所・同じ地域の人」が62.0%と最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が35.3%、「仕事での同僚・元同僚」が29.8%、「学生時代の友人」が16.3%、「幼なじみ」が13.8%となっています。



「その他」の主な記入内容

福祉・介護・リハビリ施設の職員・利用者 (19) / 店舗・客・サービス利用を通じた関係 (17) / 等

性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

よく会う友人・知人との関係の割合を圏域別にみると、「近所・同じ地域の人」「幼なじみ」「学生時代の友人」は北部圏域、「仕事での同僚・元同僚」「趣味や関心が同じ友人」「ボランティア等の活動での友人」「その他」は南部圏域の方が高くなっています。

(%)	n (回答数)	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全体	3676	62.0	13.8	16.3	29.8	35.3	8.9	6.0	5.4	4.0
男性	1592	57.3	15.5	15.5	32.5	33.3	8.1	4.5	7.9	3.7
女性	2029	66.1	12.8	17.2	27.8	36.7	9.7	7.1	3.4	3.8
65～69歳	683	53.4	16.4	22.4	43.5	31.8	8.6	5.3	7.5	2.6
70～74歳	790	58.5	12.7	19.9	35.3	35.7	10.6	5.8	5.9	1.9
75～79歳	992	66.2	15.5	14.0	28.7	38.8	9.6	5.4	4.0	4.2
80～84歳	615	68.9	13.0	15.9	21.1	37.2	8.8	5.7	4.9	4.4
85～89歳	386	66.3	11.7	10.4	18.7	32.6	7.3	7.5	3.1	5.4
90歳以上	159	58.5	8.8	3.8	11.3	24.5	3.8	10.7	10.7	9.4
南部圏域	2876	60.6	13.9	16.2	30.0	36.1	9.1	6.0	6.0	3.7
北部圏域	751	68.6	14.1	17.0	29.4	31.8	8.7	5.9	3.2	4.1
認定は受けていない	3182	62.1	14.3	17.2	31.6	36.5	9.4	5.2	5.2	3.5
要支援1	248	67.3	11.7	12.9	17.3	30.6	4.4	11.3	5.2	4.4
要支援2	132	59.1	10.6	10.6	18.2	25.0	8.3	15.2	9.1	5.3
事業対象者	18	50.0	16.7	11.1	16.7	11.1	11.1	5.6	5.6	0.0

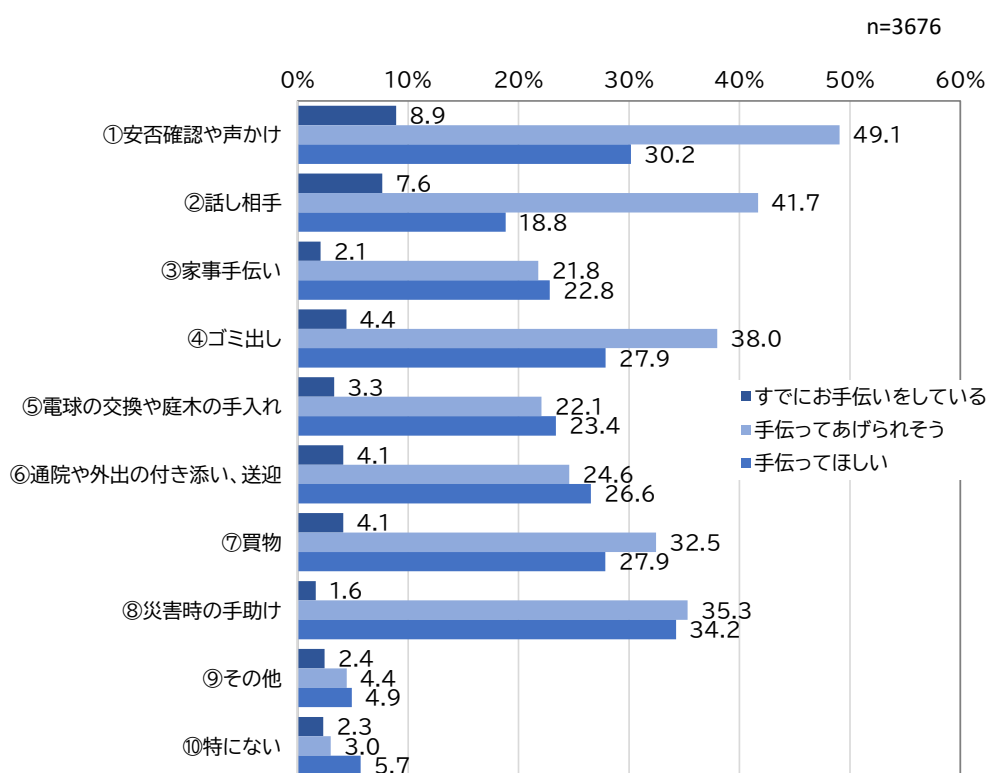
(9) もしあなたの日常生活が不自由になったとき、近所や地域の人に何を手伝ってもらえると助かると思いますか

また、あなたはどのようなお手伝いならしてあげられそうだと思いますか、あるいは実際に行っていますか【複数回答】

「すでにお手伝いしている」は、『①安否確認や声かけ』が 8.9%と最も多く、次いで『②話し相手』が 7.6%となっています。

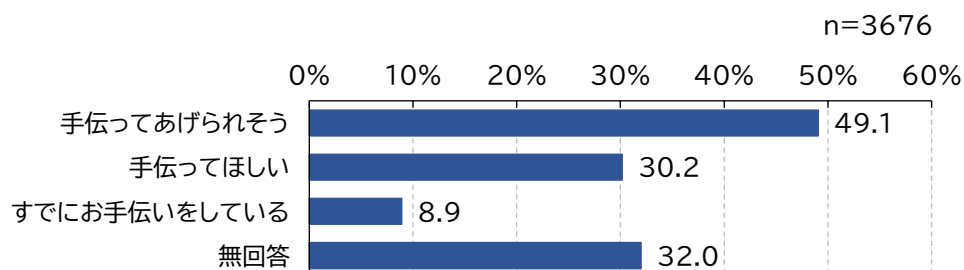
「手伝ってあげられそう」は、『①安否確認や声かけ』が 49.1%と最も多く、次いで『②話し相手』が 41.7%となっています。

「手伝ってほしい」は、『⑧災害時の手助け』が 34.2%と最も多く、次いで『①安否確認や声かけ』が 30.2%となっています。



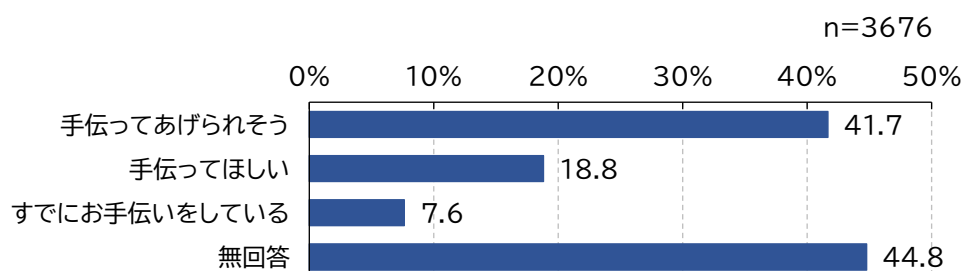
① 安否確認や声かけ

「手伝ってあげられそう」が49.1%と最も多く、次いで「手伝ってほしい」が30.2%、「すでにお手伝いをしている」が8.9%となっています。



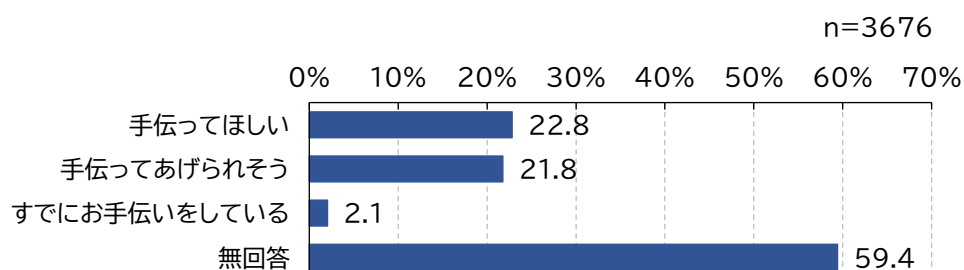
② 話し相手

「手伝ってあげられそう」が41.7%と最も多く、次いで「手伝ってほしい」が18.8%、「すでにお手伝いをしている」が7.6%となっています。



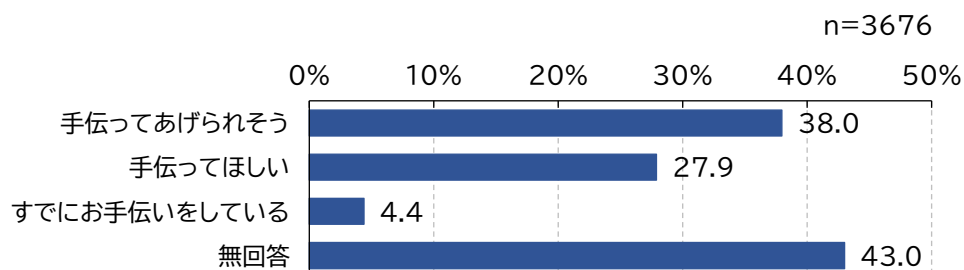
③ 家事手伝い

「手伝ってほしい」が22.8%と最も多く、次いで「手伝ってあげられそう」が21.8%、「すでにお手伝いをしている」が2.1%となっています。



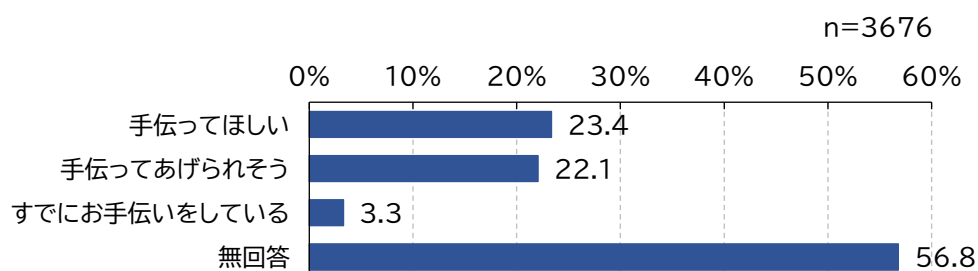
④ ゴミ出し

「手伝ってあげられそう」が38.0%と最も多く、次いで「手伝ってほしい」が27.9%、「すでにお手伝いをしている」が4.4%となっています。



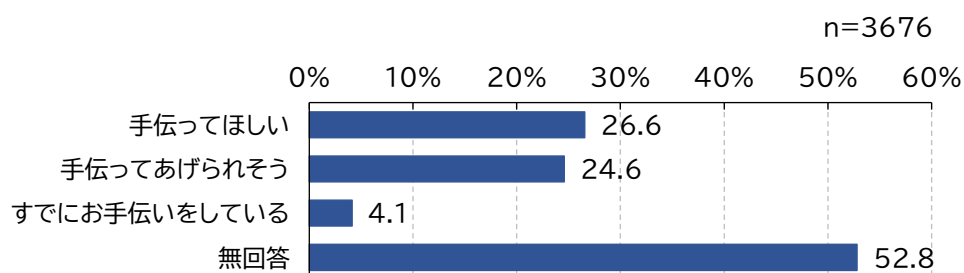
⑤ 電球の交換や庭木の手入れ

「手伝ってほしい」が23.4%と最も多く、次いで「手伝ってあげられそう」が22.1%、「すでにお手伝いをしている」が3.3%となっています。



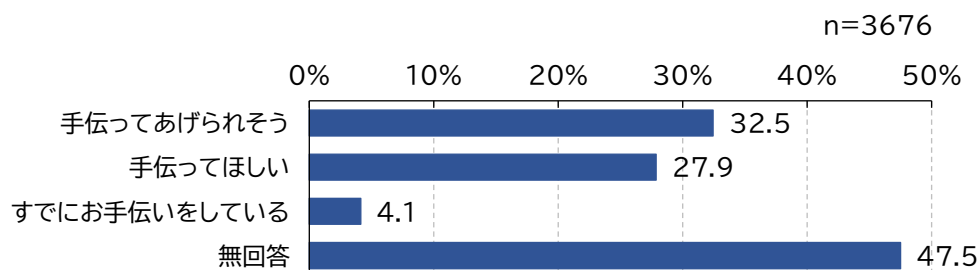
⑥ 通院や外出の付き添い、送迎

「手伝ってほしい」が26.6%と最も多く、次いで「手伝ってあげられそう」が24.6%、「すでにお手伝いをしている」が4.1%となっています。



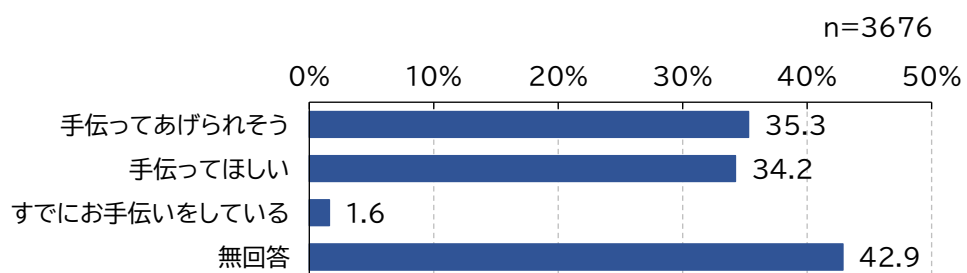
⑦ 買物

「手伝ってあげられそう」が32.5%と最も多く、次いで「手伝ってほしい」が27.9%、「すでにお手伝いをしている」が4.1%となっています。



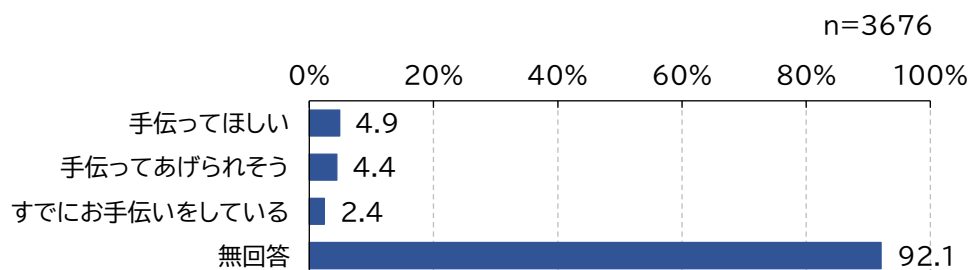
⑧ 災害時の手助け

「手伝ってあげられそう」が35.3%と最も多く、次いで「手伝ってほしい」が34.2%、「すでにお手伝いをしている」が1.6%となっています。



⑨ その他

「手伝ってほしい」が4.9%と最も多く、次いで「手伝ってあげられそう」が4.4%、「すでにお手伝いをしている」が2.4%となっています。



「その他」の主な記入内容

【手伝ってほしい】

力仕事・重い物の運搬（17）／雪かき・除雪（15）／書類代筆・手続き・行政関係の補助（10）／介護・身体介助（入浴・トイレ等）（7）／農作業・田畑の管理（4）／ペットの世話（3）／交通手段の確保（タクシー代替等）（3）／等

【手伝ってあげられそう】

雪かき・除雪（8）／軽作業・雑務全般（7）／パソコン・ネット・IT関係の手助け（4）／書類代筆・手続き・行政関係の補助（4）／農作業・田畑の管理（4）／清掃（屋内外）（4）／子守り（2）／等

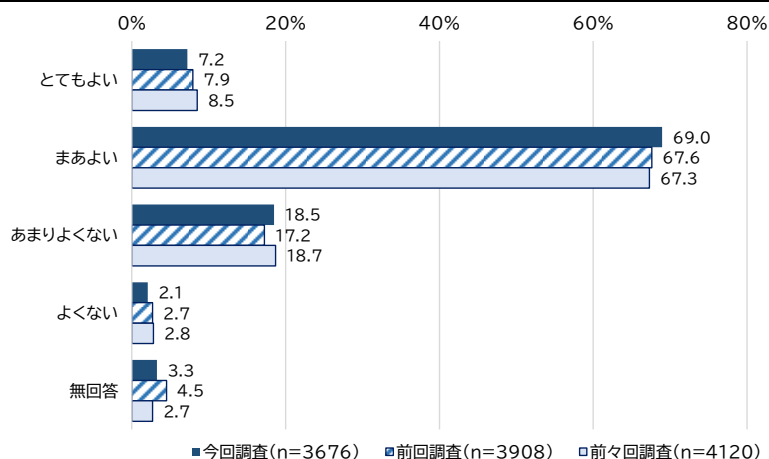
【すでにお手伝いをしている】

地域役員・自治会・老人会・民生委員等の活動（9）／清掃（道路・落葉・家の中・ゴミ置場等）（6）／軽作業・雑務・できる範囲で何でも（6）／農作業・果樹収穫・支柱作り等（4）／見回り・不在住宅管理・地域の様子うかがい（4）／体操・サロン等の送迎や運営協力（3）／仕事・業務として実施（2）／等

問8 健康についておうかがいします

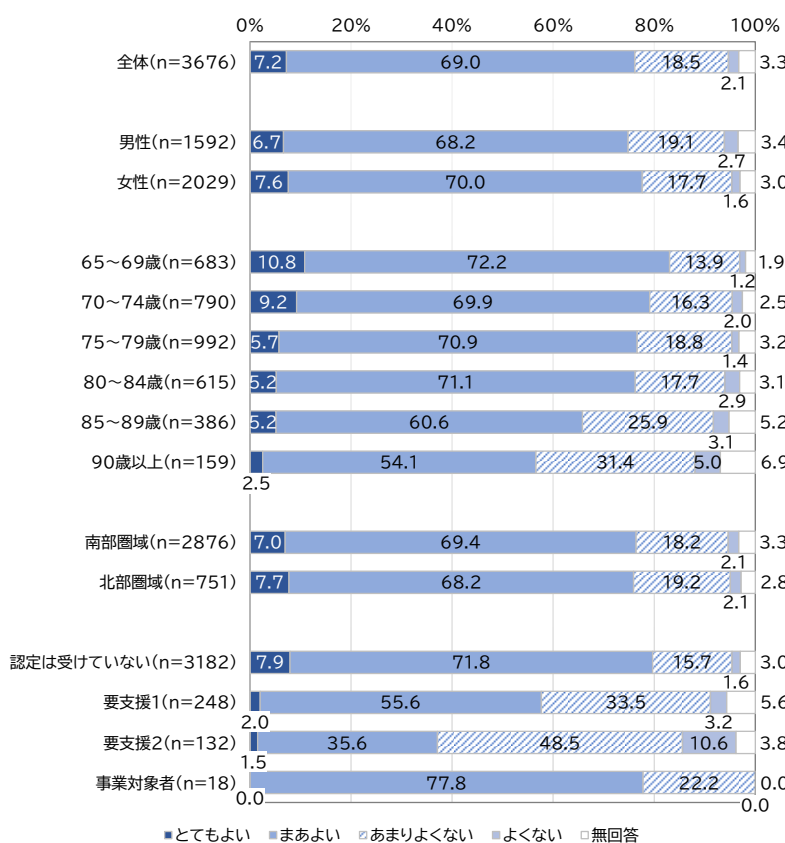
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

「まあよい」が69.0%と最も多く、次いで「あまりよくない」が18.5%、「とてもよい」が7.2%、「よくない」が2.1%となっています。前回調査と比較すると、「とてもよい」「よくない」が減少し、「まあよい」「あまりよくない」が増加しています。



性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

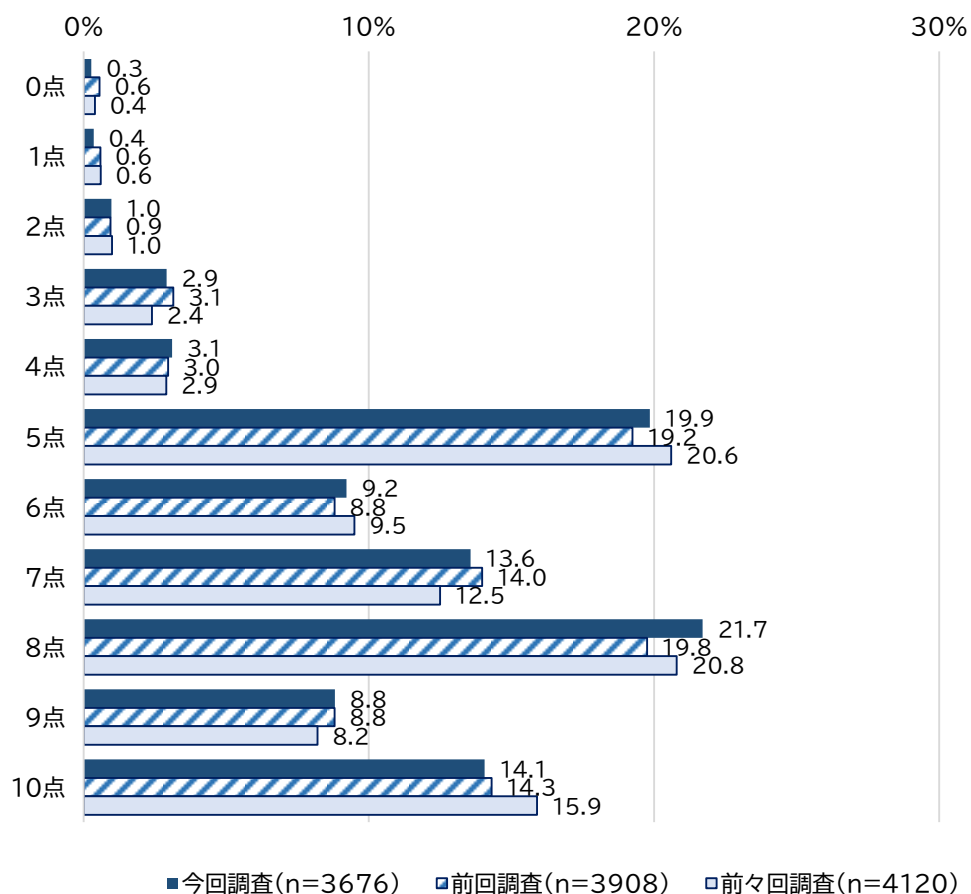
「よくない」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向です。圏域別ではどちらも2.1%と差がなく、要支援認定状況別では事業対象者(n=18)を除き認定度が上がるほど高くなっています。



(2) あなたは、現在どの程度幸せですか(「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点とする)

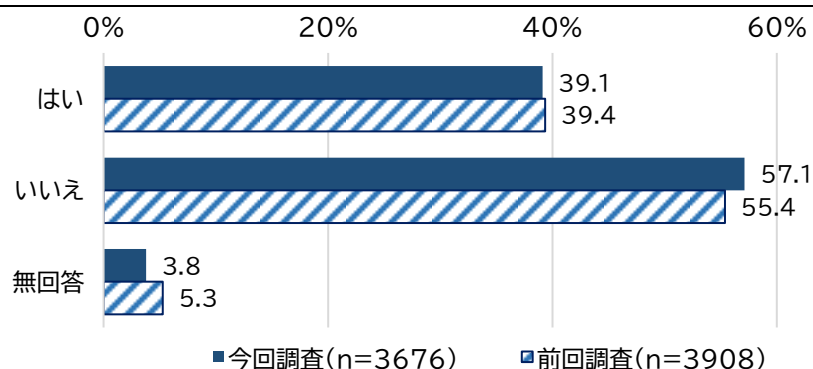
「8 点」が 21.7%と最も多く、次いで「5 点」が 19.9%、「10 点」が 14.1%、「7 点」が 13.6%、「6 点」が 9.2%となっています。

「8 点」が最も多く、次いで「5 点」という結果は前回調査から変わっていません。1 ポイント以上の差がみられるのは、「8 点」の 1.9 ポイントの増加です。



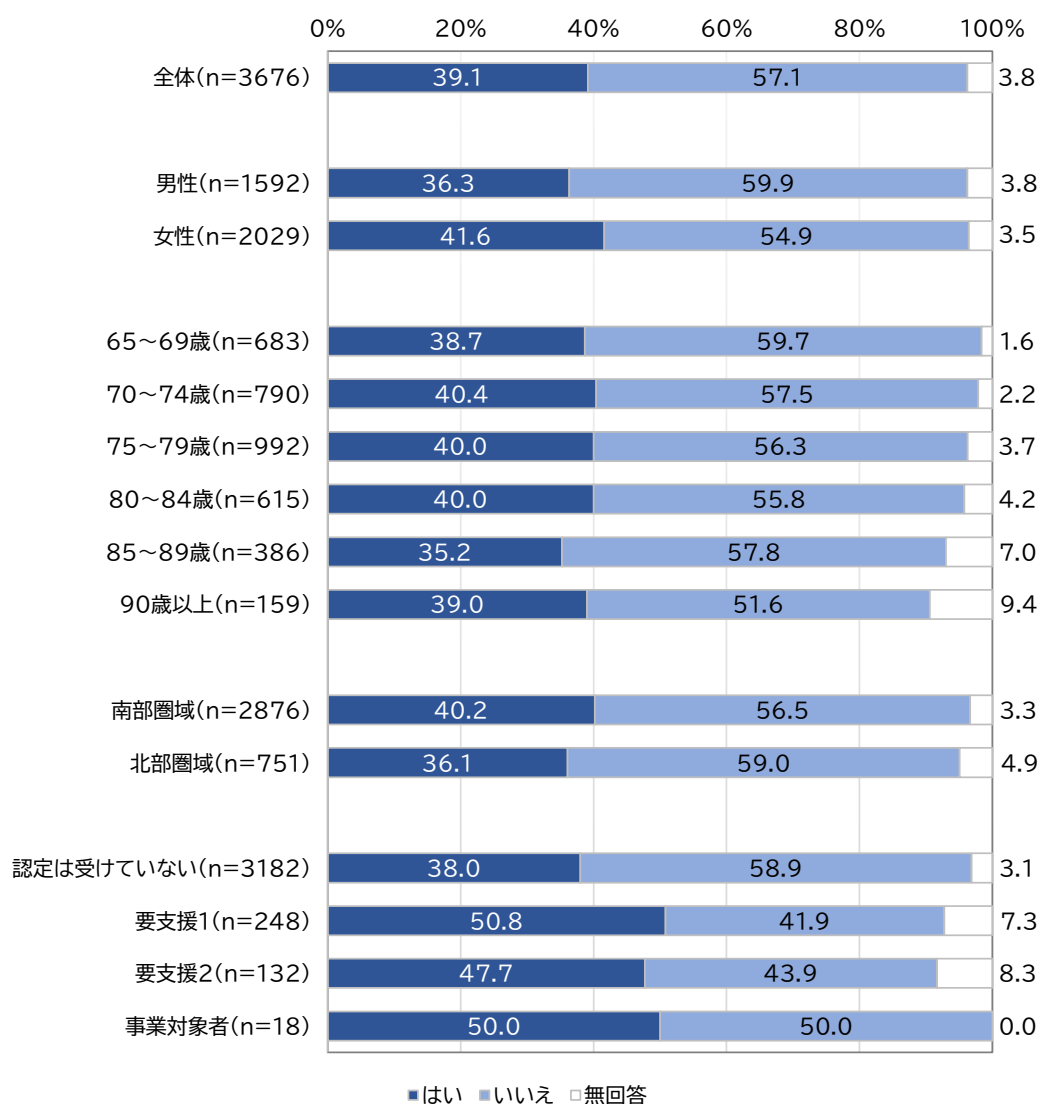
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

「はい」が39.1%、「いいえ」が57.1%となっています。前回調査と比較すると、「いいえ」が増加しています。



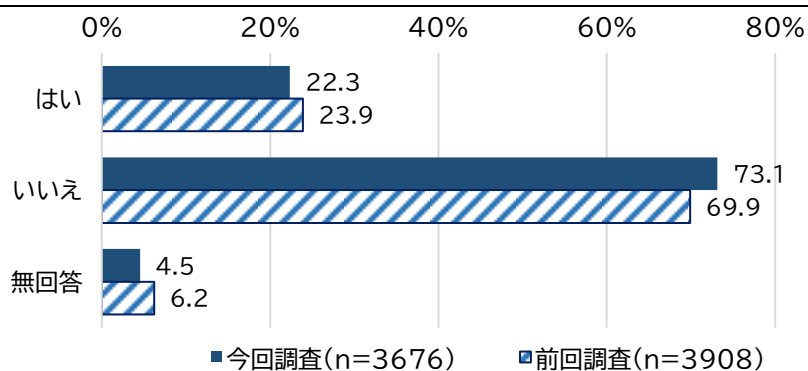
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「はい」の割合は、性別では女性の方が高く、圏域別では南部圏域の方が高くなっています。要支援認定状況別では要支援1が50.8%と過半数となっています。



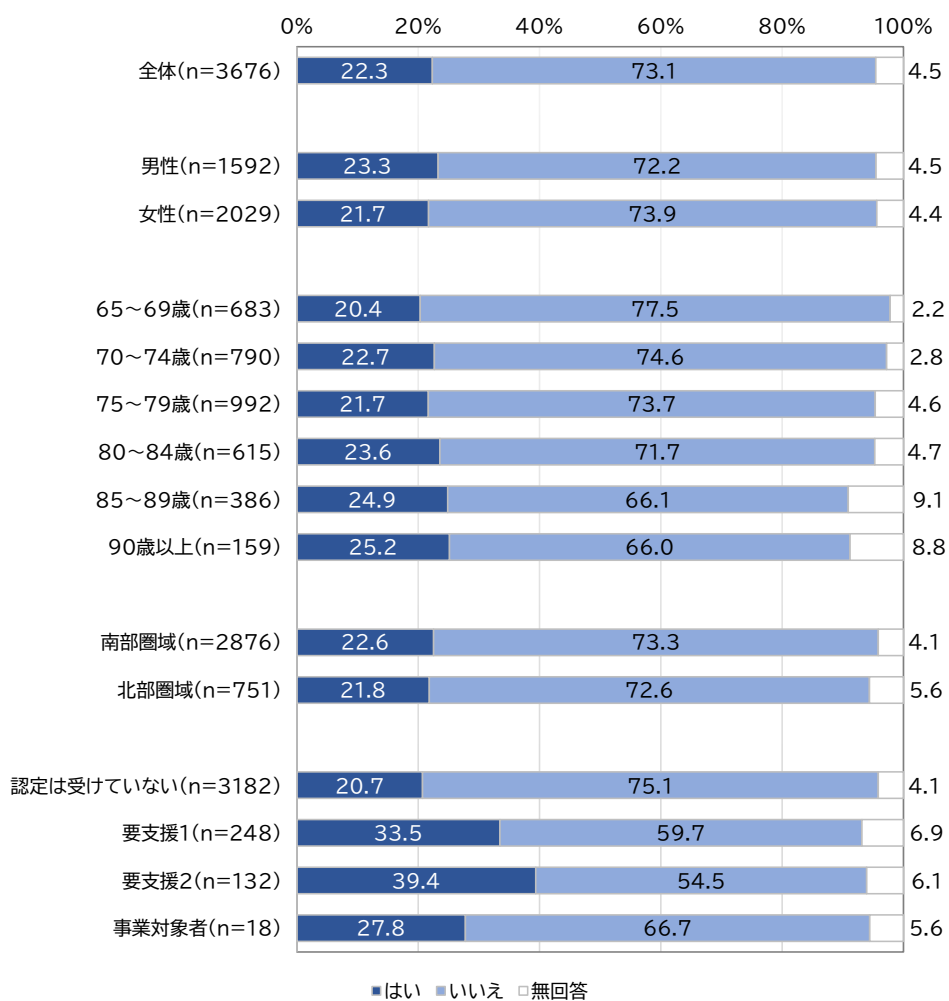
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

「はい」が22.3%、「いいえ」が73.1%となっています。前回調査と比較すると、「いいえ」は増加し、「はい」は減少しています。



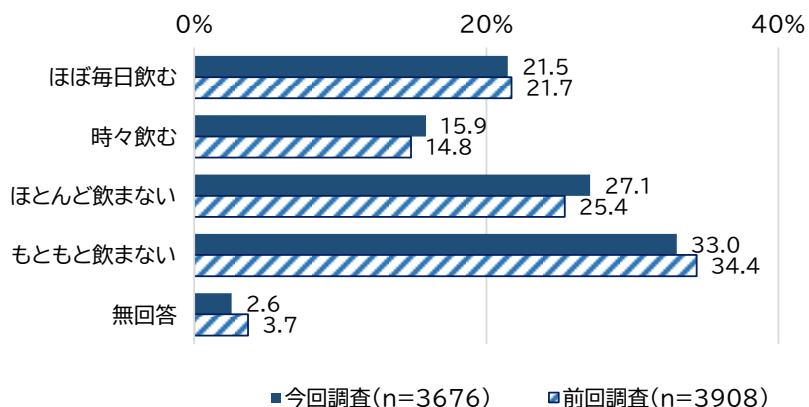
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「はい」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向です。要支援認定状況別では認定度が上がるほど高くなっています。



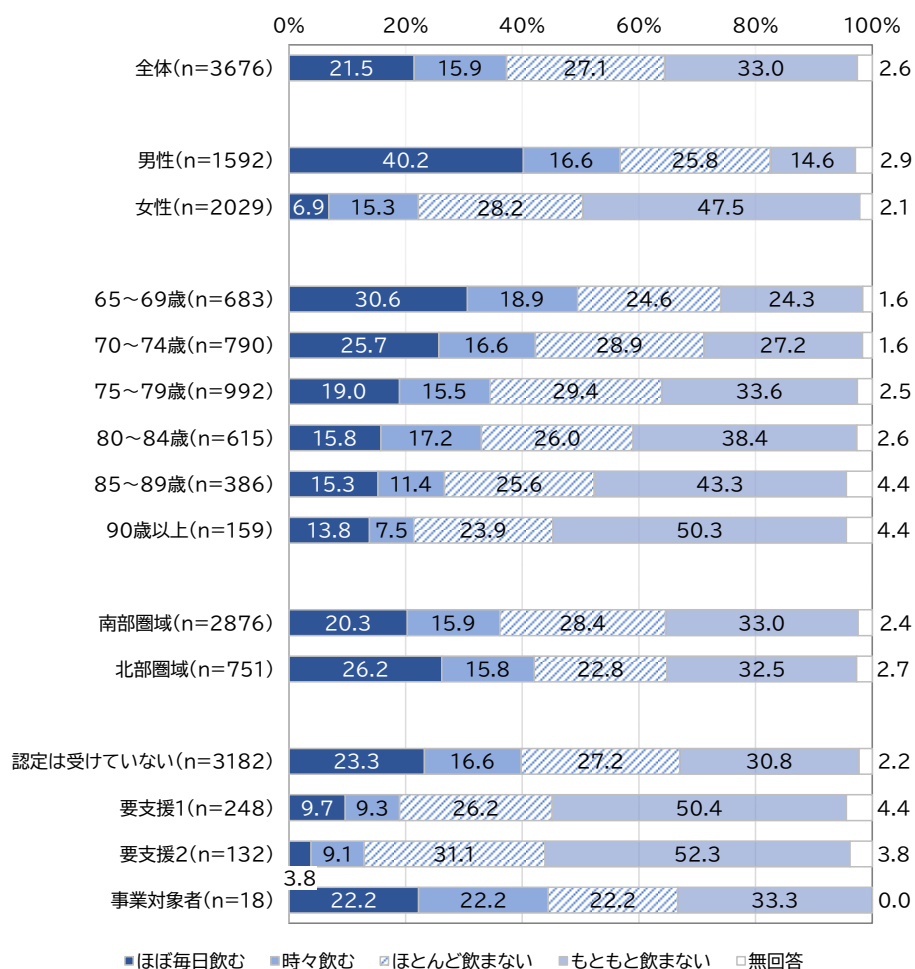
(5) お酒は飲みますか

「もともと飲まない」が33.0%と最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が27.1%、「ほぼ毎日飲む」が21.5%、「時々飲む」が15.9%となっています。前回調査と比較すると、「ほとんど飲まない」が増加しています。



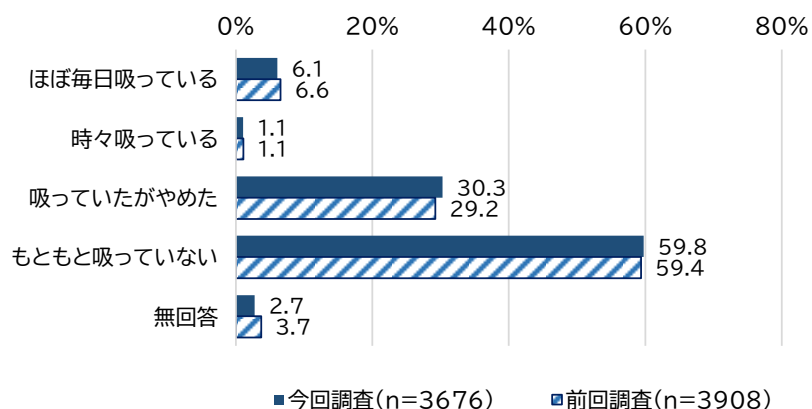
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「ほぼ毎日飲む」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では65～69歳で3割を超えていましたが、年齢が上がるにつれて低くなっています。圏域別では北部圏域の方が高くなっています。



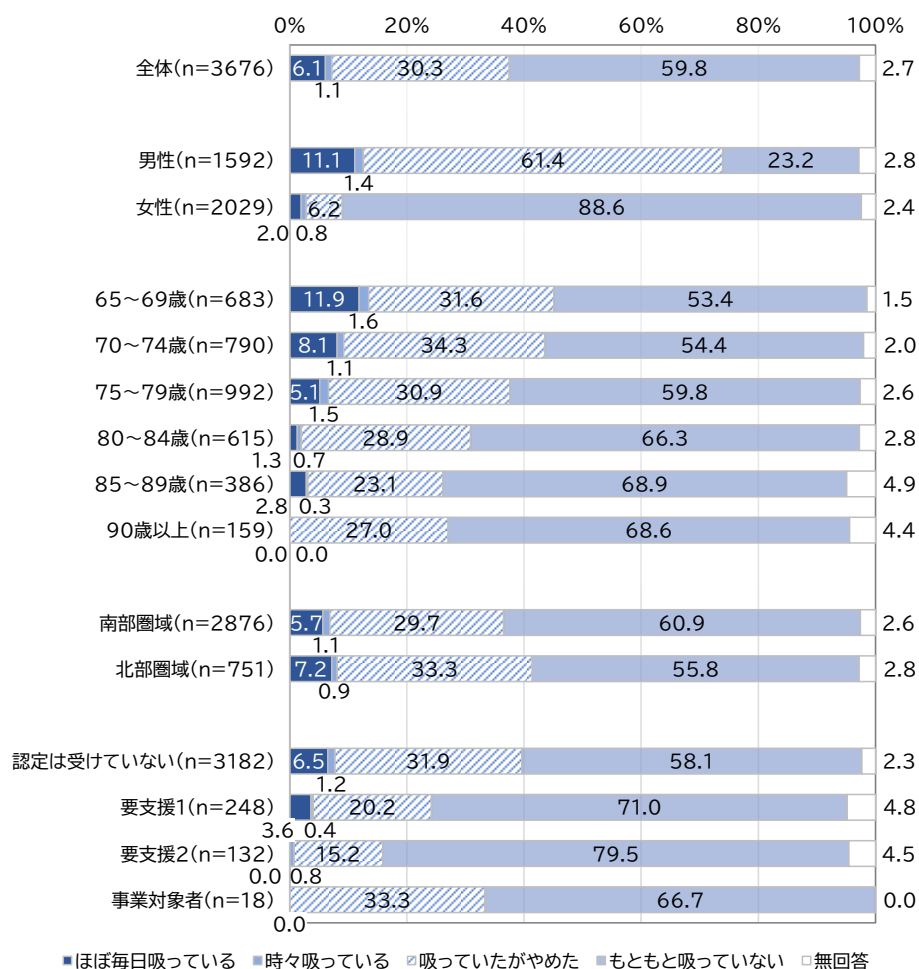
(6) タバコは吸っていますか

「もともと吸っていない」が59.8%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が30.3%、「ほぼ毎日吸っている」が6.1%、「時々吸っている」が1.1%となっています。前回調査と比較すると、わずかな差ではありますが「吸っていたがやめた」は増加し、「ほぼ毎日吸っている」は減少しています。



性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

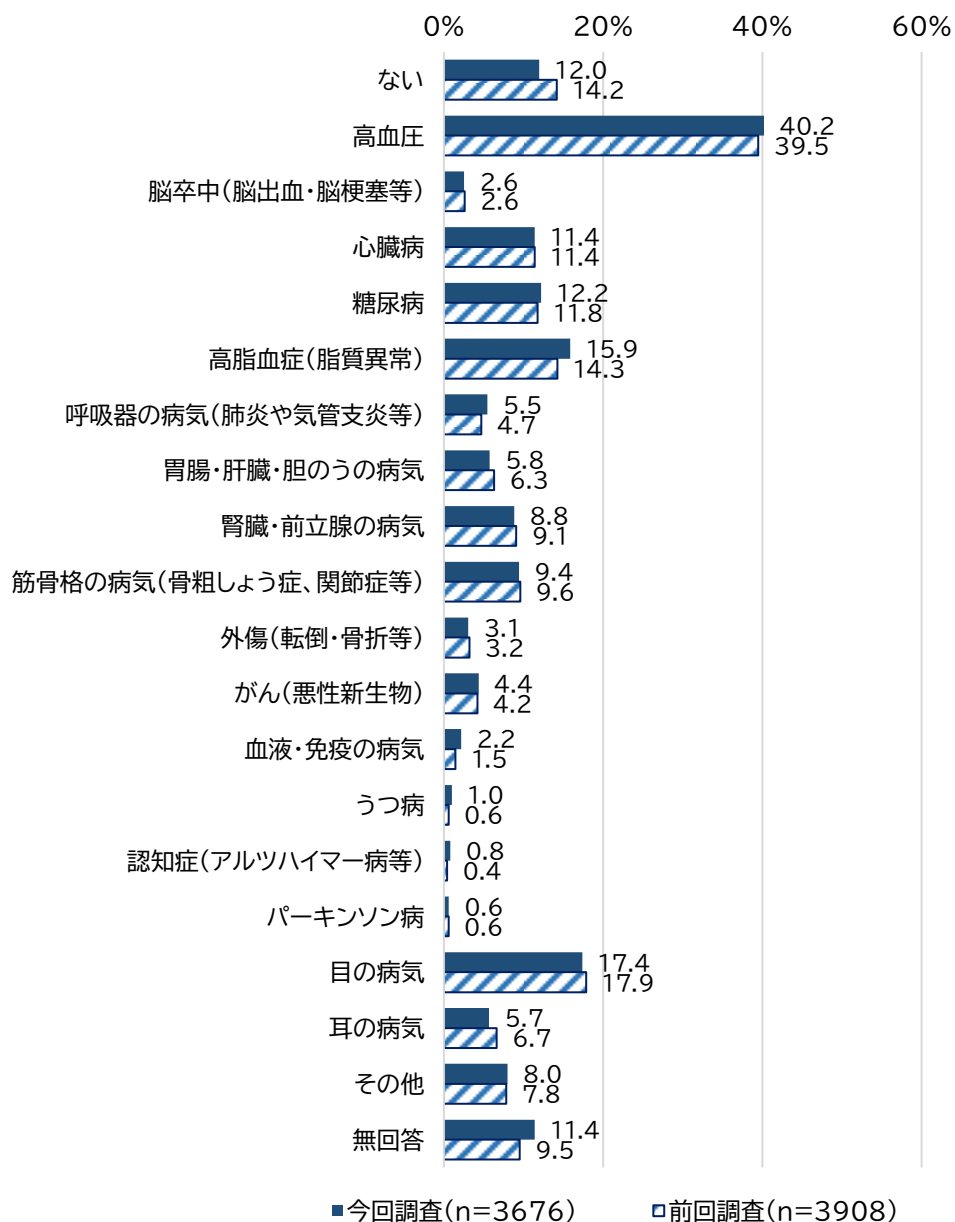
「ほぼ毎日吸っている」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて低くなっています。



(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか【複数回答】

「高血圧」が40.2%と最も多く、次いで「目の病気」が17.4%、「高脂血症（脂質異常）」が15.9%、「糖尿病」が12.2%、「ない」が12.0%となっています。

前回調査と比較すると、「ない」は2.2ポイント減少しています。



「その他」の主な記入内容

皮膚・皮下の病気（18）／甲状腺の病気（橋本病・バセドウ病・機能低下/異常等）（17）／アレルギー（食物・皮膚・全身反応等）（14）／神経系の病気（てんかん・顔面神経痛・振戦等）（12）／精神・心療領域（統合失調症・不安症等）（8）／コロナ後遺症（6）／等

性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

最も割合の高いものをみると、性別では「高血圧」「脳卒中」「心臓病」「糖尿病」「呼吸器の病気」「胃腸・肝臓・胆のうの病気」「腎臓・前立腺の病気」「がん」「うつ病」は男性の方が高く、「高脂血症」「筋骨格の病気」「外傷」「血液・免疫の病気」は女性の方が高くなっています。「ない」の割合は女性の方が高くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて割合が高くなっている病気は、「高血圧」「心臓病」「胃腸・肝臓・胆のうの病気」「腎臓・前立腺の病気」「筋骨格の病気」「外傷」となっています。ただし 90 歳以上では割合が下降するものもみられます。「ない」は年齢が上がるにつれて低くなっています。

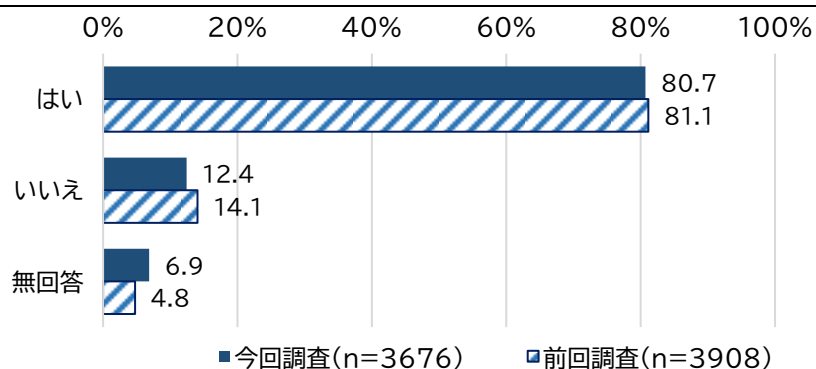
圏域別にみると、全てにおいて 1～2 ポイント程度の差となっています。「ない」の割合は、北部圏域の方が高くなっています。

(%)	n (回答数)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の 病気(肺炎や気管 支炎等)
全体	3676	12.0	40.2	2.6	11.4	12.2	15.9	5.5
男性	1592	10.9	42.4	4.2	14.9	15.8	11.7	7.0
女性	2029	12.8	38.9	1.3	8.7	9.6	19.5	4.3
65～69歳	683	18.7	35.9	0.9	5.7	9.1	19.3	4.2
70～74歳	790	15.8	35.4	2.3	9.9	11.3	18.9	5.3
75～79歳	992	9.9	42.0	2.9	10.5	15.0	16.2	6.5
80～84歳	615	7.0	45.5	3.7	13.7	13.0	16.3	5.7
85～89歳	386	7.0	46.9	2.8	17.4	14.8	7.5	6.7
90歳以上	159	8.8	36.5	3.1	27.0	6.3	7.5	3.1
南部圏域	2876	11.8	40.0	2.4	11.9	12.1	16.7	5.5
北部圏域	751	12.9	41.7	3.1	9.7	13.2	13.8	5.6
認定は受けていない	3182	13.1	39.9	2.2	10.1	11.6	16.6	5.1
要支援1	248	4.4	45.2	5.6	19.8	17.3	13.7	8.1
要支援2	132	3.0	39.4	5.3	24.2	16.7	9.8	11.4
事業対象者	18	0.0	50.0	0.0	27.8	11.1	11.1	5.6

(%)	n (回答数)	胃腸・肝臓・胆の うの病気	腎臓・前 立腺の病 気	筋骨格の 病気(骨 粗しょう 症、関節 症等)	外傷(転 倒・骨折 等)	がん(悪 性新生 物)	血液・免 疫の病 気	うつ病
全体	3676	5.8	8.8	9.4	3.1	4.4	2.2	1.0
男性	1592	7.5	17.3	4.0	1.5	5.8	1.8	1.1
女性	2029	4.4	2.1	13.8	4.2	3.3	2.5	0.9
65～69歳	683	5.1	5.1	6.1	1.9	3.1	2.8	1.2
70～74歳	790	5.4	7.3	6.2	2.8	3.9	2.8	1.5
75～79歳	992	6.0	9.5	10.7	2.2	5.7	2.1	0.5
80～84歳	615	5.9	10.2	12.8	3.9	4.1	1.5	1.0
85～89歳	386	7.5	13.0	12.2	4.7	5.2	2.1	1.3
90歳以上	159	5.7	11.9	13.8	6.9	3.8	0.6	0.0
南部圏域	2876	5.9	9.0	9.8	3.2	4.8	2.0	0.9
北部圏域	751	5.5	7.9	8.5	2.7	2.7	2.8	1.2
認定は受けていない	3182	5.8	8.5	8.4	2.4	4.0	2.2	0.8
要支援1	248	7.3	10.9	19.0	6.9	8.5	3.2	2.4
要支援2	132	5.3	11.4	20.5	11.4	7.6	2.3	1.5
事業対象者	18	5.6	11.1	0.0	0.0	5.6	0.0	5.6

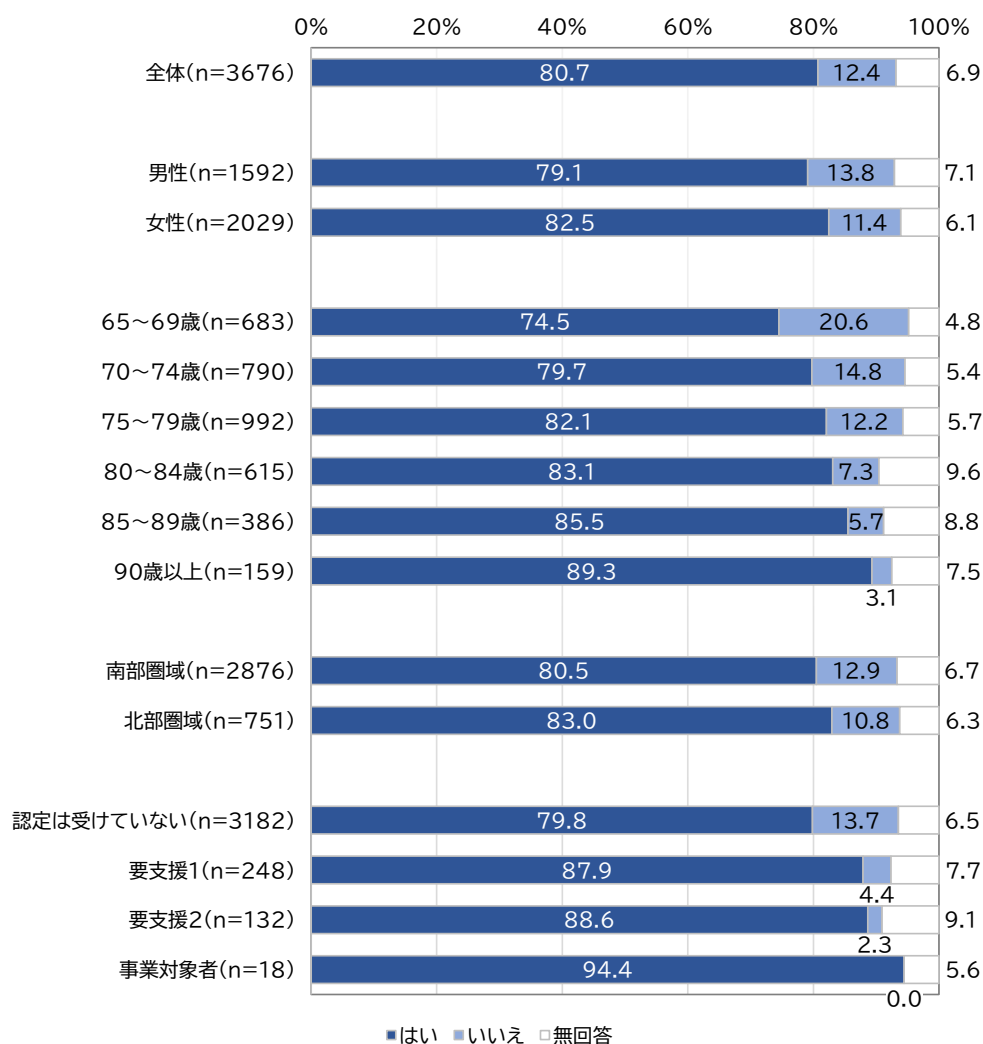
(8) かかりつけ医はありますか

「はい」が80.7%、「いいえ」が12.4%となっています。前回調査と比較すると、「いいえ」は1.7ポイント減少しています。



性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

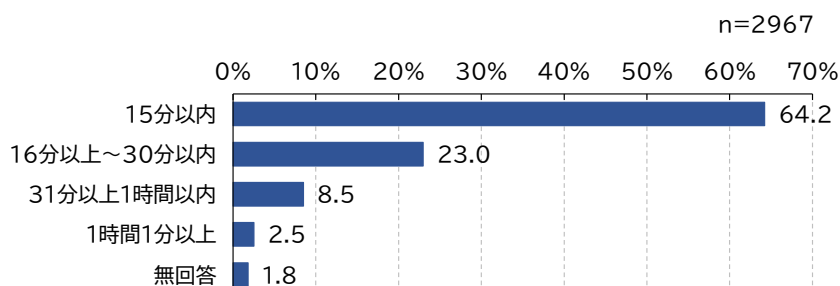
「はい」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。圏域別では北部圏域の方が高くなっており、要支援認定状況別では事業対象者(n=18)を除き認定度が上がるほど高くなっています。



(8)で「はい」(かかりつけ医がある)を選択した方

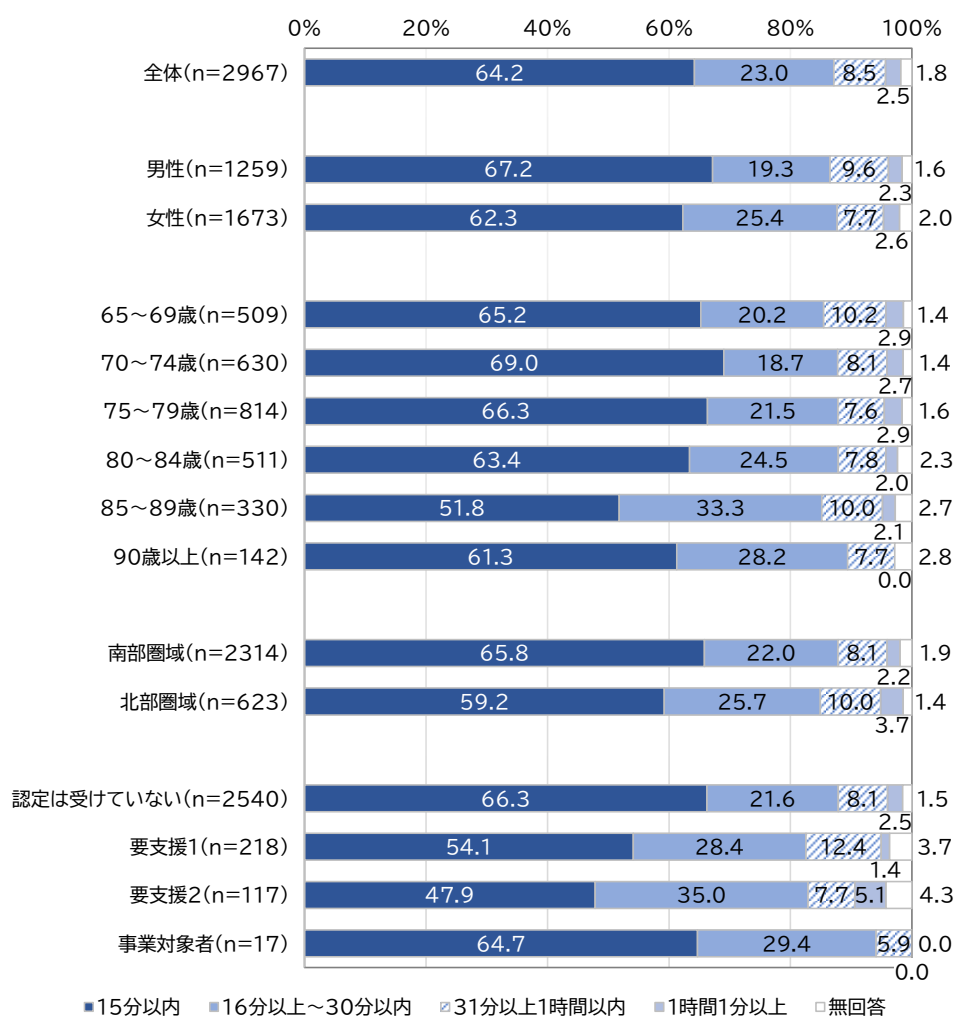
(8)-① どのくらいの時間でかかりつけ医まで行くことができますか

「15 分以内」が 64.2%と最も多く、次いで「16 分以上～30 分以内」が 23.0%、「31 分以上 1 時間以内」が 8.5%、「1 時間 1 分以上」が 2.5%となっています。



性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

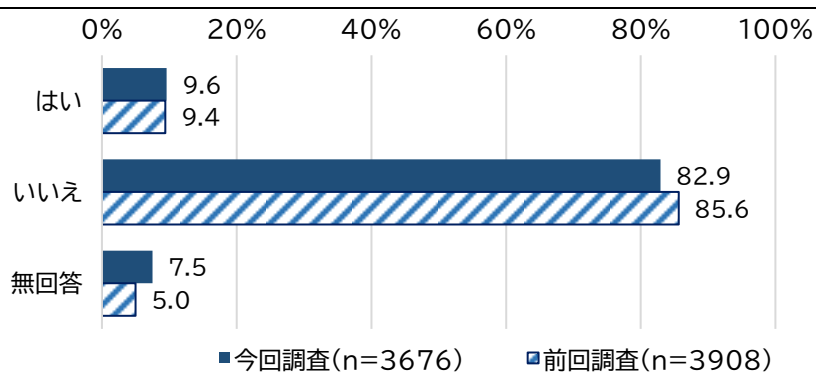
各所要時間の割合を圏域別にみると「15 分以内」は南部圏域の方が高く、「16 分以上 30 分以内」「31 分以上 1 時間以内」「1 時間 1 分以上」は北部圏域の方が高くなっています。



問9 認知症のことについておうかがいします

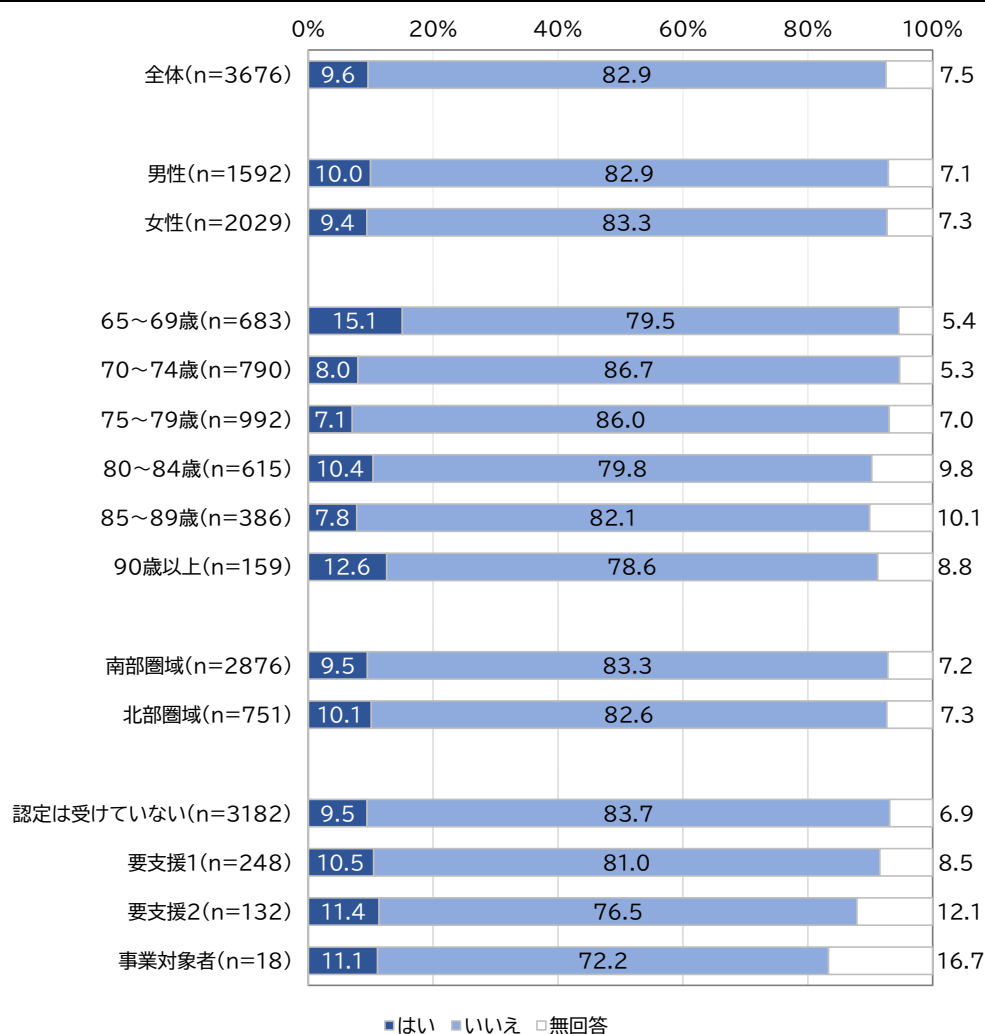
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

「はい」が9.6%、「いいえ」が82.9%となっています。前回調査と比較すると、「いいえ」は2.7ポイント減少しています。



性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

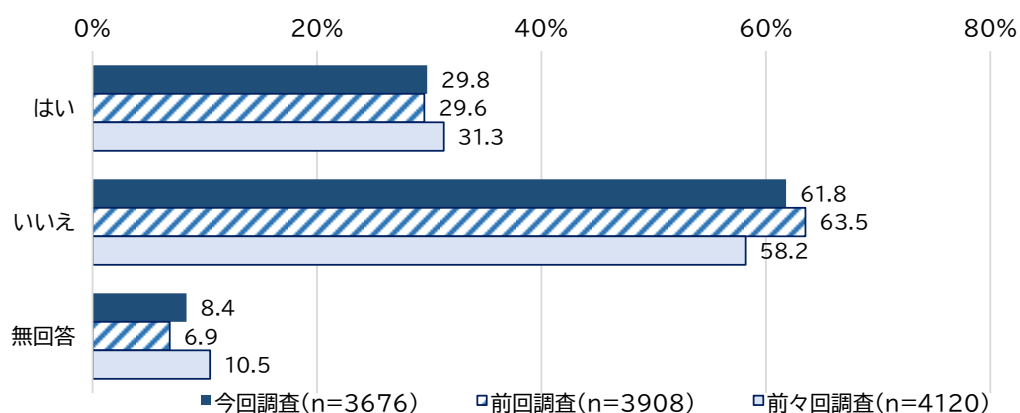
「はい」の割合は、性別では男性の方がわずかに高く、年齢別では65～69歳、80～84歳、90歳以上で1割を超えています。圏域別では北部圏域の方がわずかに高くなっています。



(2)認知症に関する相談窓口を知っていますか

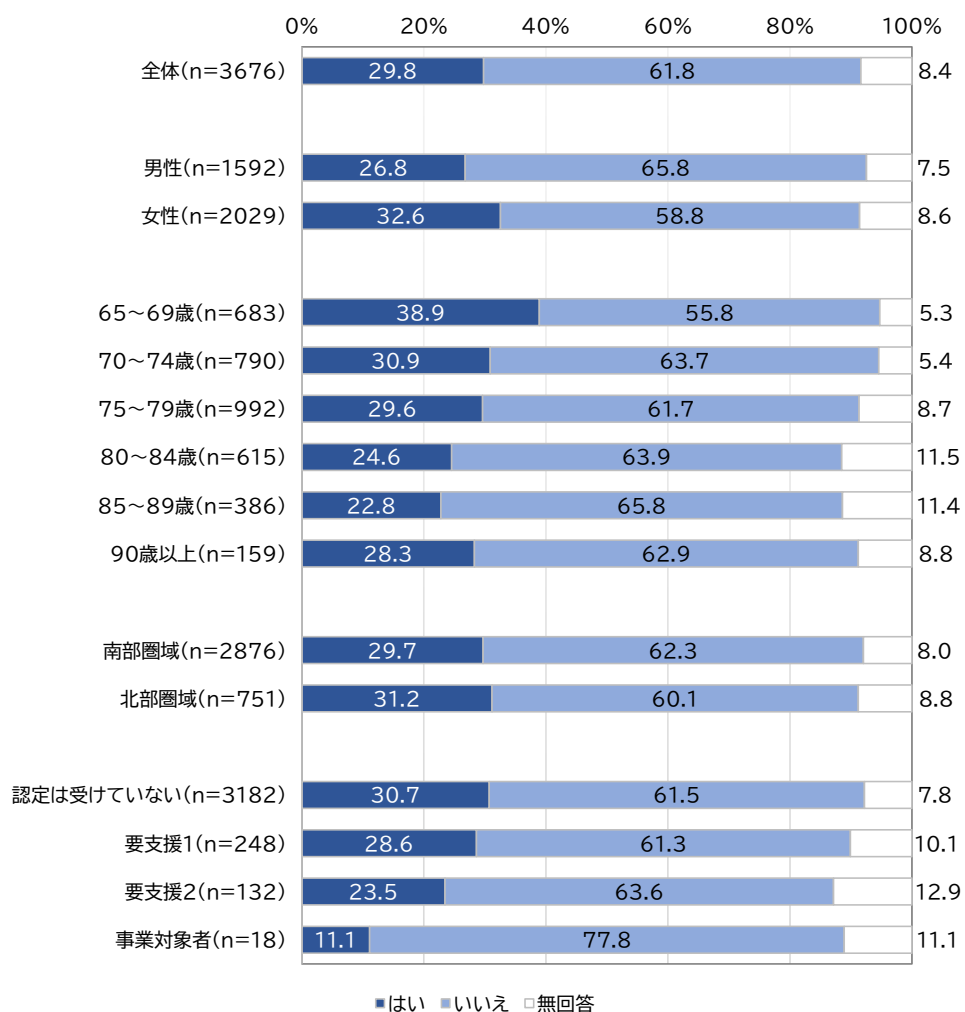
「はい」が29.8%、「いいえ」が61.8%となっています。

「はい」は前回調査とほとんど変わらず、前々回調査より減少しています。



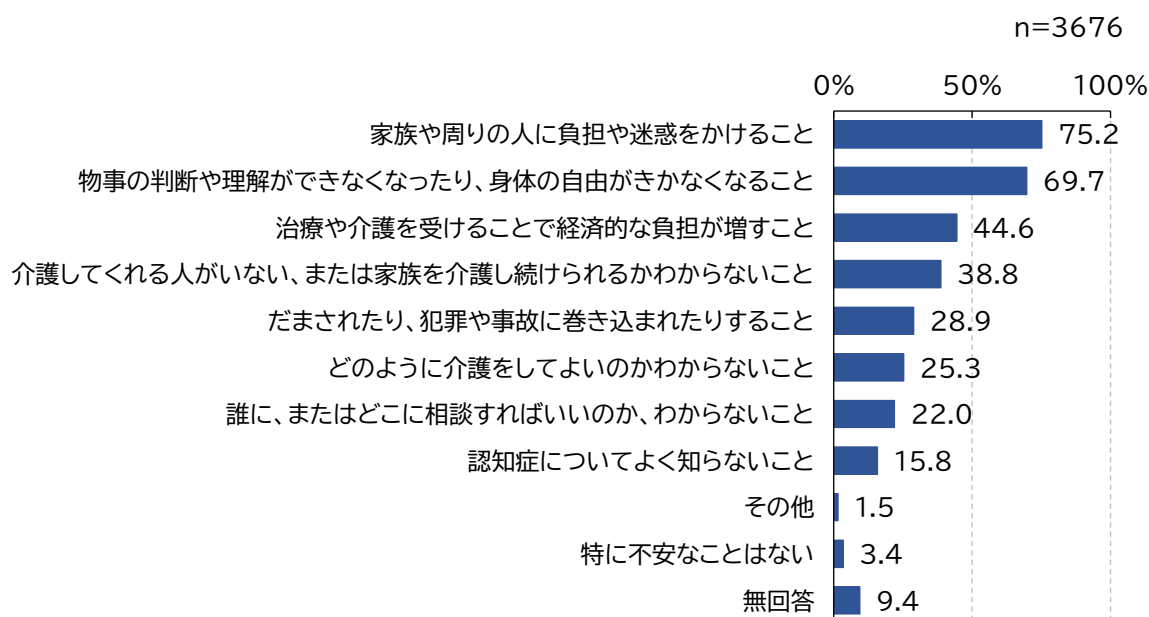
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では65～89歳までは年齢が上がるにつれて高くなる傾向ですが、90歳以上では低くなっています。圏域別では南部圏域の方が高くなっています。



(3) あなたやあなたの家族が認知症になったとき、不安なことは何ですか【複数回答】

「家族や周りの人に負担や迷惑をかけること」が75.2%と最も多く、次いで「物事の判断や理解ができなくなったり、身体が自由がきかなくなること」が69.7%、「治療や介護を受けることで経済的な負担が増すこと」が44.6%、「介護してくれる人がいない、または家族を介護し続けられるかわからないこと」が38.8%、「だまされたり、犯罪や事故に巻き込まれたりすること」が28.9%となっています。



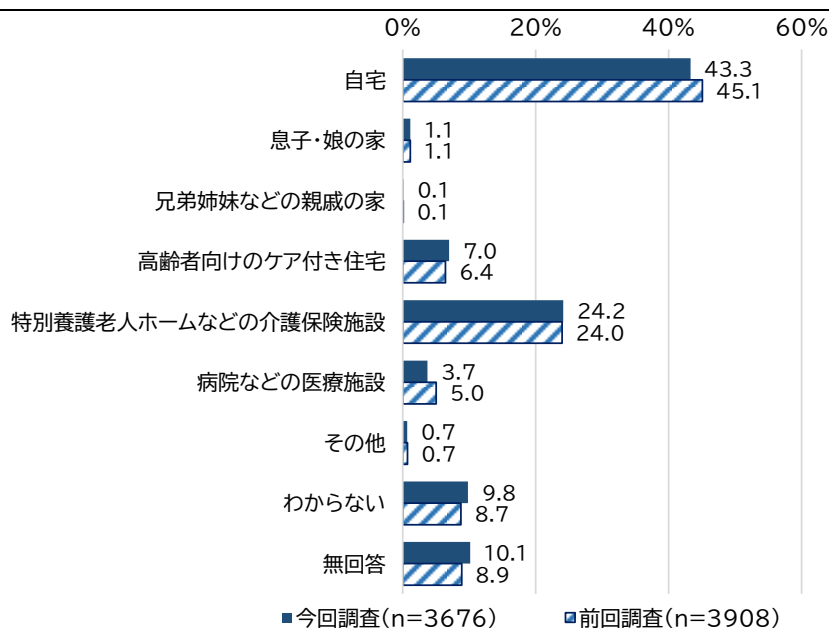
「その他」の主な記入内容

尊厳の喪失・人間らしく生きられるか(4)／将来どうなるかわからないという存在的不安(3)／社会の理解不足・偏見(2)／行方不明・安全確保(1)／等

問 10 これからの生活についておうかがいします

(1) 仮に介護が必要になったとき、どこで暮らしたいと思いますか

「自宅」が43.3%と最も多く、次いで「特別養護老人ホームなどの介護保険施設」が24.2%、「わからない」が9.8%、「高齢者向けのケア付き住宅」が7.0%、「病院などの医療施設」が3.7%となっています。前回調査と比較すると、「自宅」は1.8ポイント、「病院などの医療施設」は1.3ポイント減少しています。



「その他」の主な記入内容

アパート／パートナーの家

性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

性別で3ポイント以上の差のある割合をみると、「自宅」は男性、「高齢者向けのケア付き住宅」「特別養護老人ホームなどの介護保険施設」は女性の方が高くなっています。

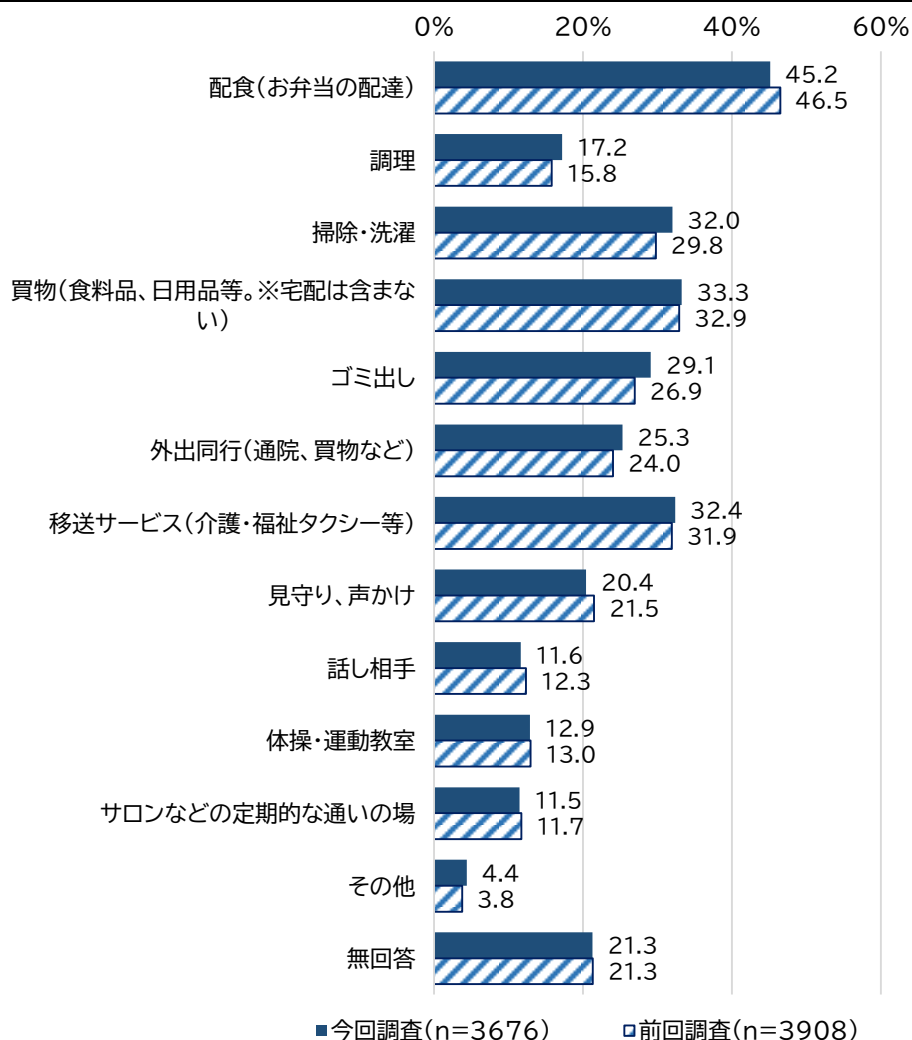
「わからない」は女性の方が高くなっています。

(%)	n (回答数)	自宅	息子・娘の家	兄弟姉妹などの親戚の家	高齢者向けのケア付き住宅	特別養護老人ホームなどの介護保険施設	病院などの医療施設	その他	わからない	無回答
全体	3676	43.3	1.1	0.1	7.0	24.2	3.7	0.7	9.8	10.1
男性	1592	51.1	0.7	0.1	4.7	21.2	3.3	0.5	8.5	9.9
女性	2029	37.5	1.5	0.1	8.9	26.5	4.1	0.7	10.9	9.7
65～69歳	683	38.4	0.7	0.3	8.3	25.9	2.3	0.4	14.2	9.4
70～74歳	790	44.7	1.0	0.1	8.0	24.7	3.2	0.4	10.0	8.0
75～79歳	992	47.0	0.8	0.1	8.0	22.3	3.3	0.8	9.6	8.2
80～84歳	615	44.2	1.5	0.0	4.9	23.1	3.9	0.8	7.8	13.8
85～89歳	386	38.1	1.8	0.3	6.2	24.9	6.5	0.8	8.5	13.0
90歳以上	159	47.2	2.5	0.0	1.9	28.9	7.5	0.6	3.1	8.2
南部圏域	2876	44.6	1.0	0.1	7.0	23.7	3.6	0.6	9.7	9.7
北部圏域	751	39.3	1.6	0.1	7.3	26.0	4.3	0.9	10.3	10.3
認定は受けていない	3182	44.3	1.0	0.2	7.3	23.3	3.5	0.6	10.0	9.8
要支援1	248	35.9	2.8	0.0	6.5	30.6	4.4	1.2	9.7	8.9
要支援2	132	37.9	1.5	0.0	3.0	33.3	6.8	0.0	6.1	11.4
事業対象者	18	55.6	0.0	0.0	11.1	16.7	0.0	0.0	5.6	11.1

(2) 在宅生活を続けるうえで、今後利用したいと思うサービス・取組は何ですか【複数回答】

「配食（お弁当の配達）」が45.2%と最も多く、次いで「買物（食料品、日用品等。※宅配は含まない）」が33.3%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が32.4%、「掃除・洗濯」が32.0%、「ゴミ出し」が29.1%となっています。

前回調査と比較すると、「掃除・洗濯」「ゴミ出し」は2.2ポイント増加しています。



「その他」の主な記入内容

デイサービス（入浴・ふろを含む）（3）／通所リハビリ・リハビリ利用（3）／ケアホームでの継続的な生活（2）／通院支援・通院利用（2）／趣味等のサークル活動／調理の教室／力仕事の支援／庭木剪定／庭の管理／生活を維持するための支援全般／等

性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

全体での上位4位は「配食」「買物」「移送サービス」「掃除・洗濯」で、順位は多少前後するものの、各層別にみても大きく変わることはありません。

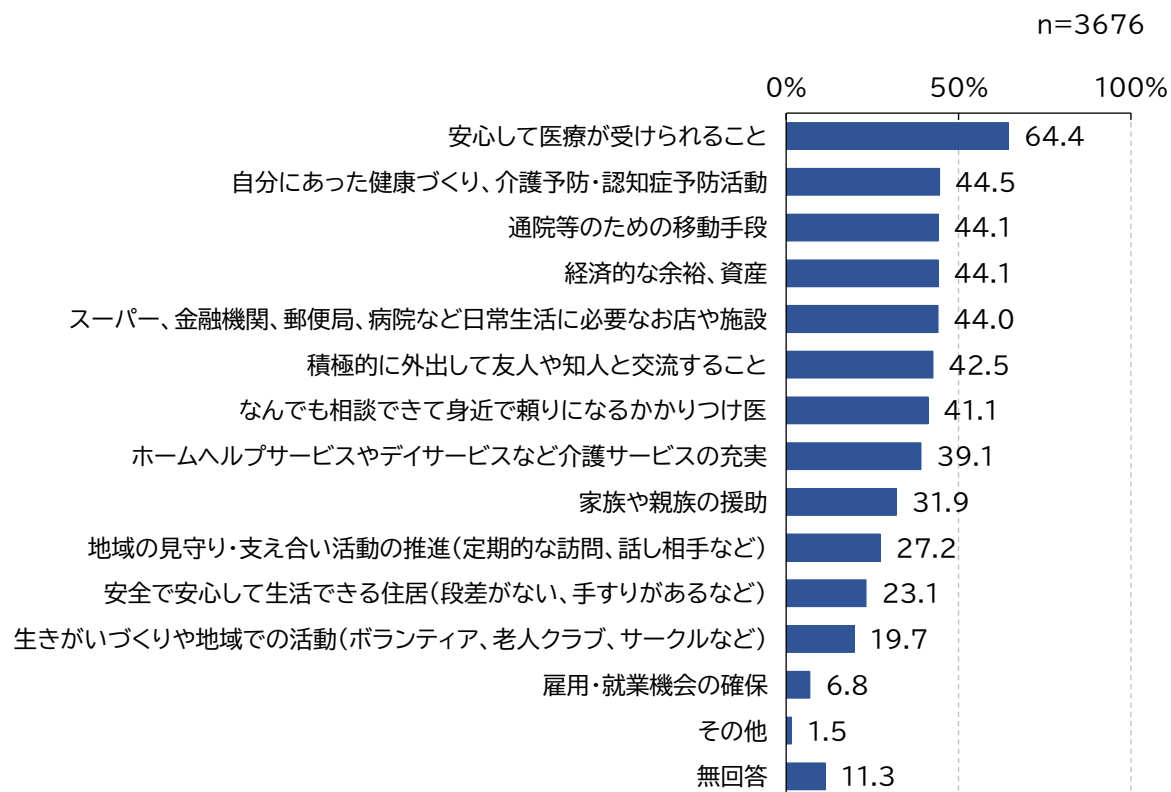
性別で割合をみると、「配食」「調理」「掃除・洗濯」といった家事に関連するものは男性の方が高く、「外出同行」「移送サービス」といった移動に関連するものは女性の方が高くなっています。また、「見守り、声かけ」「話し相手」「体操・運動教室」「サロンなどの定期的な通いの場」といった、他者との関わりが想定されるものは女性の方が高くなっています。

(%)	n (回答数)	配食（お弁当の配達）	調理	掃除・洗濯	買物（食料品、日用品等。※宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）
全体	3676	45.2	17.2	32.0	33.3	29.1	25.3	32.4
男性	1592	49.2	20.4	34.4	33.7	28.1	22.1	27.3
女性	2029	42.3	15.0	30.4	33.4	30.2	28.2	36.7
65～69歳	683	48.5	18.4	29.3	31.5	26.8	24.5	34.3
70～74歳	790	46.5	17.2	34.2	36.3	29.1	26.6	31.6
75～79歳	992	46.6	18.6	33.4	34.6	31.1	26.3	34.3
80～84歳	615	42.9	17.4	30.9	34.8	29.4	25.5	32.2
85～89歳	386	39.9	13.0	31.6	29.8	29.0	25.1	30.1
90歳以上	159	40.9	15.7	33.3	26.4	28.3	20.8	27.0
南部圏域	2876	46.3	17.0	32.8	33.9	29.8	25.7	32.1
北部圏域	751	41.7	18.4	30.0	32.1	27.3	24.8	34.4
認定は受けていない	3182	45.8	17.6	32.1	33.9	29.1	25.1	32.4
要支援1	248	46.8	14.1	36.3	34.3	31.9	30.6	35.5
要支援2	132	35.6	15.2	30.3	28.0	30.3	28.0	35.6
事業対象者	18	44.4	22.2	38.9	33.3	33.3	27.8	33.3

(%)	n (回答数)	見守り、声かけ	話し相手	体操・運動教室	サロンなどの定期的な通いの場	その他	無回答
全体	3676	20.4	11.6	12.9	11.5	4.4	21.3
男性	1592	17.0	10.5	8.3	6.3	5.3	22.4
女性	2029	23.4	12.7	16.4	15.7	3.8	19.8
65～69歳	683	22.4	10.1	17.4	12.9	5.4	19.0
70～74歳	790	20.3	11.4	11.5	9.4	6.2	19.2
75～79歳	992	20.4	12.1	10.3	8.9	3.3	22.2
80～84歳	615	20.2	13.0	15.4	13.5	2.9	22.1
85～89歳	386	19.7	10.9	10.9	17.6	4.9	22.3
90歳以上	159	19.5	15.1	10.7	11.9	3.1	24.5
南部圏域	2876	20.1	11.6	13.2	11.6	4.6	20.5
北部圏域	751	22.4	12.1	11.9	11.6	3.7	22.8
認定は受けていない	3182	20.6	11.5	12.2	10.9	4.7	21.1
要支援1	248	20.2	14.1	19.8	15.3	1.6	19.0
要支援2	132	21.2	14.4	17.4	18.2	5.3	18.9
事業対象者	18	38.9	16.7	27.8	22.2	5.6	11.1

(3) 住み慣れた地域で、いつまでも安心して過ごすには何が必要だと思いますか【複数回答】

「安心して医療が受けられること」が64.4%と最も多く、次いで「自分にあった健康づくり、介護予防・認知症予防活動」が44.5%、「通院等のための移動手段」及び「経済的な余裕、資産」が44.1%、「スーパー、金融機関、郵便局、病院など日常生活に必要なお店や施設」が44.0%となっています。



「その他」の主な記入内容

自然災害への備え・避難場所などの情報の充実(4)／寺社などの精神的な支え・心の拠り所(3)／高所作業・身の回りの軽作業への手助け(2)／安心して暮らせる地域環境・人間関係(悪い人がいない・地域環境の良さ)(2)／がまん・根気・本人の意識(2)／1人暮らし増加に対する防犯対策の強化／公的支援・差別のない社会・平和／介護が必要になった場合の受け皿に対する意識(将来は施設に任せたい)／等

性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

全体での上位4位は「安心して医療を受けられること」「自分にあった健康づくり、介護予防・認知症予防活動」「通院等のための移動手段」「経済的な余裕・資産」で、各層別にみても大きく変わるところはありません。

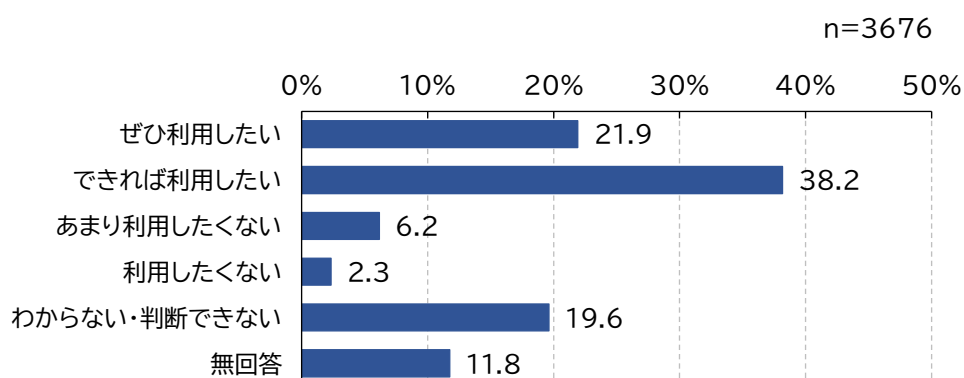
(%)		積極的に外出して友人や知人と交流すること	地域の見守り・支え合い活動の推進（定期的な訪問、話し相手など）	自分にあった健康づくり、介護予防・認知症予防活動	安心して医療が受けられること	生きがいづくりや地域での活動（ボランティア、老人クラブ、サークルなど）	雇用・就業機会の確保	ホームヘルプサービスやデイサービスなど介護サービスの充実
	n（回答数）							
全体	3676	42.5	27.2	44.5	64.4	19.7	6.8	39.1
男性	1592	38.6	25.6	42.4	63.6	17.0	8.4	34.8
女性	2029	46.0	28.8	46.5	65.8	21.9	5.7	42.8
65～69歳	683	42.0	30.0	47.9	63.8	23.6	14.2	40.7
70～74歳	790	42.0	27.0	48.6	65.2	17.0	9.2	38.1
75～79歳	992	42.0	25.7	43.0	65.0	18.5	4.8	38.0
80～84歳	615	48.5	28.1	45.5	66.3	22.9	2.8	40.5
85～89歳	386	40.7	25.6	37.6	62.4	18.4	2.8	39.6
90歳以上	159	35.8	28.9	35.2	65.4	15.1	1.3	42.1
南部圏域	2876	42.7	27.1	45.4	64.3	20.0	6.5	40.2
北部圏域	751	42.5	28.4	41.7	66.6	18.9	8.1	36.2
認定は受けていない	3182	43.1	26.9	44.9	65.2	20.0	7.4	38.4
要支援1	248	41.9	33.1	45.2	63.3	19.0	3.2	48.0
要支援2	132	37.1	28.0	44.7	63.6	17.4	0.8	47.7
事業対象者	18	38.9	33.3	38.9	66.7	22.2	11.1	55.6

(%)		通院等のための移動手段	スーパー、金融機関、郵便局、病院など日常生活に必要なお店や施設	安全で安心して生活できる住居（段差がない、手すりがあるなど）	経済的な余裕・資産	家族や親族の援助	なんでも相談できて身近で頼りになるかかりつけ医	その他
	n（回答数）							
全体	3676	44.1	44.0	23.1	44.1	31.9	41.1	1.5
男性	1592	37.8	42.9	19.2	45.2	31.2	33.3	1.6
女性	2029	49.4	45.5	26.6	43.7	32.6	47.7	1.5
65～69歳	683	43.8	51.0	26.1	57.5	30.7	36.3	1.9
70～74歳	790	44.1	47.0	23.7	52.9	31.4	37.6	1.5
75～79歳	992	43.1	41.8	21.8	42.6	31.1	40.7	1.4
80～84歳	615	47.8	44.4	23.4	33.8	31.7	47.3	1.3
85～89歳	386	44.6	36.3	23.3	30.8	33.7	46.9	1.6
90歳以上	159	39.0	37.1	19.5	28.9	42.1	49.7	1.3
南部圏域	2876	44.2	44.1	23.4	44.6	32.0	41.2	1.6
北部圏域	751	44.3	45.0	23.2	43.4	31.7	42.1	1.3
認定は受けていない	3182	44.0	45.1	23.0	45.6	31.6	40.5	1.5
要支援1	248	48.4	45.2	28.2	35.5	34.3	45.6	1.6
要支援2	132	50.0	31.8	25.0	37.9	37.1	54.5	3.0
事業対象者	18	55.6	33.3	27.8	44.4	50.0	55.6	0.0

問 11 医療診療車による診療サービスについておうかがいします

(1) 看護師が同乗した移動診療車が自宅に伺い、自宅の庭先から診療所で待機しているかかりつけ医と画面越しにつながり診療を受けられるサービスがあります。今後、自力での通院が難しくなった場合、あなたは、ご利用になりたいと思いますか

「できれば利用したい」が38.2%と最も多く、次いで「ぜひ利用したい」が21.9%、「わからない・判断できない」が19.6%、「あまり利用したくない」が6.2%、「利用したくない」が2.3%となっています。



性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

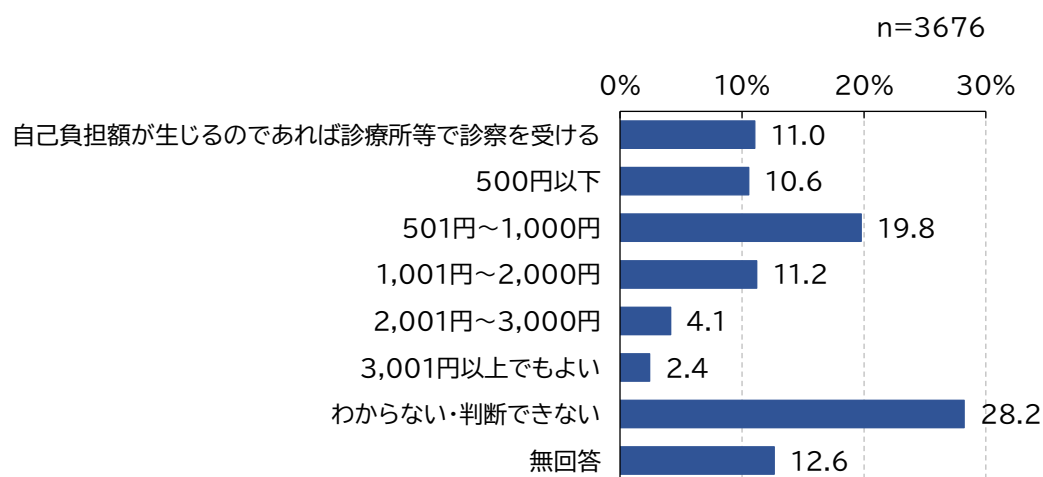
圏域別にみると、全体で最も多い「できれば利用したい」の割合は北部圏域の方が高く、「ぜひ利用したい」は南部圏域の方が高くなっています。

また、要支援認定状況別では「できれば利用したい」の割合は、事業対象者で5割を超えています。

(%)	n (回答数)	ぜひ利用 したい	できれば 利用した い	あまり利 用したく ない	利用した くない	わから ない・判 断でき ない	無回答
全体	3676	21.9	38.2	6.2	2.3	19.6	11.8
男性	1592	22.8	39.8	6.5	2.4	17.3	11.1
女性	2029	21.3	37.3	5.9	2.3	21.3	11.8
65～69歳	683	24.0	42.2	5.4	2.6	17.3	8.5
70～74歳	790	21.9	39.9	6.1	1.9	21.6	8.6
75～79歳	992	20.2	37.6	6.7	2.2	20.1	13.3
80～84歳	615	24.2	35.0	6.3	2.8	20.7	11.1
85～89歳	386	19.2	38.9	5.7	2.1	16.8	17.4
90歳以上	159	23.3	32.1	6.3	1.9	20.1	16.4
南部圏域	2876	22.8	37.9	6.2	2.7	19.2	11.2
北部圏域	751	18.5	40.3	6.0	1.1	21.3	12.8
認定は受けていない	3182	21.7	39.2	6.4	2.1	19.9	10.8
要支援1	248	25.0	35.5	4.8	4.0	15.7	14.9
要支援2	132	25.0	27.3	4.5	5.3	20.5	17.4
事業対象者	18	11.1	55.6	5.6	0.0	22.2	5.6

(2) このサービスを利用する場合、診療費とは別にサービス利用にかかる費用として、自己負担額が生じるのであればどの範囲なら支払ってもよいと思いますか

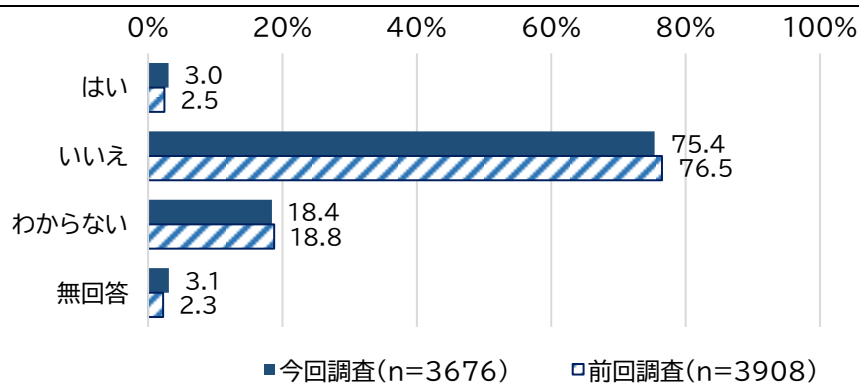
「わからない・判断できない」が 28.2%と最も多く、次いで「501 円～1,000 円」が 19.8%、「1,001 円～2,000 円」が 11.2%、「自己負担額が生じるのであれば診療所等で診察を受ける」が 11.0%、「500 円以下」が 10.6%となっています。



問 12 延命治療についておうかがいします

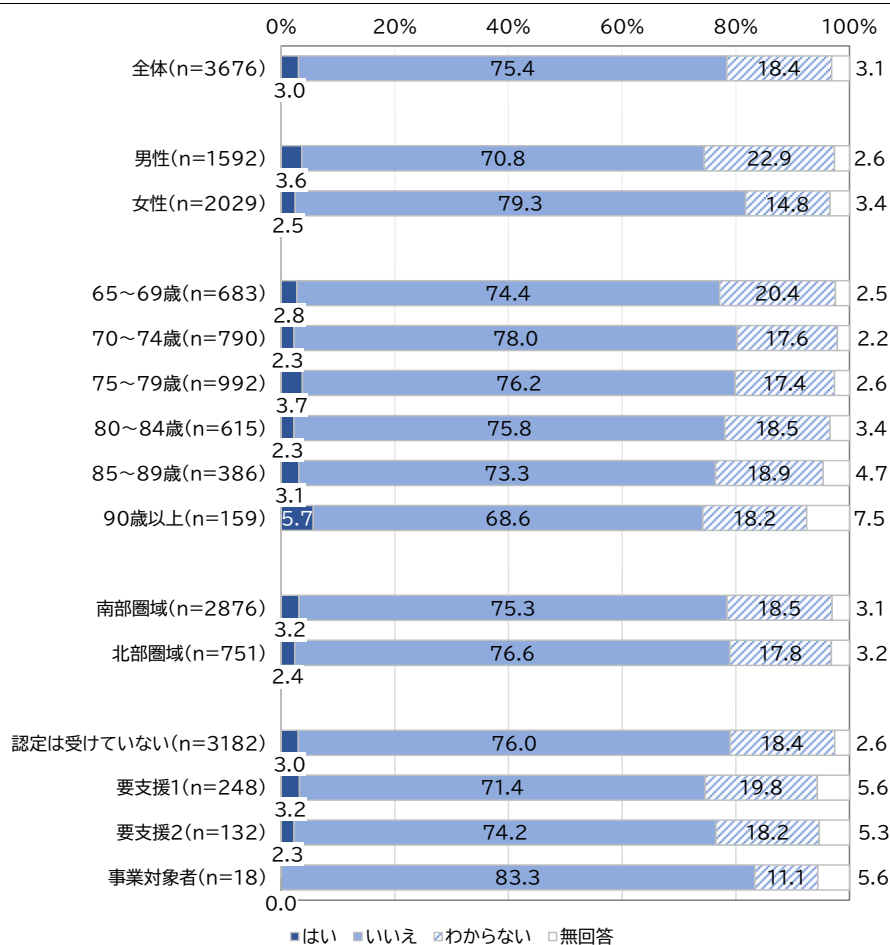
(1) 将来、治る見込みがなく死期が迫っている(6か月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、延命治療を望みますか

「いいえ」が75.4%と最も多く、次いで「わからない」が18.4%、「はい」が3.0%となっています。前回調査と比較すると、わずかな差ではありますが、「はい」は増加し、「いいえ」「わからない」は減少しています。



性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

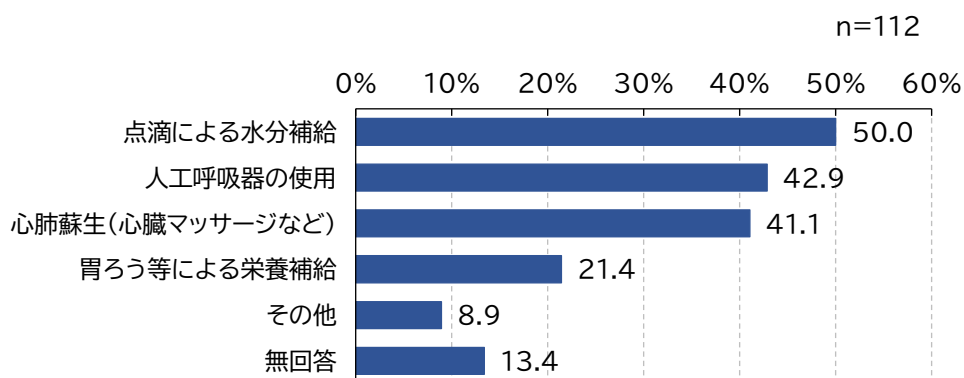
いずれの層でも「はい」の割合が低くなっていますが、性別では男性の方が高く、年齢別では90歳以上が5.7%と比較的高くなっています。



(1)で「はい」(延命治療を望む)を選択した方

(1)-① どのような延命治療を望みますか【複数回答】

「点滴による水分補給」が50.0%と最も多く、次いで「人工呼吸器の使用」が42.9%、「心肺蘇生（心臓マッサージなど）」が41.1%、「胃ろう等による栄養補給」が21.4%、「その他」が8.9%となっています。



「その他」の主な記入内容

苦痛を取るのみ／疼痛の緩和

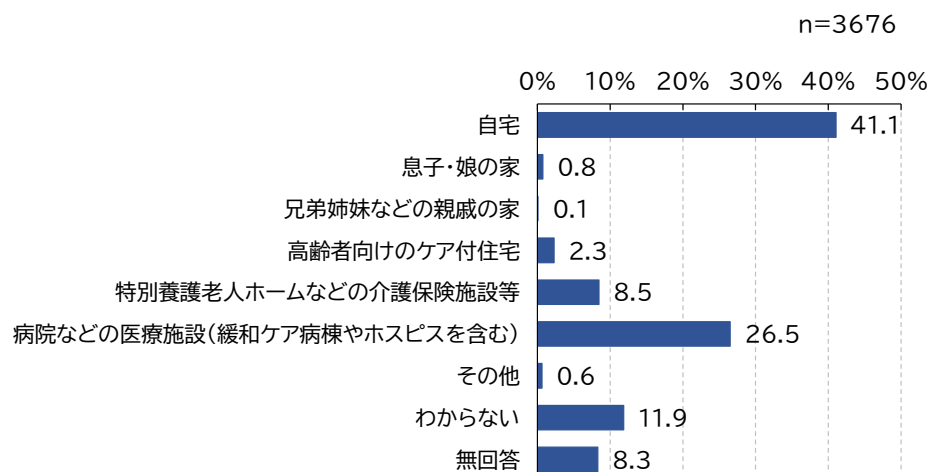
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

性別にみるといずれの延命治療でも男性の方が割合が高くなっています。年齢別にみると「心肺蘇生」は年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向ですが、「人工呼吸の使用」「点滴による水分補給」は高低差はあるものの希望者が多い傾向です。

(%)	n (回答数)	心肺蘇生 (心臓 マッサージ など)	人工呼吸 器の使用	点滴によ る水分補 給	胃ろう等 による栄 養補給	その他	無回答
全体	112	41.1	42.9	50.0	21.4	8.9	13.4
男性	58	48.3	44.8	50.0	27.6	10.3	8.6
女性	50	36.0	40.0	48.0	16.0	8.0	20.0
65～69歳	19	52.6	52.6	52.6	42.1	15.8	10.5
70～74歳	18	44.4	16.7	44.4	5.6	11.1	11.1
75～79歳	37	40.5	48.6	45.9	16.2	8.1	13.5
80～84歳	14	35.7	42.9	50.0	35.7	0.0	21.4
85～89歳	12	33.3	50.0	33.3	25.0	8.3	25.0
90歳以上	9	44.4	44.4	77.8	11.1	11.1	0.0
南部圏域	91	40.7	45.1	51.6	24.2	9.9	12.1
北部圏域	18	50.0	33.3	33.3	11.1	5.6	22.2
認定は受けていない	96	42.7	44.8	50.0	20.8	9.4	13.5
要支援1	8	37.5	25.0	37.5	50.0	12.5	12.5
要支援2	3	33.3	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0
事業対象者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(2) 将来、治る見込みがなく死期が迫っている(6か月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、どこで療養生活を望みますか

「自宅」が41.1%と最も多く、次いで「病院などの医療施設(緩和ケア病棟やホスピスを含む)」が26.5%、「わからない」が11.9%、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設等」が8.5%、「高齢者向けのケア付住宅」が2.3%となっています。



「その他」の主な記入内容

家族の判断・意見に従う(5)／介護・世話をしてもらえる環境であればよい(場所は問わない)(4)／経済的負担が少ない場所／等

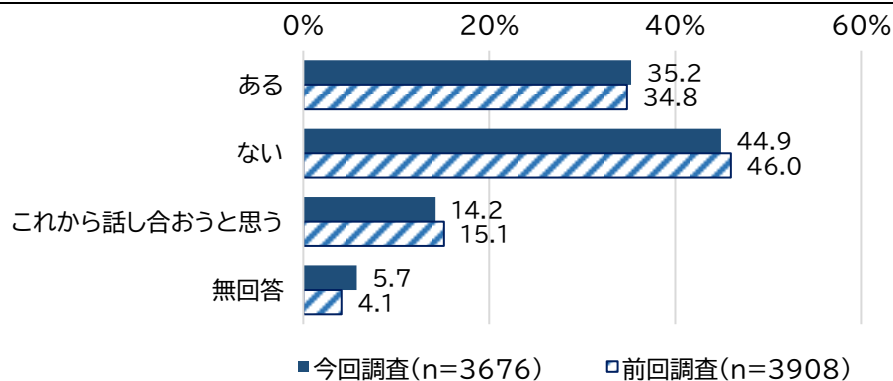
性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

全体の上位は「自宅」「病院などの医療施設」「わからない」となっています。性別では男性は「自宅」、女性は「病院などの医療施設」の割合が最も高く、年齢別では90歳以上で「自宅」が46.5%で4割以上となっています。要支援認定状況別では認定度が上がるにつれて「自宅」が低くなり「病院などの医療施設」が高くなっています。

(%)	n(回答数)	自宅	息子・娘の家	兄弟姉妹などの親戚の家	高齢者向けのケア付住宅	特別養護老人ホームなどの介護保険施設等	病院などの医療施設(緩和ケア病棟やホスピスを含む)	その他	わからない	無回答
全体	3676	41.1	0.8	0.1	2.3	8.5	26.5	0.6	11.9	8.3
男性	1592	49.0	0.6	0.2	1.5	7.5	21.0	0.6	10.4	9.2
女性	2029	35.0	0.8	0.0	3.0	9.1	30.8	0.6	13.0	7.6
65～69歳	683	35.4	0.4	0.4	2.3	6.6	30.7	1.2	13.0	9.8
70～74歳	790	46.7	1.3	0.0	2.4	8.1	23.4	0.5	10.9	6.7
75～79歳	992	41.9	0.4	0.0	2.9	8.3	26.3	0.4	12.9	6.9
80～84歳	615	38.2	1.0	0.0	1.8	10.7	27.5	0.3	11.2	9.3
85～89歳	386	39.9	0.8	0.3	2.1	9.1	25.6	0.8	13.0	8.5
90歳以上	159	46.5	0.6	0.0	0.6	7.5	25.8	0.6	5.0	13.2
南部圏域	2876	41.3	0.8	0.1	2.5	8.1	27.1	0.6	11.2	8.4
北部圏域	751	40.1	0.7	0.1	1.3	9.7	24.6	0.8	14.6	8.0
認定は受けていない	3182	42.2	0.8	0.1	2.3	7.9	26.4	0.6	11.8	8.0
要支援1	248	33.5	0.4	0.0	3.2	11.3	27.8	0.4	14.1	9.3
要支援2	132	34.1	1.5	0.0	0.0	12.1	31.1	0.0	9.8	11.4
事業対象者	18	27.8	0.0	0.0	0.0	5.6	33.3	5.6	5.6	22.2

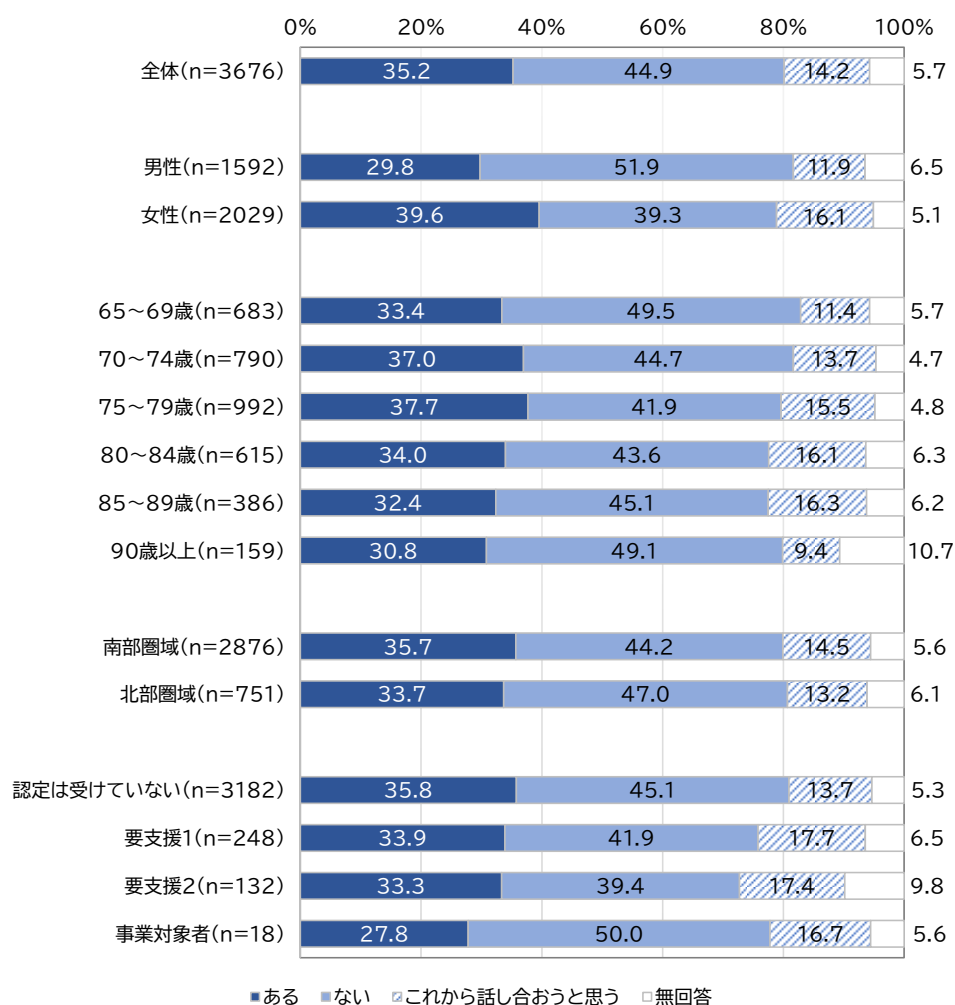
(3) 延命治療について家族と話し合ったことはありますか

「ない」が44.9%と最も多く、次いで「ある」が35.2%、「これから話し合おうと思う」が14.2%となっています。前回調査と比較すると、わずかな差ではありますが、「ある」は増加し、「ない」「これから話し合おうと思う」は減少しています。



性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別

「ある」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では75～79歳が37.7%と最も高くなっています。要支援認定状況別では事業対象者（n=18）を除き認定度が上がるほど低くなっています。



◇リスク評価について

今回の調査では、地域の高齢者の課題や必要なサービス等をよりの確に把握するため、前回の調査と同様、国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目を取り入れています。

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」では、介護予防事業の「基本チェックリスト」や「手段的自立度（IADL）」などの指標の判定に関する調査項目が設定されています。

これらの調査項目を使用し、リスク評価として、（１）生活機能評価、（２）日常生活評価、（３）社会参加評価の判定を行った結果をまとめます。各評価の概要は以下のとおりです。

（１）生活機能評価

生活機能が低下している人の状況を把握します。

その方法として基本チェックリスト¹に関する調査項目により、生活機能の状況について把握します。基本チェックリストでは、①運動機能の低下、②転倒、③閉じこもり、④低栄養、⑤咀嚼機能の低下、⑥口腔機能の低下、⑦認知機能の低下、⑧うつなどのリスクがあるかを判定します。

（２）日常生活評価

活動的な日常を送るための能力（手段的自立度：IADL²）が低下している人の状況を把握します。IADL の判定については、高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる「老研式活動能力指標」³による判定を用いています。

（３）社会参加評価

余暇や創作など生活を楽しむ能力（知的能動性）や、地域で社会的な役割を果たす能力（社会的役割）が低下している人の状況を把握します。「老研式活動能力指標」の知的能動性、社会的役割に関する調査項目により、社会参加の評価を行います。

なお、判定に用いる設問の全てあるいは一部が無回答であった場合は、正当な判定ができないため判定不能の処理となります。以下では、回答が判定の要件を満たしていなかったものを「判定不能」と表記しています。

¹ 基本チェックリスト：65 歳以上の要支援・要介護認定を受けていない方を対象にした、介護予防の必要性をチェックするための質問票。介護の原因となりやすい生活機能低下の危険性がないかどうかの視点で、運動、栄養、口腔、物忘れ、うつ病、閉じこもり等の全 25 項目について、「はい」、「いいえ」等で記入する。

² 「日常生活動作（Activity of Daily Living：ADL、食事、排泄、更衣、整容、入浴など日常生活を送るために必要な基本動作）」より複雑で高度な動作を行える自立度の程度を示す指標を「手段的自立度（Instrument Activity of Daily Living：IADL）」という。

³ 老研式活動能力指標：社会的生活機能を測る指標。「バスや電車で 1 人で外出しているか」など 13 の質問で構成されている。（１）活動的な日常生活をおくるための動作能力（IADL）、（２）余暇や造作などの積極的な知的活動能力、（３）地域で社会的な役割を果たす能力の 3 つがある。

(1)生活機能評価

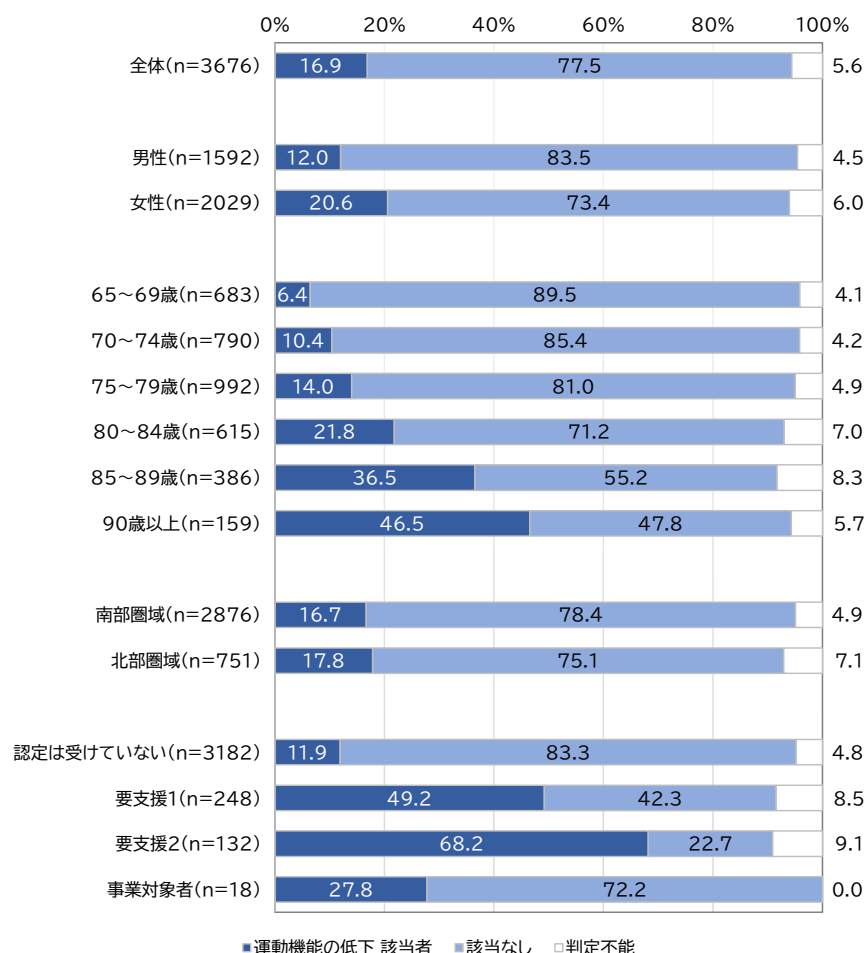
1. 運動機能

▼運動機能の低下 判定基準

設問	1 点	0 点
問2(1)階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問2(2)いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問2(3)15 分位続けて歩いていますか	3. できない	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問2(4)過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある	3. ない
問2(5)転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である	3. あまり不安でない 4. 不安でない

5 項目の合計得点	3 点以上	2 点以下
判定カテゴリ	運動機能の低下 該当者	該当なし

性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別



2. 転倒

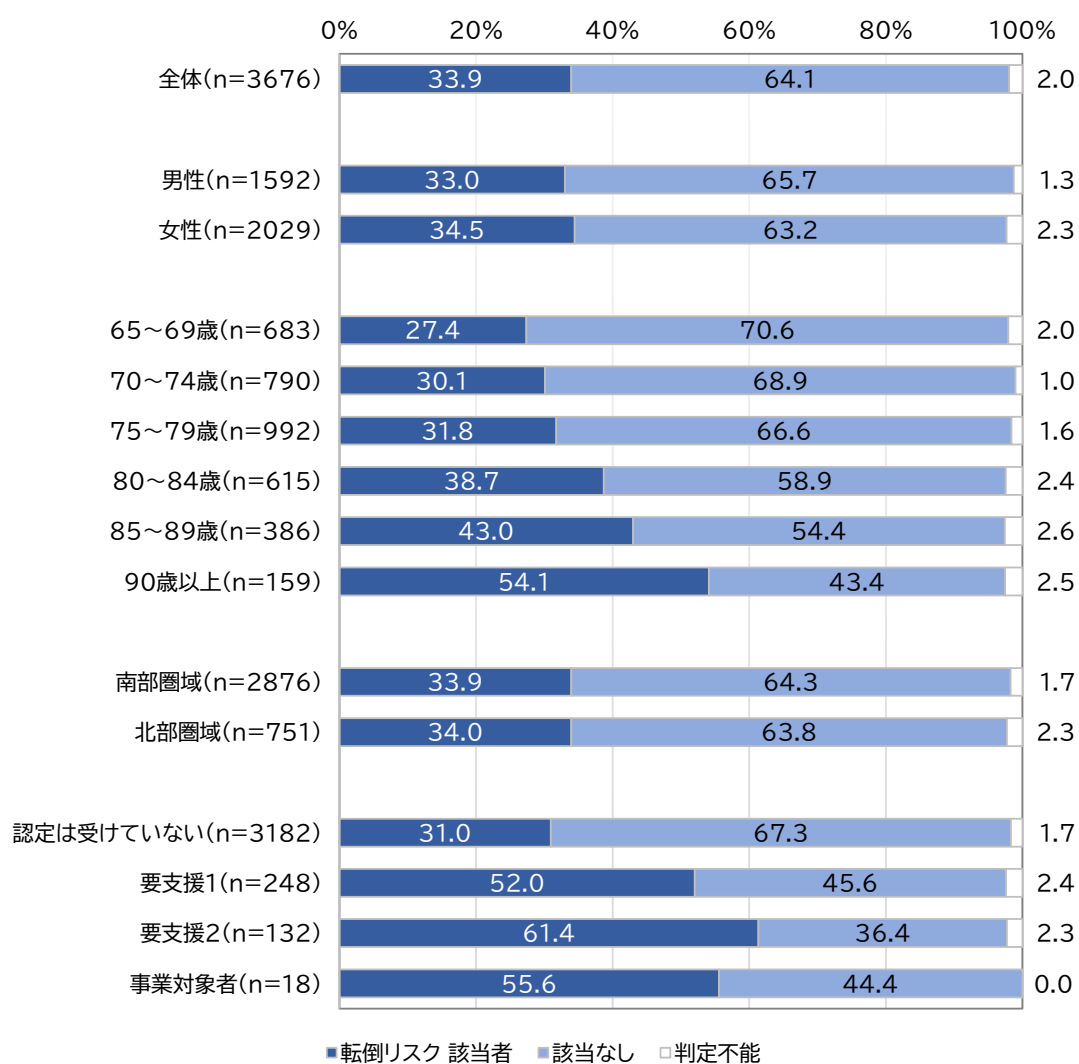
▼転倒リスク 判定基準

設問	1 点	0 点
問2(4)過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある	3. ない



1項目の合計得点	1 点	0 点
判定カテゴリ	転倒リスク 該当者	該当なし

性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別



3. 閉じこもり

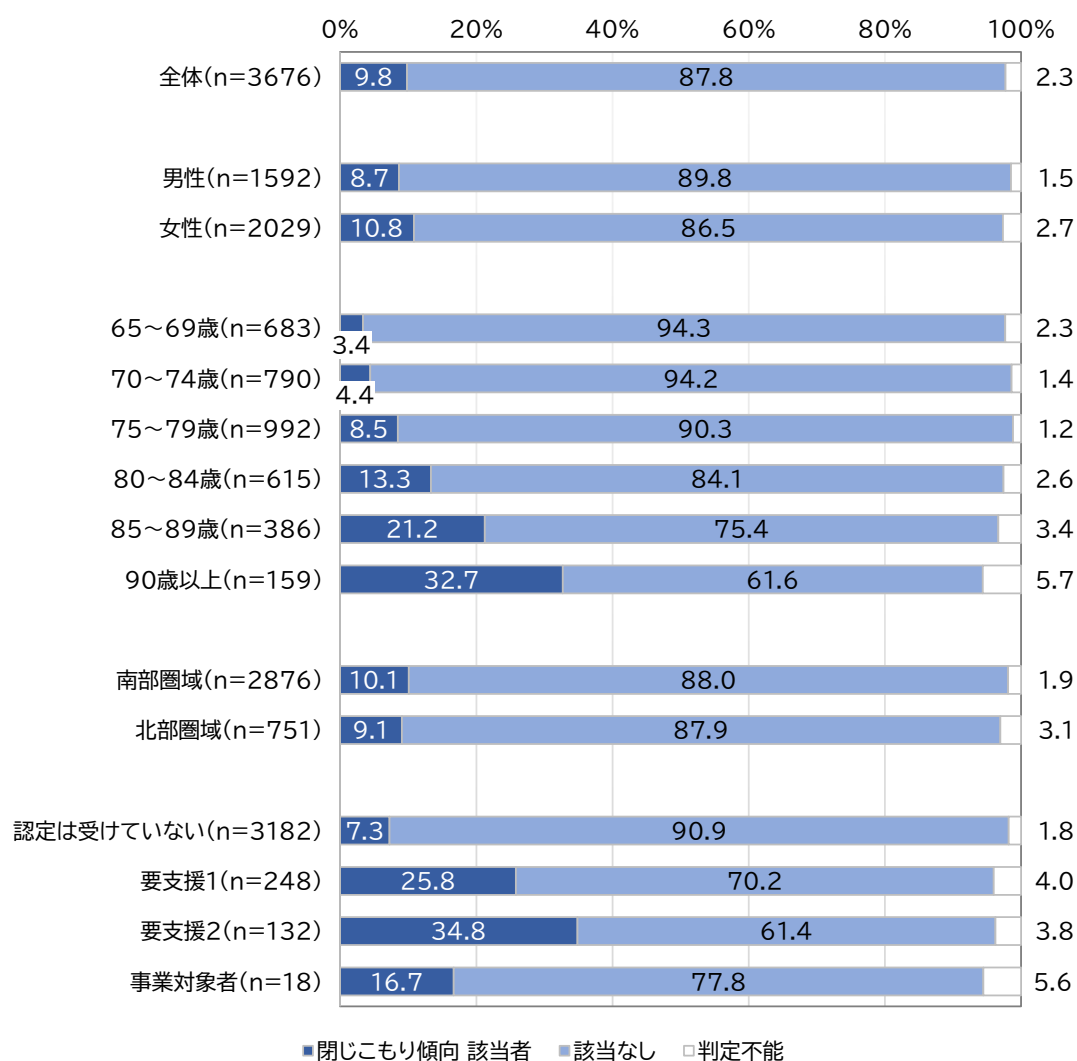
▼閉じこもり傾向 判定基準

設問	1 点	0 点
問2(6)週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回	3. 週2～4回 4. 週5回以上
問2(7)昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. とても減っている 2. 減っている	3. あまり減っていない 4. 減っていない



2項目の合計得点	2点	1点以下
判定カテゴリ	閉じこもり傾向 該当者	該当なし

性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別



4. 低栄養

▼低栄養の傾向 判定基準

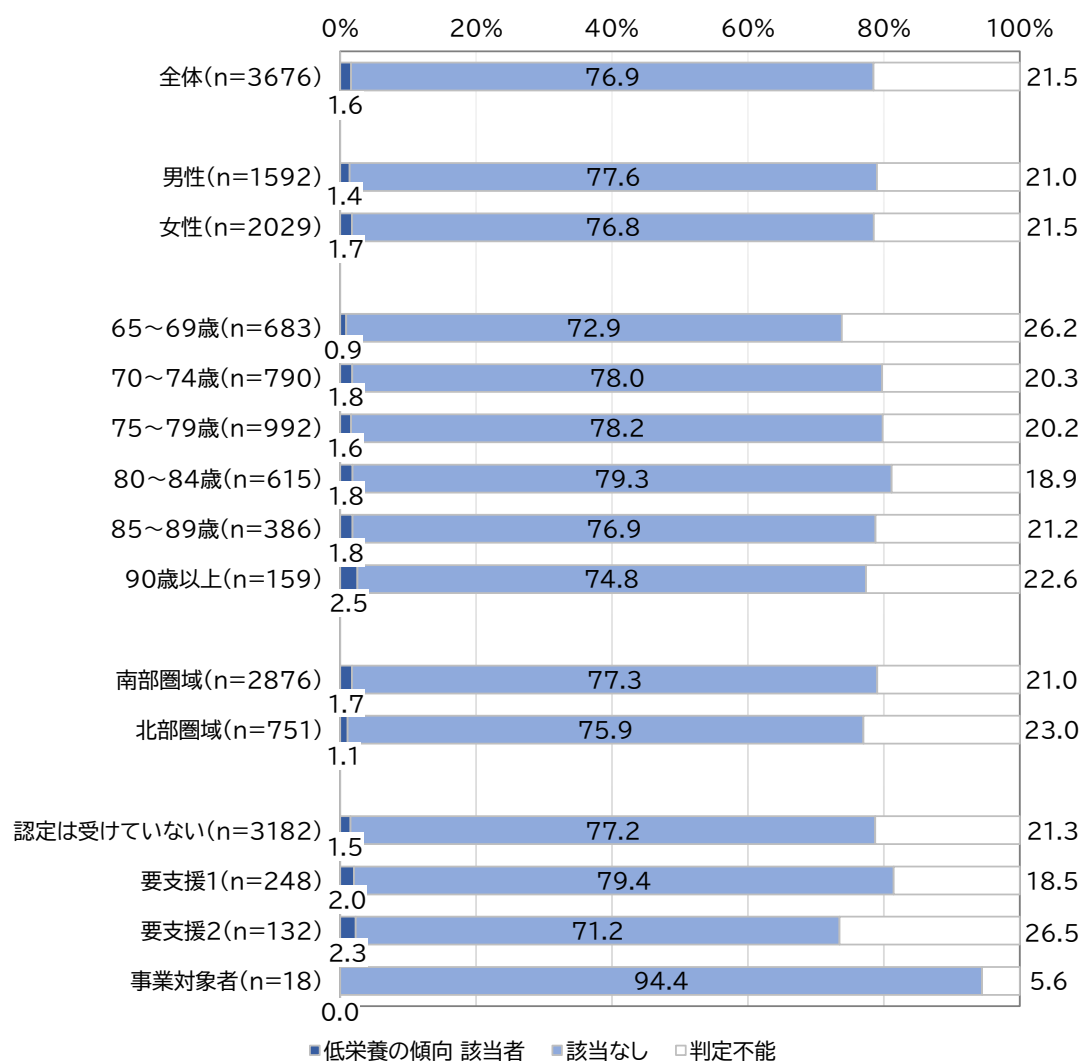
設問	1 点	0 点
問3(1)BMI(身長・体重)	1. やせ(18.5 未満)	2. 標準(18.5～25.0 未満) 3. 肥満(25.0 以上)
問3(7)6か月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか	1. はい	2. いいえ



2 項目の合計得点	2 点	1点以下
判定カテゴリ	低栄養の傾向 該当者	該当なし

※BMI値＝体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))

性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別



5. 咀嚼機能

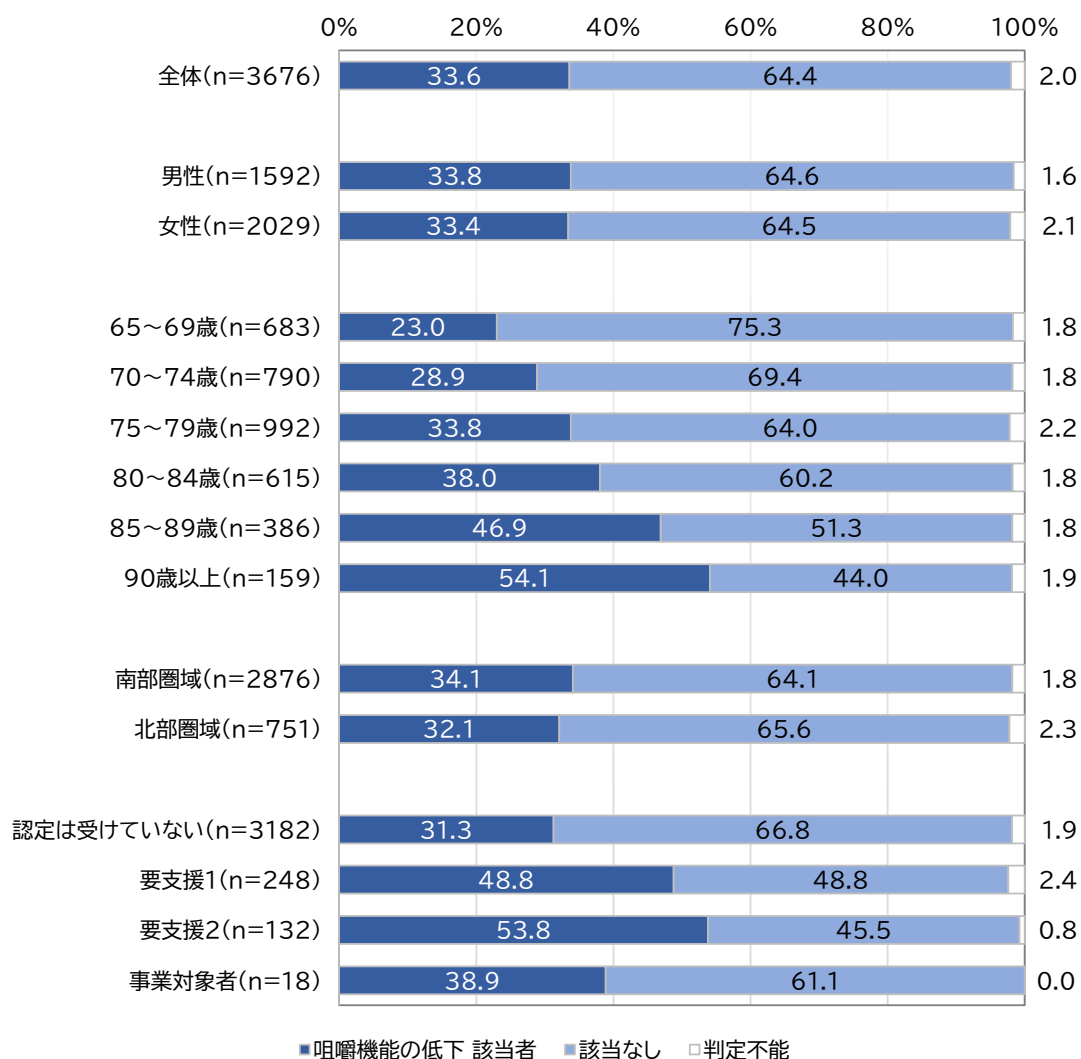
▼咀嚼機能の低下 判定基準

設問	1 点	0 点
問3(2)半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい	2. いいえ



1項目の合計得点	1 点	0 点
判定カテゴリ	咀嚼機能の低下 該当者	該当なし

性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別



6. 口腔機能

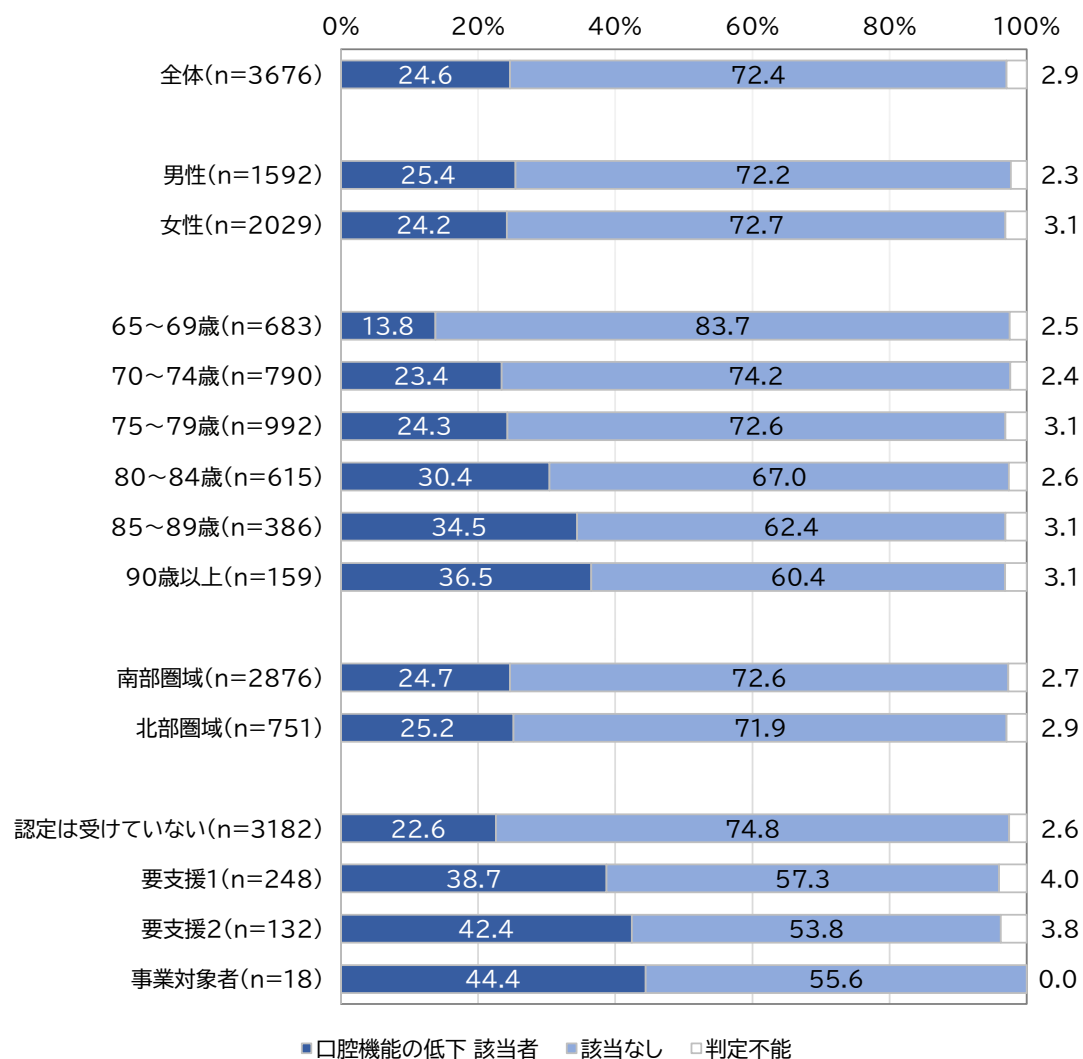
▼口腔機能の低下 判定基準

設問	1 点	0 点
問3(2)半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい	2. いいえ
問3(3)お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい	2. いいえ
問3(4)口の渇きが気になりますか	1. はい	2. いいえ



3項目の合計得点	2 点以上	1 点以下
判定カテゴリ	口腔機能の低下 該当者	該当なし

性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別



7. 認知機能

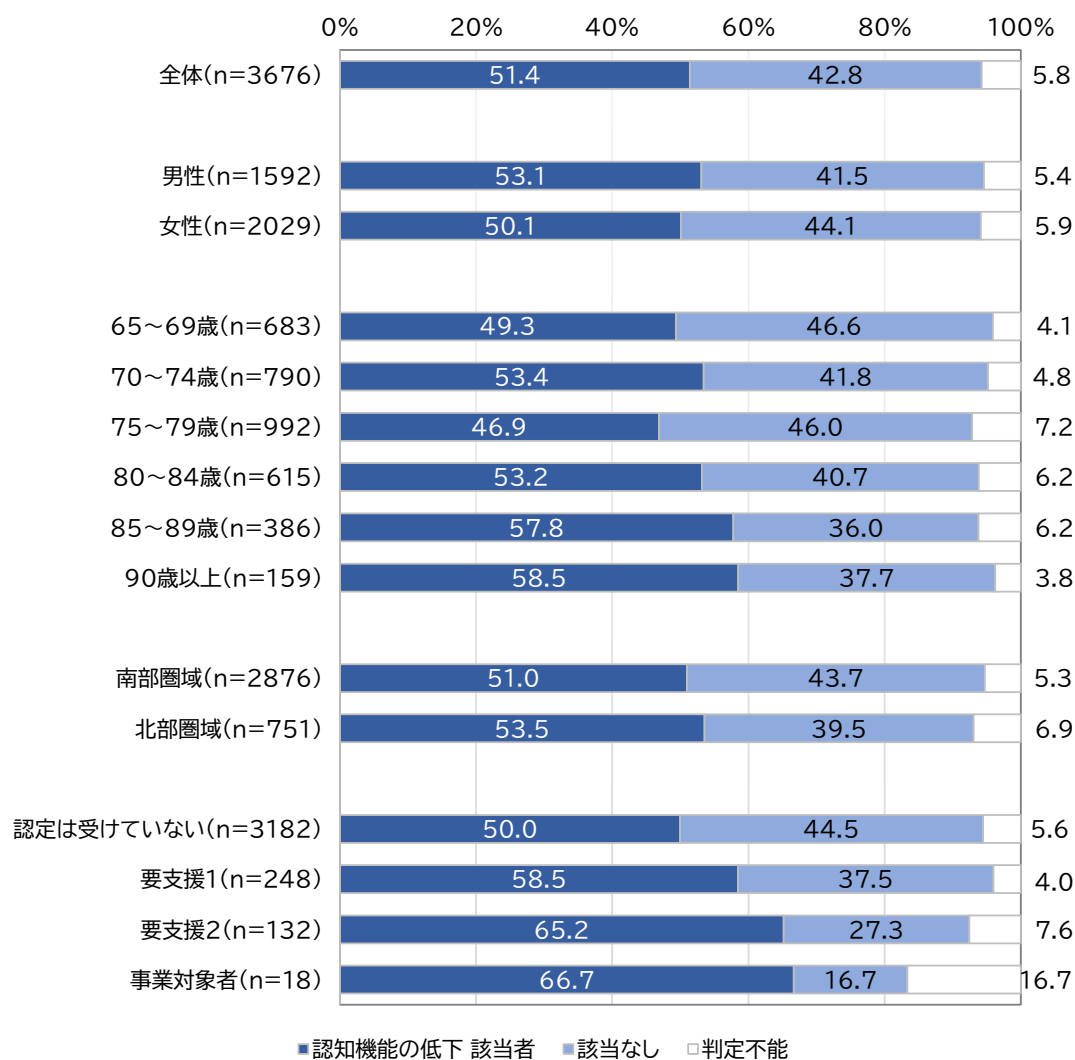
▼認知機能の低下 判定基準

設問	1 点	0 点
問4(1)物忘れが多いと感じますか	1. はい	2. いいえ
問4(2)自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	2. いいえ	1. はい
問4(3)今日が何月何日かわからないときがありますか	1. はい	2. いいえ



3項目の合計得点	1 点以上	0 点
判定カテゴリ	認知機能の低下 該当者	該当なし

性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別



8. うつ傾向

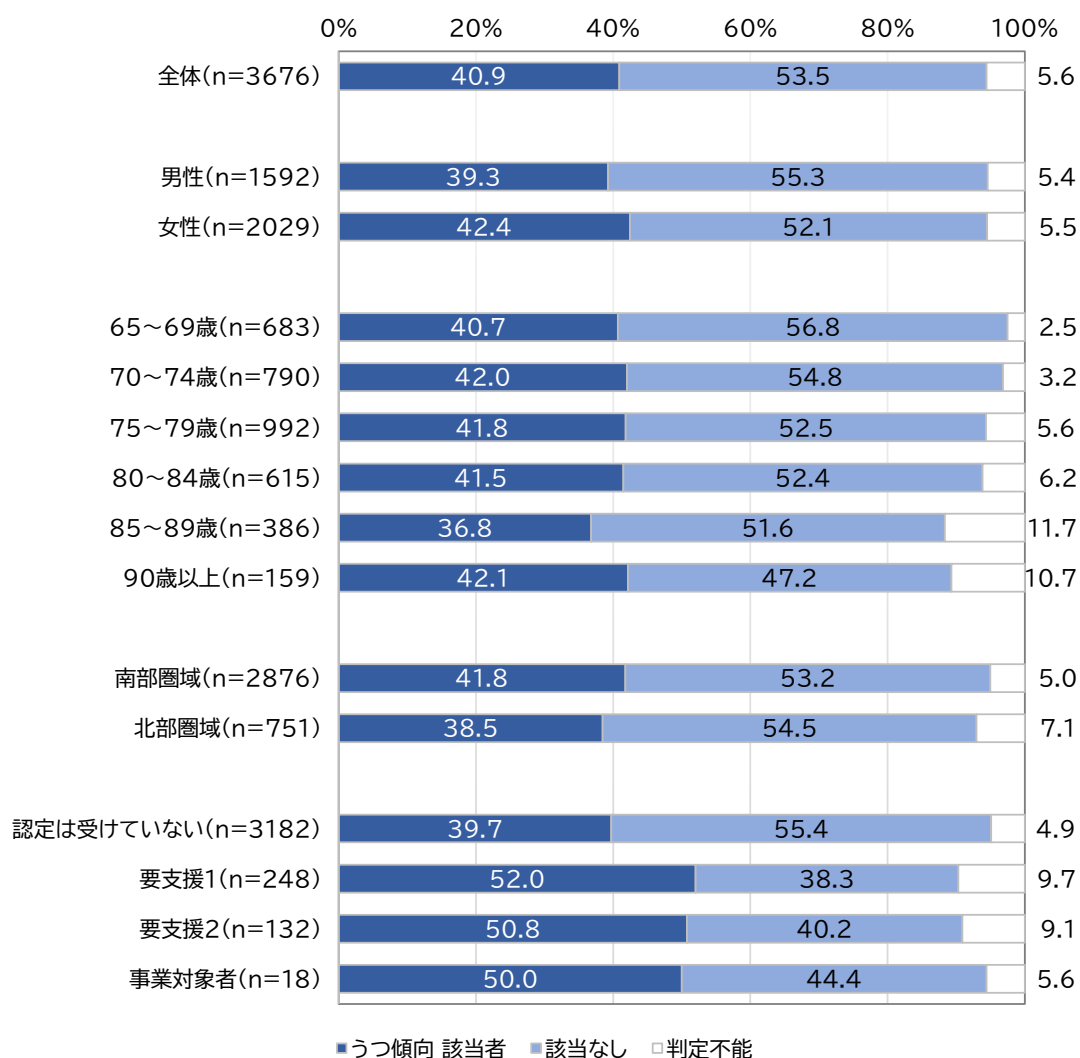
▼うつ傾向 判定基準

設問	1 点	0 点
問8(3)この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい	2. いいえ
問8(4)この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい	2. いいえ



2項目の合計得点	1点以上	0 点
判定カテゴリ	うつ傾向 該当者	該当なし

性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別



(2)日常生活評価

1. IADL

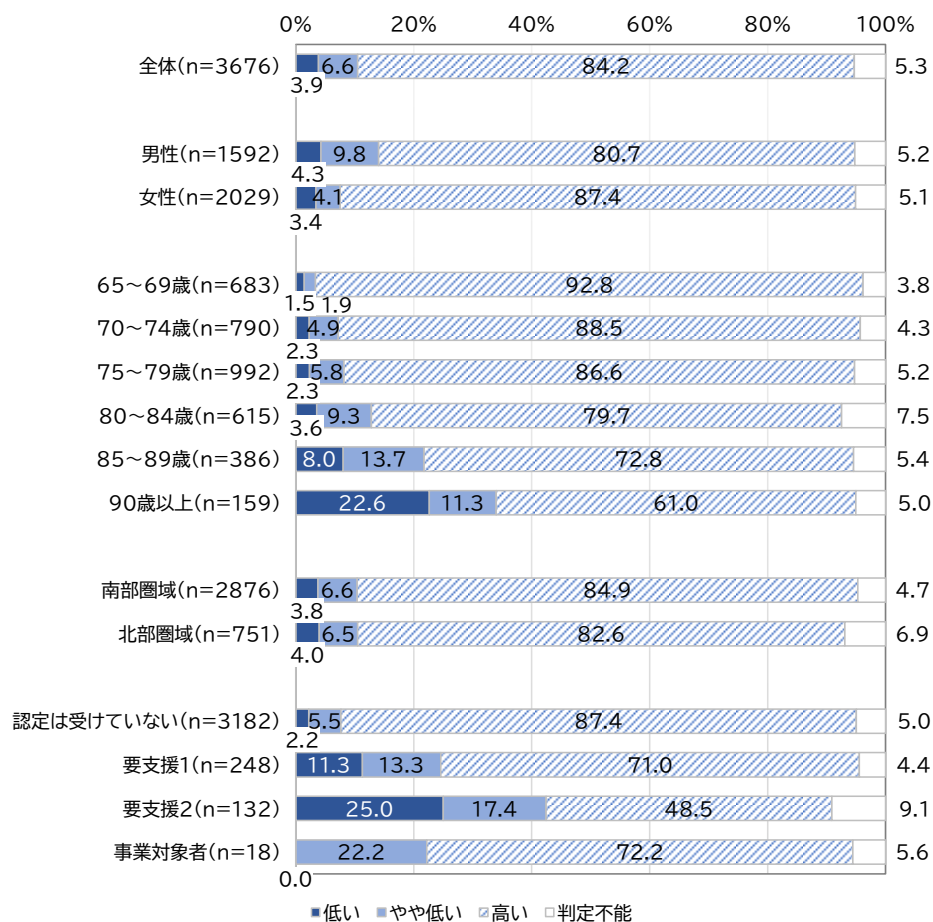
▼IADL 判定基準

設問	1 点	0 点
問4(4)バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	1. できるし、している 2. できるけどしていない	3. できない
問4(5)自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない	3. できない
問4(6)自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない	3. できない
問4(7)自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない	3. できない
問4(8)自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない	3. できない



5 項目の合計得点	3 点以下	4 点	5 点
判定カテゴリ	低い	やや低い	高い

性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別



(3)社会参加評価

1. 知的能動性

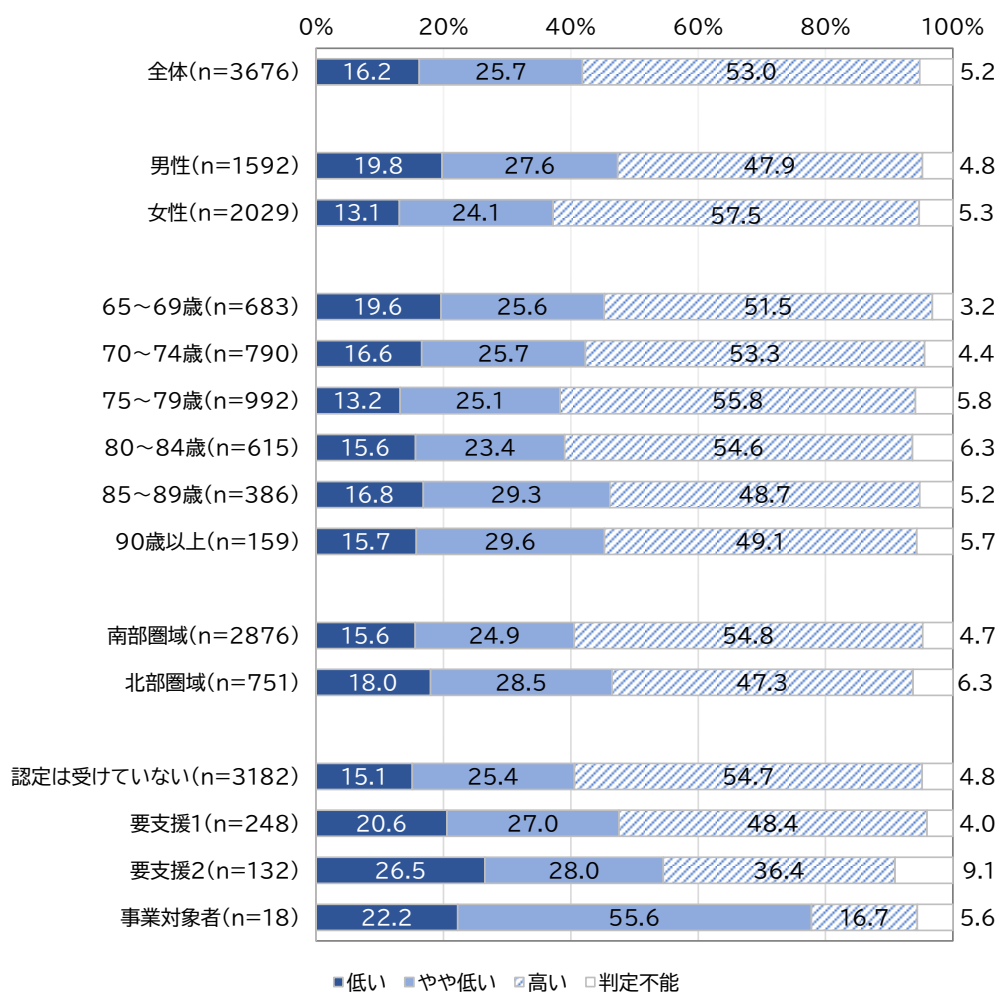
▼知的能動性 判定基準

設問	1 点	0 点
問4(9)年金などの書類(市役所や病院などに出す書類)が書けますか	1. はい	2. いいえ
問4(10)新聞を読んでいますか	1. はい	2. いいえ
問4(11)本や雑誌を読んでいますか	1. はい	2. いいえ
問4(12)健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい	2. いいえ



4項目の合計得点	2点以下	3点	4点
判定カテゴリ	低い	やや低い	高い

性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別



2. 社会的役割

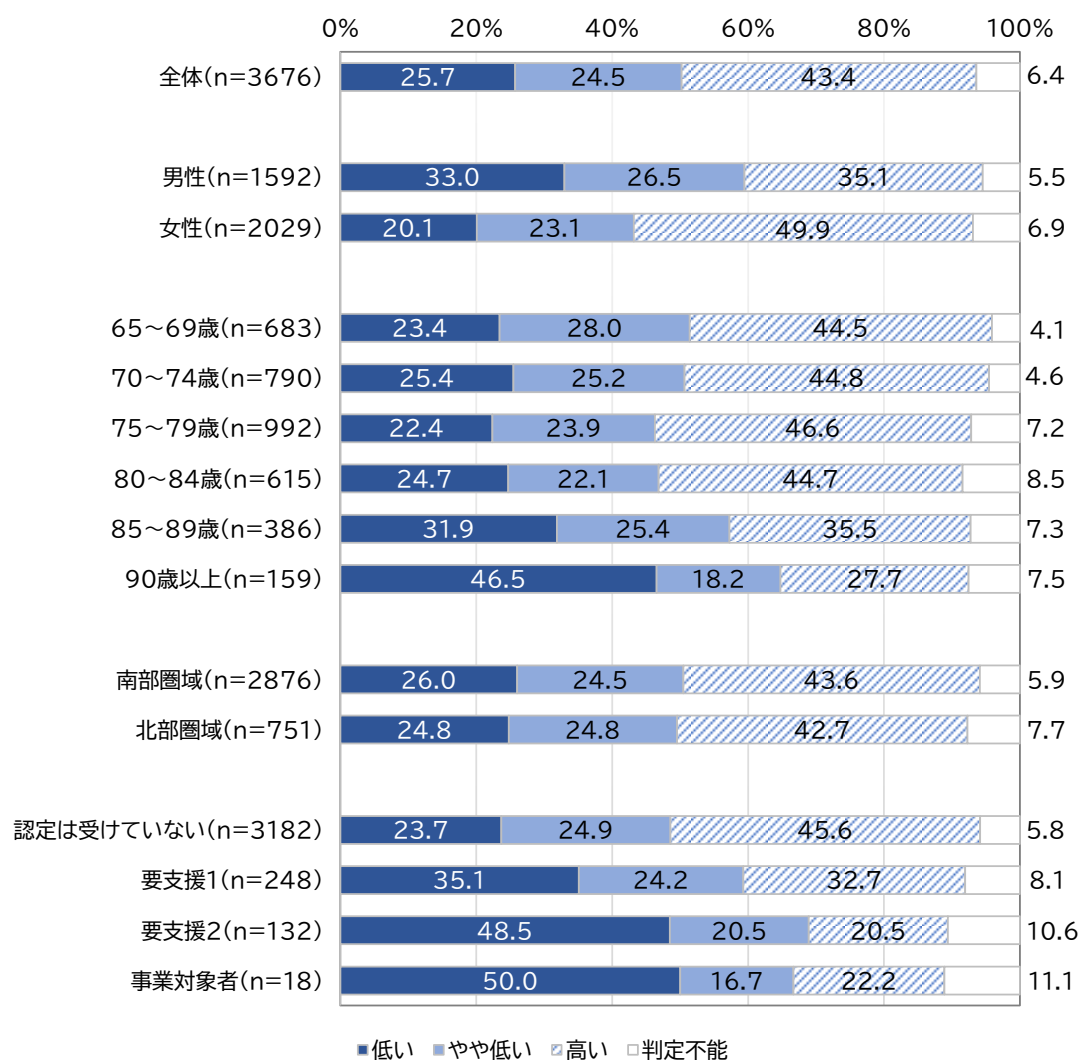
▼社会的役割 判定基準

設問	1 点	0 点
問4(13)友人の家を訪ねていますか	1. はい	2. いいえ
問4(14)家族や友人の相談にのっていますか	1. はい	2. いいえ
問4(15)病人を見舞うことができますか	1. はい	2. いいえ
問4(16)若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい	2. いいえ



4項目の合計得点	2点以下	3点	4点
判定カテゴリ	低い	やや低い	高い

性別・年齢別・圏域別・要支援認定状況別



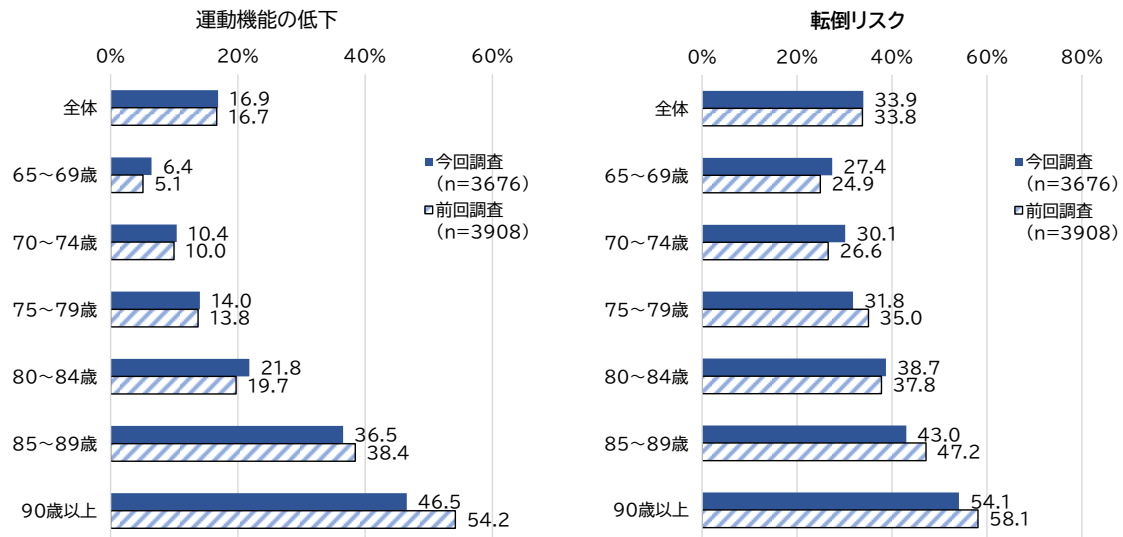
(4)リスク評価の年齢別前回比較

運動機能の低下

前回調査と比較すると 65～84 歳までは運動機能の低下の割合が高くなっているのに対し、85 歳以上では低くなっています。

転倒リスク

前回調査と比較すると 85 歳以上で転倒リスクの割合が低くなっています。

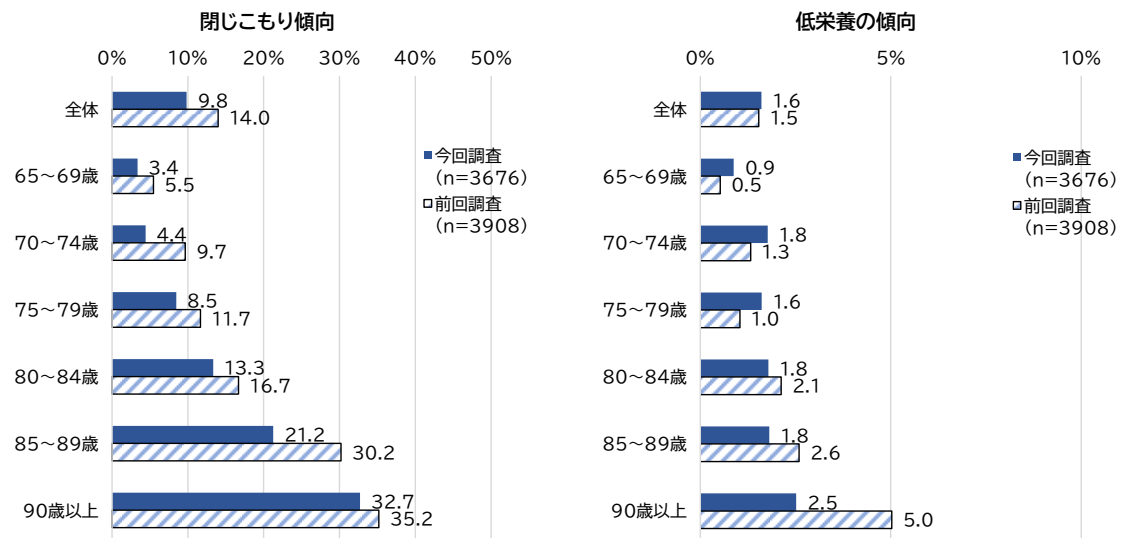


閉じこもり傾向

前回調査と比較すると全ての年齢において閉じこもり傾向の割合が低くなっています。

低栄養の傾向

前回調査と比較すると 65～79 歳までは低栄養の傾向の割合が高くなっているのに対し、80 歳以上では低くなっています。

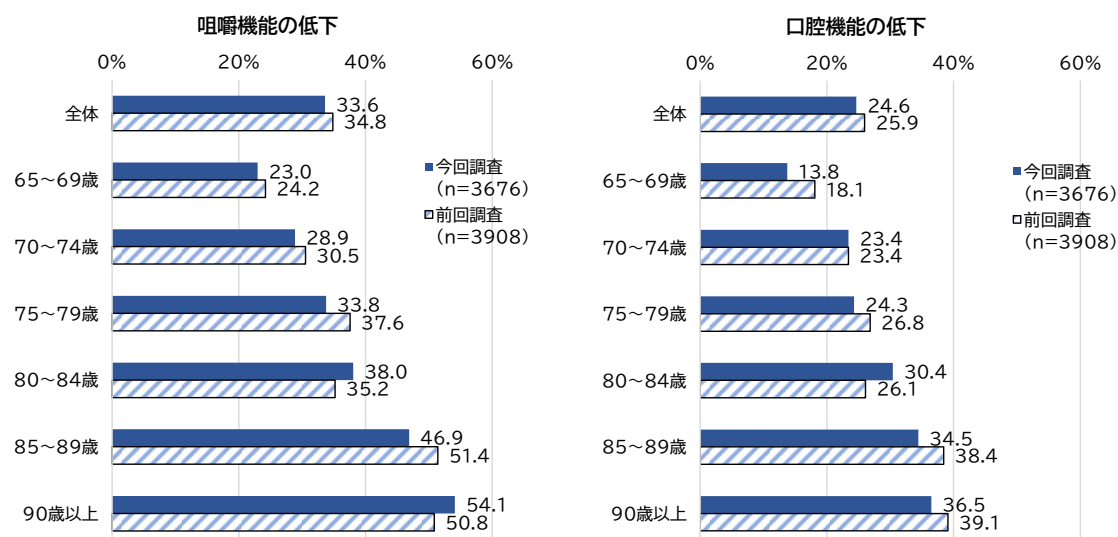


咀嚼機能の低下

前回調査と比較すると、ほとんどの年齢において咀嚼機能の低下の割合が低くなっているのに対し、80～84歳と90歳以上では割合が高くなっています。

口腔機能の低下

前回調査と比較すると、ほとんどの年齢において口腔機能の低下の割合が低くなっているのに対し、80～84歳では高くなっています。また、70～74歳は前回調査と同率で差がありません。

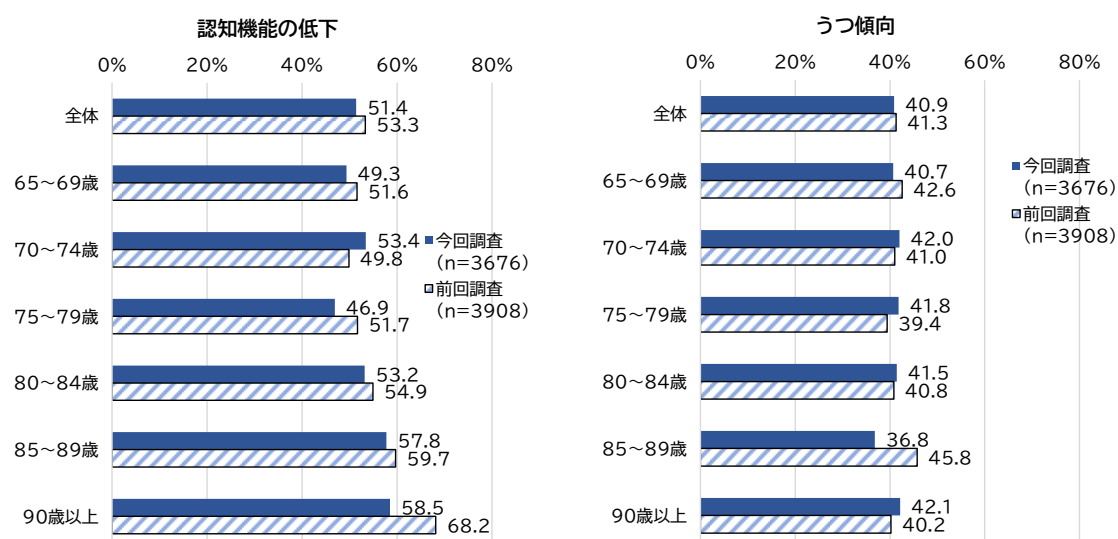


認知機能の低下

前回調査と比較するとほとんどの年齢において認知機能の低下の割合が低くなっているのに対し、70～74歳では高くなっています。

うつ傾向

前回調査と比較すると大きく差が開いたのは85～89歳で、前回より9ポイントうつ傾向の割合が低くなっています。

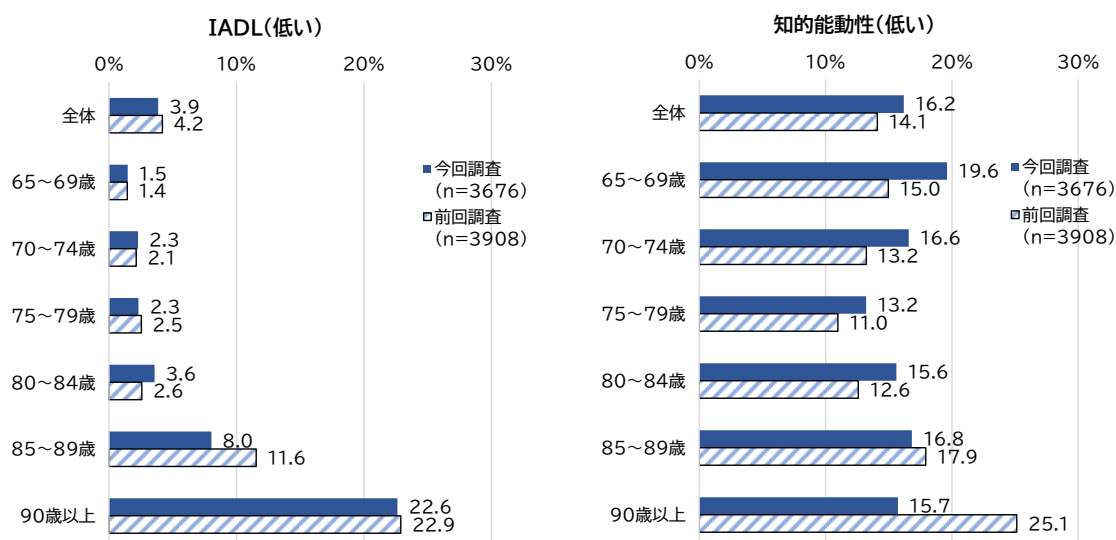


IADL

前回調査と比較すると 80～84 歳と 85～89 歳で 1 ポイント以上の差がありましたが、その他の年齢ではほとんど差がありません。

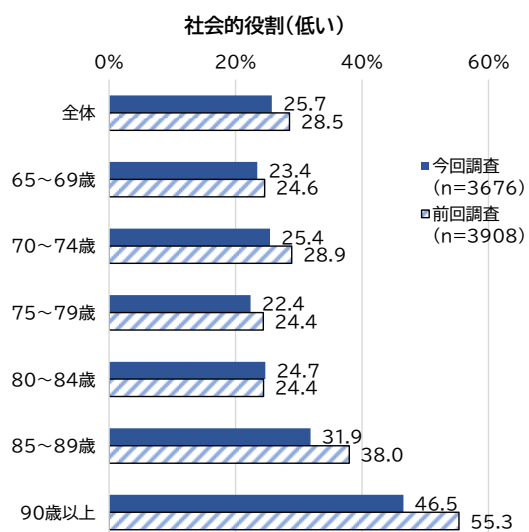
知的能動性

前回調査と比較すると 65～84 歳までは知的能動性の割合が高くなっているのに対し、85 歳以上では低くなっています。



社会的役割

前回調査と比較するとほとんどの年齢において社会的役割の割合が低くなっているのに対し、80～84 歳ではわずかに高くなっています。

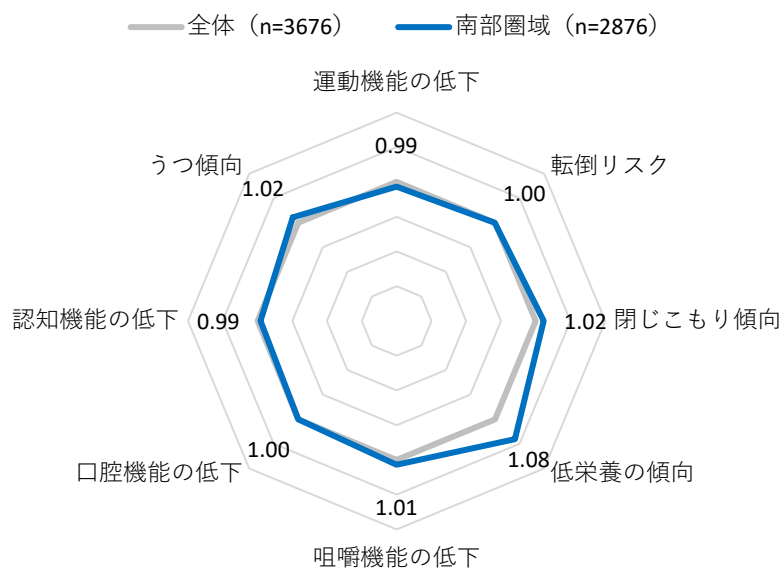


(5)リスク評価の圏域別比較

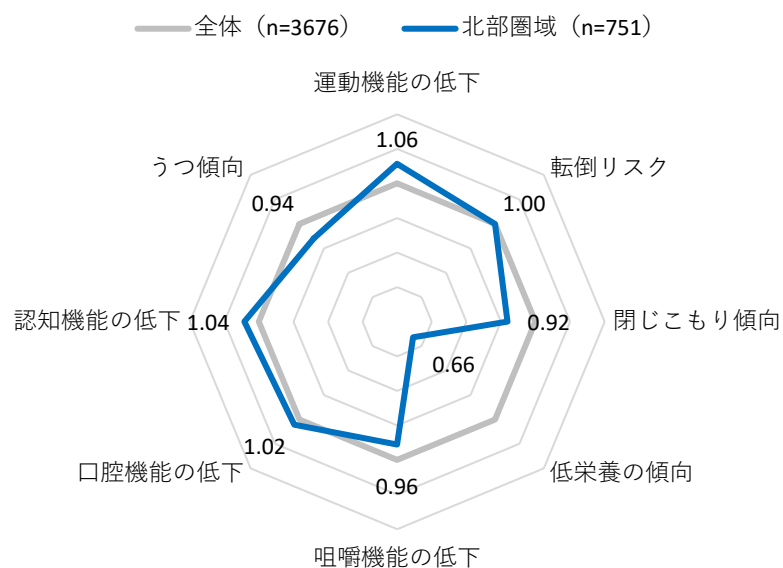
日常生活圏域別にリスク該当者の状況を確認するため、各リスクについて市全体を1とした場合の当該圏域の割合を算出し、グラフ化しました。

南部圏域では、「閉じこもり傾向」「低栄養の傾向」「咀嚼機能の低下」「うつ傾向」が全体より高く、北部圏域では、「運動機能の低下」「口腔機能の低下」「認知機能の低下」が全体より高くなっています。

リスクの発生状況（全体／南部圏域）



リスクの発生状況（全体／北部圏域）

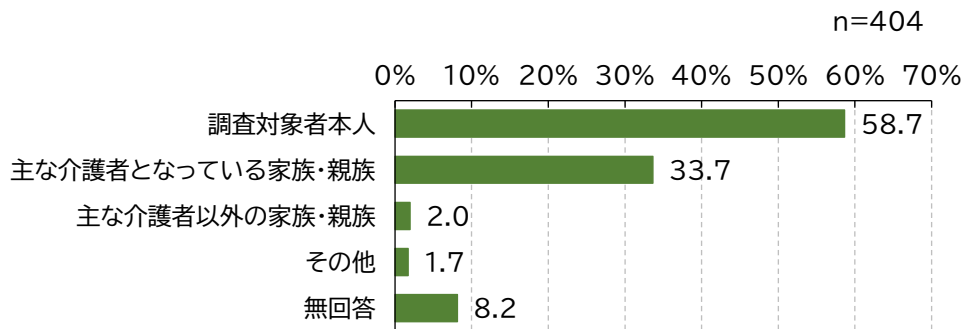


Ⅲ 在宅介護実態調査 集計結果

回答者について

この調査票にご回答をいただいているのは、どなたですか【複数回答】

「調査対象者本人」が58.7%と最も多く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が33.7%、「主な介護者以外の家族・親族」が2.0%、「その他」が1.7%となっています。

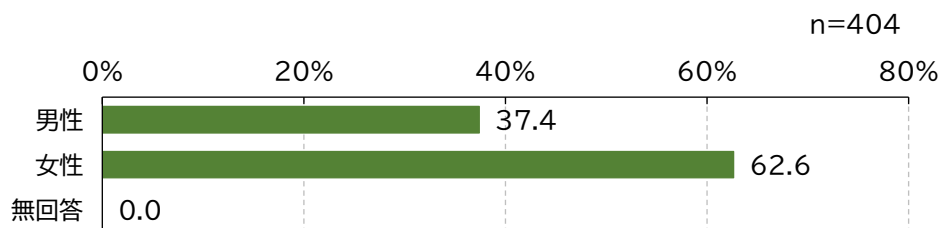


基本属性

以下の、「性別」、「年齢」、「日常生活圏域」、「要介護状態区分」の基本属性は、今回回答いただいた対象者の要介護認定データ（認定調査、介護認定審査会のデータ）を活用したものです。

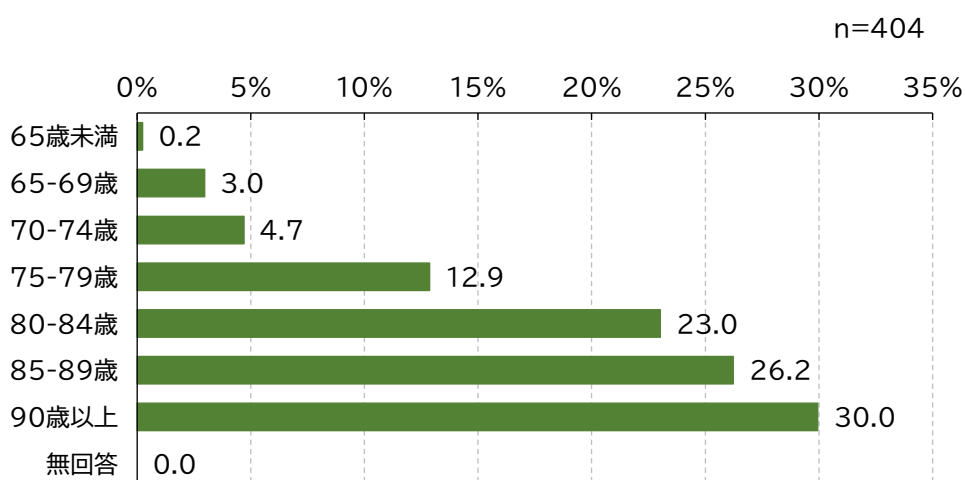
性別

「男性」が37.4%、「女性」が62.6%となっています。



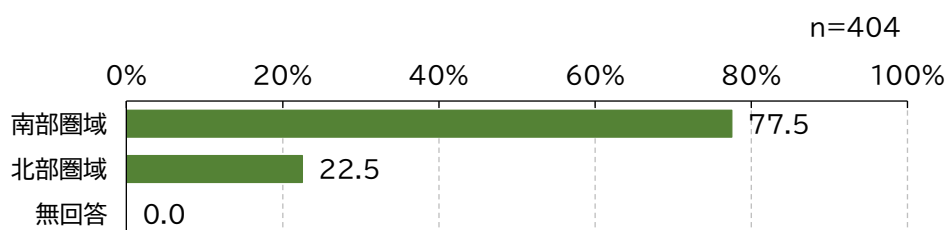
年齢

「90 歳以上」が 30.0%と最も多く、次いで「85-89 歳」が 26.2%、「80-84 歳」が 23.0%、「75-79 歳」が 12.9%、「70-74 歳」が 4.7%となっています。



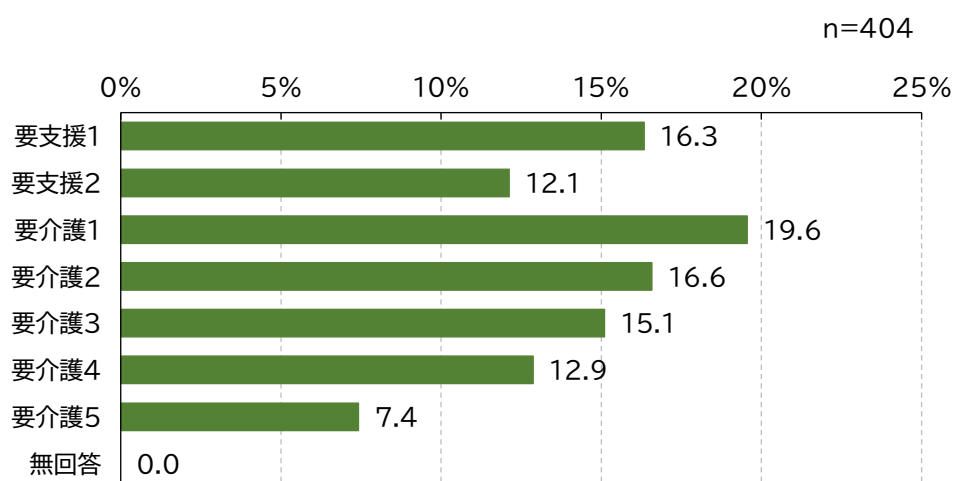
日常生活圏域

「南部圏域」が 77.5%、「北部圏域」が 22.5%となっています。



要介護状態区分

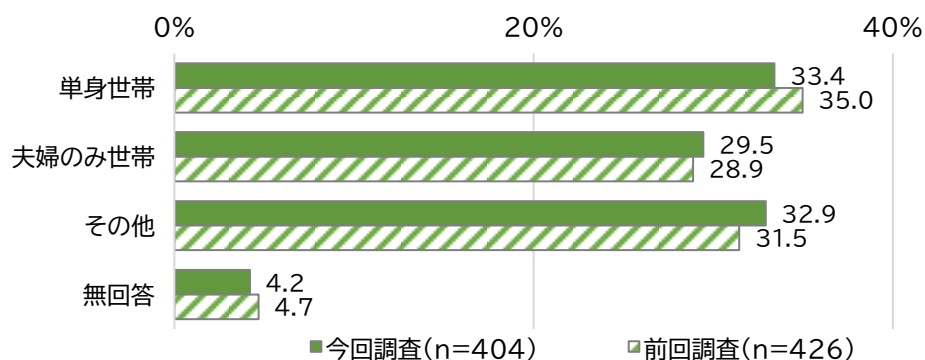
「要介護 1」が 19.6%と最も多く、次いで「要介護 2」が 16.6%、「要支援 1」が 16.3%、「要介護 3」が 15.1%、「要介護 4」が 12.9%となっています。



A票 調査対象者ご本人様についておうかがいします

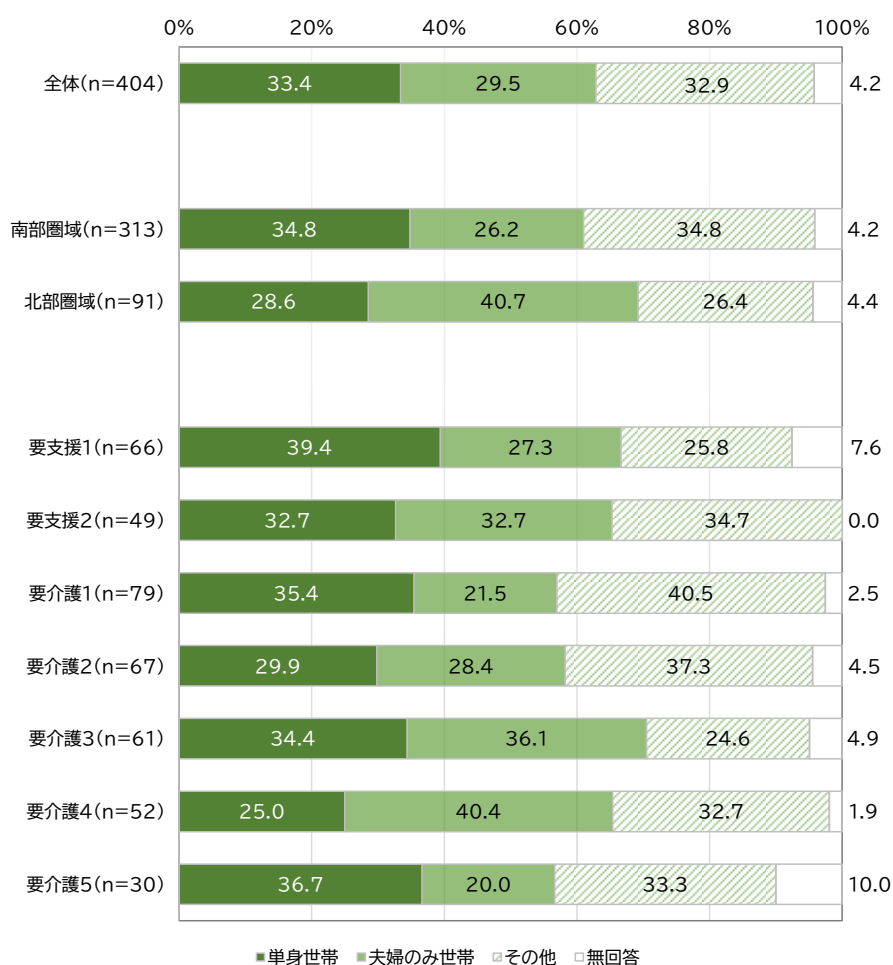
問1 世帯類型について教えてください

「単身世帯」が33.4%と最も多く、次いで「その他」が32.9%、「夫婦のみ世帯」が29.5%となっています。前回調査と比較すると、わずかな差ではありますが、「夫婦のみ世帯」「その他」は増加し、「単身世帯」は減少しています。



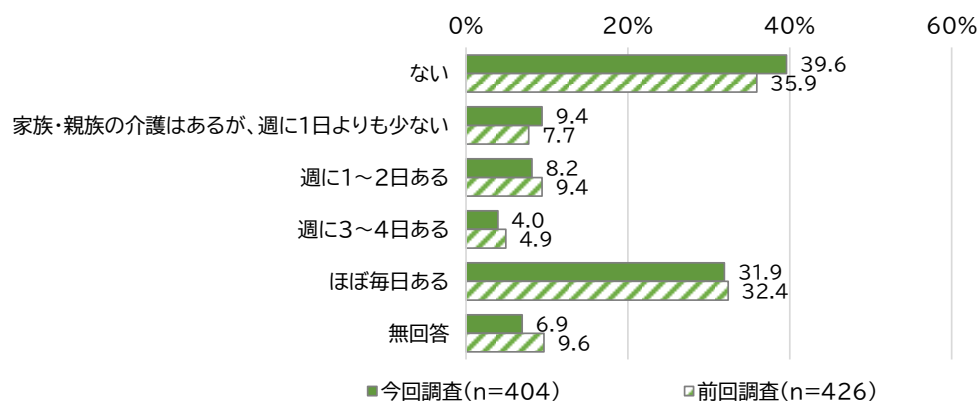
圏域別・要介護状態区分別

「単身世帯」の割合は、圏域別では南部圏域の方が高く、要介護状態区分別では要支援1が39.4%と最も高くなっています。



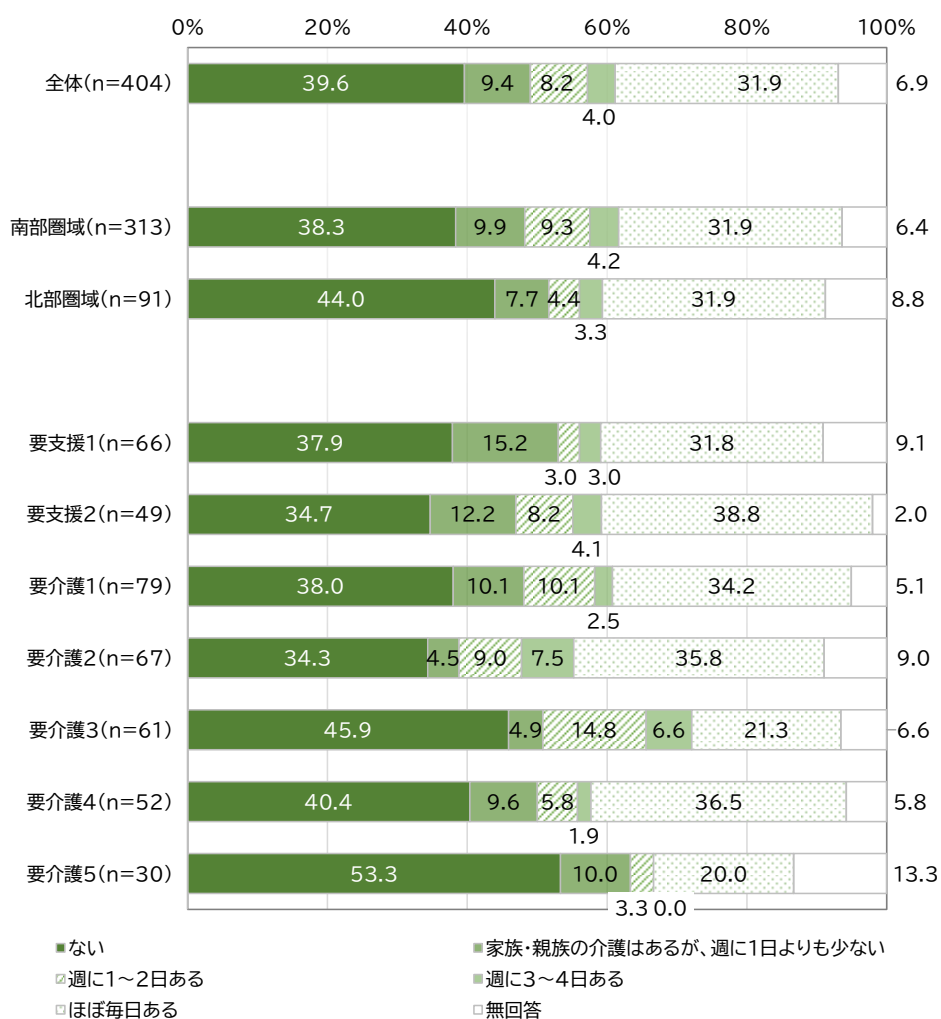
問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか

「ない」が39.6%と最も多く、次いで「ほぼ毎日ある」が31.9%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」が9.4%、「週に1～2日ある」が8.2%、「週に3～4日ある」が4.0%となっています。前回調査と比較すると、「ない」は3.7ポイント増加しています。



圏域別・要介護状態区分別

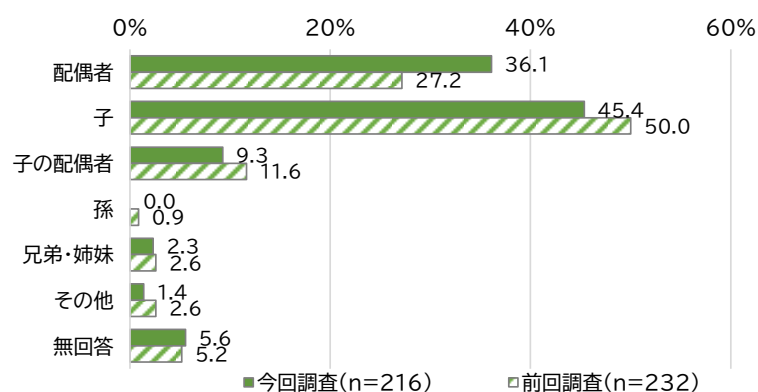
「ほぼ毎日ある」の割合は、圏域別ではどちらも31.9%と差がありません。要介護状態区分別では要支援2が38.8%と最も高く、次いで要介護4が36.5%となっています。



問3～問7は問2で「ない」以外を選択した方(家族や親族からの介護がある方)

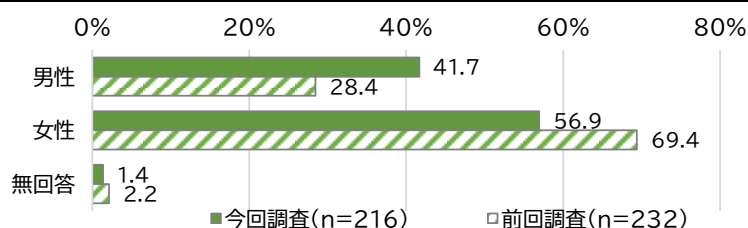
問3 主な介護者の方(主に介護している方)はどなたですか

「子」が45.4%と最も多く、次いで「配偶者」が36.1%、「子の配偶者」が9.3%、「兄弟・姉妹」が2.3%、「その他」が1.4%となっています。前回調査と比較すると、「配偶者」は増加し「子」「子の配偶者」は減少しています。



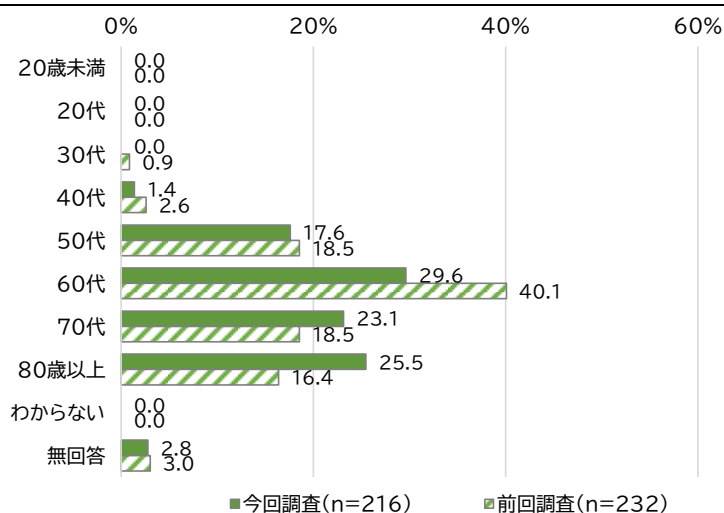
問4 主な介護者の方の性別について教えてください

「男性」が41.7%、「女性」が56.9%となっています。前回調査と比較すると、「男性」は増加し「女性」は減少しています。



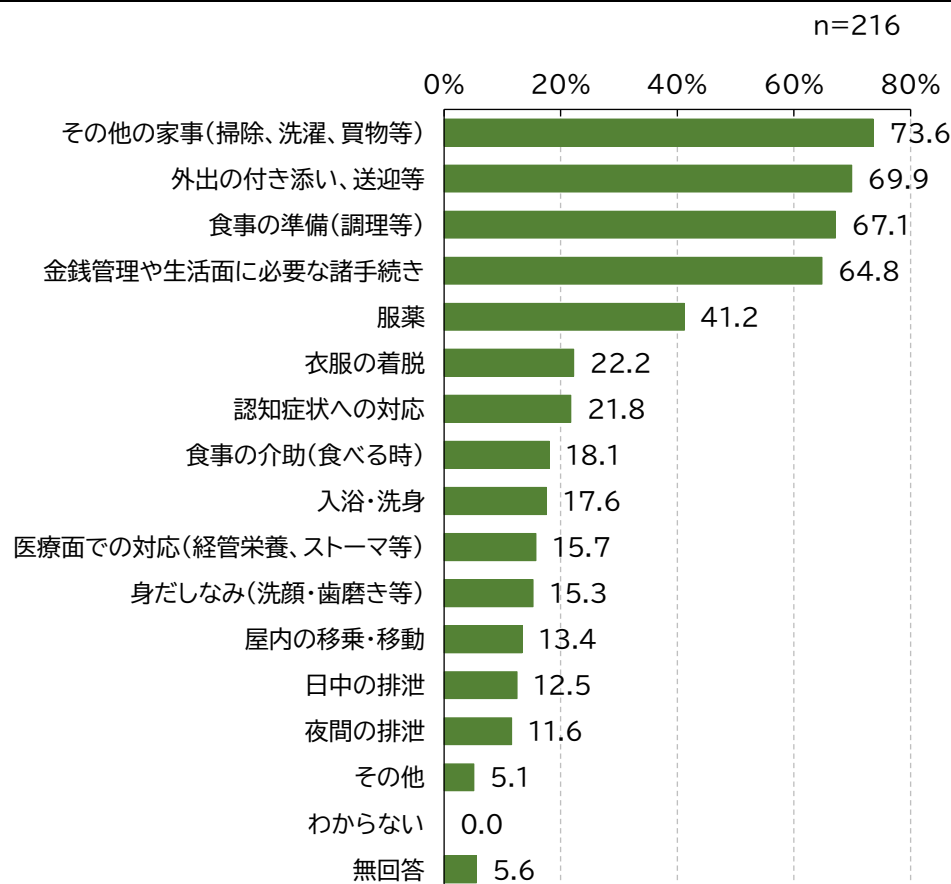
問5 主な介護者の方の年齢について教えてください

「60代」が29.6%と最も多く、次いで「80歳以上」が25.5%、「70代」が23.1%、「50代」が17.6%、「40代」が1.4%となっています。前回調査と比較すると、「70代」「80歳以上」が増加しています。



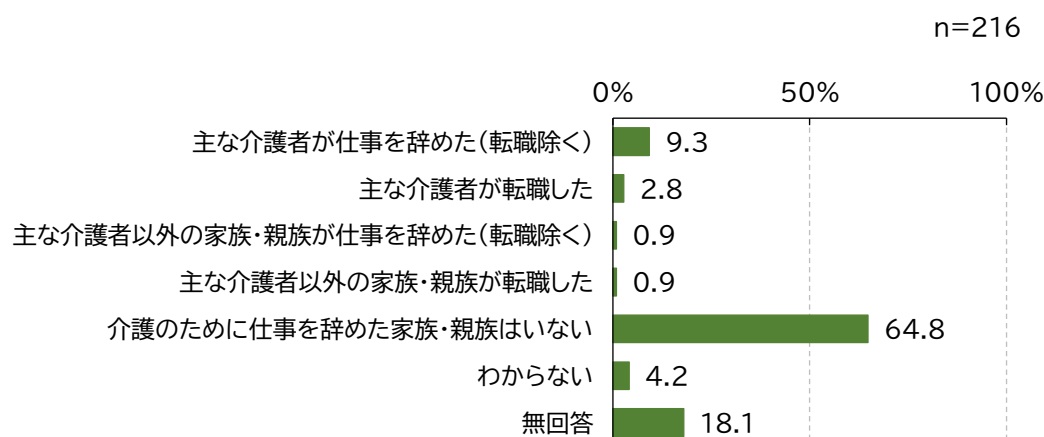
問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について教えてください【複数回答】

「その他の家事（掃除、洗濯、買物等）」が 73.6%と最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 69.9%、「食事の準備（調理等）」が 67.1%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 64.8%、「服薬」が 41.2%となっています。



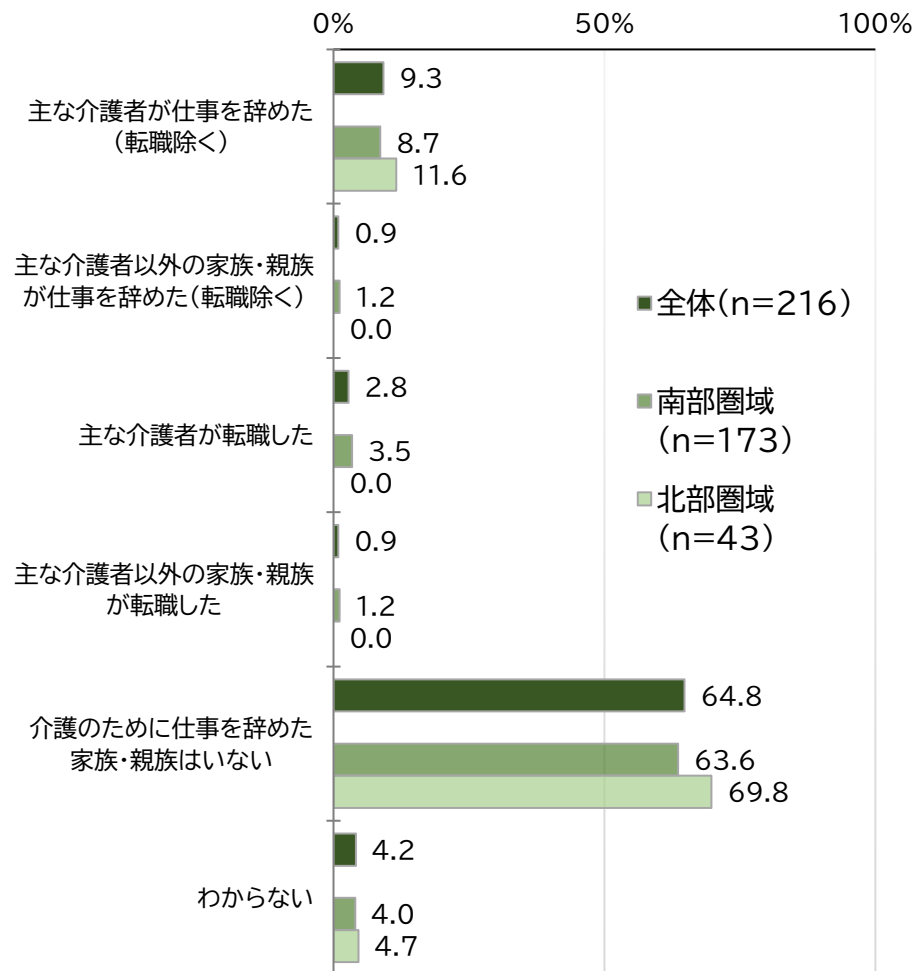
問7 ご家族やご親族の中で、ご本人(調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか【複数回答】

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 64.8%と最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が 9.3%、「わからない」が 4.2%、「主な介護者が転職した」が 2.8%となっています。



圏域別

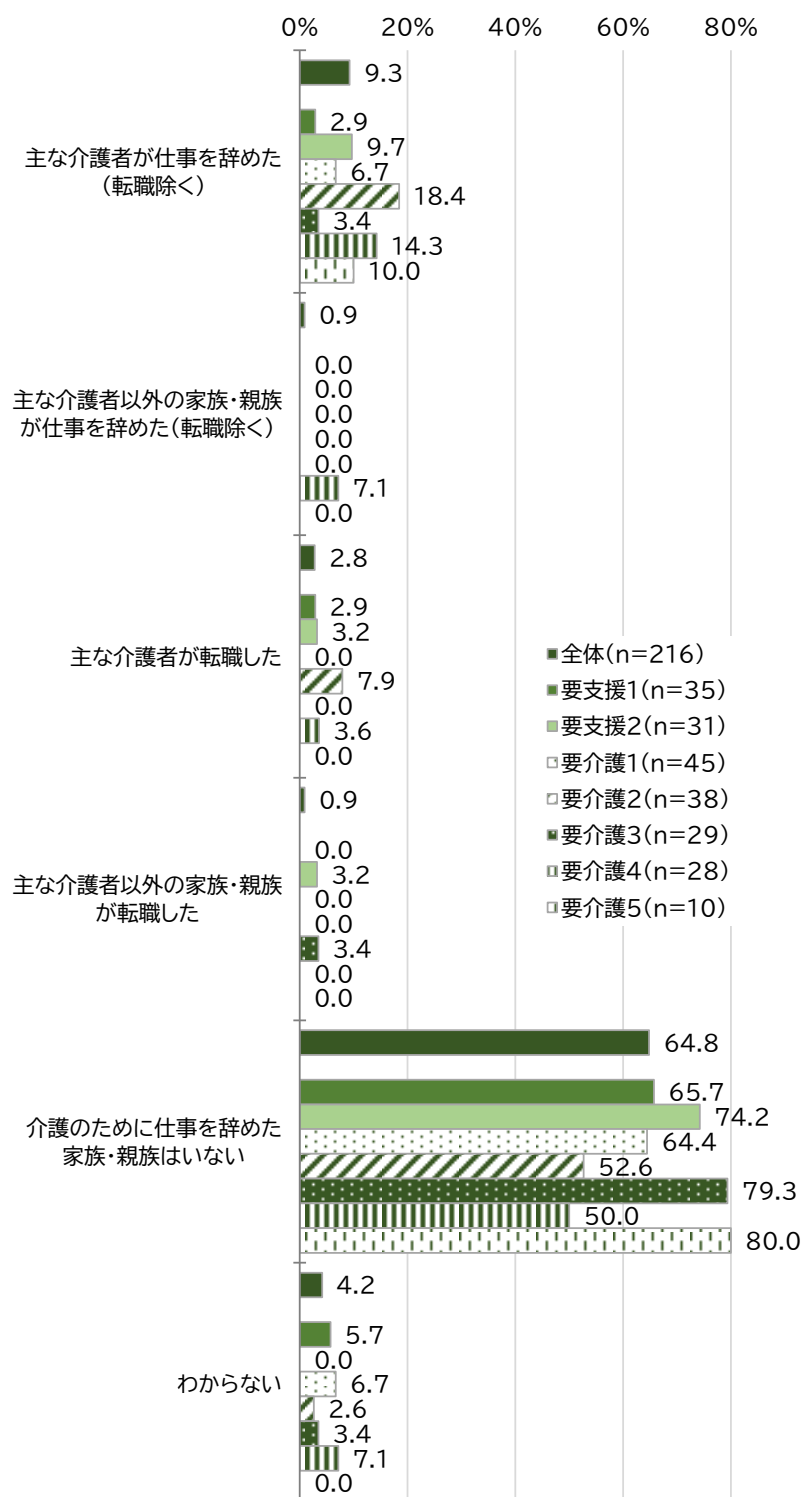
圏域別でみると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合は北部圏域の方が高く11.6%となっています。



※無回答を省略

要介護状態区分別

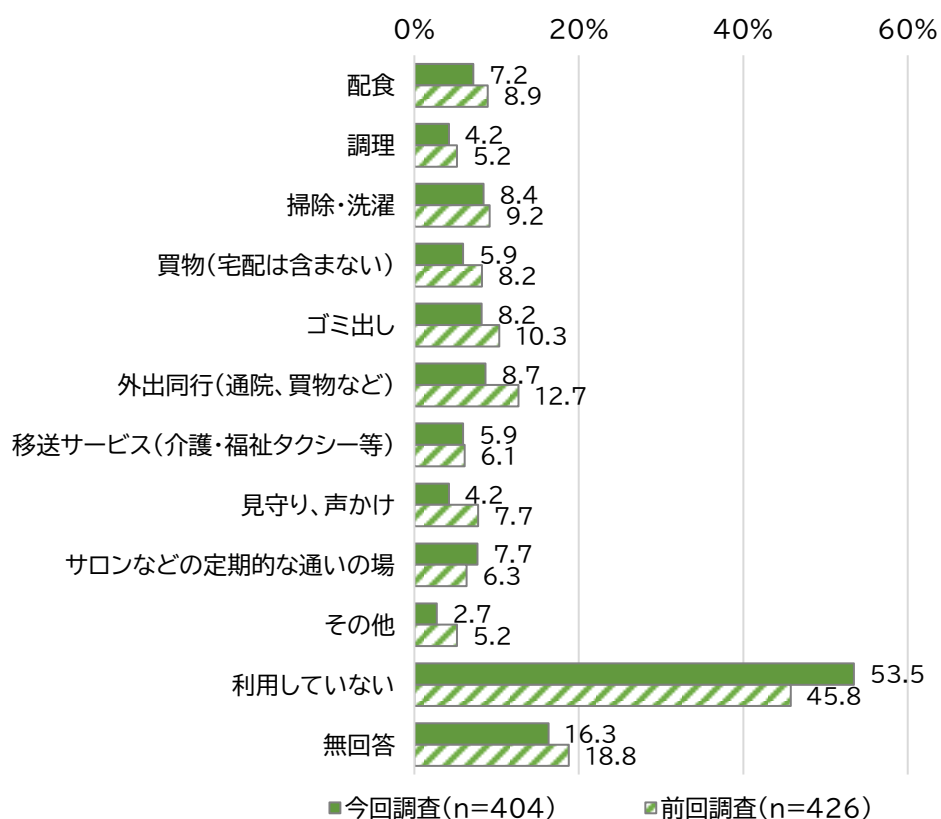
要介護状態区分別でみると、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合は要介護2が18.4%と最も高く、次いで要介護4が14.3%、要介護5が10.0%となっています。



※無回答を省略

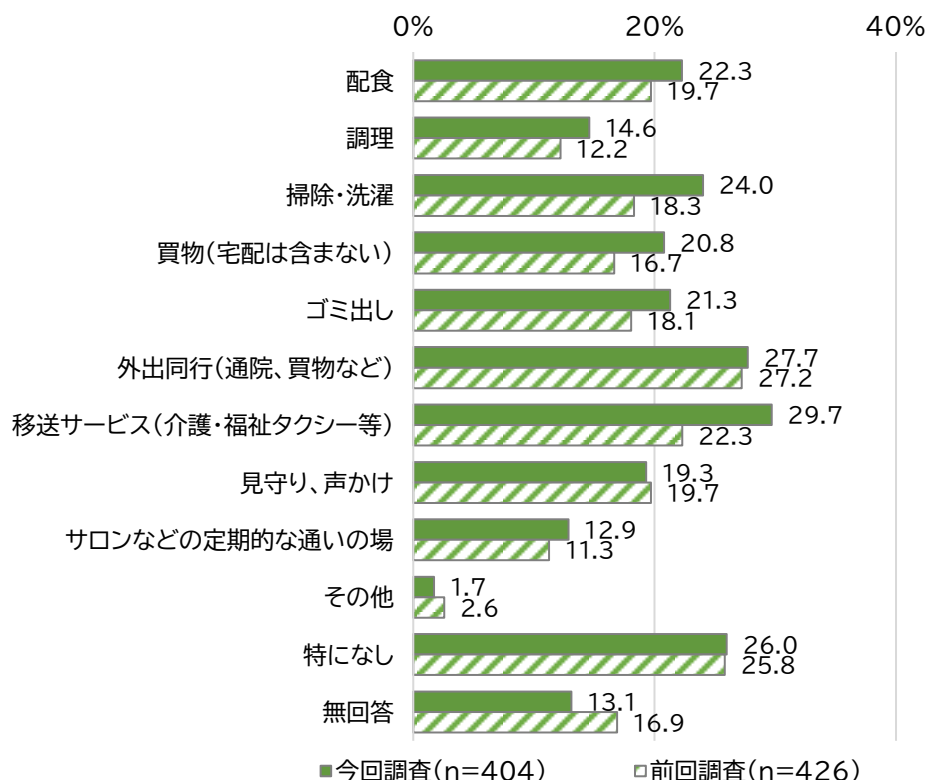
問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて教えてください
【複数回答】

「利用していない」が53.5%と最も多く、次いで「外出同行（通院、買物など）」が8.7%、「掃除・洗濯」が8.4%、「ゴミ出し」が8.2%、「サロンなどの定期的な通いの場」が7.7%となっています。前回調査と比較すると、「利用していない」が7.7ポイント増加し、「外出同行（通院、買物など）」は4.0ポイント減少しています。



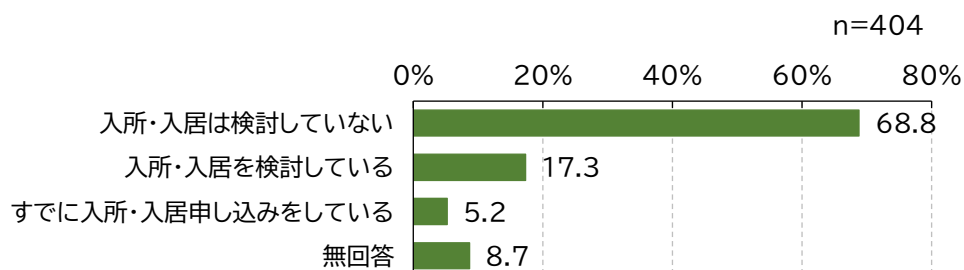
問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について教えてください【複数回答】

「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が29.7%と最も多く、次いで「外出同行(通院、買物など)」が27.7%、「特になし」が26.0%、「掃除・洗濯」が24.0%、「配食」が22.3%となっています。前回調査と比較すると、「見守り、声かけ」(0.4ポイント減少)、「その他」(0.9ポイント減少)以外は増加しており、特に「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」「掃除・洗濯」では5ポイント以上の差で増加しています。



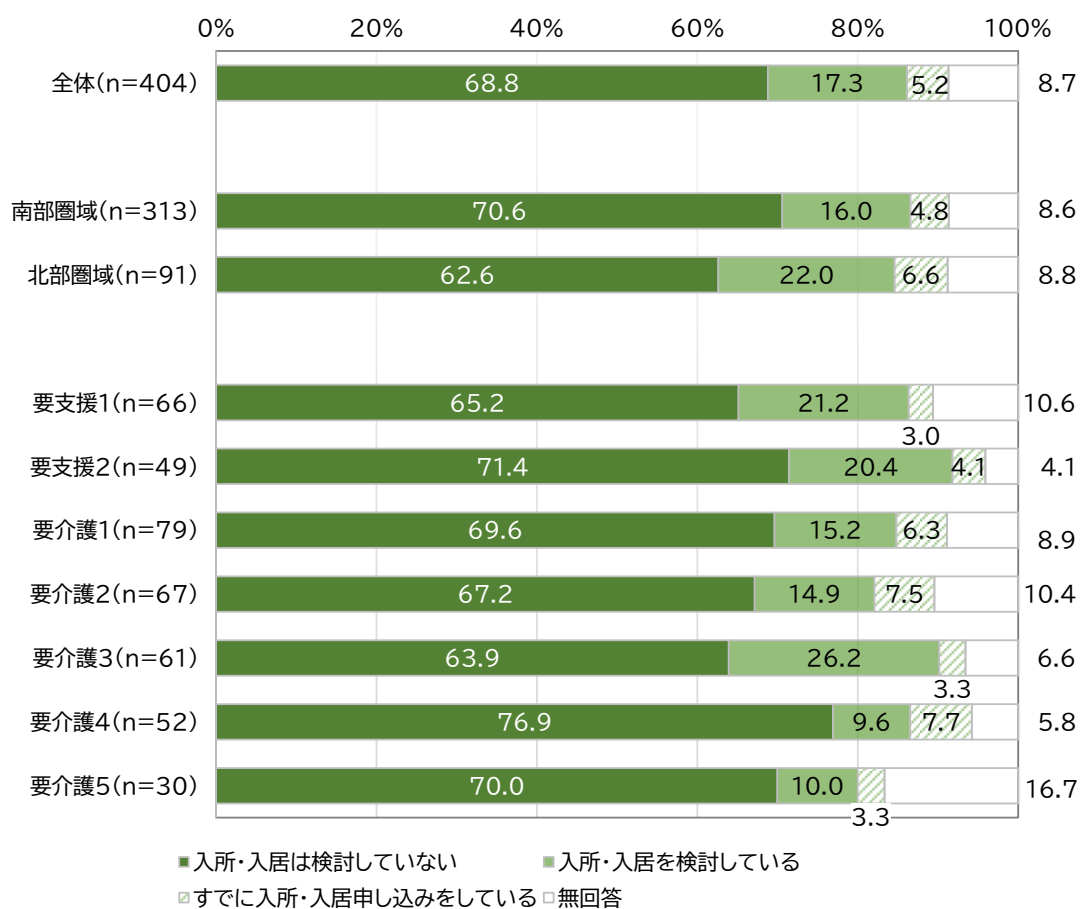
問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について教えてください

「入所・入居は検討していない」が 68.8%と最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が 17.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 5.2%となっています。



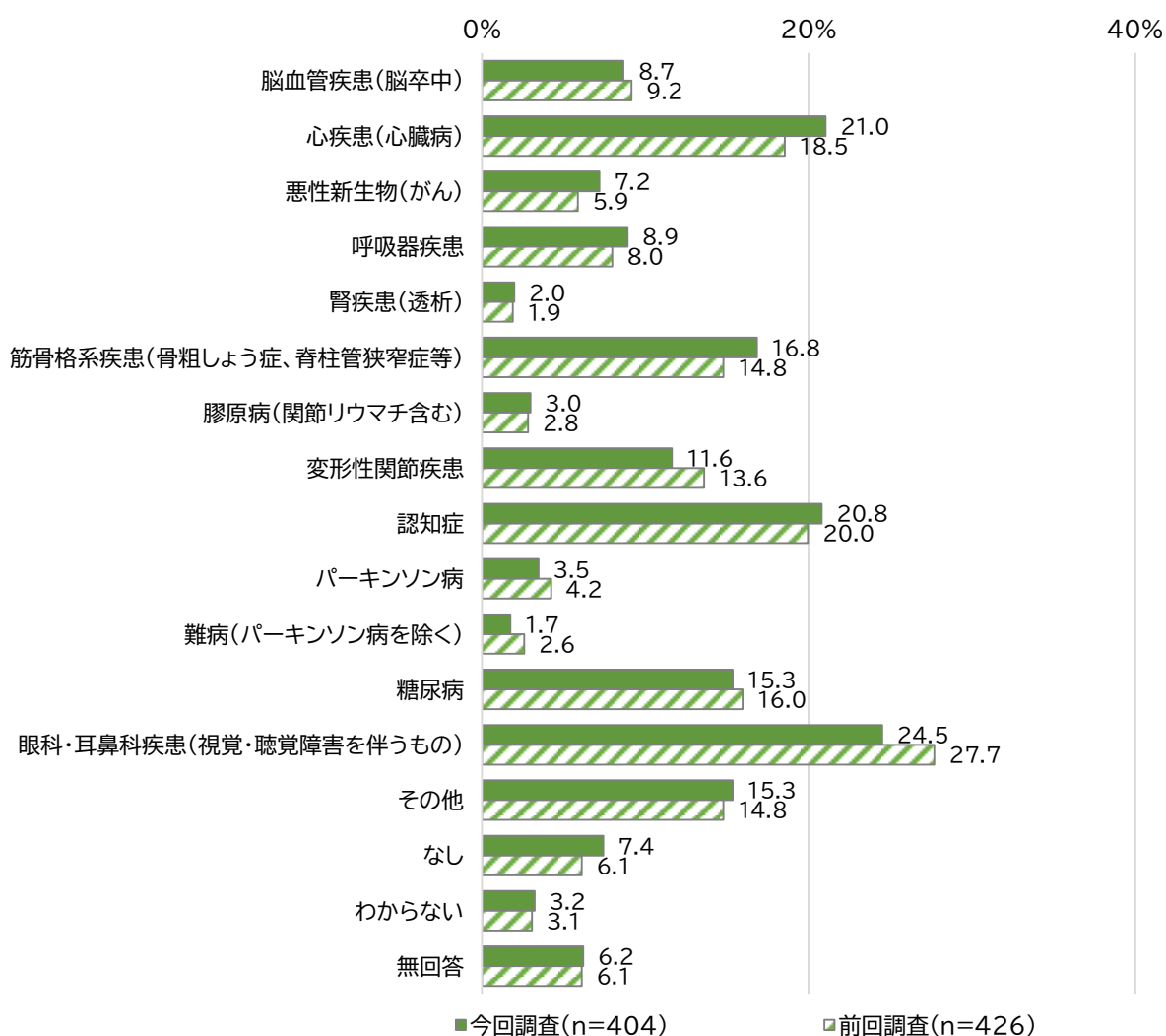
圏域別・要介護状態区分別

全体で 17.3%の「入所・入居を検討している」の割合は、圏域別では北部圏域の方が高くなっています。要介護状態区分別では要支援 3 が 26.2%と最も高く、次いで要支援 1 が 21.2%となっています。



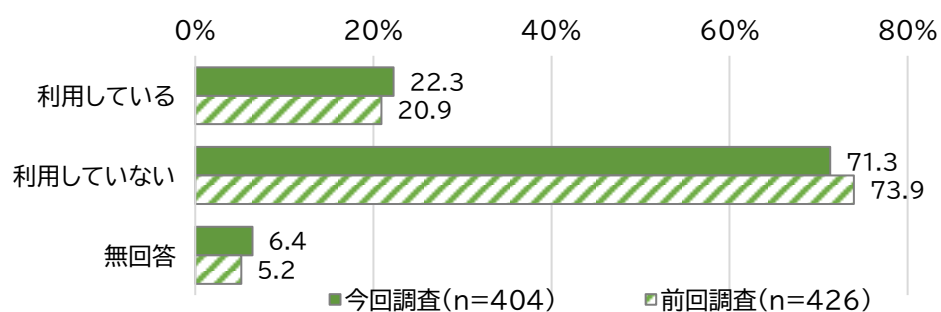
問 11 ご本人(調査対象者)が、現在抱えている傷病について教えてください【複数回答】

「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 24.5%と最も多く、次いで「心疾患（心臓病）」が 21.0%、「認知症」が 20.8%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 16.8%、「糖尿病」及び「その他」が 15.3%となっています。前回調査と比較すると、「心疾患（心臓病）」は 2.5 ポイント、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」は 2.0 ポイント、「悪性新生物（がん）」は 1.3 ポイント増加し、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」は 3.2 ポイント、「変形性関節疾患」は 2.0 ポイント減少しています。



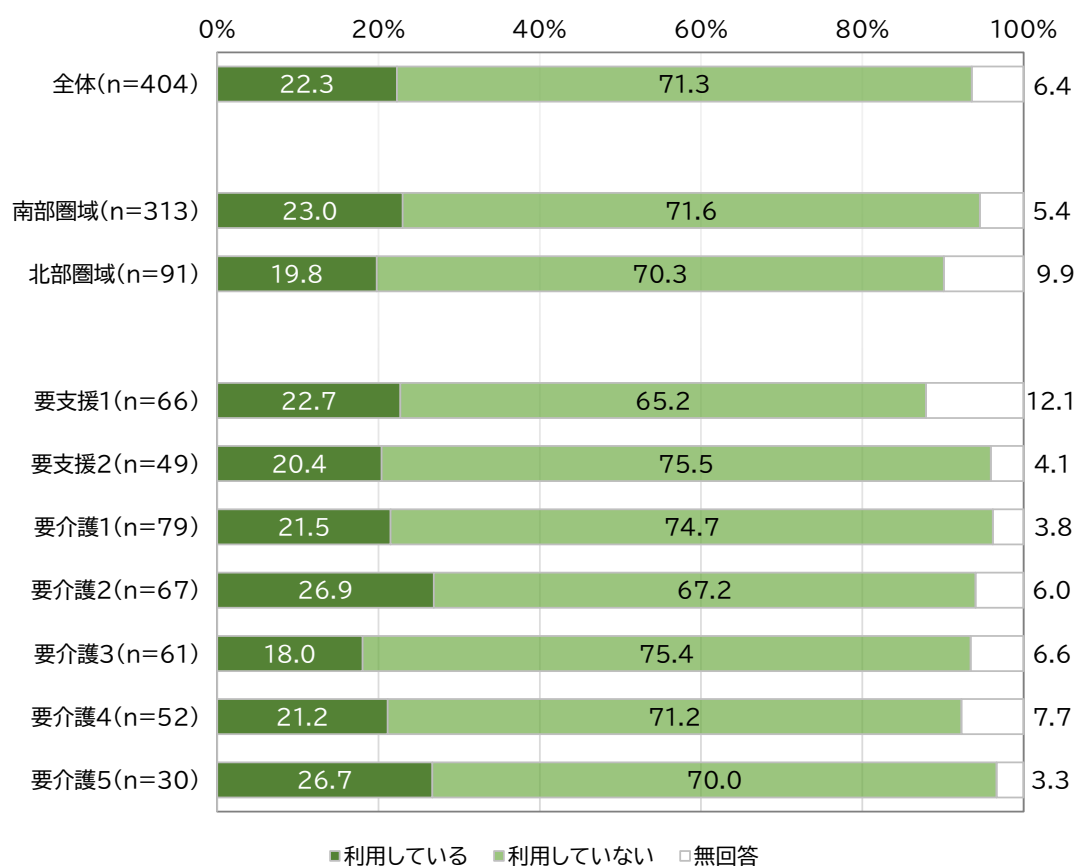
問 12 ご本人(調査対象者)は、現在、訪問診療を利用していますか

「利用している」が22.3%、「利用していない」が71.3%となっています。前回調査と比較すると、「利用している」は増加し、「利用していない」は減少しています。



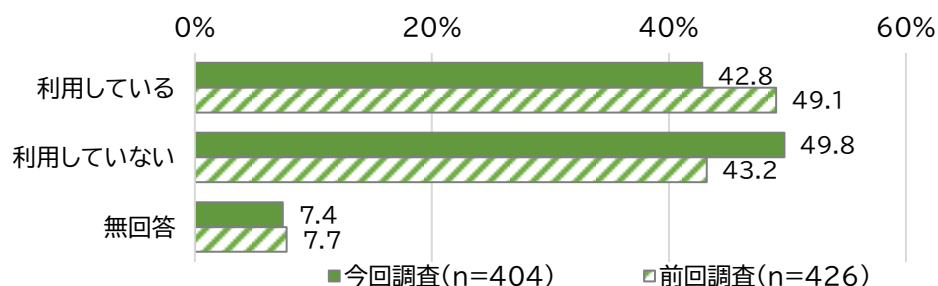
圏域別・要介護状態区分別

「利用している」の割合は、圏域別では南部圏域の方が高くなっています。要介護状態区分別では要介護2が26.9%と最も高く、次いで要介護5が26.7%となっています。



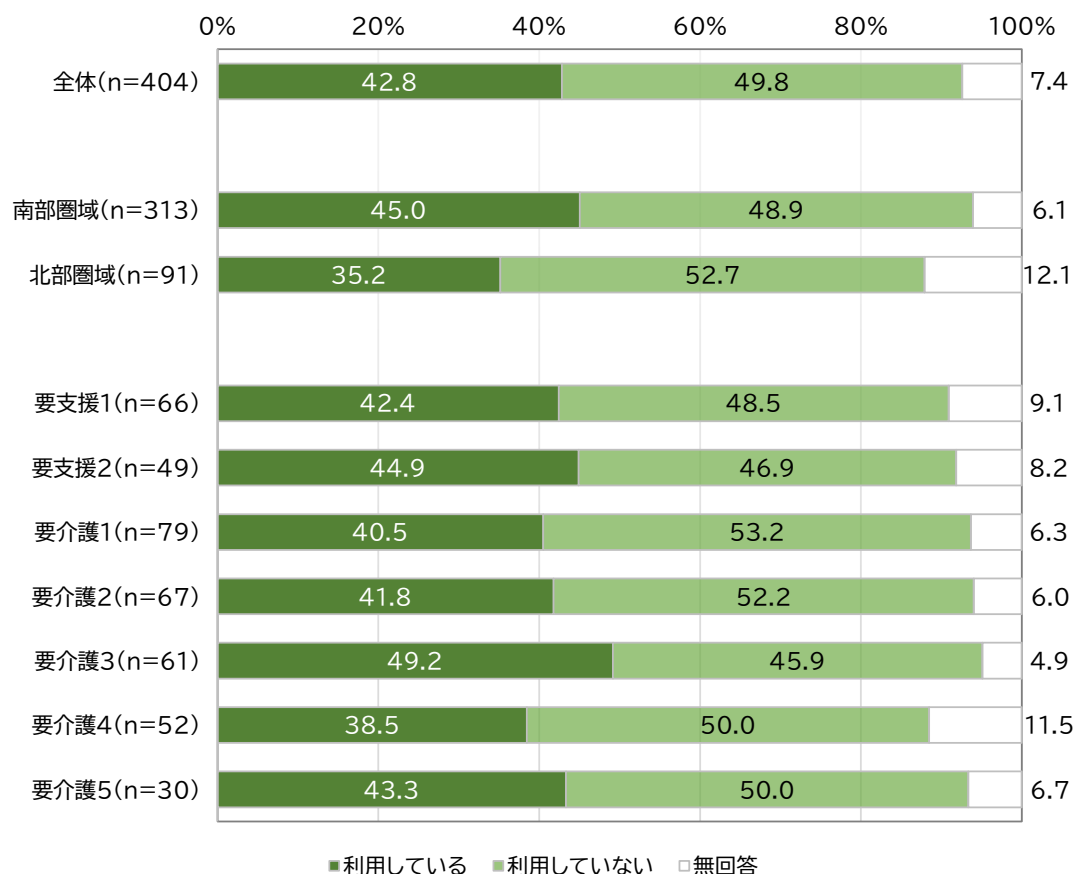
問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか

「利用している」が42.8%、「利用していない」が49.8%となっています。前回調査と比較すると、「利用していない」は増加し、「利用している」は減少しています。



圏域別・要介護状態区分別

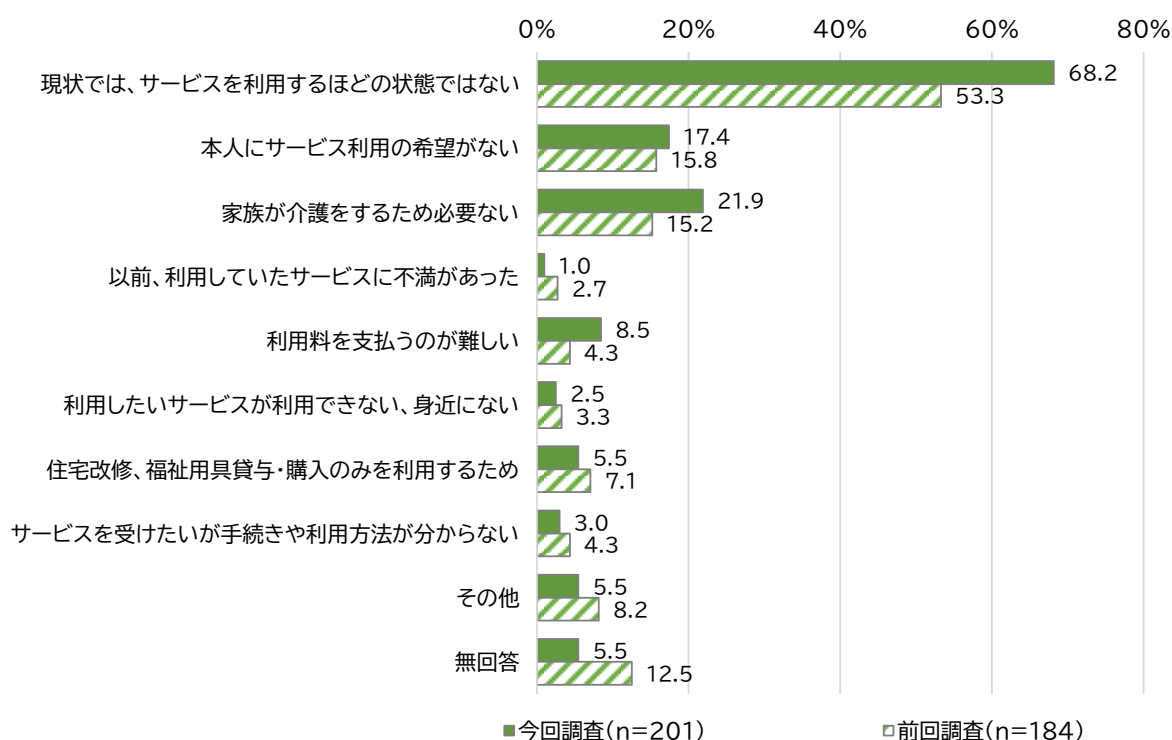
「利用している」の割合は、圏域別では南部圏域の方が高くなっています。要介護状態区分別では要介護3が49.2%と最も高く、次いで要支援2が44.9%となっています。



問 13 で「利用していない」を選択した方

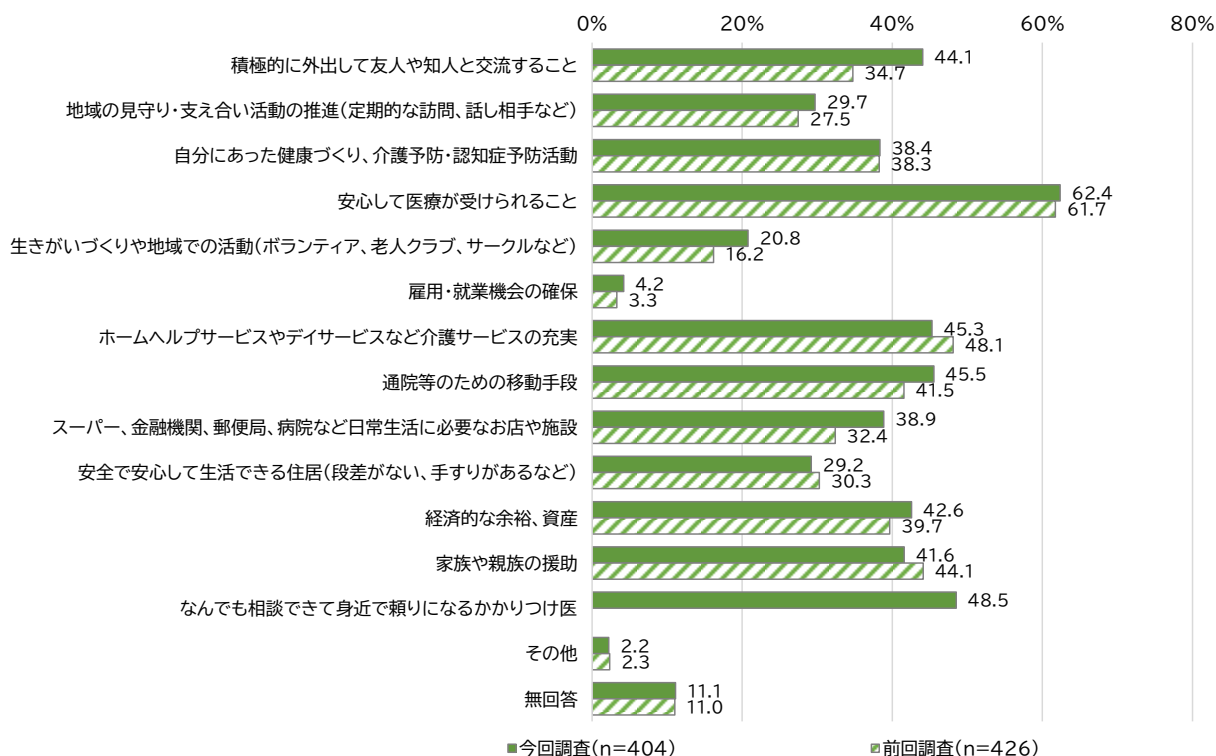
問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか【複数回答】

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 68.2%と最も多く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 21.9%、「本人にサービス利用の希望がない」が 17.4%、「利用料を支払うのが難しい」が 8.5%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」及び「その他」が 5.5%となっています。前回調査と比較すると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」は 14.9 ポイント、「家族が介護をするため必要ない」は 6.7 ポイント、「利用料を支払うのが難しい」は 4.2 ポイント増加しています。



問 15 住み慣れた地域で、いつまでも安心して過ごすには何が必要だと思いますか【複数回答】

「安心して医療が受けられること」が62.4%と最も多く、次いで「なんでも相談できて身近で頼りになるかかりつけ医」が48.5%、「通院等のための移動手段」が45.5%、「ホームヘルプサービスやデイサービスなど介護サービスの充実」が45.3%、「積極的に外出して友人や知人と交流すること」が44.1%となっています。前回調査と比較すると、「積極的に外出して友人や知人と交流すること」は9.4ポイント、「スーパー、金融機関、郵便局、病院など日常生活に必要なお店や施設」は6.5ポイント増加しています。



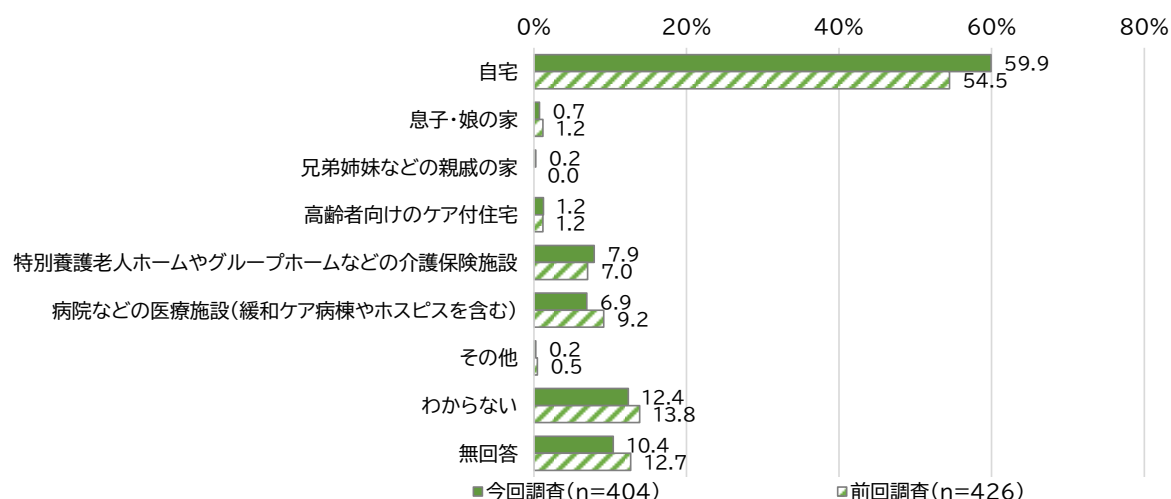
※「なんでも相談できて身近で頼りになるかかりつけ医」は前回選択肢なし

「その他」の主な記入内容

在宅高齢者向け入浴サービスなど地域介護サービスの継続／地区内を巡回するバスなど身近な移動手段／市内事業所の増加や行政の管理・対応への不安解消／等

問 16 ご本人(調査対象者)は、人生の最期をどこで迎えたいですか

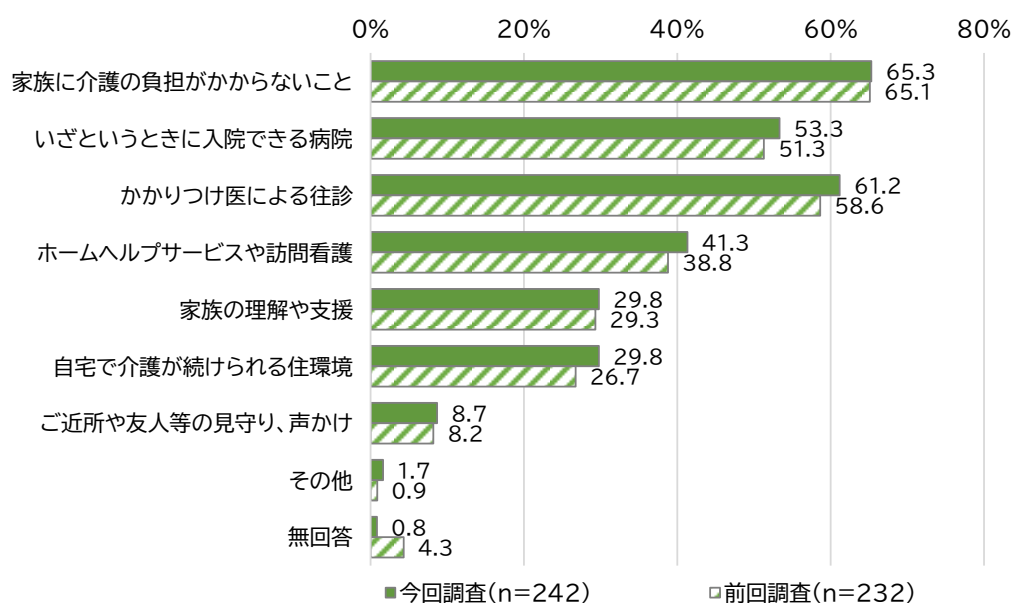
「自宅」が 59.9%と最も多く、次いで「わからない」が 12.4%、「特別養護老人ホームやグループホームなどの介護保険施設」が 7.9%、「病院などの医療施設（緩和ケア病棟やホスピスを含む）」が 6.9%、「高齢者向けのケア付住宅」が 1.2%となっています。前回調査と比較すると、「自宅」は 5.4 ポイント増加しています。



問 16 で「自宅」を選択した方

問 17 最期まで自宅で過ごすためには、どのようなことが必要だと思いますか【複数回答】

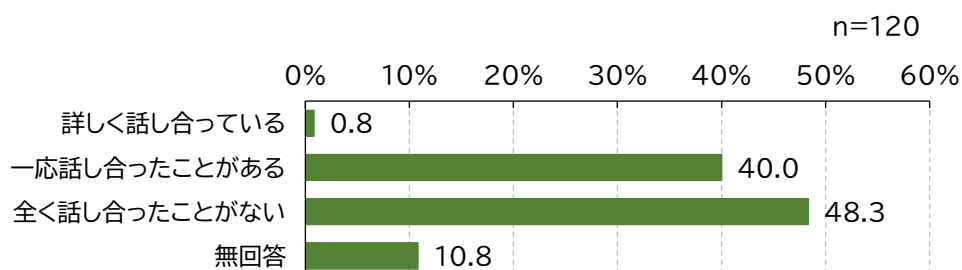
「家族に介護の負担がかからないこと」が 65.3%と最も多く、次いで「かかりつけ医による往診」が 61.2%、「いざというときに入院できる病院」が 53.3%、「ホームヘルプサービスや訪問看護」が 41.3%、「家族の理解や支援」及び「自宅で介護が続けられる住環境」が 29.8%となっています。前回調査と比較すると、いずれもわずかな差ではありますが増加しており、特に「自宅で介護が続けられる住環境」は 3.1 ポイント増加しています。



問 16 で「自宅」以外を選択した方

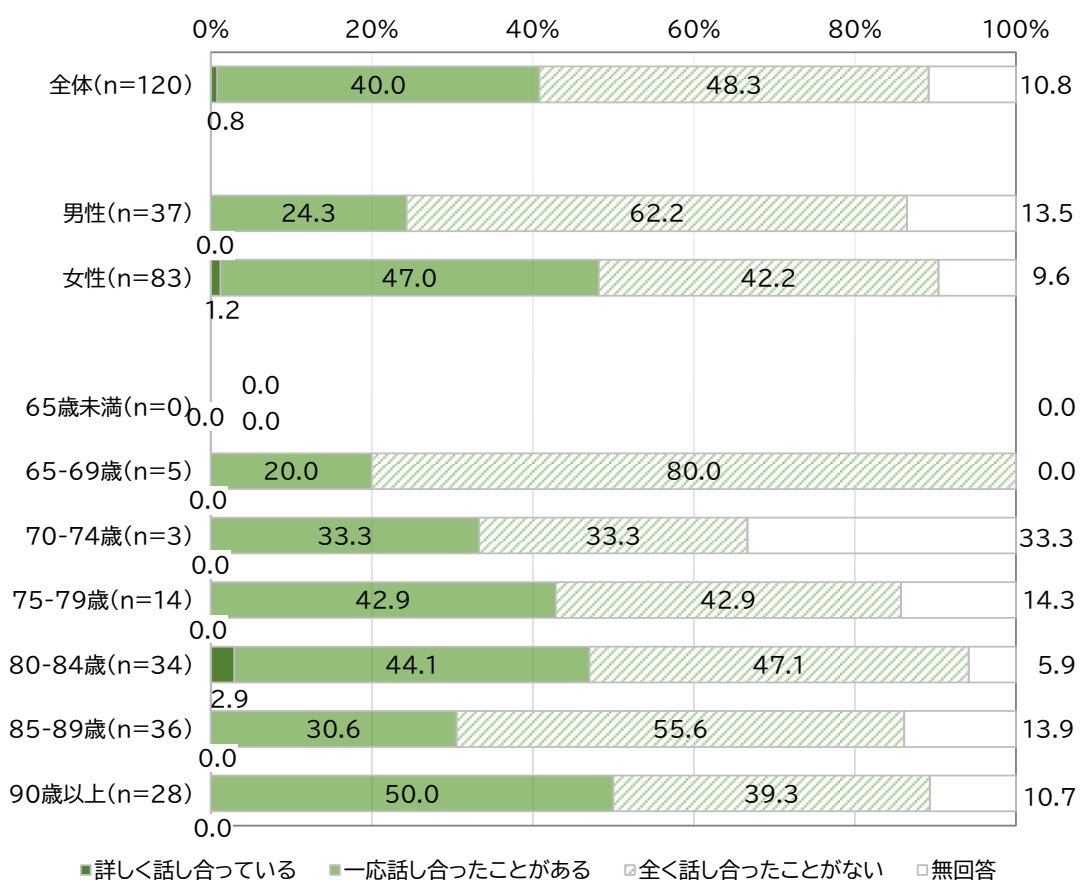
問 18 人生の最終段階における医療についてお聞きます。ご自身の死が近づいた場合に受けたい医療や受けたくない医療について、ご家族とどのくらい話し合ったことがありますか

「全く話し合ったことがない」が 48.3%と最も多く、次いで「一応話し合ったことがある」が 40.0%となっています。



性別・年齢別

性別にみると、「全く話し合ったことがない」の割合は男性の方が高く、「一応話し合ったことがある」は女性の方が高くなっています。年齢別では、「全く話し合ったことがない」は 65-69 歳で 8 割となっています。

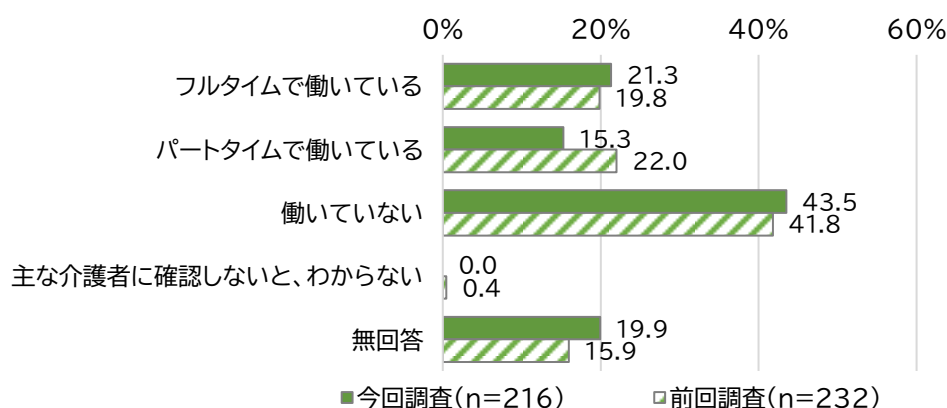


B票はA票問2で「ない」以外を選択した方(家族や親族からの介護がある方)

B票 主な介護者の方についておうかがいします

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について教えてください

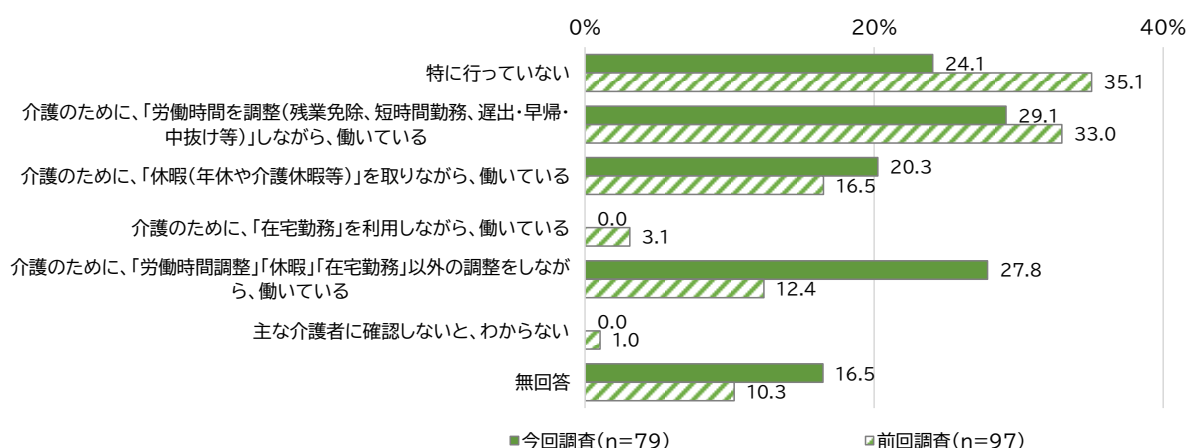
「働いていない」が43.5%と最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が21.3%、「パートタイムで働いている」が15.3%となっています。前回調査と比較すると、「働いていない」は1.7ポイント、「フルタイムで働いている」は1.5ポイント増加し、「パートタイムで働いている」は6.7ポイント減少しています。



問2～問4は、問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」を選択した方

問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか【複数回答】

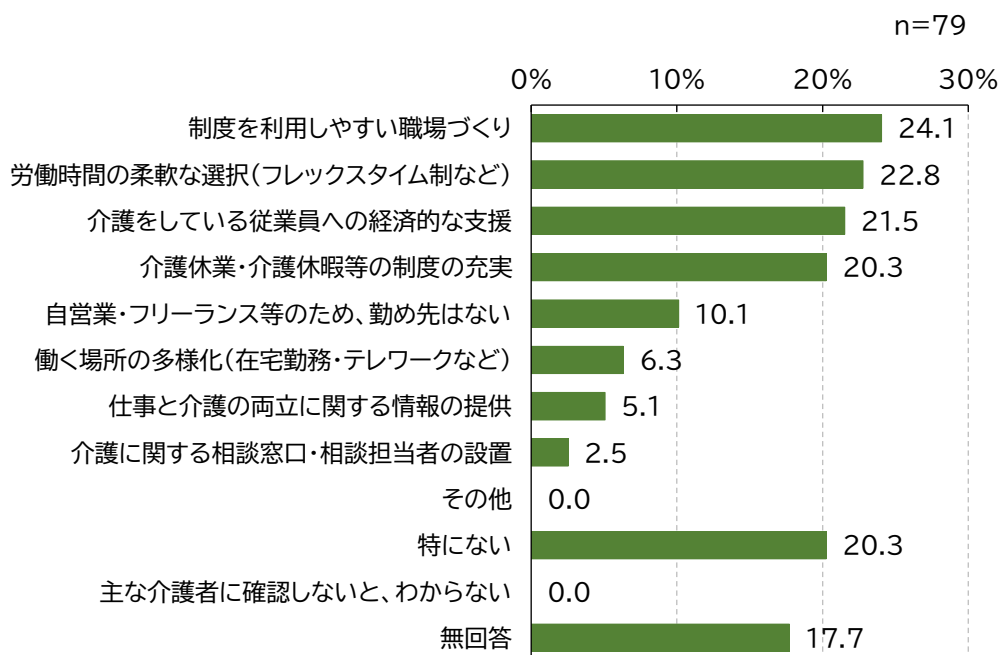
「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が29.1%と最も多く、次いで「介護のために、「労働時間の調整」「休暇」「在宅勤務」以外の調整をしながら、働いている」が27.8%、「特に行っていない」が24.1%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が20.3%となっています。前回調査と比較すると、「介護のために、「労働時間調整」「休暇」「在宅勤務」以外の調整をしながら、働いている」は15.4ポイント増加し、「特に行っていない」は11.0ポイント減少しています。



問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果がある
と思いますか【複数回答】

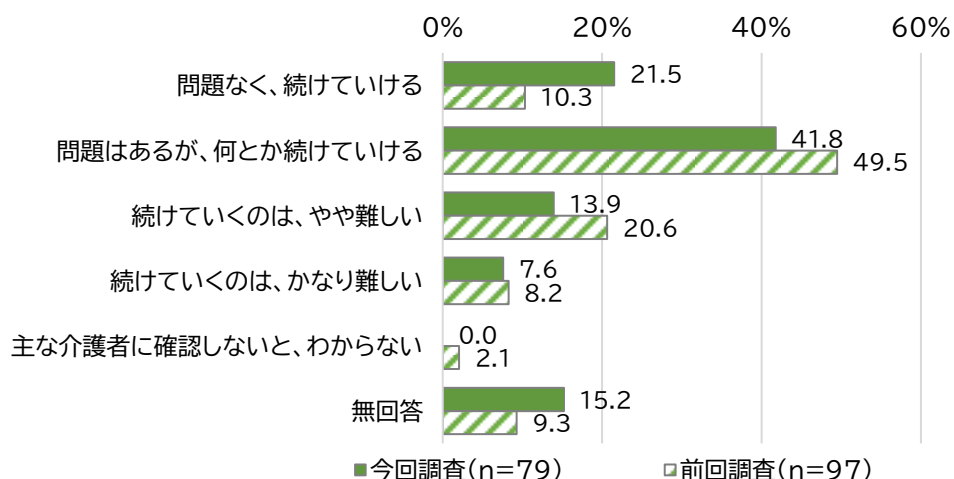
「制度を利用しやすい職場づくり」が24.1%と最も多く、次いで「労働時間の柔軟な選択
(フレックスタイム制など)」が22.8%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が21.5%、
「介護休業・介護休暇等の制度の充実」及び「特にない」が20.3%となっています。

※「3つまで選択」の設問だが、4つ以上選択した回答者が多かったため【複数回答】として集計。



問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか

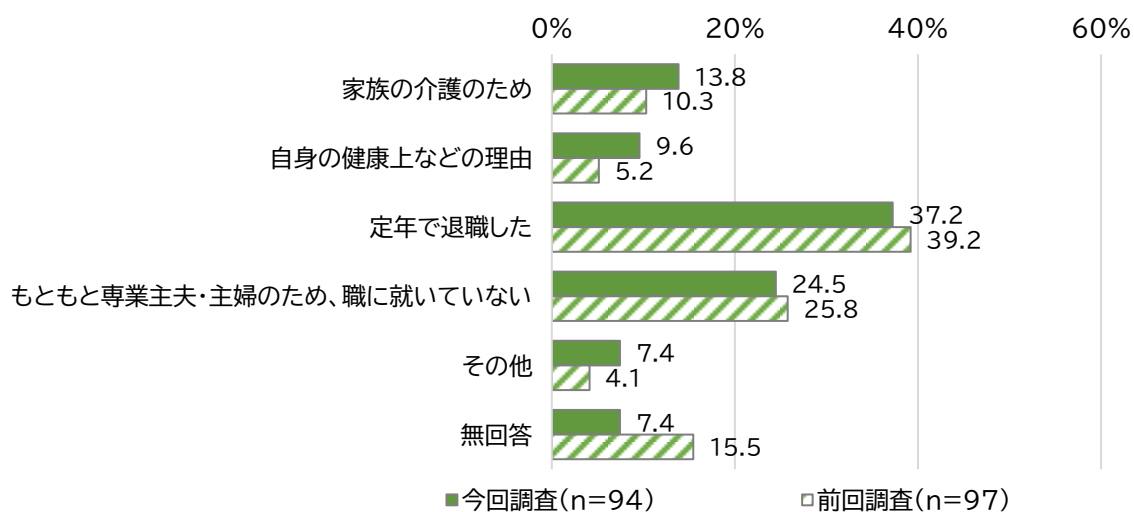
「問題はあるが、何とか続けていける」が41.8%と最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が21.5%、「続けていくのは、やや難しい」が13.9%、「続けていくのは、かなり難しい」が7.6%となっています。前回調査と比較すると、「問題なく、続けていける」は11.2ポイント増加しており、「問題はあるが、何とか続けていける」は7.7ポイント、「続けていくのは、やや難しい」は6.7ポイント減少しています。



問1で「働いていない」を選択した方

問5 主な介護者の方の働いていない理由は何ですか

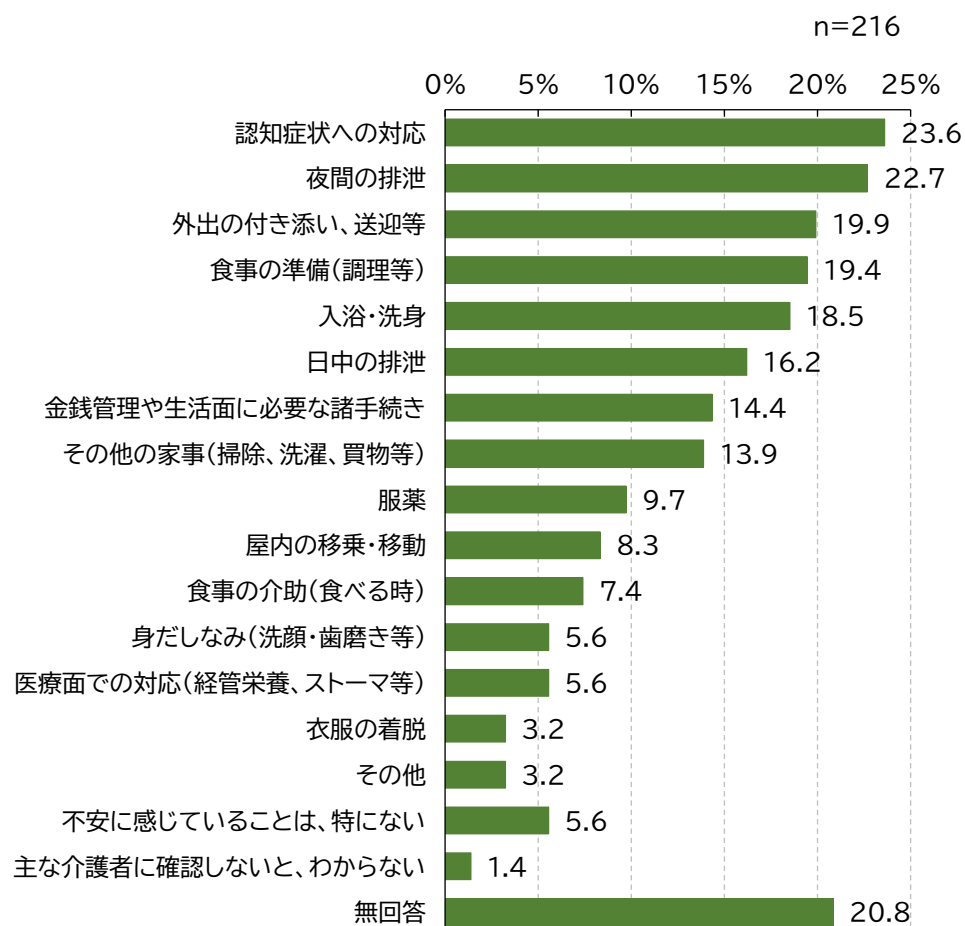
「定年で退職した」が37.2%と最も多く、次いで「もともと専業主夫・主婦のため、職に就いていない」が24.5%、「家族の介護のため」が13.8%、「自身の健康上などの理由」が9.6%、「その他」が7.4%となっています。前回調査と比較すると、「自身の健康上などの理由」は4.4ポイント、「家族の介護のため」は3.5ポイント、「その他」は3.3ポイント増加しています。



問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について教えてください【複数回答】

「認知症状への対応」が23.6%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が22.7%、「外出の付き添い、送迎等」が19.9%、「食事の準備（調理等）」が19.4%、「入浴・洗身」が18.5%となっています。

※「3つまで選択」の設問だが、4つ以上選択した回答者が多かったため【複数回答】として集計。



クロス集計結果(自動集計分析ソフトによる集計)

在宅介護実態調査では、国から提供された「自動集計分析ソフト」の活用が推奨されています。以下は当該ソフトによる集計値・出力結果を抜粋・引用してクロス集計をまとめたものです。

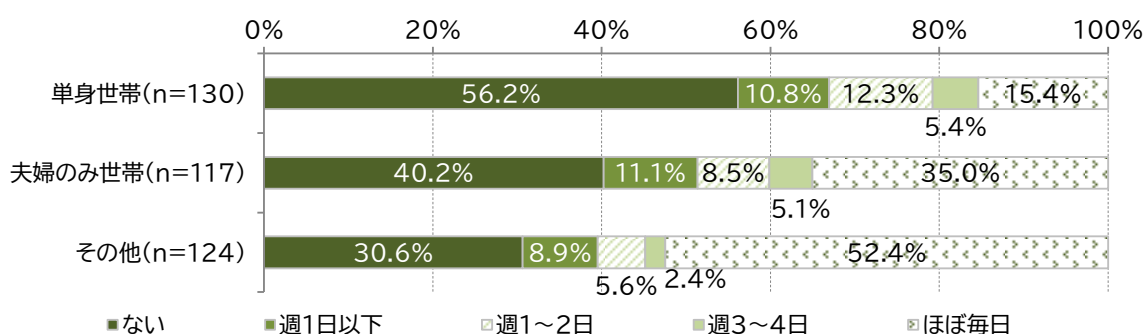
「自動集計分析ソフト」では「無回答」は集計対象外となるため、アンケートのn数から無回答を除いた人数で集計を行っており、ここからの集計結果は「Ⅲ 在宅介護実態調査 集計結果」とn数が異なります。また、グラフの体裁も異なります。

「3つまで選択」など回答数制限のある設問について、制限を超えた回答はA票、B票の集計では複数選択として集計しましたが、以下では回答から3つまでをランダム選択する方法で制限内の回答数に変換し集計しています。

(1)家族等の介護

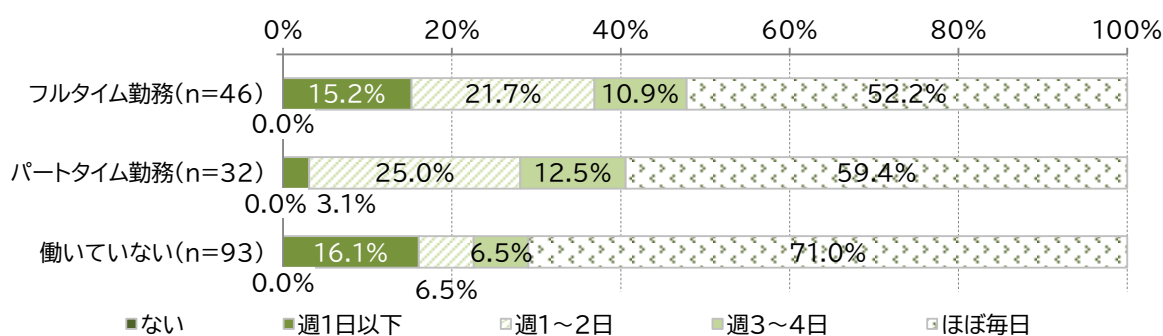
世帯類型別 家族等による介護の頻度

家族等の介護の頻度を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「ない」が56.2%と最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が15.4%、「週1～2日」が12.3%となっています。「夫婦のみ世帯」では「ない」が40.2%と最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が35.0%、「週1日以下」が11.1%となっています。「その他」では「ほぼ毎日」が52.4%と最も割合が高く、次いで「ない」が30.6%、「週1日以下」が8.9%となっています。



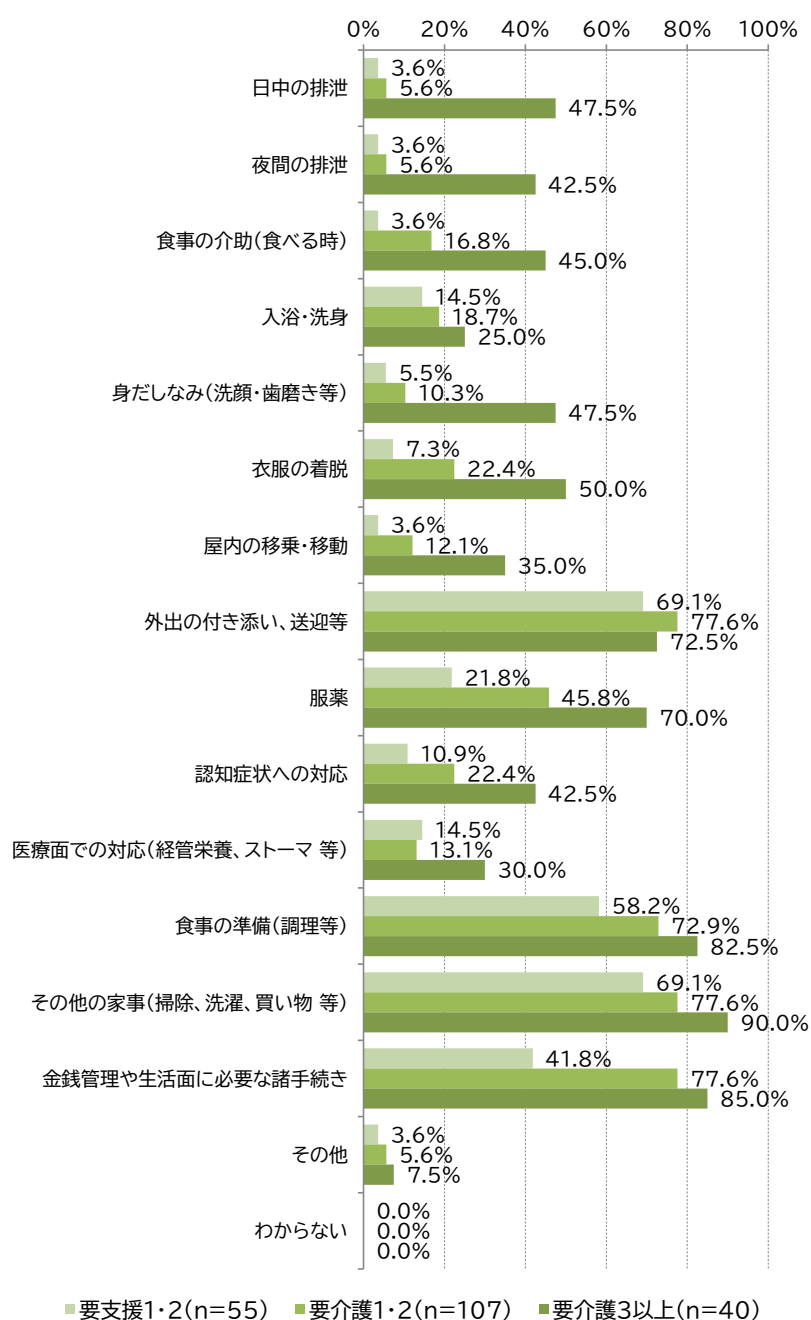
就労状況別 家族等による介護の頻度

家族等の介護の頻度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「ほぼ毎日」が52.2%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が21.7%、「週1日以下」が15.2%となっています。「パートタイム勤務」では「ほぼ毎日」が59.4%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が25.0%、「週3～4日」が12.5%となっています。「働いていない」では「ほぼ毎日」が71.0%と最も割合が高く、次いで「週1日以下」が16.1%、「週1～2日」、「週3～4日」が6.5%となっています。



要介護状態区分別 主な介護者が行っている介護

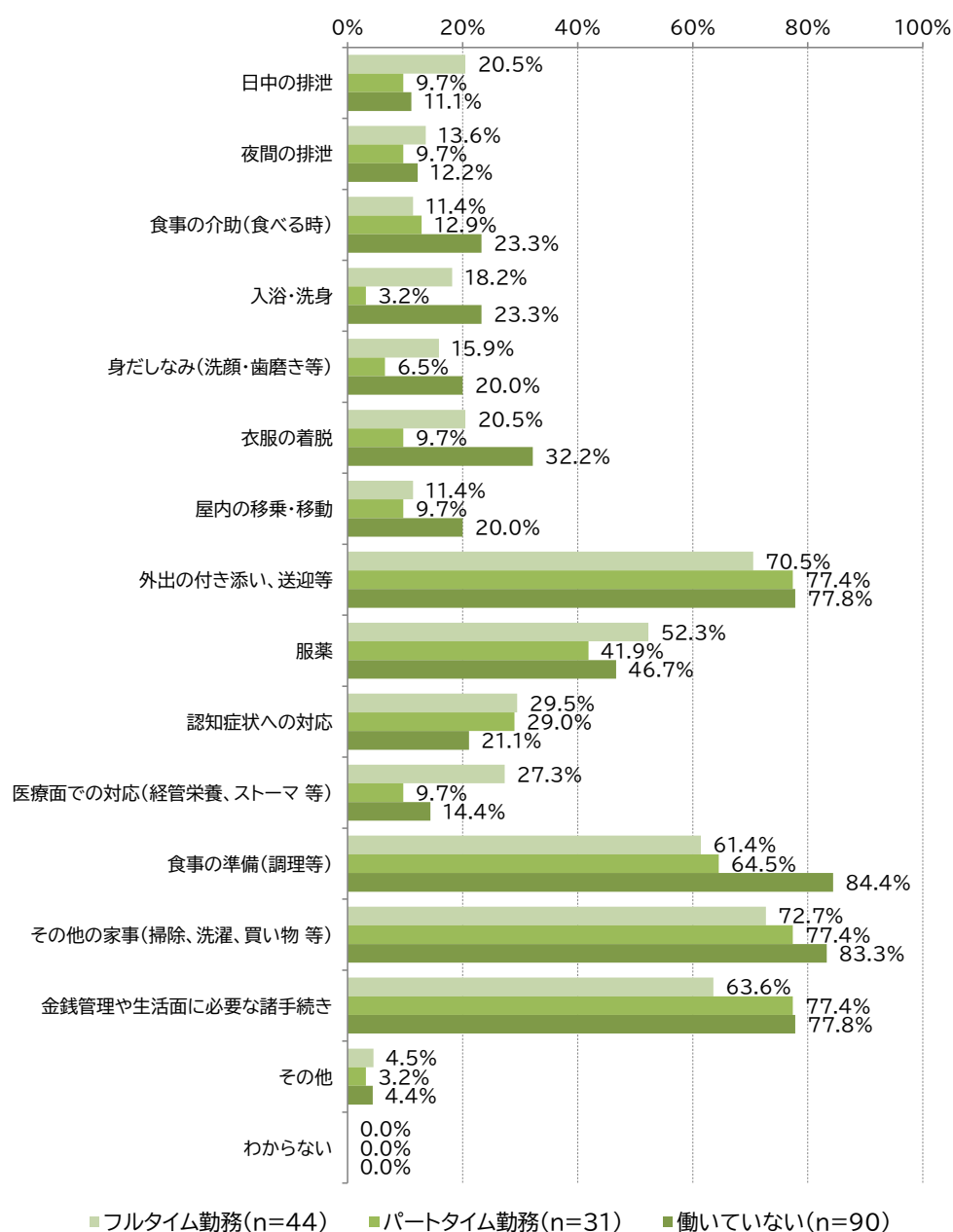
介護者が行っている介護を要介護状態区分別にみると、「要支援1・2」では「外出の付き添い、送迎等」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が69.1%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が58.2%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が41.8%となっています。「要介護1・2」では「外出の付き添い、送迎等」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が77.6%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が72.9%、「服薬」が45.8%となっています。「要介護3以上」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が90.0%と最も割合が高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が85.0%、「食事の準備（調理等）」が82.5%となっています。



就労状況別 主な介護者が行っている介護

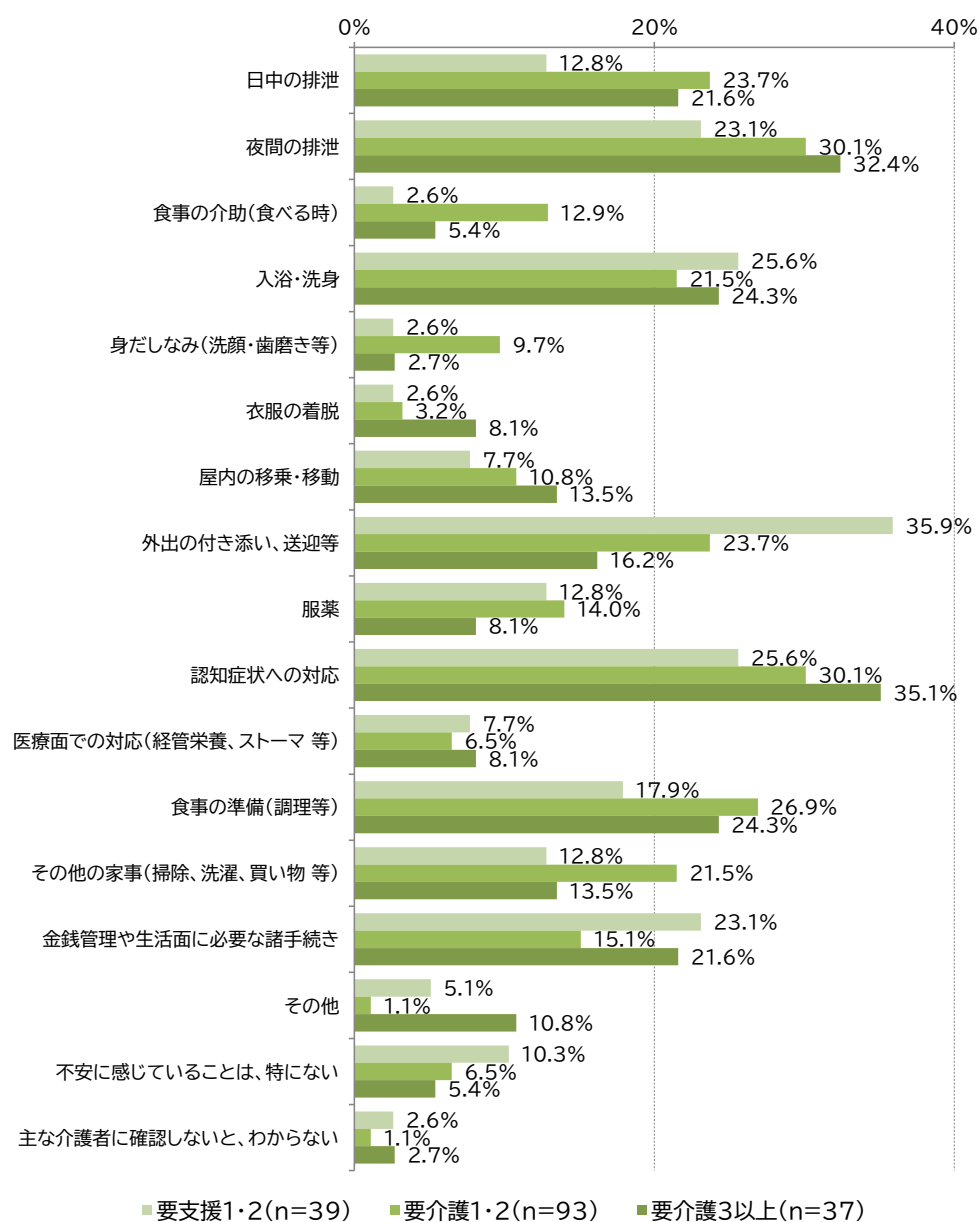
介護者が行っている介護を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 72.7%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 70.5%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 63.6%となっています。

「パートタイム勤務」では「外出の付き添い、送迎等」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 77.4%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が 64.5%、「服薬」が 41.9%となっています。「働いていない」では「食事の準備（調理等）」が 84.4%と最も割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 83.3%、「外出の付き添い、送迎等」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 77.8%となっています。



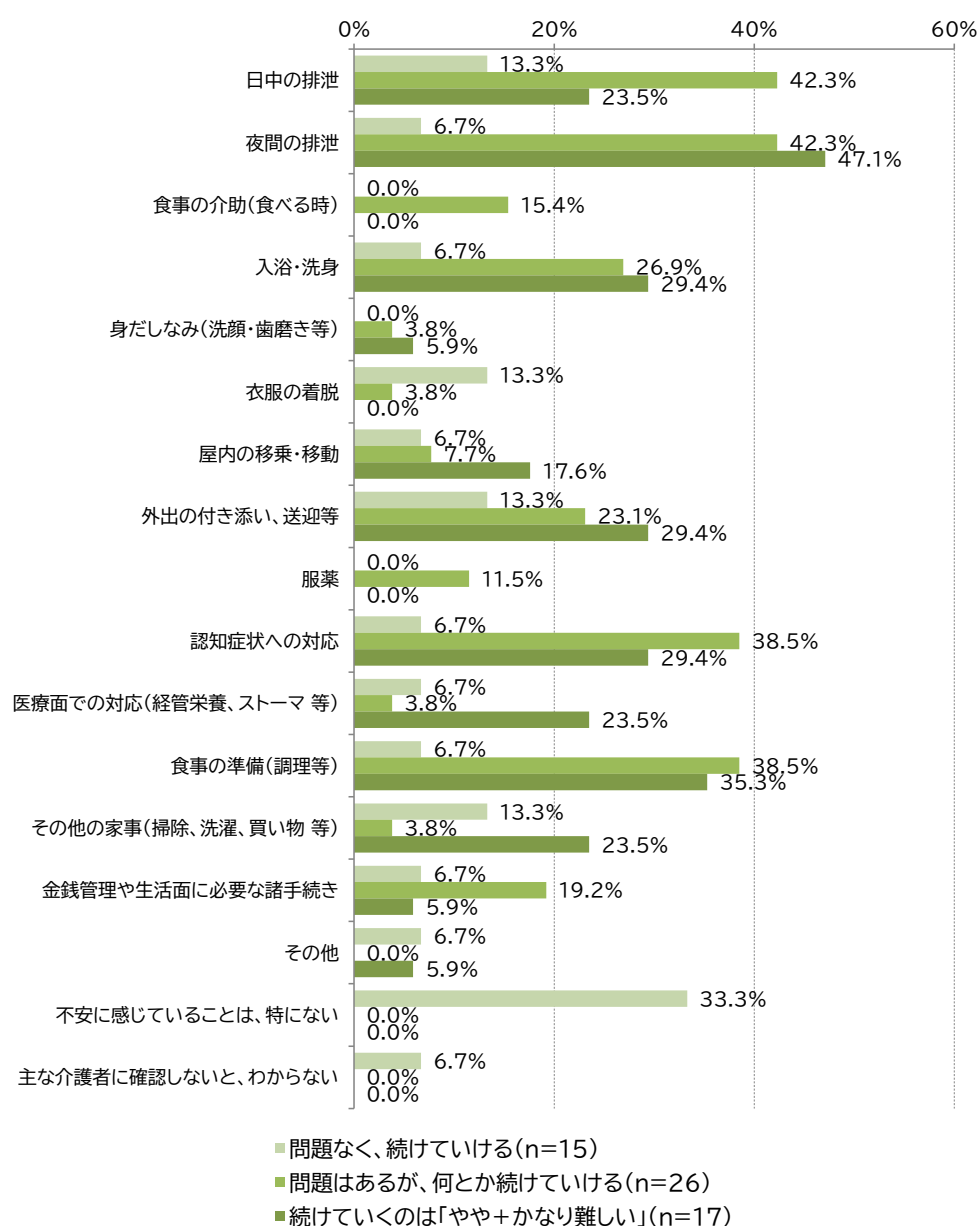
要介護状態区分別 介護者が不安に感じる介護

介護者が不安に感じる介護を要介護状態区分別にみると、「要支援1・2」では「外出の付き添い、送迎等」が35.9%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」、「認知症状への対応」が25.6%、「夜間の排泄」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が23.1%となっています。「要介護1・2」では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が30.1%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が26.9%、「日中の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」が23.7%となっています。「要介護3以上」では「認知症状への対応」が35.1%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が32.4%、「入浴・洗身」、「食事の準備（調理等）」が24.3%となっています。



就労継続見込み別 介護者が不安に感じる介護(フルタイム勤務+パートタイム勤務)

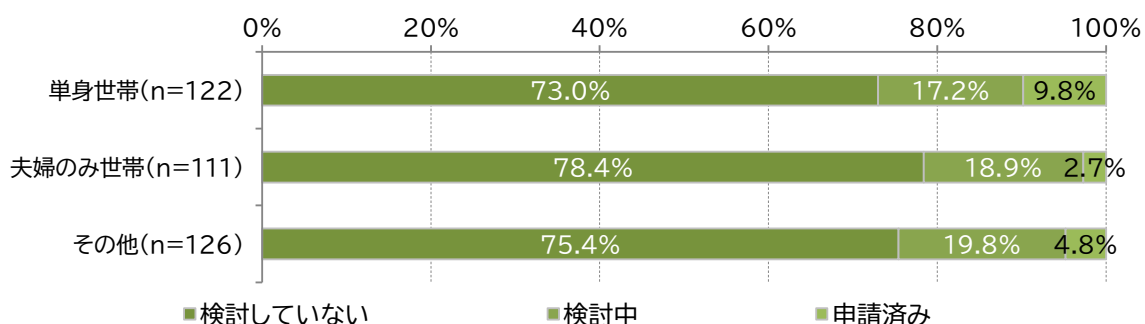
介護者が不安に感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「不安に感じていることは、特にない」が 33.3%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「衣服の着脱」、「外出の付き添い、送迎等」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 13.3%となっています。「問題はあるが、何とか続けていける」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」が 42.3%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」、「食事の準備（調理等）」が 38.5%、「入浴・洗身」が 26.9%となっています。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「夜間の排泄」が 47.1%と最も割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が 35.3%、「入浴・洗身」、「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」が 29.4%となっています。



(2)施設等の検討

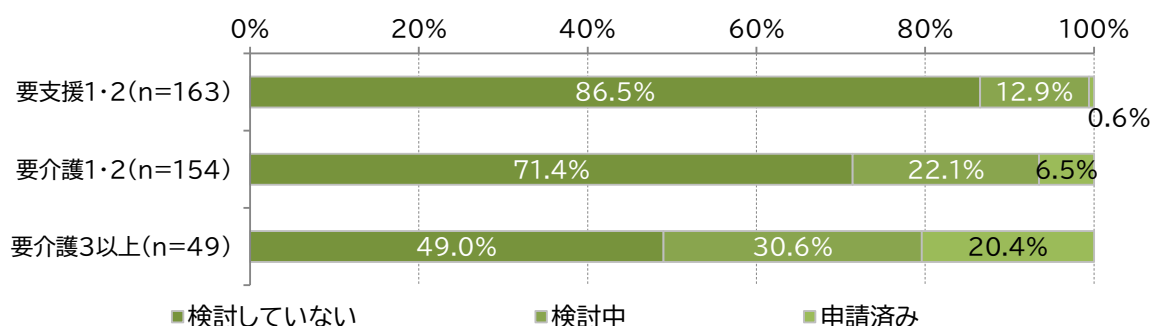
世帯類型別 施設等検討の状況

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が73.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が17.2%、「申請済み」が9.8%となっています。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が78.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が18.9%、「申請済み」が2.7%となっています。「その他」では「検討していない」が75.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が19.8%、「申請済み」が4.8%となっています。



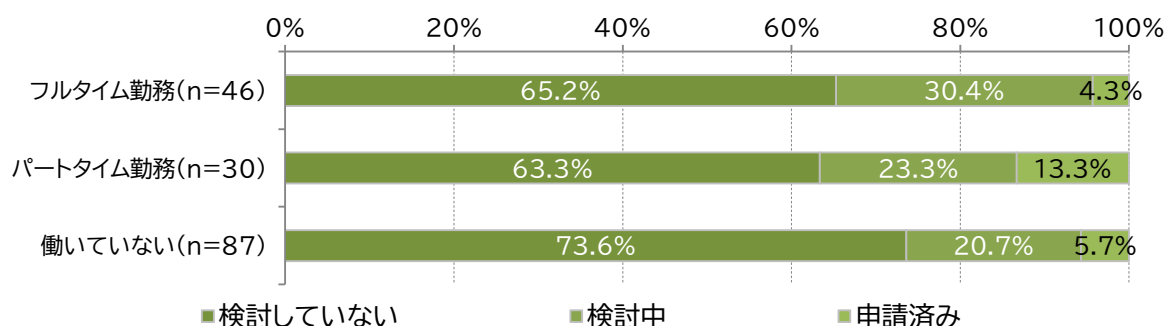
要介護状態区分別 施設等検討の状況

施設等の検討状況を要介護状態区分別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が86.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が12.9%となっています。「要介護1・2」では「検討していない」が71.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が22.1%、「申請済み」が6.5%となっています。「要介護3以上」では「検討していない」が49.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が30.6%、「申請済み」が20.4%となっています。



就労状況別 施設等検討の状況

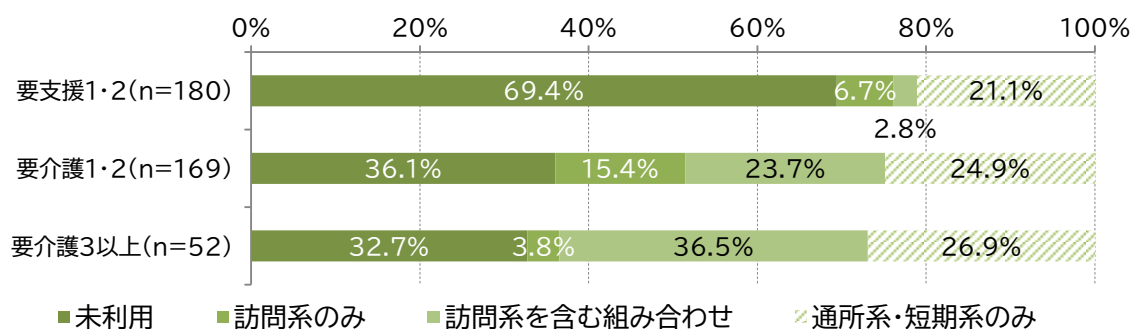
施設等の検討状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「検討していない」が65.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が30.4%、「申請済み」が4.3%となっています。「パートタイム勤務」では「検討していない」が63.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が23.3%、「申請済み」が13.3%となっています。「働いていない」では「検討していない」が73.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が20.7%、「申請済み」が5.7%となっています。



(3)サービス利用の組み合わせ

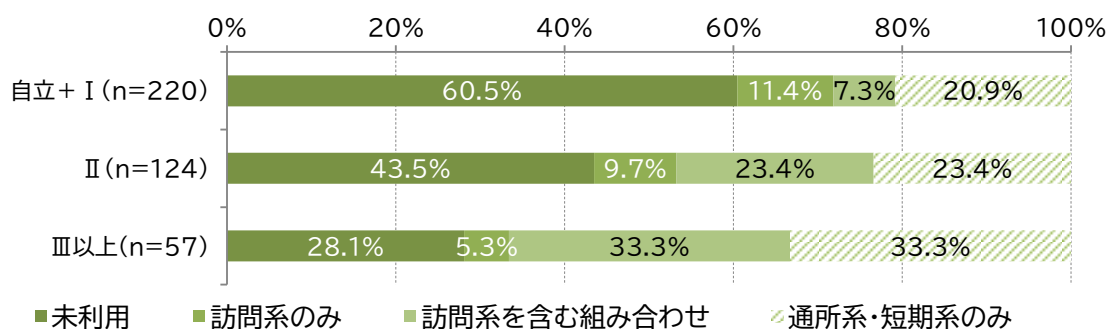
要介護状態区分別 サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを要介護状態区分別にみると、「要支援1・2」では「未利用」が69.4%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が21.1%、「訪問系のみ」が6.7%となっています。「要介護1・2」では「未利用」が36.1%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が24.9%、「訪問系を含む組み合わせ」が23.7%となっています。「要介護3以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が36.5%と最も割合が高く、次いで「未利用」が32.7%、「通所系・短期系のみ」が26.9%となっています。



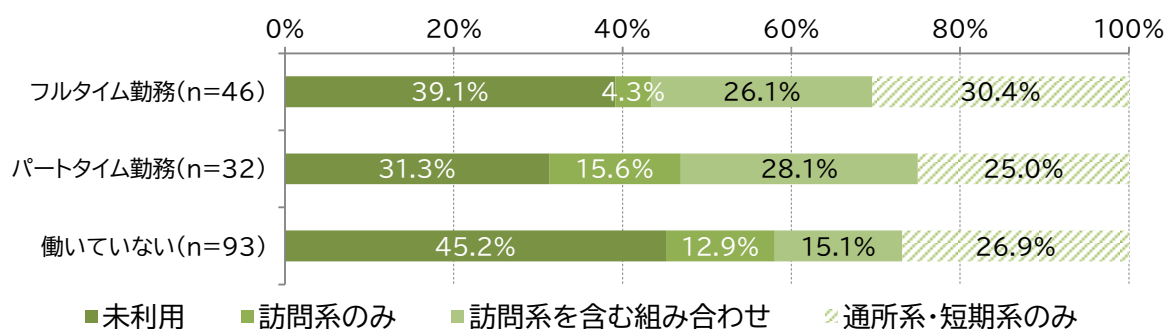
認知症自立度別 サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを認知症自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「未利用」が60.5%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が20.9%、「訪問系のみ」が11.4%となっています。「Ⅱ」では「未利用」が43.5%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が23.4%、「通所系・短期系のみ」が23.4%、「訪問系のみ」が9.7%となっています。「Ⅲ以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が33.3%と最も割合が高く、次いで「未利用」が28.1%、「訪問系のみ」が5.3%となっています。



就労状況別 サービス利用の組み合わせ

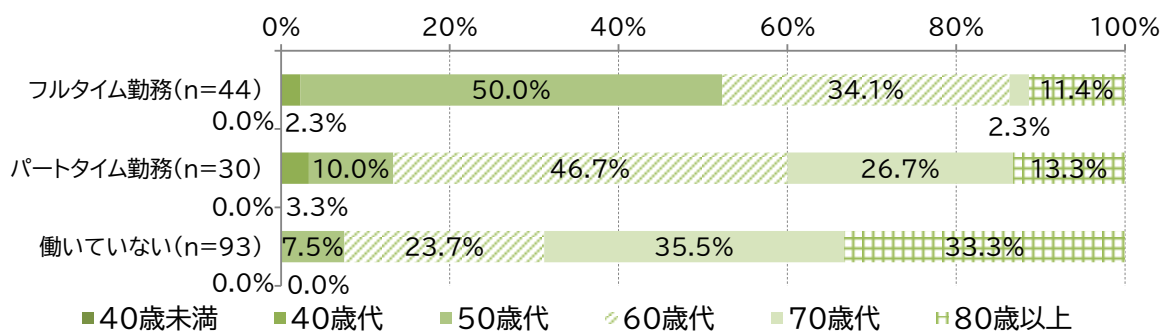
サービス利用の組み合わせを介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「未利用」が39.1%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が30.4%、「訪問系を含む組み合わせ」が26.1%となっています。「パートタイム勤務」では「未利用」が31.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が28.1%、「通所系・短期系のみ」が25.0%となっています。「働いていない」では「未利用」が45.2%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が26.9%、「訪問系を含む組み合わせ」が15.1%となっています。



(4)介護者の就労状況別の状況

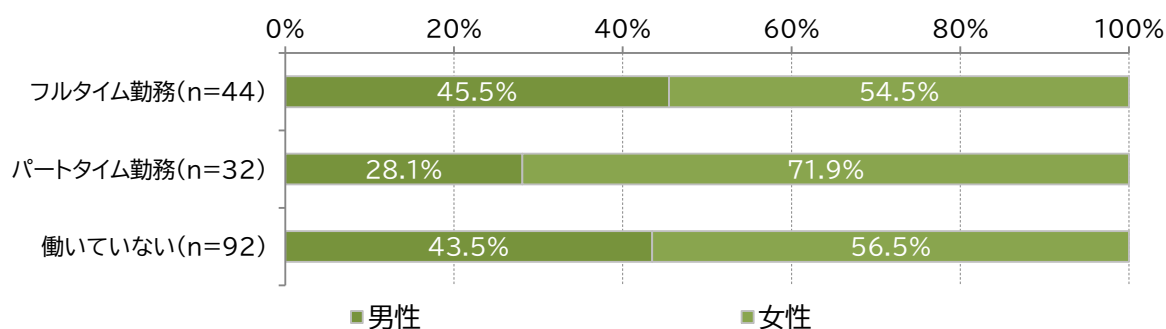
就労状況別 主な介護者の年齢

介護者の年齢を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「50 歳代」が 50.0%と最も割合が高く、次いで「60 歳代」が 34.1%、「80 歳以上」が 11.4%となっています。「パートタイム勤務」では「60 歳代」が 46.7%と最も割合が高く、次いで「70 歳代」が 26.7%、「80 歳以上」が 13.3%となっています。「働いていない」では「70 歳代」が 35.5%と最も割合が高く、次いで「80 歳以上」が 33.3%、「60 歳代」が 23.7%となっています。



就労状況別 主な介護者の性別

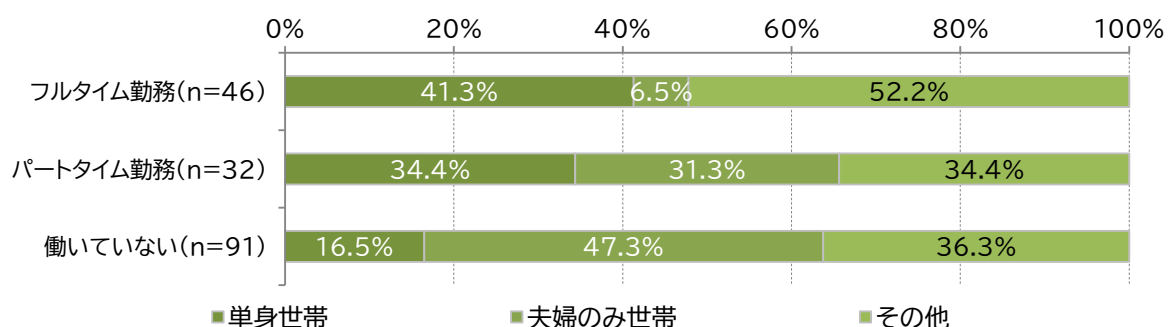
介護者の性別を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「女性」が 54.5%、「男性」が 45.5%となっています。「パートタイム勤務」では「女性」が 71.9%、「男性」が 28.1%となっています。「働いていない」では「女性」が 56.5%、「男性」が 43.5%となっています。



就労状況別 世帯類型

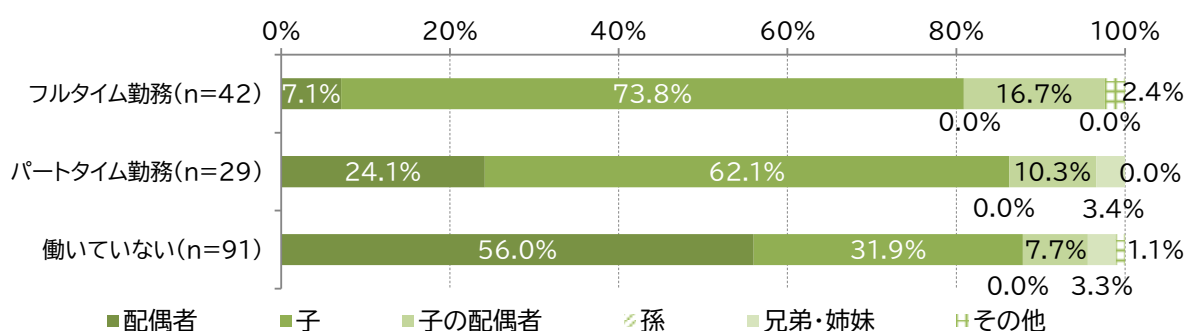
世帯類型を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「その他」が52.2%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が41.3%、「夫婦のみ世帯」が6.5%となっています。

「パートタイム勤務」では「単身世帯」、「その他」が34.4%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が31.3%となっています。「働いていない」では「夫婦のみ世帯」が47.3%と最も割合が高く、次いで「その他」が36.3%、「単身世帯」が16.5%となっています。



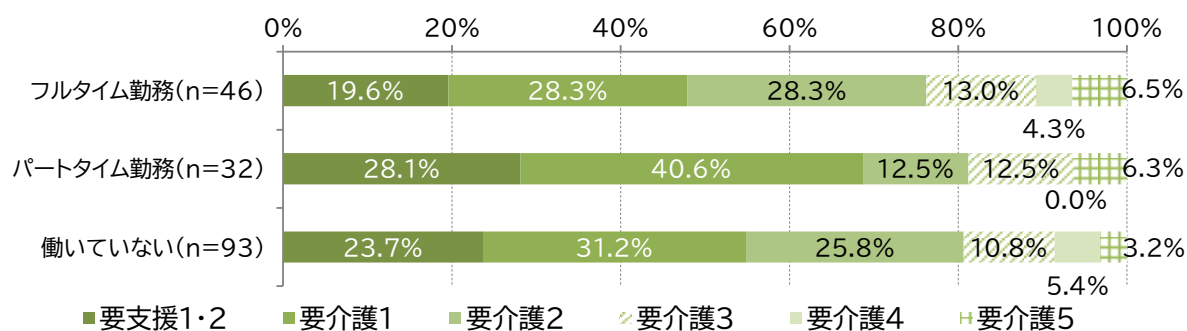
就労状況別 主な介護者の本人との関係

主な介護者を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「子」が73.8%と最も割合が高く、次いで「子の配偶者」が16.7%、「配偶者」が7.1%となっています。「パートタイム勤務」では「子」が62.1%と最も割合が高く、次いで「配偶者」が24.1%、「子の配偶者」が10.3%となっています。「働いていない」では「配偶者」が56.0%と最も割合が高く、次いで「子」が31.9%、「子の配偶者」が7.7%となっています。



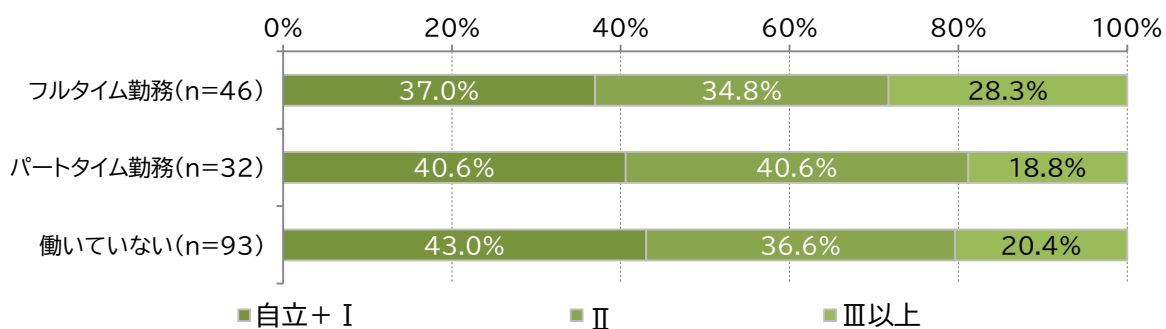
就労状況別 要介護状態区分

要介護状態区分を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「要介護1」、「要介護2」が28.3%と最も割合が高く、次いで「要支援1・2」が19.6%、「要介護3」が13.0%となっています。「パートタイム勤務」では「要介護1」が40.6%と最も割合が高く、次いで「要支援1・2」が28.1%、「要介護2」、「要介護3」が12.5%となっています。「働いていない」では「要介護1」が31.2%と最も割合が高く、次いで「要介護2」が25.8%、「要支援1・2」が23.7%となっています。



就労状況別 認知症自立度

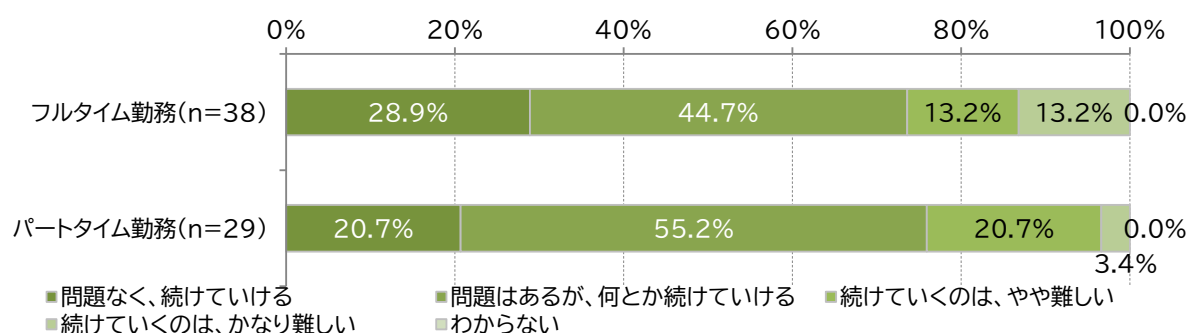
認知症自立度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「自立+I」が37.0%と最も割合が高く、次いで「II」が34.8%、「III以上」が28.3%となっています。「パートタイム勤務」では「自立+I」、「II」が40.6%と最も割合が高く、次いで「III以上」が18.8%となっています。「働いていない」では「自立+I」が43.0%と最も割合が高く、次いで「II」が36.6%、「III以上」が20.4%となっています。



(5)介護者の就労継続の見込み

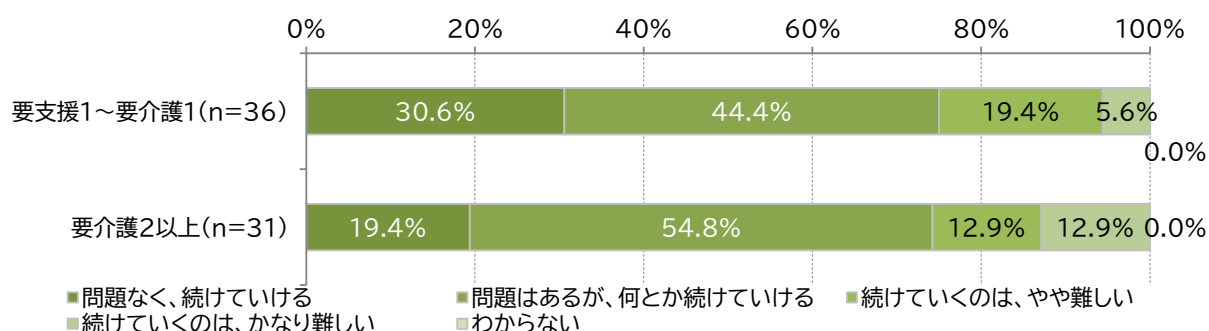
就労状況別 就労継続見込み

介護者の就労継続の可否に係る意識を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が44.7%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が28.9%、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」が13.2%となっています。「パートタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が55.2%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」、「続けていくのは、やや難しい」が20.7%、「続けていくのは、かなり難しい」が3.4%となっています。



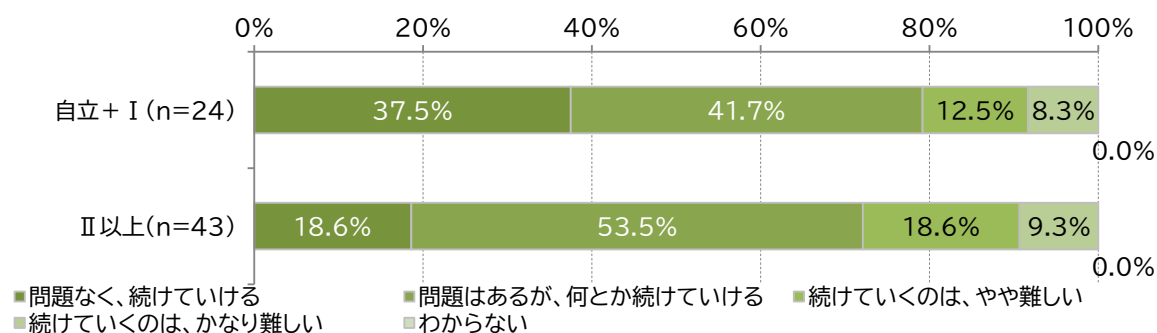
要介護状態区分別 就労継続見込み(フルタイム勤務+パートタイム勤務)

介護者の就労継続の可否に係る意識を要介護状態区分別にみると、「要支援1～要介護1」では「問題はあるが、何とか続けていける」が44.4%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が30.6%、「続けていくのは、やや難しい」が19.4%となっています。「要介護2以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が54.8%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が19.4%、「続けていくのは、やや難しい」、「続けていくのは、かなり難しい」が12.9%となっています。



認知症自立度別 就労継続見込み(フルタイム勤務+パートタイム勤務)

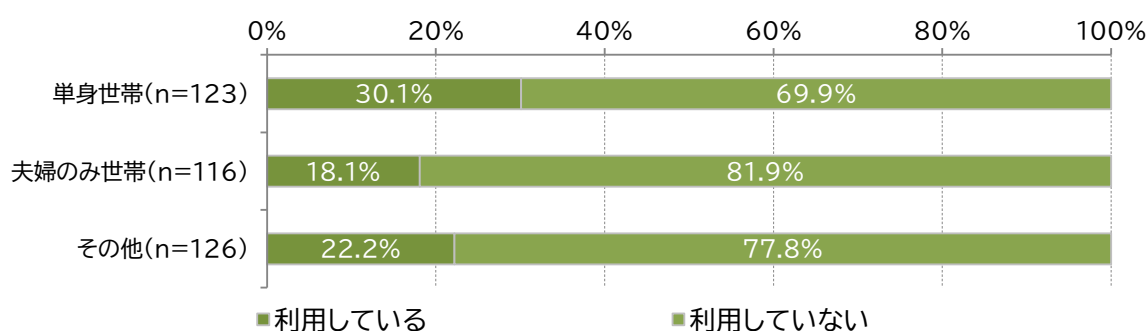
介護者の就労継続の可否に係る意識を認知症自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「問題はあるが、何とか続けていける」が41.7%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が37.5%、「続けていくのは、やや難しい」が12.5%、「続けていくのは、かなり難しい」が8.3%となっています。「Ⅱ以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が53.5%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」、「続けていくのは、やや難しい」が18.6%、「続けていくのは、かなり難しい」が9.3%となっています。



(6)訪問診療

世帯類型別 訪問診療の利用割合

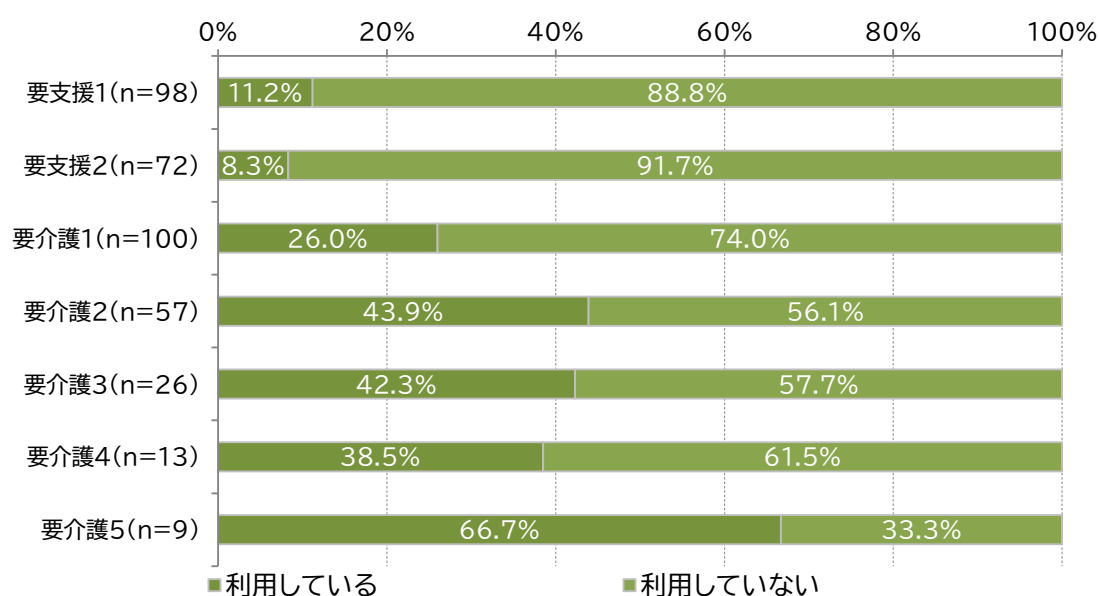
訪問診療の利用の有無を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「利用していない」が69.9%、「利用している」が30.1%となっています。「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が81.9%、「利用している」が18.1%となっています。「その他」では「利用していない」が77.8%、「利用している」が22.2%となっています。



要介護状態区分別 訪問診療の利用割合

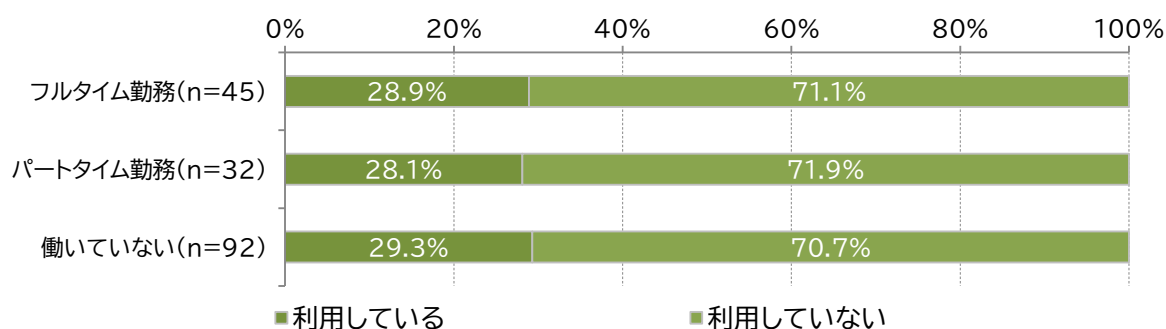
訪問診療の利用の有無を要介護状態区分別にみると、「要支援1」では「利用していない」が88.8%、「利用している」が11.2%となっています。「要支援2」では「利用していない」が91.7%、「利用している」が8.3%となっています。「要介護1」では「利用していない」が74.0%、「利用している」が26.0%となっています。「要介護2」では「利用していない」が56.1%、「利用している」が43.9%となっています。「要介護3」では「利用していない」が57.7%、「利用している」が42.3%となっています。「要介護4」では「利用していない」が61.5%、「利用している」が38.5%となっています。「要介護5」では「利用している」が66.7%、「利用していない」が33.3%となっています。

「利用している」の割合が最も高いのは「要介護5」となっています。



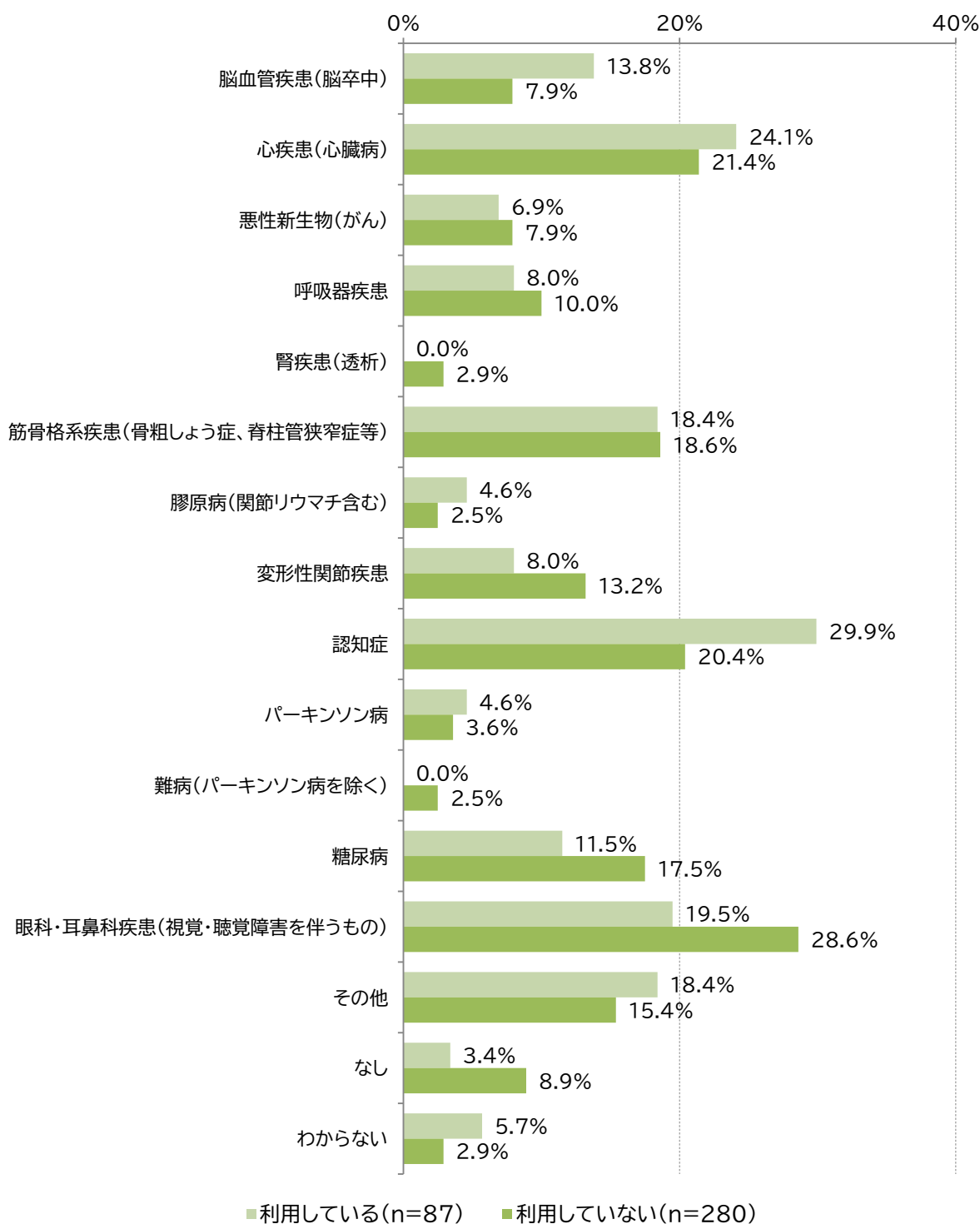
就労状況別 訪問診療の利用の有無

訪問診療の利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「利用していない」が71.1%、「利用している」が28.9%となっています。「パートタイム勤務」では「利用していない」が71.9%、「利用している」が28.1%となっています。「働いていない」では「利用していない」が70.7%、「利用している」が29.3%となっています。



訪問診療の利用の有無別 抱えている傷病

抱えている傷病を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「認知症」が29.9%と最も割合が高く、次いで「心疾患（心臓病）」が24.1%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が19.5%となっています。「利用していない」では「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が28.6%と最も割合が高く、次いで「心疾患（心臓病）」が21.4%、「認知症」が20.4%となっています。



宮津市
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
在宅介護実態調査
集計結果報告書

発行年月	令和8年5月
発行	宮津市
編集	健康福祉部 健康・介護課 介護給付係
住所	〒626-8501 京都府宮津市字浜町 3012 番地 福祉・教育総合プラザ4階
T E L	0772-45-1619